

羽生市市民意識調査報告書

令和3年3月

羽 生 市

《目 次》

I.	調査の概要	1
1	調査目的	3
2	調査の方法	3
3	集計・分析のための地区区分	3
4	回収結果	3
5	調査項目	4
6	報告書をみる際の注意	4
II.	対象者の基本属性	5
1	性別	7
2	年齢	7
3	職業	7
4	居住年数	8
5	居住地区	8
III.	調査結果の分析	9
1	市の住み心地について	11
1-1	住み心地／理由	11
1-2	定住意向	15
1-3	住み続けるために必要なもの	17
2	市の取り組みなどについて	20
2-1	広報はにゅうの閲読	20
2-2	ぎかいだよりの閲読	21
2-3	自治基本条例の認知度	22
2-4	計画づくりへの参加意向	23
2-5	電子申請・届出サービスの利用	24
2-6	市政・市役所に対する印象	25
3	コミュニティについて	27
3-1	近所付き合い	27
3-2	行事への参加	29
3-3	ボランティア活動／理由	31
4	市の将来像について	34
4-1	市の将来像	34
4-2	市の将来像のアイデア	36
5	市の特徴について	47
5-1	全国PRに有効なもの	47
5-2	好きな場所・景色／理由	51
6	福祉・リサイクル・交通について	56
6-1	生きがいのある老後	56
6-2	子育て支援に期待すること	59

6-3	家庭ごみ削減に必要なこと	61
6-4	交通	62
6-5	最終電車時刻	64
7	医療・防災・防犯について	66
7-1	かかりつけ医	66
7-2	かかりつけ歯科医	67
7-3	かかりつけ薬局	68
7-4	医療費	69
7-5	健康診断／理由	70
7-6	家屋の耐震状況	72
7-7	火災警報器	74
7-8	避難所の認知度	75
7-9	ハザードマップの認知度	77
7-10	マイ・タイムラインの作成状況	79
7-11	災害時の備え	80
7-12	防犯対策	82
7-13	犯罪防止策	84
8	選挙について	86
8-1	投票率の低い理由	86
8-2	投票率を上げる方法	88
9	教育・スポーツについて	90
9-1	学校の再編／理由	90
9-2	学校教育について	96
9-3	市内の学校との連携	98
9-4	おうち図書館の有無／理由	99
9-5	スポーツをする頻度／理由	100
10	人権・男女平等について	103
10-1	基本的人権の尊重	103
10-2	身の回りの男女平等状況	104
10-3	『男は仕事、女は家庭』の考え方	106
11	商業・産業について	108
11-1	購買地調査	108
11-2	農産物の購入目安	111
11-3	商業・産業の振興	113
12	全般的なまちづくりについて	114
12-1	施策の満足度	114
12-2	力を入れるべき施策	118
IV.	調査結果のまとめ	123
V.	自由記入のまとめ	131
資料	調査票	157

I . 調査の概要

1 調査目的

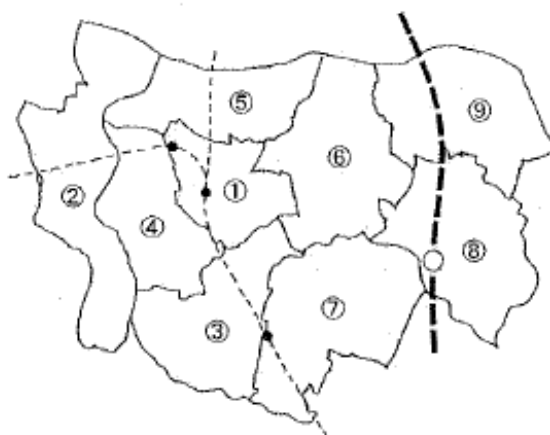
本調査は、市政に対する市民の意見や要望などを幅広く把握し、市民の声を市政に反映するとともに、過去の市民意識調査との比較により、市民ニーズや市民の考え方の動向などを把握し、これからのまちづくりを行ううえでの基礎資料とするために実施しました。また、平成30年（2018）度から令和4（2022）年度を計画期間とする第6次羽生市総合振興計画・前期基本計画の検証をする際の資料としても活用します。

2 調査の方法

- 調査対象：市内に在住する18歳以上の市民
- 標本数：2,500人
- 抽出方法：住民基本台帳より地区別、無作為抽出
- 調査方法：郵送法（郵送による配布・回収）
- 調査期間：令和2年11月20日（金）～12月11日（金）

3 集計・分析のための地区区分

- ①羽生地区
- ②新郷地区
- ③須影地区
- ④岩瀬地区
- ⑤川俣地区
- ⑥井泉地区
- ⑦手子林地区
- ⑧三田ヶ谷地区
- ⑨村君地区



4 回収結果

- 標本数 : 2,500人
- 有効回収票数 : 1,412人
- 有効回収率 : 56.5%

5 調査項目

①市の住み心地について	問1：住み心地／理由 問2：定住意向 問3：住み続けるために必要なもの
②市の取り組みなどについて	問4：広報はにゅうの閲読 問5：ぎかいだよりの閲読 問6：自治基本条例の認知度 問7：計画づくりへの参加意向 問8：電子申請・届出サービスの利用 問9：市政・市役所に対する印象
③コミュニティについて	問10：近所付き合い 問11：行事への参加 問12：ボランティア活動／理由
④市の将来像について	問13：市の将来像 問14：市の将来像のアイデア
⑤市の特徴について	問15：全国PRに有効なもの 問16：好きな場所・景色／理由
⑥福祉・リサイクル・交通について	問17：生きがいのある老後 問18：子育て支援に期待すること 問19：家庭ごみ削減に必要なこと 問20：交通 問21：最終電車時刻
⑦医療・防災・防犯について	問22：かかりつけ医 問23：かかりつけ歯科医 問24：かかりつけ薬局 問25：医療費 問26：健康診断／理由 問27：家屋の耐震状況 問28：火災警報器 問29：避難所の認知度 問30：ハザードマップの認知度 問31：マイ・タイムラインの作成状況 問32：災害時の備え 問33：防犯対策 問34：犯罪防止策
⑧選挙について	問35：投票率の低い理由 問36：投票率を上げる方法
⑨教育・スポーツについて	問37：学校の再編／理由 問38：学校教育について 問39：市内の学校との連携 問40：おうち図書館の有無／理由 問41：スポーツをする頻度／理由
⑩人権・男女平等について	問42：基本的人権の尊重 問43：身の回りの男女平等状況 問44：『男は仕事 女は家庭』の考え方
⑪商業・産業について	問45：購買地調査 問46：農産物の購入目安 問47：商業・産業の振興
⑫全般的なまちづくりについて	問48：施策の満足度 問49：力を入れるべき施策
⑬属性（フェイスシート）	（1）性別 （2）年齢 （3）職業 （4）居住年数 （5）居住地域
⑭市政意見	・自由記入

6 報告書を見る際の注意

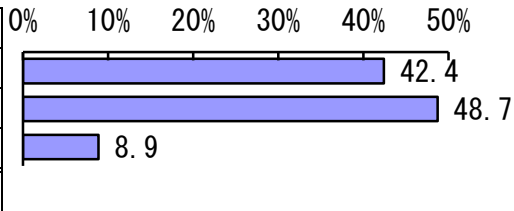
- ・各設問の集計は、すべて単純集計、属性別（フェイスシート）クロス集計を行いました。
- ・比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出します。したがって、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・図表中の「n」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示し、比率は「n」を100.0%として算出しました。
- ・グラフ中の選択肢は意味を損なわない程度に省略した表現を用いていることがあります。
- ・問の中には「～を選んだ方にお伺いします。」などいろいろな制限があり、また、回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

Ⅱ. 対象者の基本属性

1 性別

○回答者の性別は、「女性」が48.7%、「男性」が42.4%と、「女性」が男性を6.3ポイント上回っています。

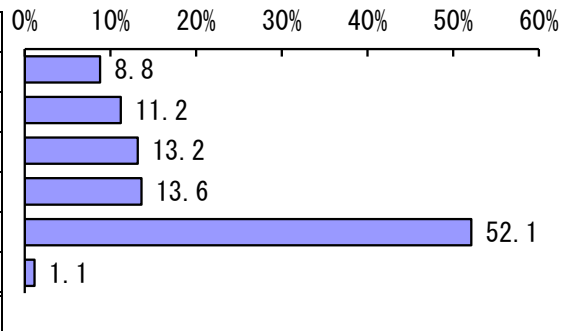
属性(1) 性別	n	%
男性	599	42.4
女性	688	48.7
無回答	125	8.9
全体	1,412	100.0



2 年齢

○回答者の年齢は、「60歳以上」の方が52.1%と全体の半数を超えて最も高く、「50～59歳」と合わせると、回答者数の65.7%を占めています。

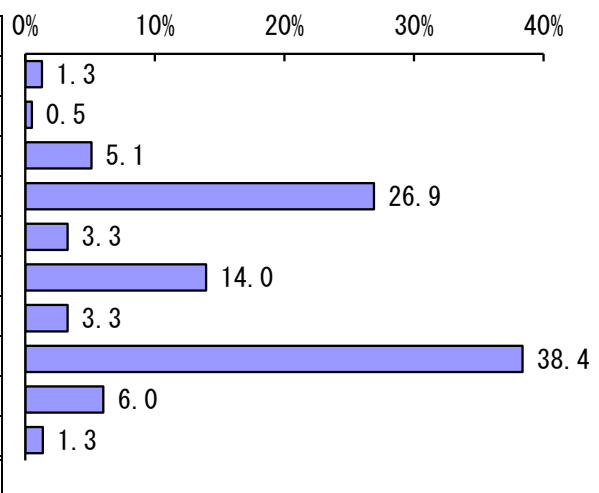
属性(2) 年齢	n	%
18～29歳	124	8.8
30～39歳	158	11.2
40～49歳	186	13.2
50～59歳	192	13.6
60歳以上	736	52.1
無回答	16	1.1
全体	1,412	100.0



3 職業

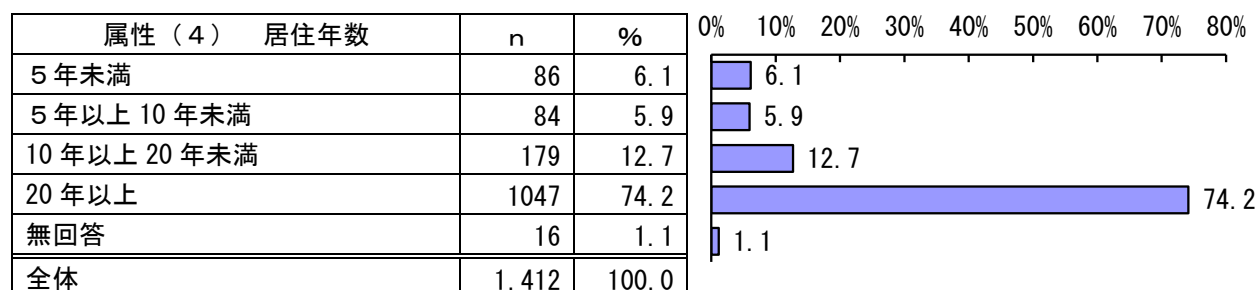
○回答者の職業は、「無職」が38.4%と最も高く、次いで「会社員」が26.9%、「パート・アルバイト」が14.0%と続いています。一方、「学生」は3.3%、「商工業」は0.5%と低くなっています。

属性(3) 職業	n	%
農業	18	1.3
商工業	7	0.5
自営業	72	5.1
会社員	380	26.9
公務員	46	3.3
パート・アルバイト	197	14.0
学生	46	3.3
無職	542	38.4
その他	85	6.0
無回答	19	1.3
全体	1,412	100.0



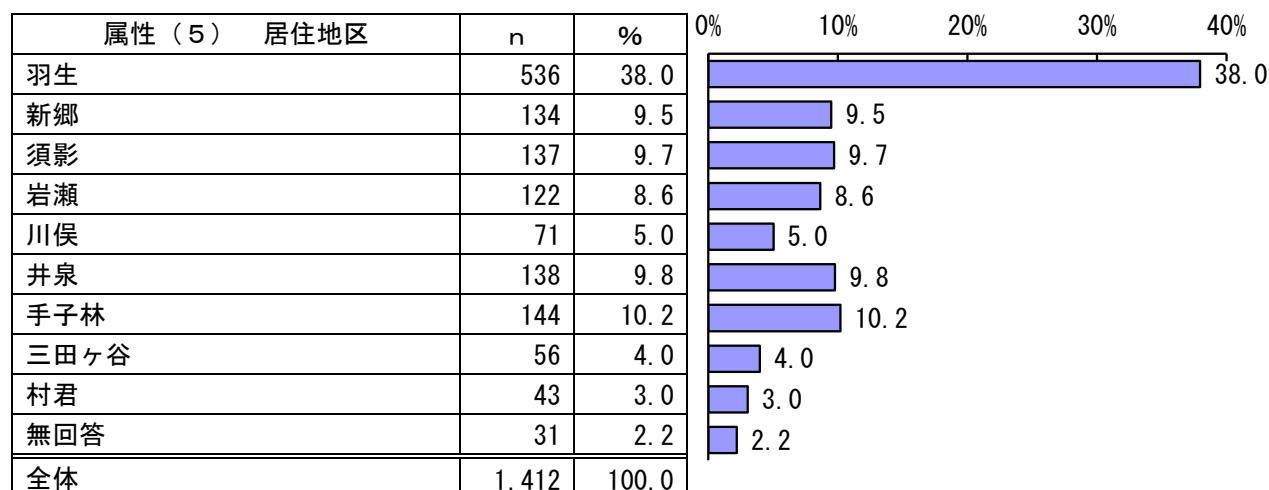
4 居住年数

○回答者の居住年数は、「20年以上」が74.2%と7割半ば近くを占めて最も高く、次いで「10年以上20年未満」が12.7%、「5年未満」と「5年以上10年未満」を合わせた『10年未満』が12.0%となっており、居住年数の長い人からの回答が多い結果となりました。



5 居住地区

○回答者の居住地区は、「羽生地区」が38.0%と最も高く、次いで「手子林」が10.2%と続いています。一方、「川俣」が5.0%、「三田ヶ谷」が4.0%、「村君」が3.0%と低く、それ以外の地区は1割近くになっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

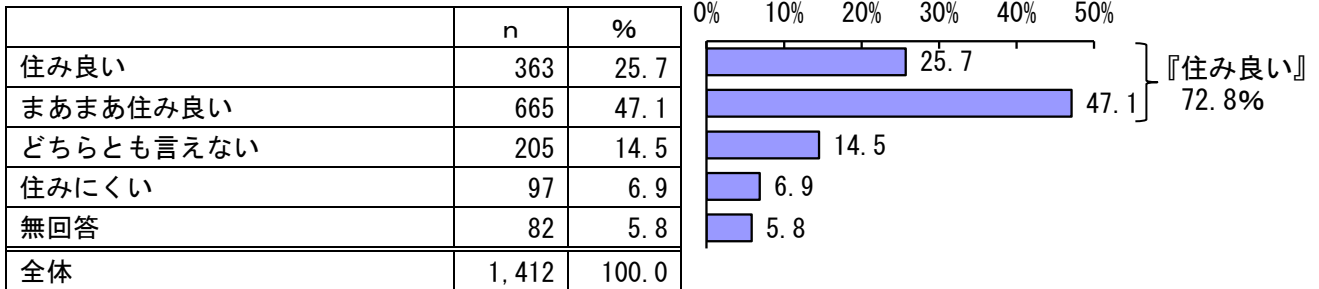
1 市の住み心地について

1-1 住み心地／理由

問1：羽生市の住み心地はいかがですか。【1つに○】

○現在の羽生市の住み心地については、「まあまあ住み良い」が47.1%と最も高く、次いで「住み良い」が25.7%と続いており、二つ合わせた『住み良い』は72.8%と7割を超えています。

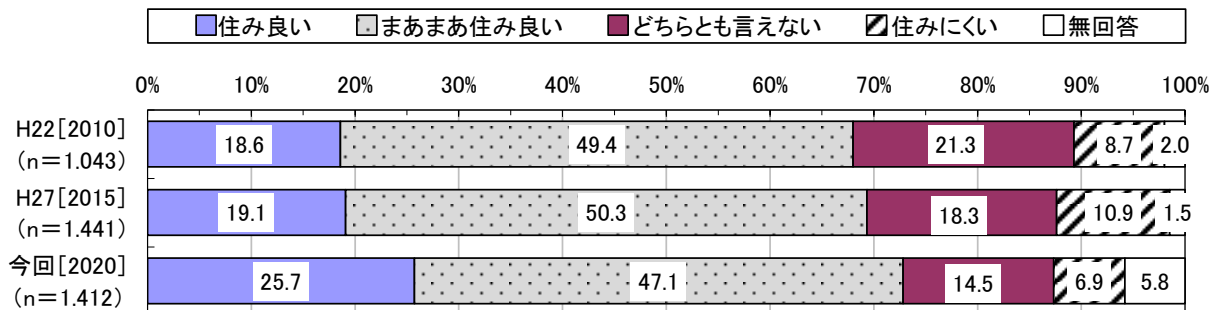
問1 住み心地



※『住み良い』は「住み良い」及び「まあまあ住み良い」の合計としています。(以下同様)

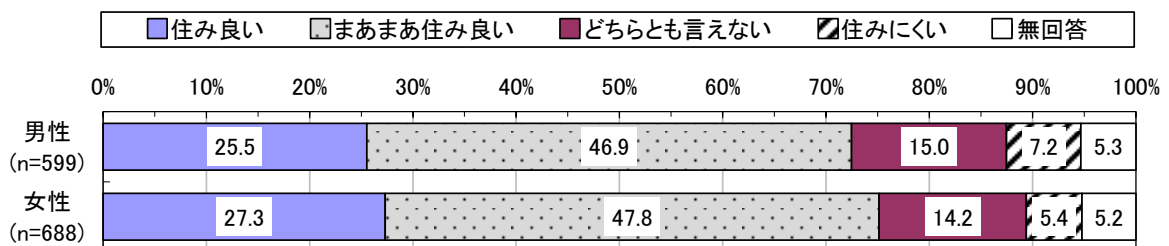
○過去調査と比較すると、「住み良い」はH27〔2015〕から6.6ポイント上がっており、『住み良い』も増加傾向となっています。

【住み心地 過去調査比較】



○性別でみると、「住み良い」「まあまあ住み良い」ともに女性が男性より高く、『住み良い』は女性が75.1%と、男性の72.4%をやや上回っています。

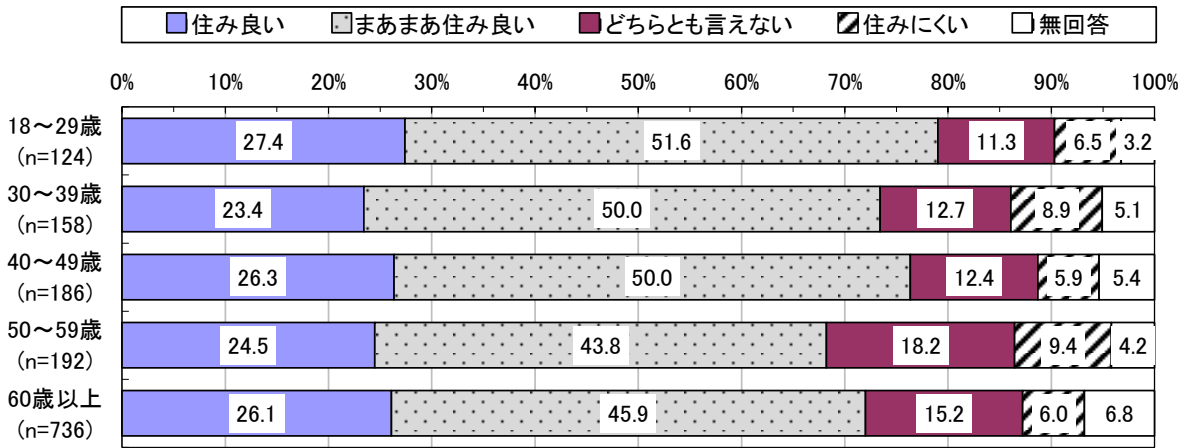
【住み心地 性別集計】



○年齢別でみると、『住み良い』は50～59歳を除くいずれの年代でも7割を超えており、18～29歳では8割近くを占めています。

○「住みにくい」は50～59歳で9.4%、30～39歳で8.9%とやや高くなっていますが、いずれの年代でも1割を切っています。

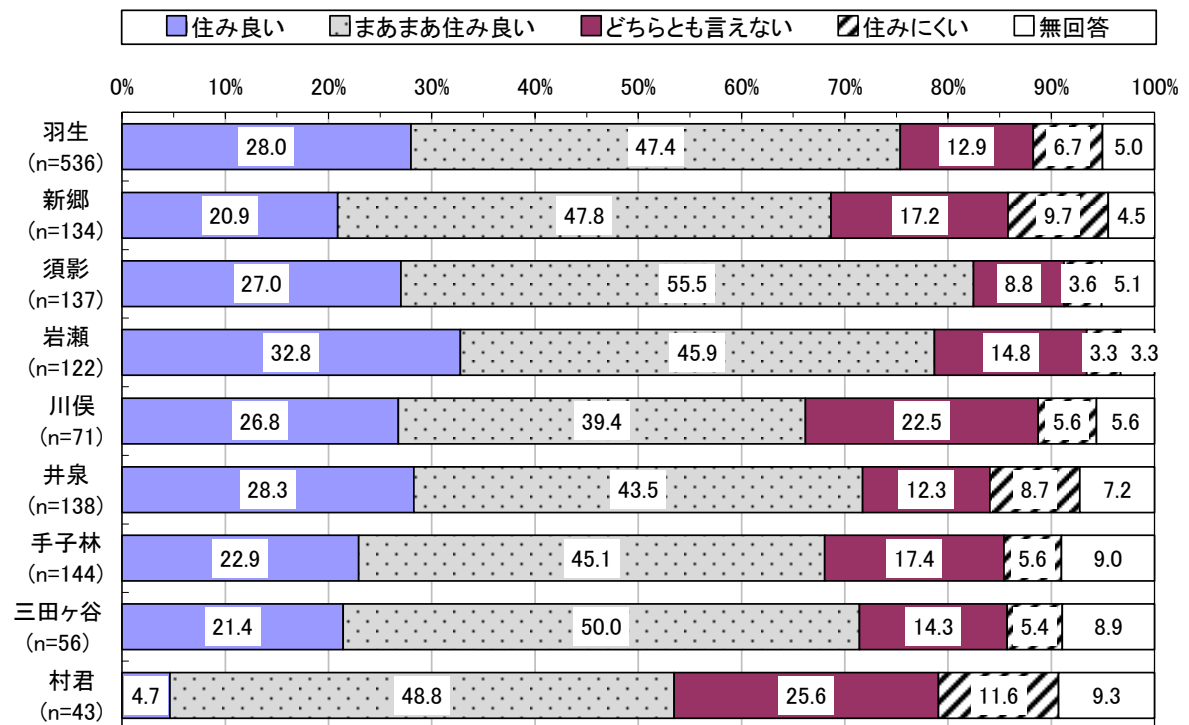
【住み心地 年齢別集計】



○居住地区別でみると、すべての地区で『住み良い』が半数を超えています。一方、「住み良い」は村君地区で4.7%と他の地区と比べ目立って低くなっています。

○「住みにくい」は、村君地区が11.6%と1割を超えて最も高く、次いで新郷地区が9.7%、井泉地区が8.7%と他の地区よりもやや高くなっています。

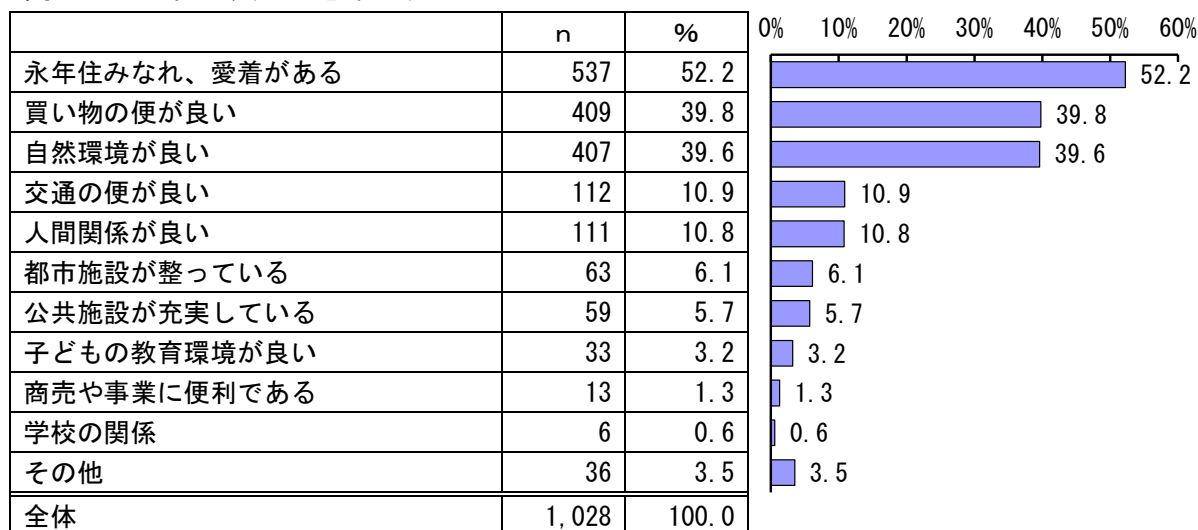
【住み心地 居住地区別集計】



問1—a：住み良い理由は何ですか。【2つまで〇】

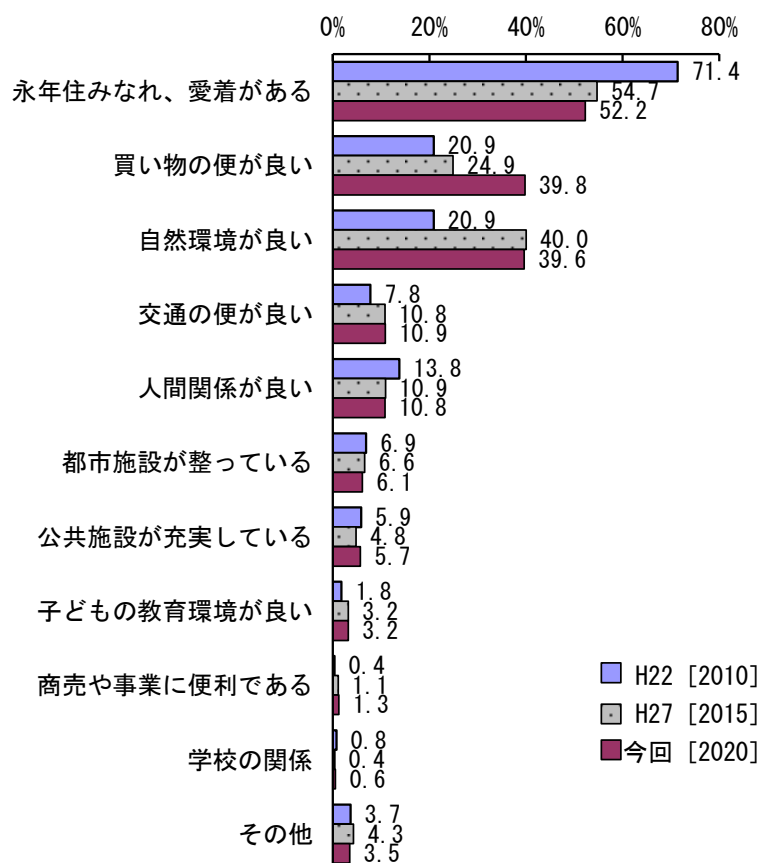
- 『住み良い』と思う理由は、「永年住みなれ、愛着がある」が52.2%と最も高く、次いで「買い物の便が良い」（39.8%）が続いています。
- 前回調査と比べると、「買い物の便が良い」が14.9ポイント大きく上がっています。それ以外はいずれも前回調査とほぼ同じ割合となっています。

問1 - a 住み良いと思う理由



- 過去調査と比較すると、「買い物の便が良い」がH27 [2015] から14.9ポイント大きく上がっています。それ以外はいずれもH27 [2015] とほぼ同じ割合となっています。

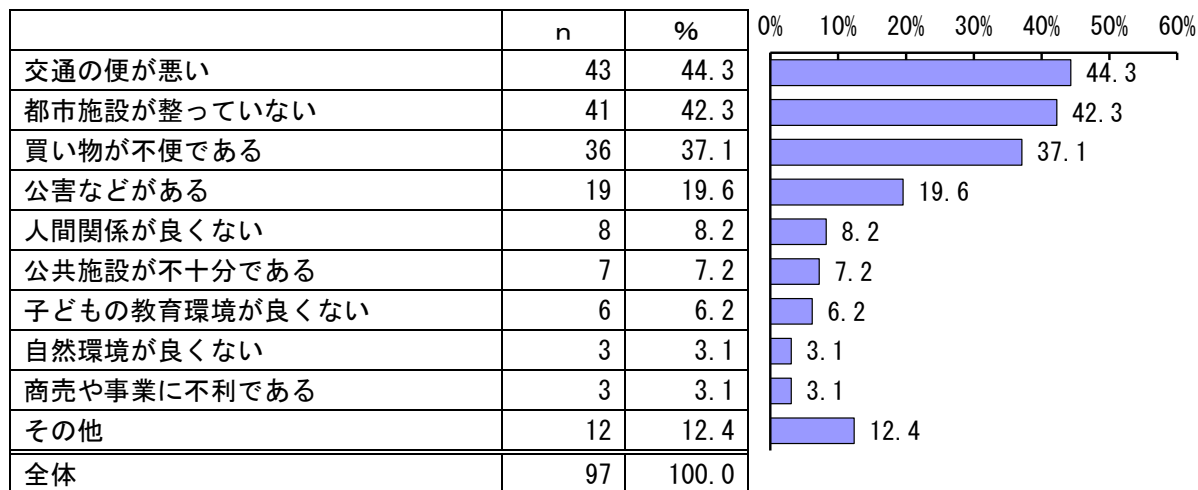
【住み良いと思う理由 過去調査比較】



問1—b：住みにくい理由は何ですか。【2つまで〇】

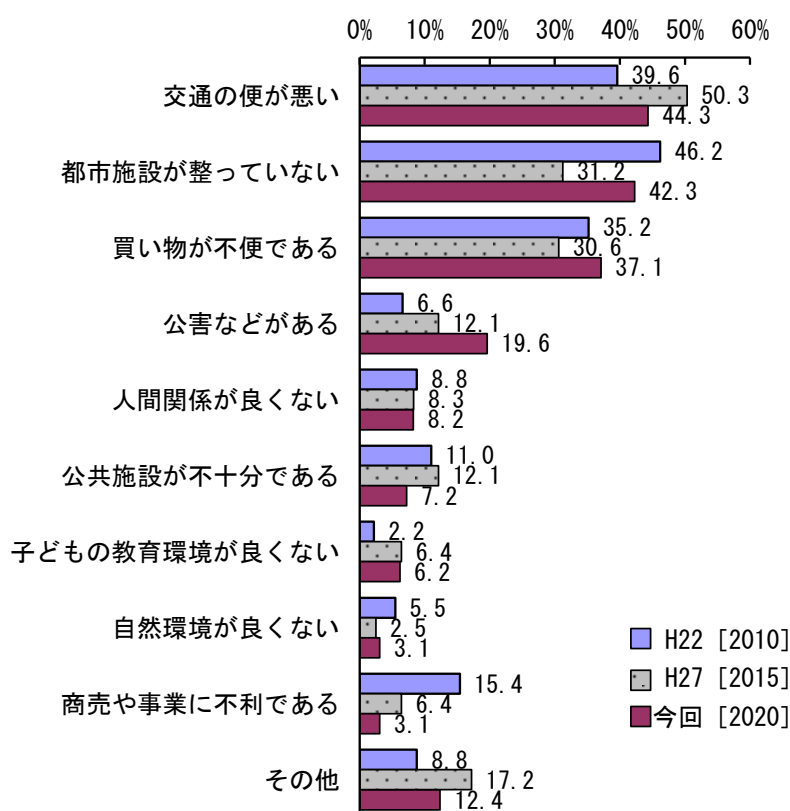
- 「住みにくい」と思う理由は、「交通の便が悪い」が44.3%で最も高く、次いで「都市施設が整っていない」（42.3%）、「買い物が不便である」（37.1%）が続いています。
- 上位3項目は、前回調査と同様ですが、「交通の便が悪い」は6.0ポイント下がっており、「都市施設が整っていない」は11.1ポイント、「買い物が不便である」は6.5ポイント上がっています。

問1 - b 住みにくいと思う理由



- 過去調査と比較すると、上位3項目は、H27 [2015] と同様ですが、「交通の便が悪い」は6.0ポイント下がっており、「都市施設が整っていない」は11.1ポイント、「買い物が不便である」は6.5ポイント上がっています。

【住みにくいと思う理由 過去調査比較】

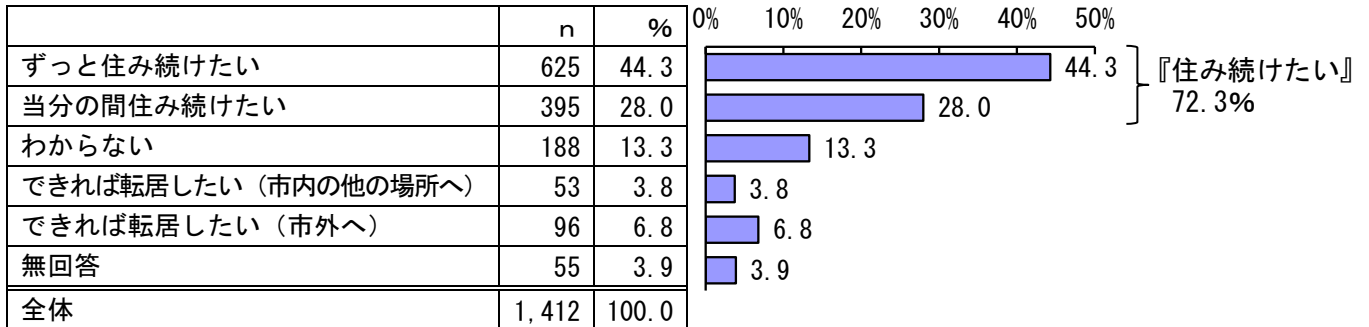


1-2 定住意向

問2：現在の場所に住み続けたいと思いますか。【1つに〇】

- 定住意向については、「ずっと住み続けたい」が44.3%と4割を超えており、「当分の間住み続けたい」(28.0%)と合わせた『住み続けたい』は72.3%と7割を超えて、地域の定住意向は高い傾向にあります。
- 「できれば転居したい(市外へ)」は6.8%となっています。

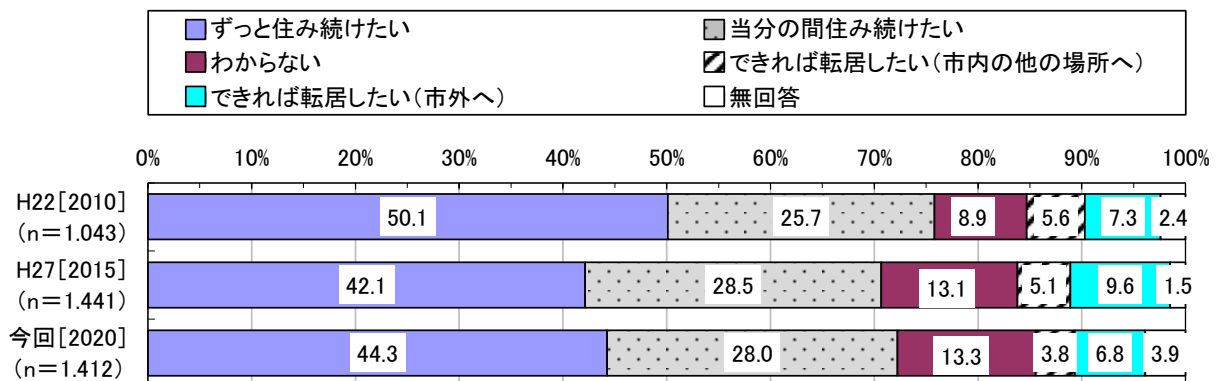
問2 定住意向



※『住み続けたい』は「ずっと住み続けたい」及び「当分の間住み続けたい」の合計としています。(以下同様)

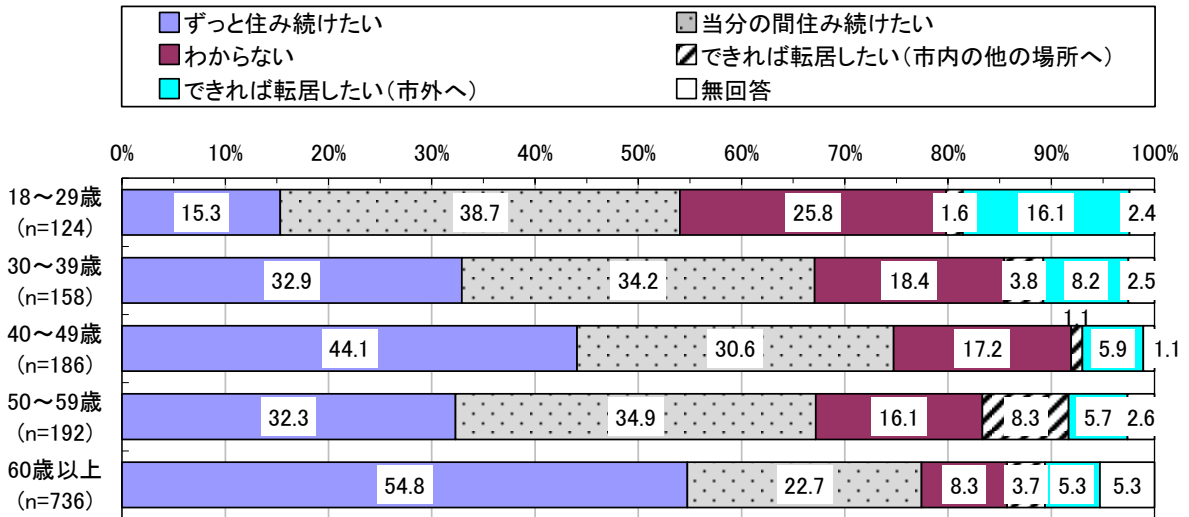
- 過去調査と比較すると、『住み続けたい』はH22 [2010] より低くなっていますが、H27 [2015] よりも高くなっており、7割を超えています。
- 「転居したい」は市内、市外のいずれも過去調査より低くなっています。

【定住意向 過去調査比較】



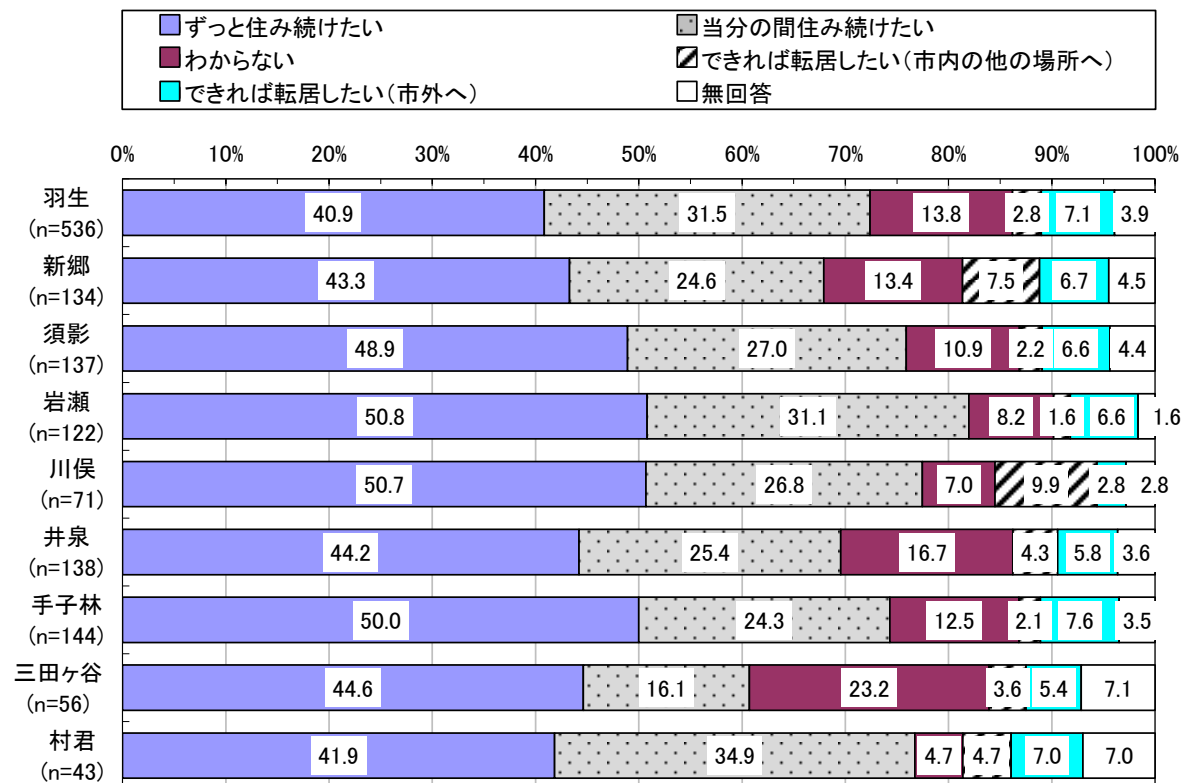
- 年齢別でみると、『住み続けたい』はいずれの年代でも半数を超えており、特に40～49歳と60歳以上では7割を超えています。また、60歳以上では「ずっと住み続けたい」が過半数を占めています。
- 「できれば転居したい（市外へ）」は18～29歳で16.1%、「できれば転居したい（市内の他の場所へ）」は50～59歳で8.3%と、他の年代よりも高くなっています。

【定住意向 年齢別集計】



- 居住地区別でみると、すべての地区で「ずっと住み続けたい」が4割を超えており、岩瀬・川俣・手子林地区では半数を占めています。
- 「できれば転居したい（市内の他の場所へ）」は、川俣地区が9.9%、新郷地区が7.5%と他の地域よりも高くなっています。

【定住意向 居住地区別集計】

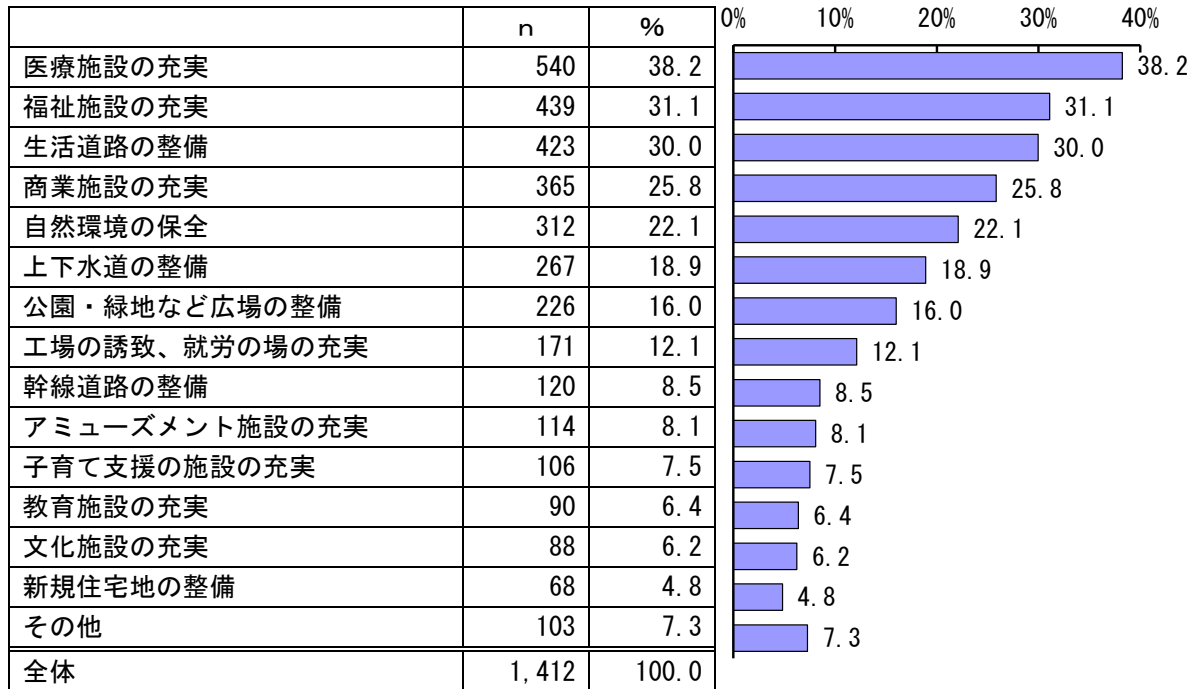


1-3 住み続けるために必要なもの

問3：今後、住み続けるにあたって必要なものは何ですか。【3つまで○】

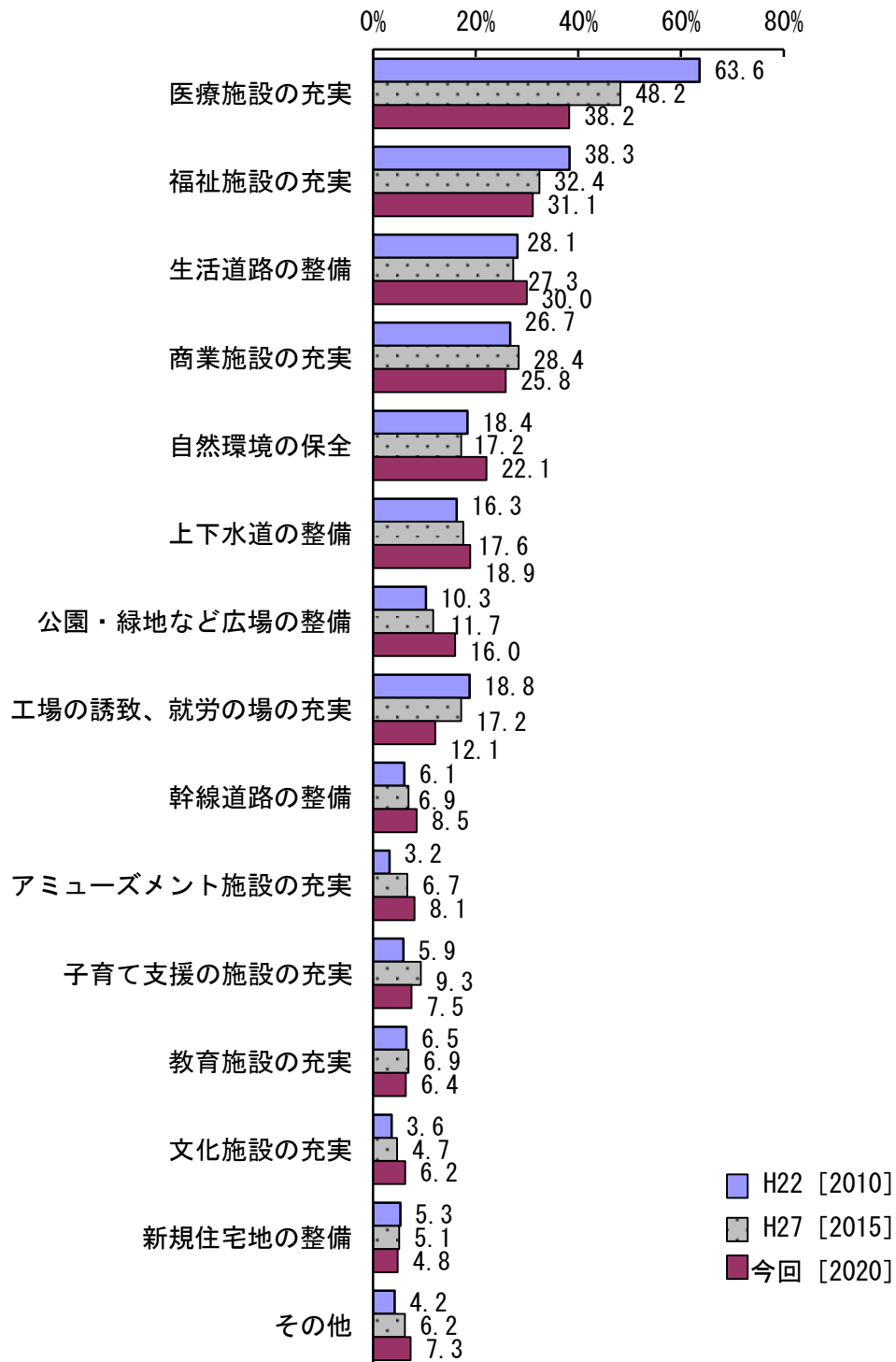
○住み続けるにあたって必要なものについては、「医療施設の充実」が38.2%と4割近くで最も高く、次いで「福祉施設の充実」(31.1%)、「生活道路の整備」(30.0%)が3割台で続いています。

問3 今後、住み続けるために必要なもの



○過去調査と比較すると全体の傾向はあまり変わりませんが、「医療施設の充実」「福祉施設の充実」「工場の誘致、就労の場の充実」は調査ごとに下がっていく傾向にあり、特に「医療施設の充実」はH27 [2015]より10ポイント下がっています。

【今後、住み続けるために必要なもの】



○年齢別でみると、30歳以上で「医療施設の充実」が最も高くなっています。また、「生活道路の整備」「商業施設の充実」はいずれの年代でも2割を超えています。

○18～29歳では「幹線道路の整備」「アミューズメント施設の充実」が2割、30～39歳では「公園・緑地など広場の整備」が3割を超えています。「福祉施設の充実」については50歳以上で3割を超えており、「子育て支援の施設の充実」は40歳未満で2割前後と他の年代よりも高くなっています。

【住み続けるために必要なもの 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
医療施設の充実	19.4	①32.3	①37.6	①37.0	①43.2
福祉施設の充実	10.5	14.6	24.2	②33.9	②39.1
生活道路の整備	②25.8	29.1	③29.0	③32.3	③30.7
商業施設の充実	①37.1	②30.4	②30.1	28.6	21.5
自然環境の保全	15.3	19.0	18.8	21.4	24.9
上下水道の整備	4.0	9.5	18.3	24.0	22.1
公園・緑地など広場の整備	18.5	①32.3	17.2	12.0	13.2
工場の誘致、就労の場の充実	13.7	12.7	17.7	11.5	10.2
幹線道路の整備	20.2	9.5	7.0	5.7	7.5
アミューズメント施設の充実	②25.8	10.8	10.2	9.4	3.7
子育て支援の施設の充実	19.4	22.2	7.5	3.1	3.7
教育施設の充実	5.6	17.7	9.1	6.8	3.1
文化施設の充実	11.3	6.3	9.7	4.7	5.0
新規住宅地の整備	9.7	3.2	3.2	8.3	3.8
その他	7.3	8.2	11.8	10.4	5.2

※第1位～第3位を①～③で記しています。

○居住地区別でみると、いずれの地区でも「医療施設の充実」が3割を超えて高く、村君地区を除くすべての地区で「福祉施設の充実」が上位3以内に入っています。

○新郷地区と川俣地区では「上下水道の整備」がともに25.4%と2割半ばに達しています。

○手子林地区では「工場の誘致、就労の場の充実」が29.2%と高く、岩瀬地区でも27.9%と3割近くになっています。

【住み続けるために必要なもの 地区別集計】

(単位：%)

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
医療施設の充実	①39.0	②33.6	①46.7	②36.9	②36.6	①37.7	①38.2	②39.3	③34.9
福祉施設の充実	②31.2	③31.3	③29.2	③30.3	①39.4	③29.7	③29.2	①42.9	20.9
商業施設の充実	25.6	①34.3	②42.3	①38.5	23.9	26.8	②30.6	28.6	②37.2
生活道路の整備	③26.1	28.4	16.8	19.7	19.7	②31.2	25.0	③33.9	①53.5
上下水道の整備	24.8	25.4	22.6	20.5	③25.4	16.7	16.7	23.2	11.6
工場の誘致、就労の場の充実	11.2	24.6	25.5	27.9	19.7	19.6	③29.2	14.3	11.6
自然環境の保全	19.8	14.9	15.3	21.3	15.5	12.3	11.8	8.9	7.0
公園・緑地など広場の整備	14.2	7.5	10.9	6.6	9.9	11.6	13.2	14.3	18.6
子育て支援施設の充実	5.8	5.2	7.3	10.7	12.7	16.7	11.1	8.9	9.3
幹線道路の整備	8.6	7.5	4.4	9.0	9.9	6.5	7.6	16.1	9.3
教育施設の充実	9.1	6.7	8.0	3.3	7.0	7.2	6.9	5.4	9.3
アミューズメント施設の充実	6.0	3.0	5.8	10.7	5.6	11.6	2.8	5.4	4.7
新規住宅地の整備	7.8	7.5	3.6	8.2	2.8	4.3	6.3	3.6	0.0
文化施設の充実	4.1	6.0	2.2	3.3	9.9	2.2	2.8	12.5	16.3
その他	7.6	6.7	5.8	8.2	2.8	7.2	11.8	5.4	2.3

※第1位～第3位を①～③で記しています。

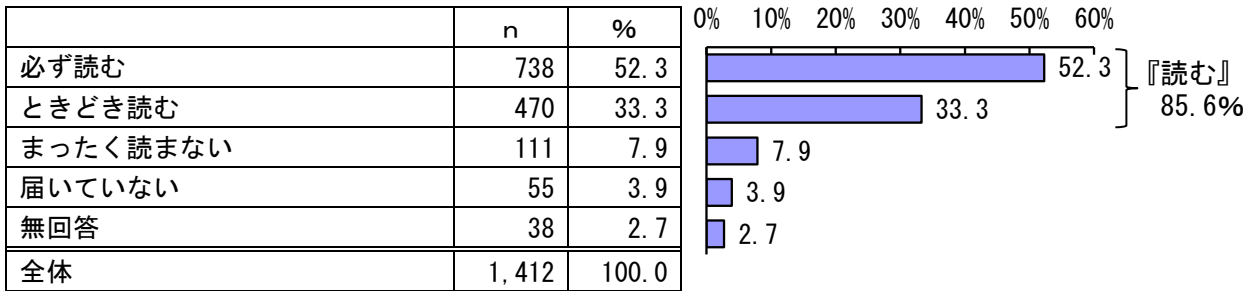
2 市の取り組みなどについて

2-1 広報はにゅうの閲読

問4：市の広報紙「広報はにゅう」を読んでいますか。【1つに○】

○『広報はにゅう』の閲読については、「必ず読む」が52.3%で半数を超えて最も高く、これに「ときどき読む」(33.3%)を合わせた『読む』は85.6%と8割半ばを占めています。

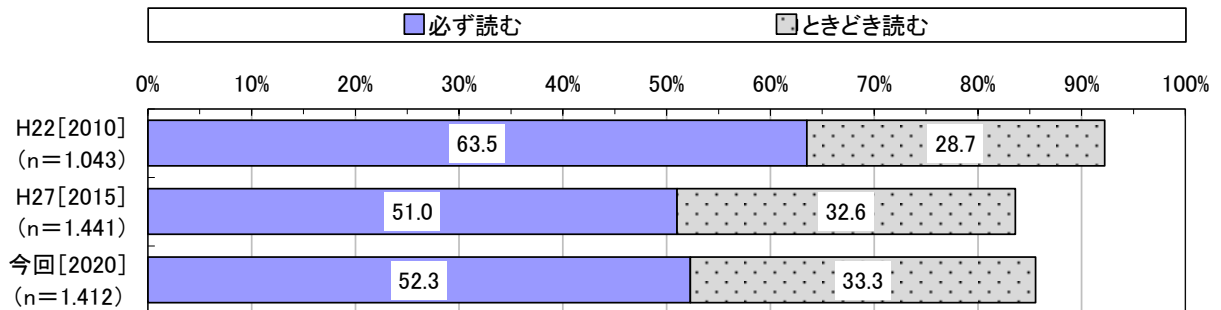
問4 広報はにゅうの閲読



※『読む』は「必ず読む」及び「ときどき読む」の合計としています。(以下同様)

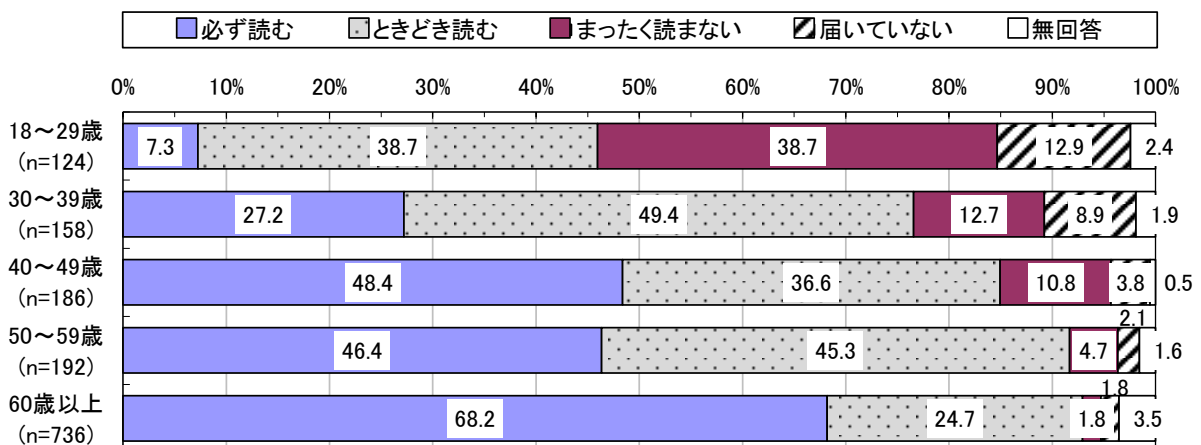
○過去調査と比較すると、「必ず読む」はH22 [2010] よりも10ポイント以上低いものの、H27 [2015] からやや上がっています。

【広報はにゅうの閲読 過去調査比較】



○年齢別でみると、『読む』は50歳以上では9割を超えていますが、18～29歳では半分の46.0%にとどまっています。また、18～29歳は「まったく読まない」が38.7%と、他の年代より高くなっています。

【広報はにゅうの閲読 年齢別集計】

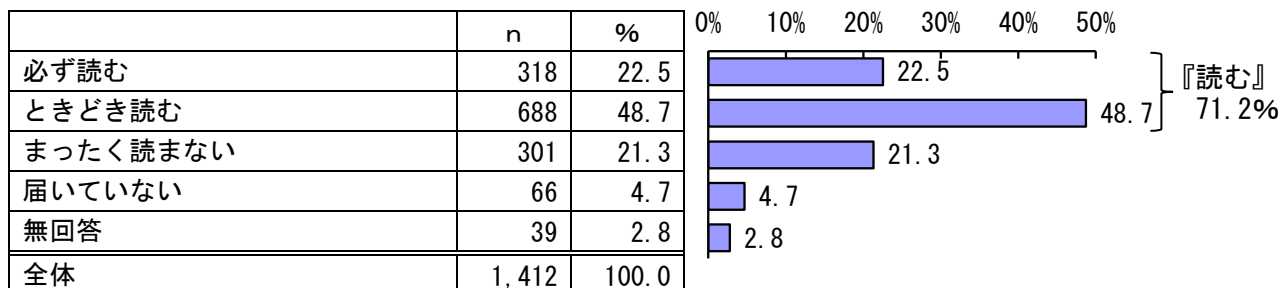


2-2 ぎかいだよりの閲読

問5：市議会の広報紙「ぎかいだより」を読んでいますか。【1つに○】

○『ぎかいだより』の閲読については、「ときどき読む」が48.7%と最も高く、これに「必ず読む」(22.5%)を合わせた『読む』は71.2%と7割を超えています。

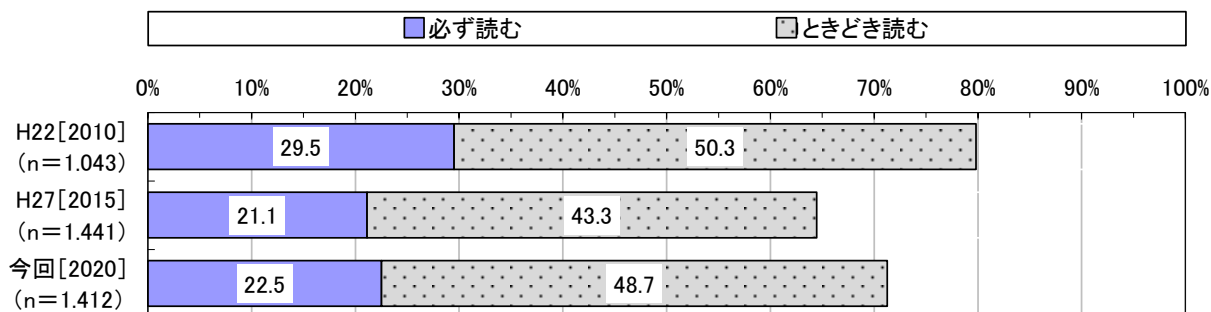
問5 ぎかいだよりの閲読



※『読む』は「必ず読む」及び「ときどき読む」の合計として
います。(以下同様)

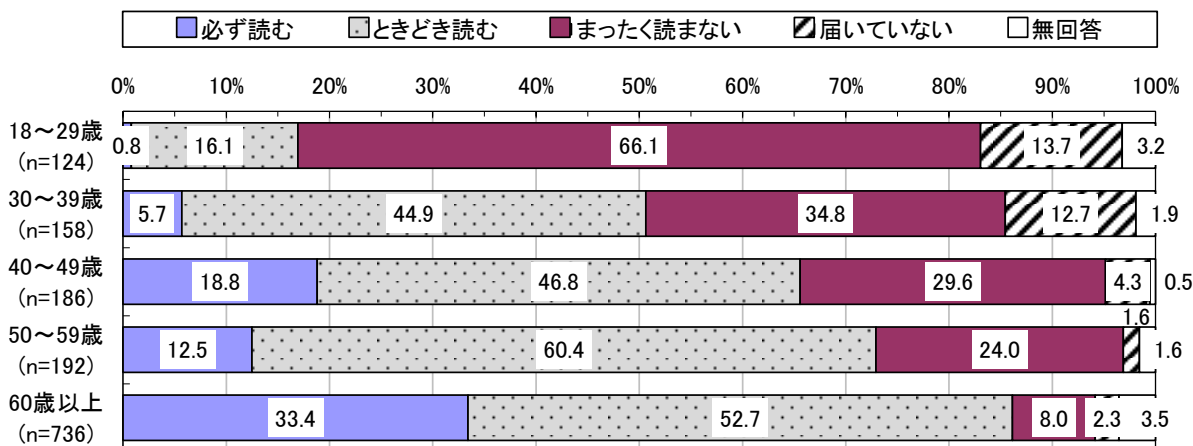
○過去調査と比較すると、「必ず読む」はH22 [2010] よりも7.0ポイント以上低いものの、H27 [2015] からやや上がっています。

【ぎかいだよりの閲読 過去調査比較】



○年齢別でみると、『読む』は60歳以上では8割を超えていますが、18～29歳では16.9%と2割を切っています。また、18～29歳は「まったく読まない」が66.1%と、他の年代より高くなっています。

【ぎかいだよりの閲読 年齢別集計】

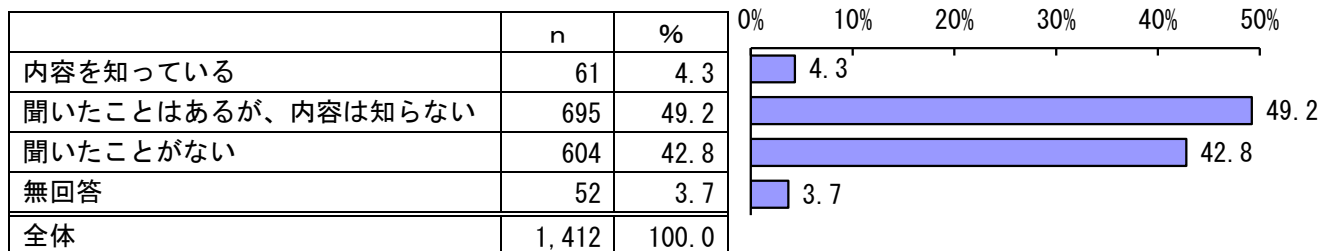


2-3 自治基本条例の認知度

問6：羽生市まちづくり自治基本条例についてご存じですか。【1つに○】

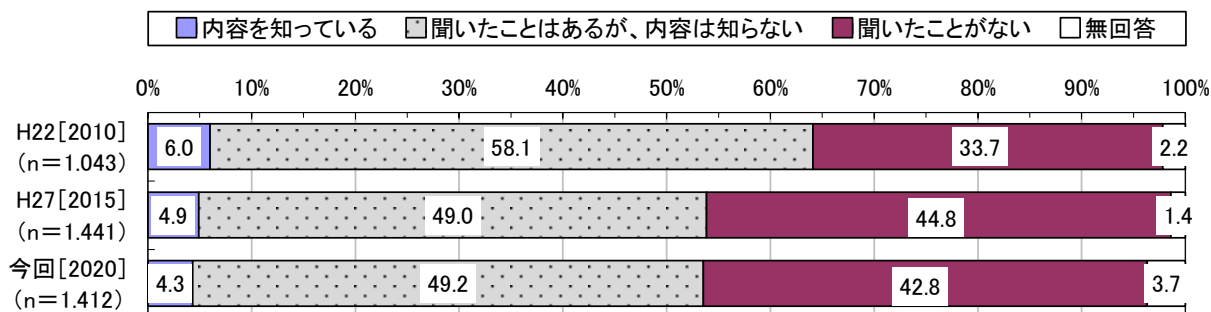
- 自治基本条例の認知度については、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が49.2%と半数近くで最も高く、次いで「聞いたことがない」が42.8%と4割を超えています。
- 「内容を知っている」は4.3%となっており、自治基本条例の認知度は低い結果となっています。

問6 自治基本条例の認知度



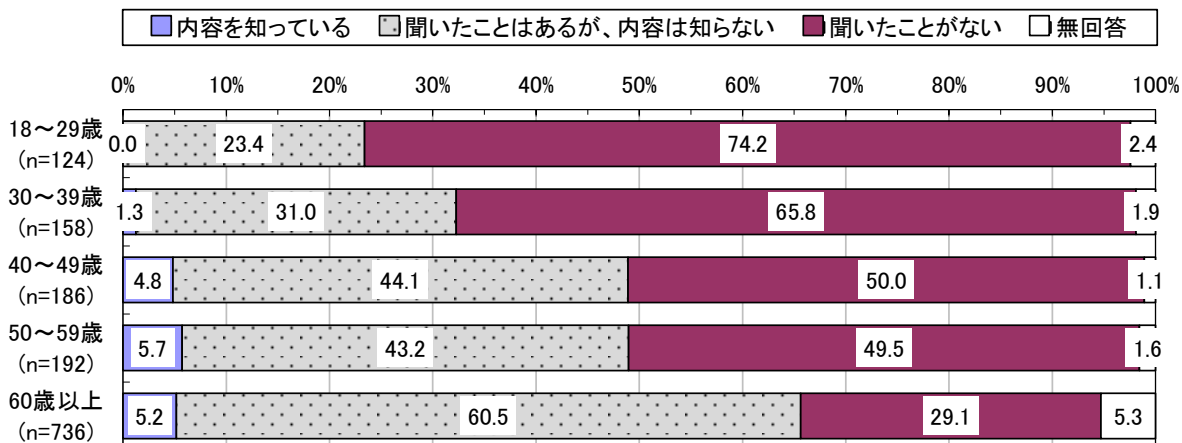
- 過去調査と比較すると、「内容を知っている」は過去調査よりも下がっていますが、H27 [2015] からはあまり変化ありません。

【自治基本条例の認知度 過去調査比較】



- 年齢別でみると、「内容を知っている」は40歳以上かはら5%前後を占めています。
- 「聞いたことはあるが内容は知らない」は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、60歳以上で6割を占めています。反対に「聞いたことがない」は年代が下がるにつれて高くなっており、18～29歳で7割半ば近くを占めています。

【自治基本条例の認知度 年齢別集計】



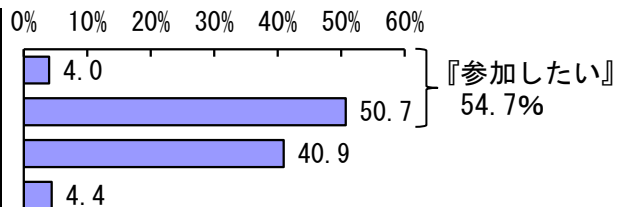
2-4 計画づくりへの参加意向

問7：市の計画づくりに市民参加の機会がある場合、参加してみたいですか。【1つに〇】

- 計画づくりへの参加意向については、「都合がつけば参加したい」が50.7%と半数を占めて最も高く、これに「興味があるので、ぜひ参加したい」(4.0%)を合わせた『参加したい』は54.7%となっています。
- 「参加したくない」は40.9%と4割を占めています。

問7 計画づくりへの参加意向

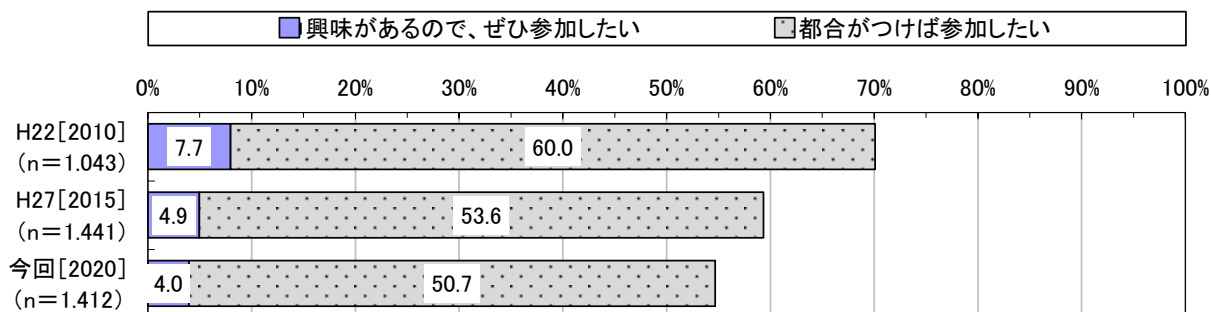
	n	%
興味があるので、ぜひ参加したい	56	4.0
都合がつけば参加したい	716	50.7
参加したくない	578	40.9
無回答	62	4.4
全体	1,412	100.0



※『参加したい』は「興味があるので、ぜひ参加したい」及び「都合がつけば参加したい」の合計としています。(以下同様)

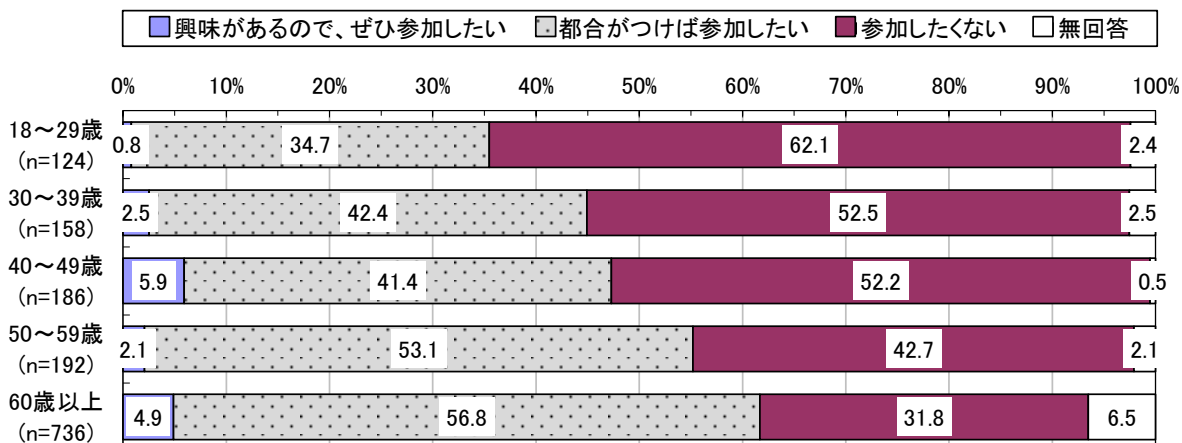
- 過去調査と比較すると、『参加したい』は調査ごとに下がっていく傾向にあります。

【計画づくりへの参加意向 過去調査比較】



- 年齢別でみると、『参加したい』は年代が上がるにつれて高くなる傾向にありますが、「興味があるので、ぜひ参加したい」は40～49歳が5.9%と最も高くなっています。
- 「参加したくない」は年代が下がるにつれて高くなる傾向にあり、50歳未満で5割以上を占めています。

【計画づくりへの参加意向 年齢別集計】

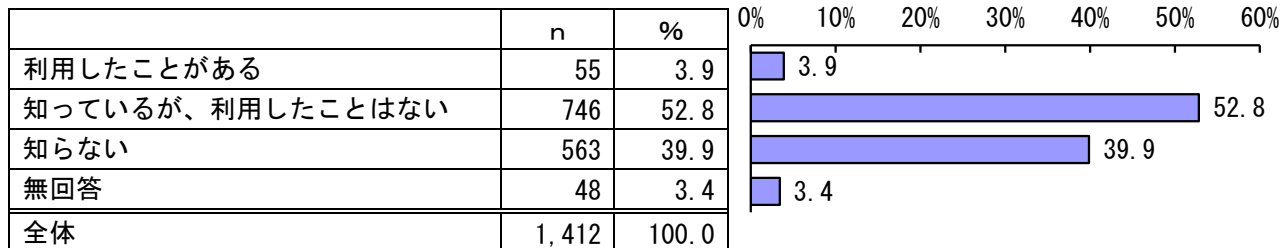


2-5 電子申請・届出サービスの利用

問8：羽生市の電子申請・届出サービスについてご存じですか。【1つに〇】

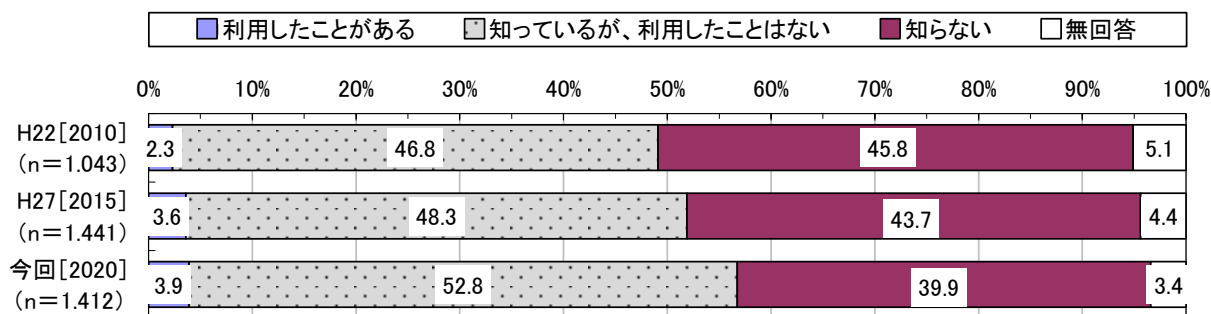
- 電子申請・届出サービスについては、「知っているが、利用したことはない」が52.8%と半数を超えて最も高く、次いで「知らない」が39.9%と4割近くで続いています。
- 「利用したことがある」は3.9%となっています。

問8 電子申請・届出サービスの利用



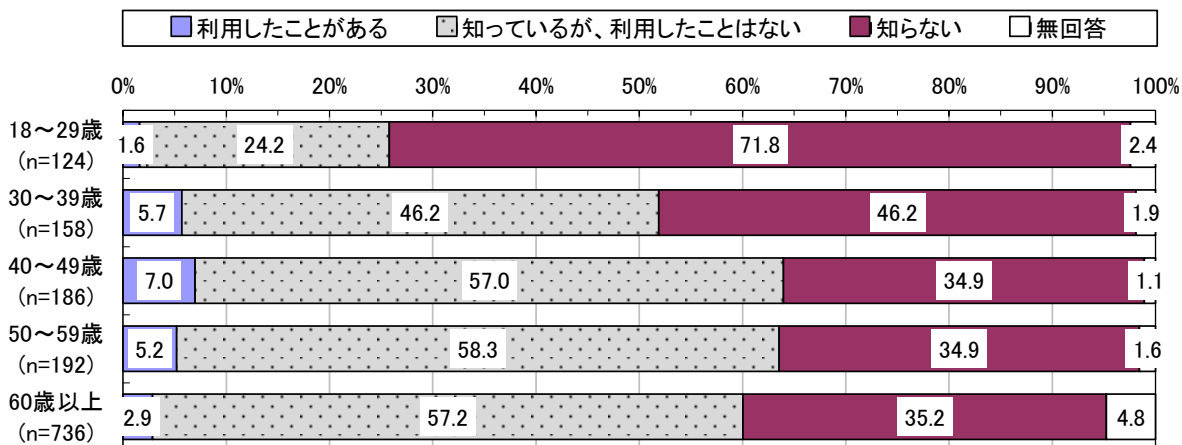
- 過去調査と比較すると、「利用したことがある」は過去調査よりも上がっていますが、H27 [2015]からはあまり変化ありません。
- 「知らない」は調査ごとに下がっていく傾向にあり、電子サービスの認知度は徐々に上がっています。

【電子申請・届出サービスの利用 過去調査比較】



- 年齢別にみると、「知らない」は18～29歳で71.8%と7割を超えています。
- 「知っているが利用したことはない」は40歳以上で5割を超えており、電子サービスの認知度は高くなっていますが、「利用したことがある」は30～59歳で5～7%となっています。

【電子申請・届出サービスの利用 年齢別集計】



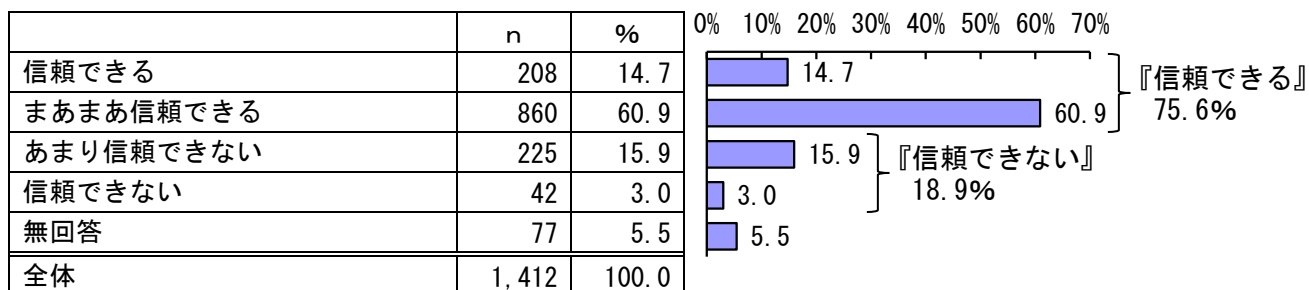
2-6 市政・市役所に対する印象

問9：市政や市役所の職員に、どのような印象をお持ちですか。【項目ごとにそれぞれ1つに○】

- 市政や市役所の職員に対する印象については、(1) 市政への信頼度は「信頼できる」と「まあまあ信頼できる」を合わせた『信頼できる』が75.6%と7割半ばを超えています。
- (2) 市政の進展度は「進んでいる」と「まあまあ進んでいる」を合わせた『進んでいる』が50.1%と半数を占めていますが、「あまり進んでいない」と「遅れている」を合わせた『進んでいない』は43.6%と4割を超えています。
- (3) 窓口対応の親切さは「親切である」と「まあまあ親切である」を合わせた『親切』が85.3%と8割半ばを占めています。

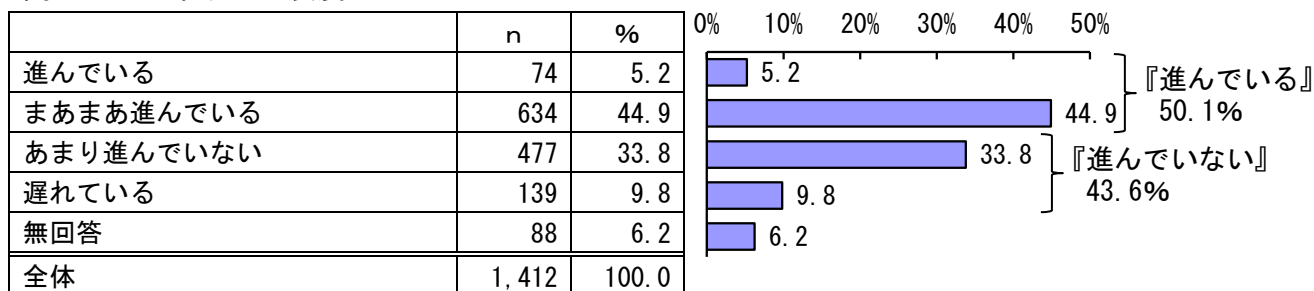
(1) 市政への信頼度

問9-1 市政への信頼度



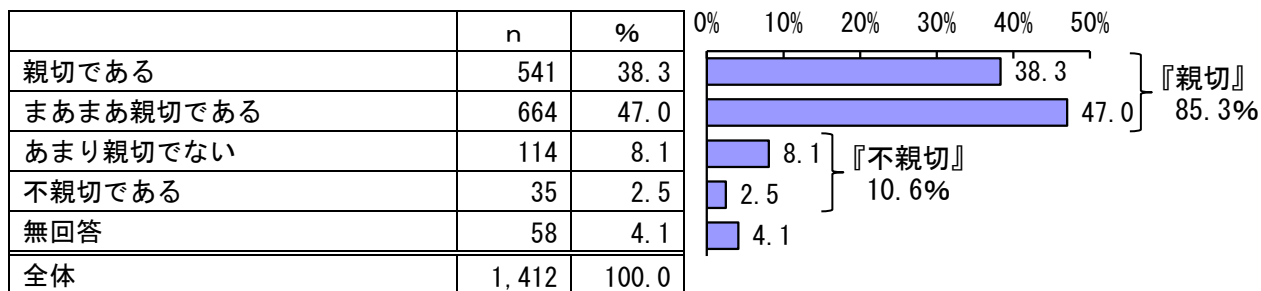
(2) 市政の進展度

問9-2 市政の進展度



(3) 窓口対応の親切さ

問9-3 窓口対応の親切さ



○ 市政や市役所に対する印象（イメージ）を一様に評価するため、各項目の4段階評価を加重平均によって点数化して、プラスとマイナスのイメージで表すことにしました。

※ 市政・市役所に対する印象（イメージ）の評価点の算出方法

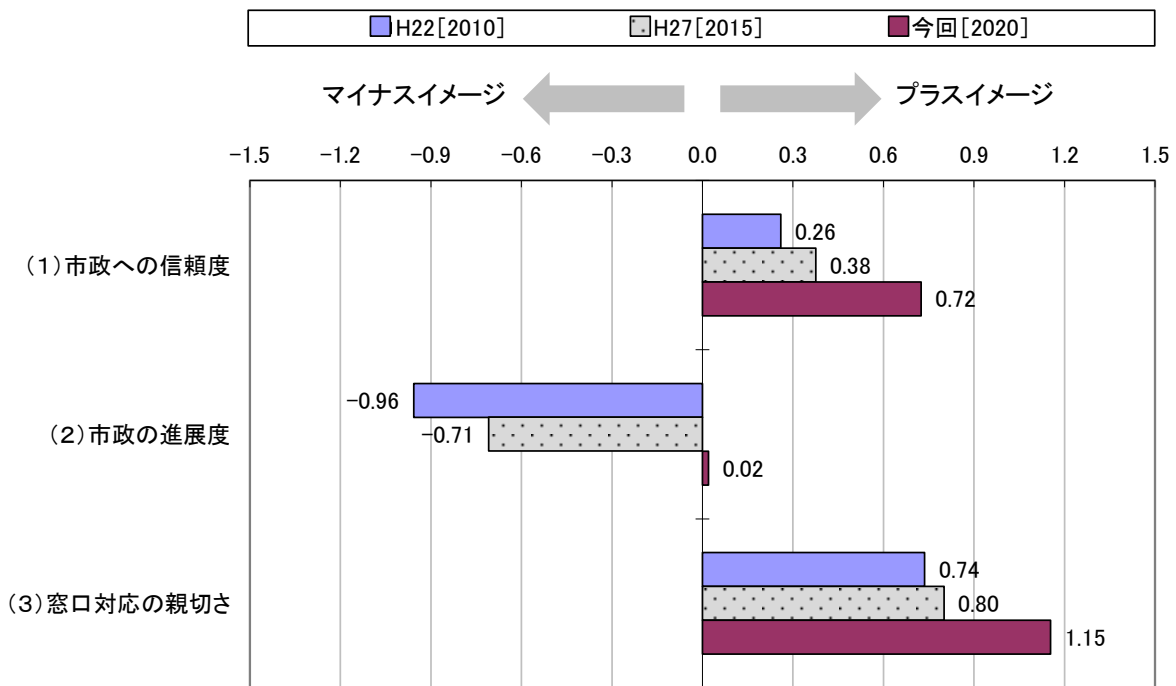
例) (1) 市政への信頼度

$$\left[\begin{array}{l} \text{「信頼できる」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「まあまあ信頼できる」の回答者数} \times 1 \text{点} \\ + \text{「あまり信頼できない」の回答者数} \times -1 \text{点} + \text{「信頼できない」の回答者数} \times -2 \text{点} \end{array} \right] \div \left[\begin{array}{l} \text{「信頼できる」「まあまあ信頼できる」「あまり信頼できない」「信頼できない」の回答者数} \end{array} \right] = \text{評価点}$$

※ H22 [2010] と H27 [2015] は「どちらともいえない」を除いて算出しました。

○ プラスイメージの評価点は、(3) 窓口対応の親切さが 1.15 と最も高く、(1) 市政への信頼度が 0.72、(2) 市政の進展度が 0.02 と続いており、いずれの項目もプラスとなっています。

○ 過去調査と比較すると、すべての項目でイメージが上がっており、特に市政の進展度の評価点はプラス転換しています。



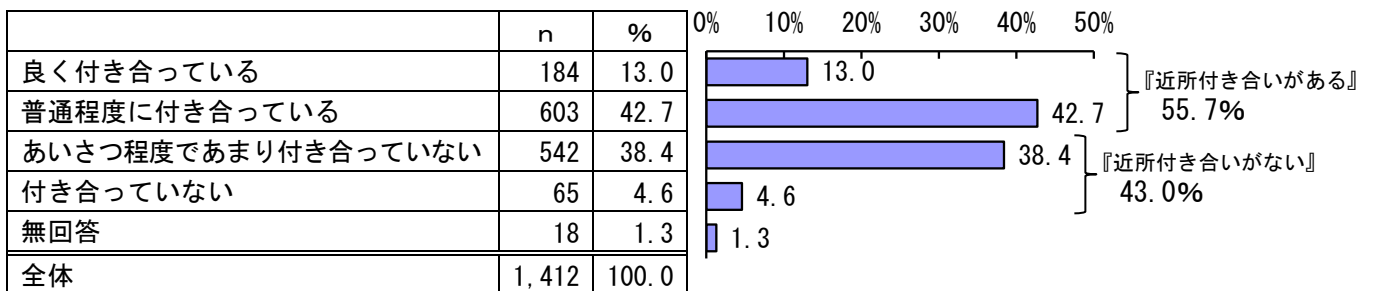
3 コミュニティについて

3-1 近所付き合い

問10：ご近所の方との付き合いについて伺います。【1つに○】

- 近所付き合いについては、「普通程度に付き合っている」が42.7%と最も高く、これと「良く付き合っている」（13.0%）を合わせた『近所付き合いがある』は55.7%と5割半ばを超えています。
- 「あいさつ程度であり付き合っていない」（38.4%）と「付き合っていない」（4.6%）を合わせた『近所付き合いがない』は43.0%と4割を超えています。

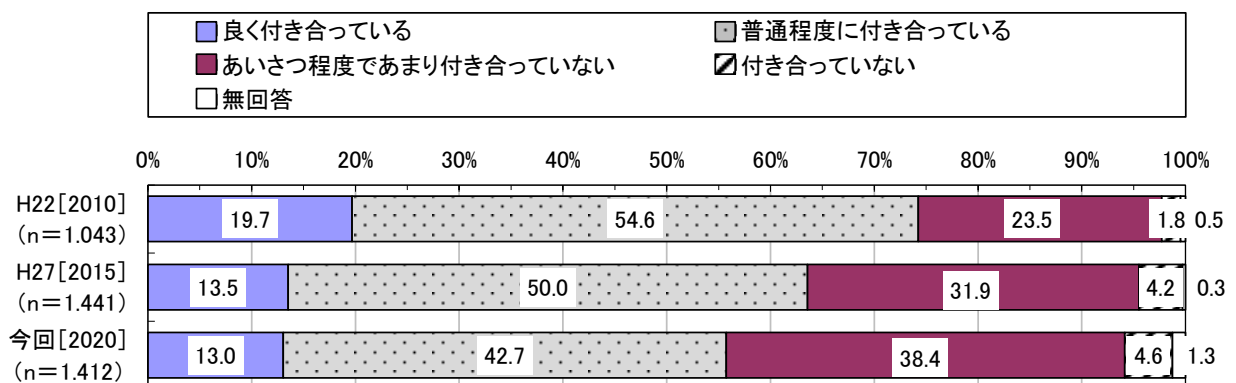
問10 近所付き合い



※『近所付き合いがある』は「良く付き合っている」及び「普通程度に付き合っている」の合計、『近所付き合いがない』は「あいさつ程度であり付き合っていない」及び「付き合っていない」の合計としています。（以下同様）

- 過去調査と比較すると、『近所付き合いがある』は調査ごとに下がっていく傾向にあり、特に「普通程度に付き合っている」はH27 [2015] から7.3ポイント下がっています。

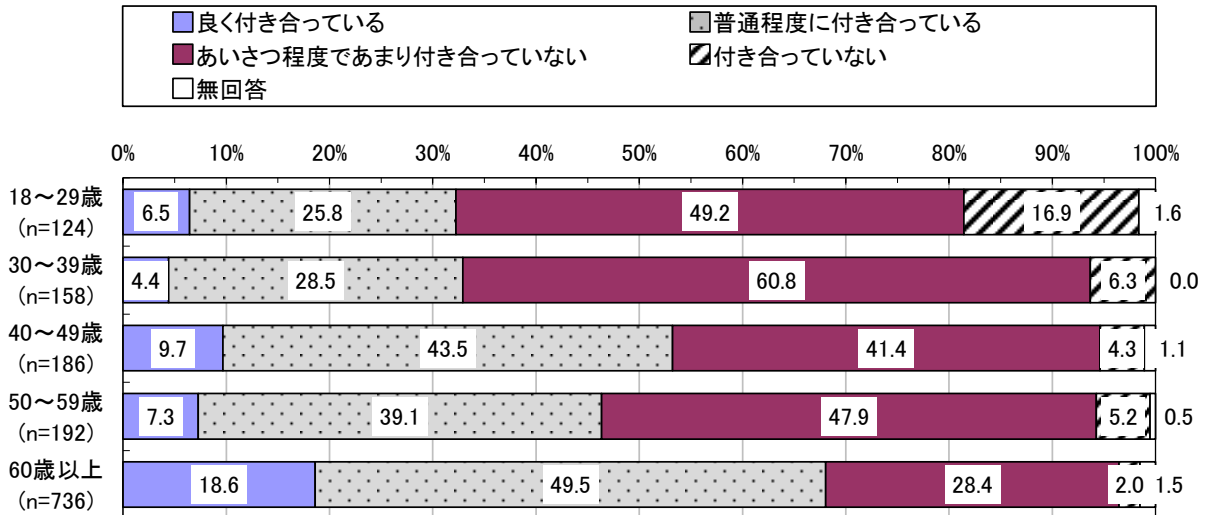
【近所付き合い 過去調査比較】



○年齢別でみると、『近所付き合いがある』は40～49歳と60歳以上で5割を超えており、特に、60歳以上では「良く付き合っている」が18.6%と2割近くを占めています。

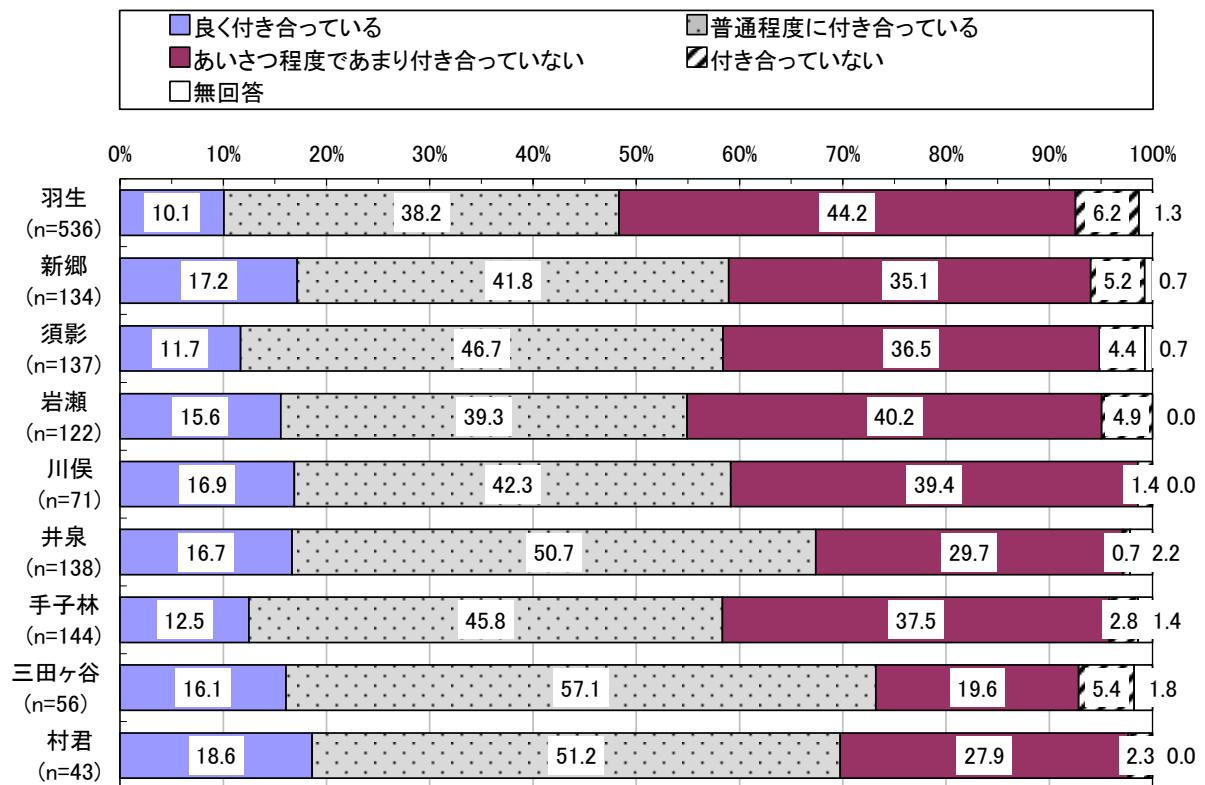
○「付き合っていない」は18～29歳で16.9%と、他の年代よりも高くなっています。

【近所付き合い 年齢別集計】



○居住地区別でみると、いずれの地区も「良く付き合っている」は1割台を占めています。また、羽生地区を除くすべての地区で『近所付き合いがある』は5割を超えており、特に井泉地区、三田ヶ谷地区、村君地区では6割半ばを超えて高くなっています。

【近所付き合い 居住地区別集計】

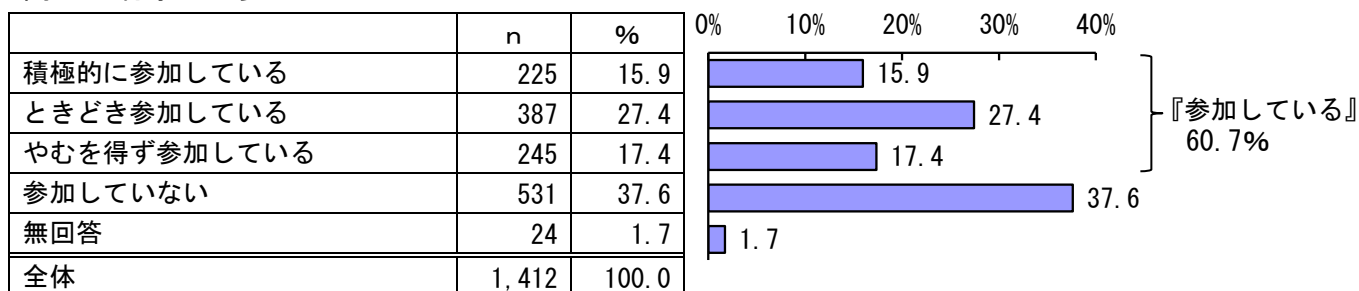


3-2 行事への参加

問11：自治会などの集まりや行事に参加していますか。【1つに○】

- 行事への参加については、「参加していない」が37.6%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が27.4%と続いています。
- 「積極的に参加している」「ときどき参加している」「やむを得ず参加している」を合わせた『参加している』は60.7%と全体の6割を占めています。

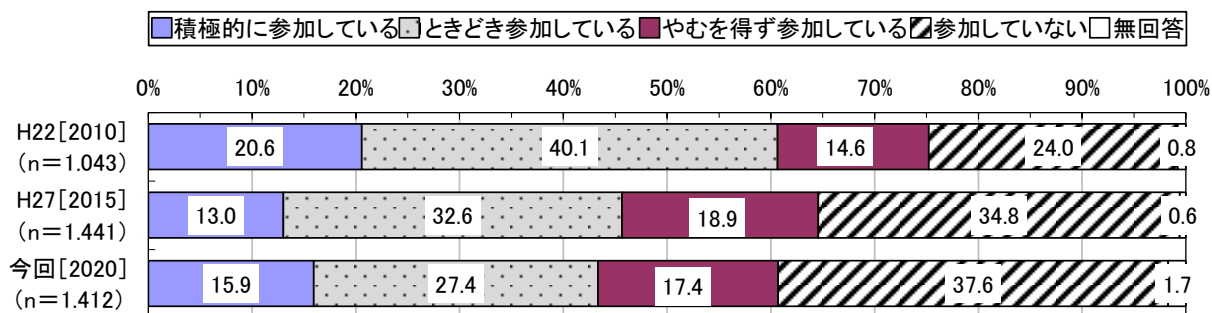
問 11 行事への参加



※『参加している』は「積極的に参加している」「ときどき参加している」「やむを得ず参加している」の合計としています。(以下同様)

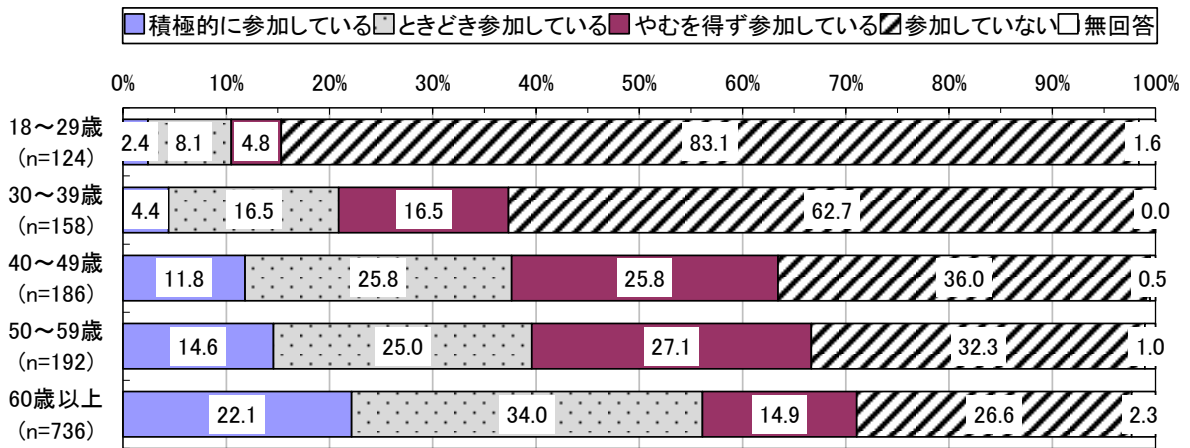
- 過去調査と比較すると、『参加している』は調査ごとに下がっていく傾向にありますが、「積極的に参加している」はH27 [2015] から2.9ポイント上がっています。

【行事への参加 過去調査比較】



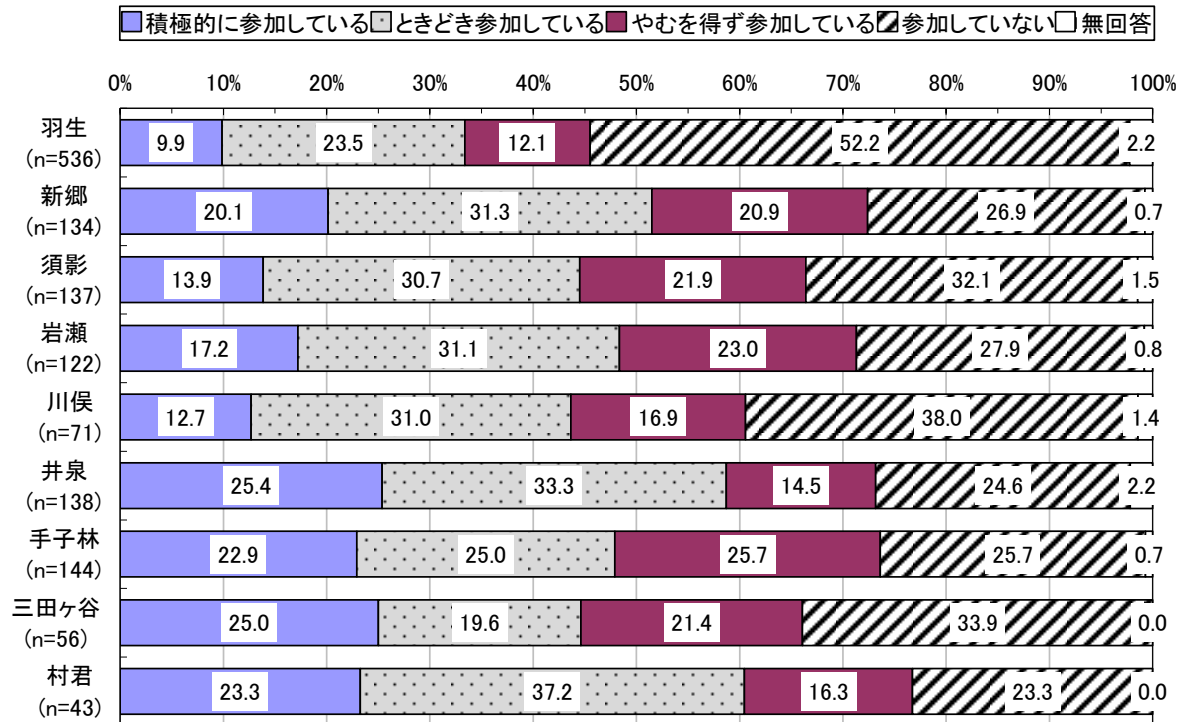
- 年齢別でみると、『参加している』は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、40歳以上で6割を超えています。特に、60歳以上では「積極的に参加している」が22.1%と2割を超えています。
- 「参加していない」は18～29歳で83.1%と8割を超えています。

【行事への参加 年齢別集計】



- 居住地区別でみると、羽生地区を除くすべての地区で『参加している』は6割を超えています。
- 「参加していない」は羽生地区で52.2%と半数を超えており、他の地区よりも高くなっています。

【行事への参加 居住地区別集計】

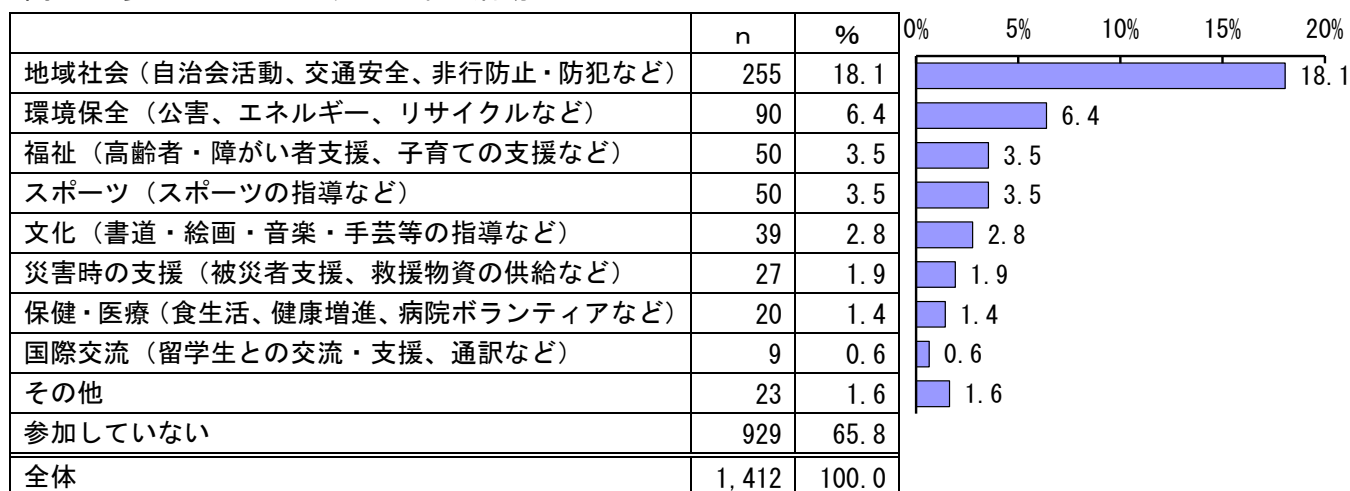


3-3 ボランティア活動／理由

問12：どのようなボランティア活動に参加していますか。【いくつでも○】

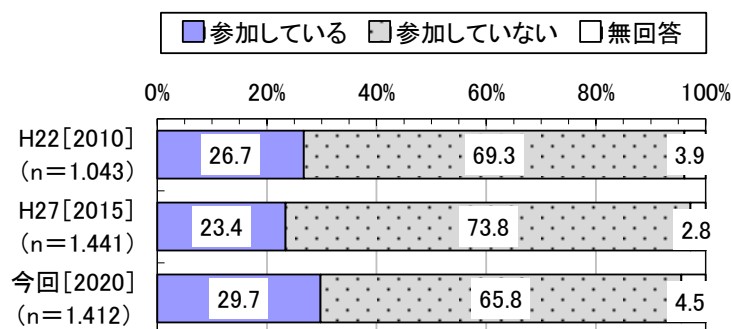
- ボランティア活動については、「参加していない」が65.8%と最も高く、6割半ばを占めています。
- ボランティア活動の内容については、「地域社会（自治会活動、交通安全、非行防止・防犯など）」が18.1%と最も高く、次いで「環境保全（公害、エネルギー、リサイクルなど）」（6.4%）、「福祉（高齢者・障がい者支援、子育ての支援など）」「スポーツ（スポーツの指導など）」（3.5%）が続いています。

問12 参加しているボランティア活動

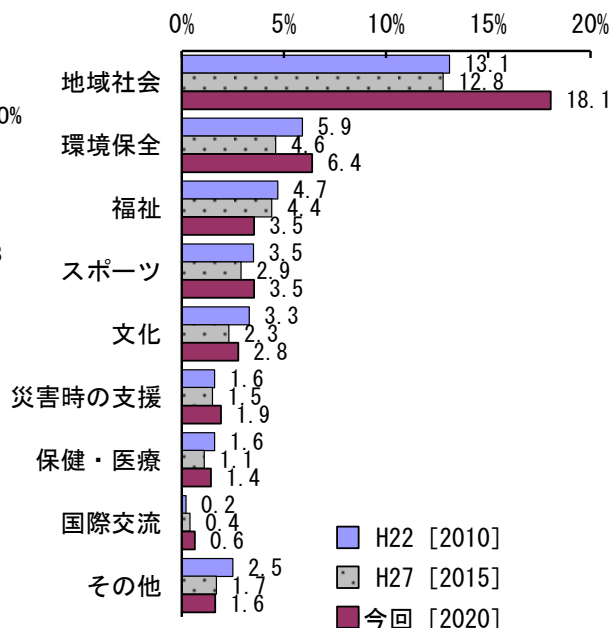


- 過去調査と比較すると、「参加している」は29.7%と約3割を占め、ここ10年間で最も高くなっています。
- 活動の内容については「地域社会」が過去調査よりも上がっています。一方、「福祉」は調査ごとに下がっていく傾向にあります。

【ボランティア活動の参加状況 過去調査比較】



【参加しているボランティア活動 過去調査比較】



○年齢別でみると、いずれの年代も「参加していない」が最も高く、特に18～29歳では9割を超えています。一方、60歳以上は5割台と年代が上がるにつれて参加割合も高くなる傾向にあります。

○参加しているボランティア活動内容では、18～29歳では「災害時の支援」が、30歳以上の年代では「地域社会」が最も高くなっており、特に40歳以上では「地域社会」が2割前後となっています。

【ボランティア活動 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
地域社会	1.6	① 9.5	① 19.9	① 19.8	21.7
環境保全	0.8	3.8	6.5	2.6	9.0
福祉	0.0	0.6	0.5	3.1	5.6
スポーツ	0.8	1.9	4.8	2.6	4.3
文化	0.8	0.6	1.6	1.0	4.2
災害時の支援	① 2.4	1.3	1.1	2.6	2.0
保健・医療	1.6	0.6	1.6	0.5	1.6
国際交流	0.8	0.0	1.6	1.0	0.4
その他	0.0	0.6	1.6	1.0	2.2
参加していない	91.1	84.2	69.4	70.8	55.6

※参加内容についての第1位を①で記しています。

○居住地区別でみると、すべての地区で「参加していない」が最も高く、特に羽生地区と新郷地区では7割を超えています。

○参加しているボランティア活動内容は、すべての地区で「地域社会」が最も高くなっています。

○二番目に高い活動内容は、川俣地区で「福祉」、それ以外の地区では「環境保全」となっており、三田ヶ谷地区では「福祉」と「スポーツ」が並んでいます。

【ボランティア活動 居住地区別集計】

(単位：%)

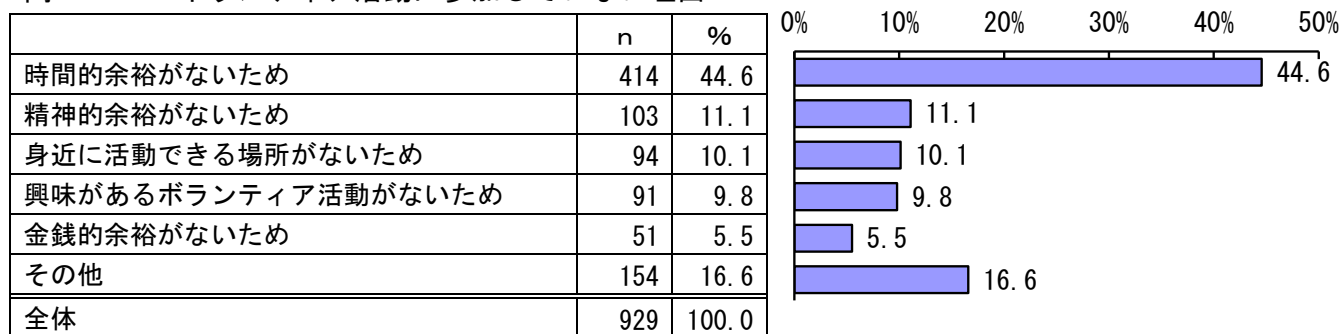
	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
地域社会	① 10.6	① 14.2	① 28.5	① 23.8	① 18.3	① 21.0	① 28.5	① 23.2	① 25.6
環境保全	② 5.6	② 7.5	② 7.3	② 7.4	5.6	② 6.5	② 6.3	② 8.9	② 9.3
福祉	4.1	3.7	2.2	0.8	② 7.0	2.2	4.2	5.4	4.7
スポーツ	3.0	6.0	2.2	3.3	2.8	3.6	2.8	② 8.9	4.7
文化	3.4	2.2	2.9	2.5	5.6	2.9	0.0	3.6	2.3
災害時の支援	1.1	1.5	2.2	2.5	4.2	3.6	2.1	3.6	0.0
保健・医療	2.1	1.5	1.5	0.0	1.4	1.4	0.0	1.8	2.3
国際交流	0.9	0.7	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0	1.8	0.0
その他	1.1	2.2	1.5	1.6	0.0	2.9	2.8	1.8	0.0
参加していない	72.2	70.1	57.7	63.9	63.4	58.7	58.3	62.5	55.8

※参加内容についての第1位～第2位を①～②で記しています。

問12—a：ボランティア活動に参加していない理由は何ですか。【1つに〇】

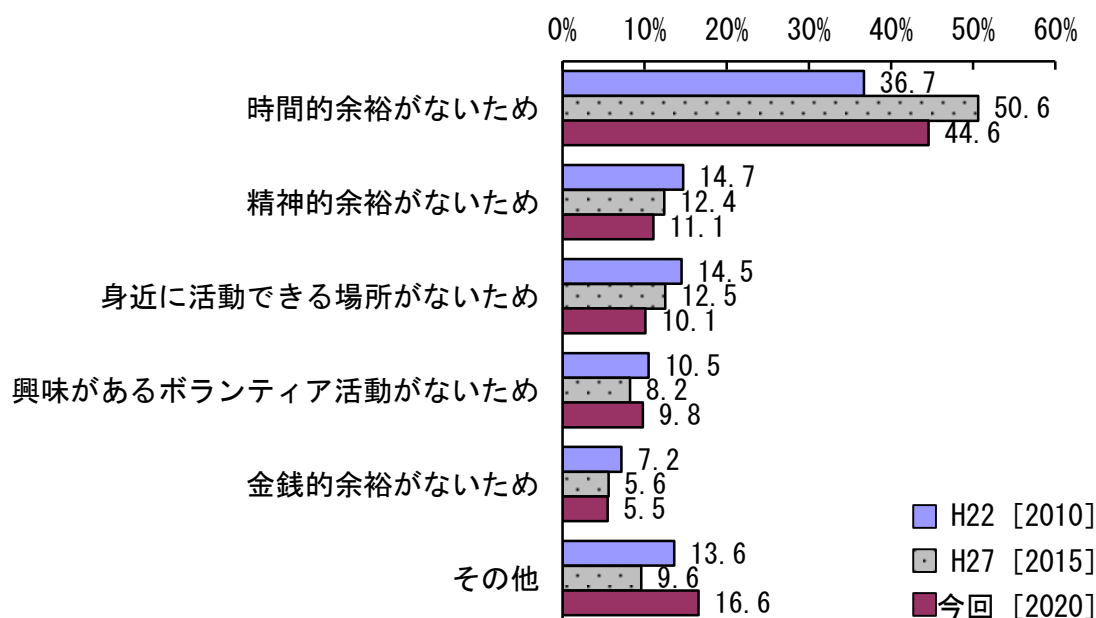
○ボランティア活動に参加していない理由については、「時間的余裕がないため」が44.6%で最も高く、次いで「精神的余裕がないため」(11.1%)、「身近に活動できる場所がないため」(10.1%)が続いています。「その他」では年齢や健康を理由にしている回答が多くなっています。

問 12 - a ボランティア活動に参加していない理由



○過去調査と比較すると、全体的な傾向は変わりませんが、「興味があるボランティア活動がないため」以外はいずれの理由もH27 [2020] より下がっています。

【ボランティア活動に参加していない理由 過去調査比較】



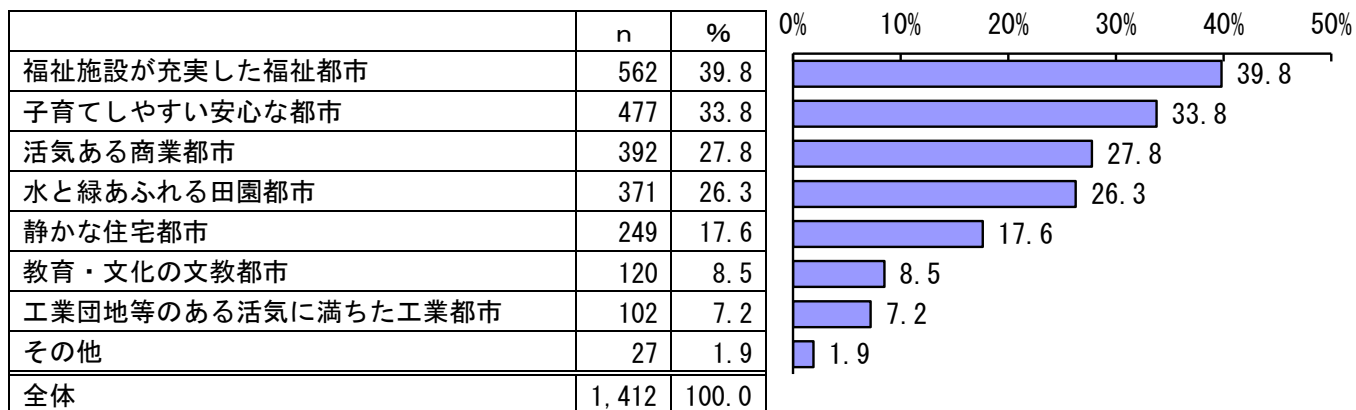
4 市の将来像について

4-1 市の将来像

問13：将来羽生市がどのような都市になったら良いと思いますか。【2つまで○】

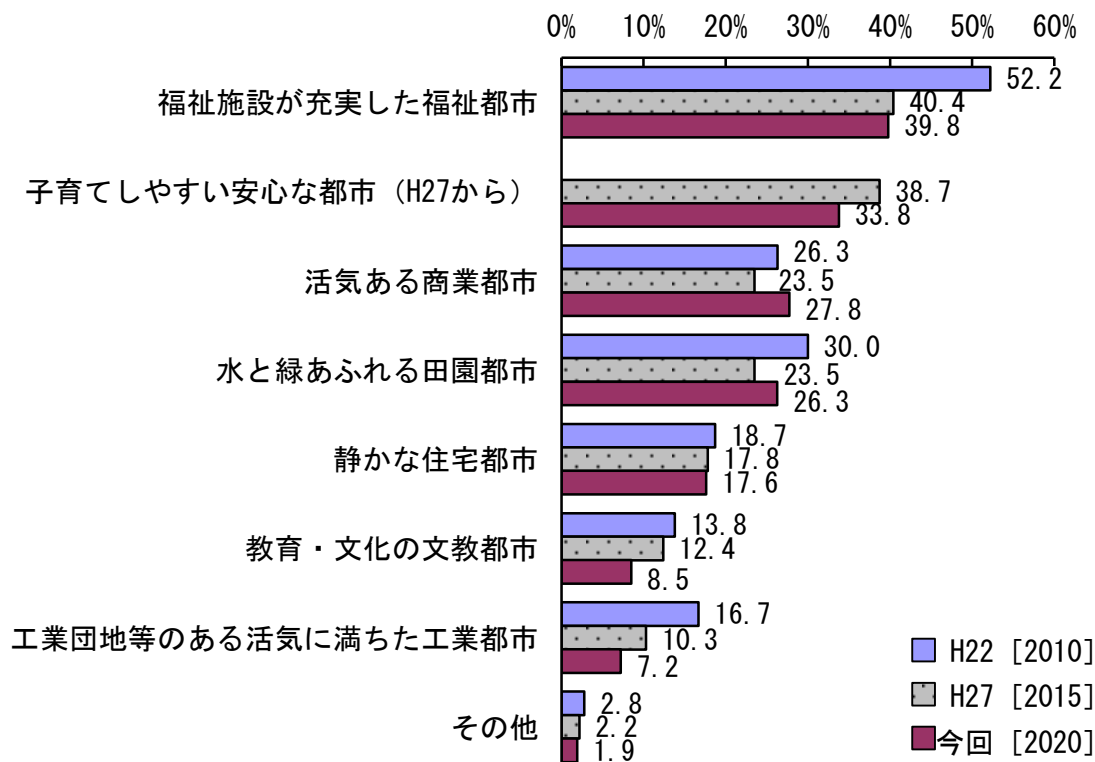
○羽生市の将来像については、「福祉施設が充実した福祉都市」が39.8%と4割近くで最も高く、次いで「子育てしやすい安心な都市」（33.8%）、「活気あふれる商業都市」（27.8%）が続いています。

問13 市の将来像



○過去調査と比較すると、「活気ある商業都市」と「水と緑あふれる田園都市」がH27 [2015] から上がっていますが、それ以外の将来像はいずれも過去調査より低くなっています。

【市の将来像 過去調査比較】



- 年齢別でみると、50歳未満では「子育てしやすい安心な都市」が最も高く、50歳以上では「福祉施設が充実した福祉都市」が最も高くなっています。
- 二番目に高い将来像は、50歳未満で「活気ある商業都市」、50～59歳で「子育てしやすい安心な都市」、30～39歳と60歳以上で「水と緑あふれる田園都市」が続いています。

【羽生市の将来像 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
福祉施設が充実した福祉都市	13.7	15.2	29.6	① 41.7	① 51.6
子育てしやすい安心な都市	① 48.4	① 57.0	① 40.3	② 36.5	24.3
活気ある商業都市	② 37.9	② 31.0	② 34.4	23.4	25.0
水と緑あふれる田園都市	25.0	② 31.0	26.9	25.0	② 25.7
静かな住宅都市	9.7	12.7	18.8	19.8	19.0
教育・文化の文教都市	11.3	10.8	8.1	9.4	7.6
工業団地等のある活気に満ちた工業都市	5.6	3.2	2.7	3.6	10.2
その他	0.0	3.2	1.6	3.6	1.6

※第1位～第2位を①～②で記しています。

- 居住地区別でみると、須影地区で「子育てしやすい安心な都市」、それ以外のすべての地区で「福祉施設が充実した福祉都市」が最も高くなっています。
- 二番目に高い将来像は、川俣地区と村君地区で「活気ある商業都市」、それ以外の全ての地区で「子育てしやすい安心な都市」となっています。また、新郷地区では「水と緑あふれる田園都市」も二番目に高くなっています。

【羽生市の将来像 居住地区別集計】

(単位：%)

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
福祉施設が充実した福祉都市	① 39.7	① 32.8	② 40.1	① 46.7	① 43.7	① 40.6	① 36.8	① 46.4	① 39.5
子育てしやすい安心な都市	② 32.6	② 28.4	① 42.3	② 34.4	31.0	② 34.8	② 32.6	② 41.1	30.2
活気ある商業都市	28.4	24.6	22.6	32.8	② 32.4	27.5	28.5	23.2	② 34.9
水と緑あふれる田園都市	24.1	② 28.4	29.9	25.4	21.1	28.3	29.2	35.7	23.3
静かな住宅都市	18.5	20.9	17.5	16.4	15.5	15.2	19.4	12.5	9.3
教育・文化の文教都市	8.8	9.0	10.2	7.4	7.0	7.2	7.6	8.9	9.3
工業団地等のある活気に満ちた工業都市	8.0	9.0	3.6	3.3	8.5	6.5	5.6	8.9	18.6
その他	2.4	3.0	1.5	1.6	1.4	0.7	2.8	0.0	0.0

※第1位～第2位を①～②で記しています。

4-2 市の将来像のアイデア

問14：5年後、10年後の羽生市について、「こんな施設があればいいな」「こんな羽生市になれば安心して暮らせる」など、自由なアイデアをお書きください。【自由記入】

○464人の方から586件の意見を下表の13項目に分類しました。

○「医療・福祉」に関する項目が117件と最も多く、次いで「公園・公共施設」(98件)、「商業施設・娯楽施設」(89件)と続いています。

	分類	件数
1	医療・福祉	117
2	公園・公共施設	98
3	商業施設・娯楽施設	89
4	開発・整備	53
5	まちづくり全般	46
6	防災・防犯	39
7	移動・交通	38
8	市への要望・提案	36
9	学校・教育	8
10	雇用・企業誘致	8
11	ゴミ収集	4
12	イベント	3
13	その他	19
	合計	586

【医療・福祉 117 件】

主な意見
充実した医療体制
医療技術の高い病院があるとありがたい。
病院が少ないので色々に専門の病院が集合した開業病院ゾーン、病院が集まった病院ロードなどがあつたら安心だなと思う。
皮膚科や眼科、小児科が少ないと思う
信頼できるかかりつけ医の存在、医院。
病院に行くにも遠いので近くに出来ればいい
超高齢化社会なので老後も安心して暮らせる様な施設や制度をもっと強くしてもらいたい。
老人ホームなど(比較的安い)に入居が出来なく順番待ち…市内の老人を中心に受け入れられる様にしてもらいたい。
高齢者が自立して安全に暮らせるような支援施設があれば良いと思います。
休日に利用出来る支援センター
国民年金だけで誰でも入所出来る施設があればいいです。
年寄りが安心して暮らせる施設や環境が充実したまちづくりをお願いします
買い物支援、移動支援、デマンドタクシー
高齢者が集う施設がほしい
老後の介護施設に入居しやすいところ、金銭的にも家族が支払いやすい施設がほしいです
一人住まいの老人の為にもう少し関心を持ってほしい。
今後、自分を含め高齢者が増えていくと思うので、交通、金銭の面で市がサポートしてくれると良いと思う。
高齢者の見回りサービス
元気な老人が通える施設があれば良いのでは…(岩槻のミニデイサービスの様な)
月に1回でもいいのでタクシー券があればいいと思う
高齢者リハビリテーションセンター
高齢になり車を手放しても病院や目的施設に行くことが出来る手段が気軽にあるといい
介護予防の支援
デイサービスや特養施設に簡単に入れるように
介護施設を増やして欲しい
買い物難民の防止、老人が安心して暮らせるサービスをしてほしい
免許返納された方へのタクシー利用券
高齢になった時に買い物が行ける様交通の便が良いと助かります。
高齢者になって車の運転ができなくなった時、通院や買い物などに行くことが大変になってくると思います。タクシーより安く利用でき、短い距離でも嫌な顔をせず乗せてくれる便利な車があつたらいいなと思います。
必要な物を電話1本ですぐに届けてくれるのもいいと思います。
子育てしやすい安心な都市。
子育て支援など充実していると良いと思う。
子供緊急預かり所…急用な時に赤ちゃんや子供を預かってくれる
雨の日でも子どもが遊べる施設
子育て世代が仲良く暮らせる街になってほしい。
子育て支援センター
子供が安心して預けることができる場所。仕事をすると時間外が長くなるので、預ける場所がなかったので、仕事の制限が出てしまうから。
病児保育施設があると助かります
小学生が下校時に安心して遊べる児童館のようなもの
小学生、中学生が安心して遊べる場所を増やして欲しい。
子育てしやすい環境
子どもの遊び場がほしい。他県にはキッズパークがあります。手先を使うおもちゃや体を使う遊具が数多く揃っていて、室内なので天候に左右されず遊ぶことが出来ます。乳幼児スペースも確保されていて、安心して遊べます。
活気ある商業と教育、福祉が充実した安心安全であるために、まずはコロナの対策とそれによる生活苦や子育て支援をお願いします。
子どもの遊び場をたくさん増やしてほしい。例えば、群馬県の子どもの国みたいな所があればいいと思います。

主な意見
子育て中の若い夫婦が安心して住める環境の充実と、支援策があってもいいのでは。
児童館があれば、子供達も安心して遊ばせる事ができる。
子育て支援や手当をてあつくしていただくと今以上に安心して暮らしていけるかなと思います。
福祉等何でも相談窓口のような開かれた相談窓口。
健康や心の悩み等が簡単に気軽に誰でもいつでも質問や相談出来る施設
高齢者の集まれる場（サロン）
幼児と高齢者が一緒に集まれる場所。同一施設内で同時期に集まれば自然と繋がれ良いと思います。
空き家を使った子ども食堂の開設や集いの場の創設
少子化、コミュニティの集いの場、社会向上の場所を作っていただきたい
外国人との交流を図れる施設や機会。幼い子を遊びも含めて受け入れ、伸ばせる（共に伸ばせる一さらなる）施設や機会。
高齢者と子どもが自然に交流できる施設があってほしい。高齢者に生きがいを持って行動的になれるような施設や、活動を増やしてほしい。
子供と大人のふれあえる施設（子供のいない大人も）
小さな子供が遊べ、親が交流できる場をもっと増やした方が良くと思う。
地域の繋がりが希薄化している現在、特に老人や子どもが気軽に立ち寄れる防災も兼ね備えたコミュニティ施設が各地区にあったらいいと思います
福祉施設が充実してほしい、その為には介護士の充実
福祉施設が充実して誰でも入所出来る安価な福祉施設になってほしい
老人の方の福祉は充実しているが、子どもや若年の人の福祉は他市に比べ劣る印象。充実させてほしい。
子育てに熱心で、年配者が安心して暮らせる羽生の街であって欲しいです。
犯罪が少ない、子育てしやすい都市、老人や障がい者にやさしい都市

【公園・公共施設（98件）】

主な意見
郊外にも公園など憩いの施設がほしい。
今は水郷公園のただ広い場所にぼつんと遊具とバーベキュー広場があるだけで何もなくて勿体ない。芝生が生えている広いところにアスレチックなどがあればもっと楽しく遊べると思う。ドッグランなども作ってくれたら愛犬家なども嬉しいと思います。
小さな子どもたちが安全に思い切り遊べる遊具がたくさんある公園（歩いても行ける所に）。
水郷公園内に集客できる花や設備をもう少し設けたら良いのでは。
老人、大人のための公園作り。足つぼ刺激のみちや他の健康体操ができる遊具のようなものがあると嬉しい。
公園など子供が安全に遊べる場所が地域ごとにあれば道路で遊ぶ子供が減り、安心・安全になると思う
もっと他市や他県から集客できる施設があるといいかと思ひます。展望タワーや大観覧車等。
子どもたち、小さい子どもから大人まで安心して自由に遊べる大きな公園
市で定期的に公園のメンテナンスを
子どもたちが安心して遊べる大型屋内遊び場、水郷公園内にキャンプサイト、グランピングエリアがあつたらいいなと思ひます。
花畑公園（四季の花が咲く）
散歩できるような自然の多い公園。
子供からお年寄りまでほのぼのの過ごせる公園緑地が充実して、笑い声が聞こえる安心できる所、軽く体を動かせる所があると良いです。
キャッセ羽生の規模を拡大し、憩いの場所として公園などの整備をしてほしい。
水郷公園を拡充し、東北自動車道から周回できる、一日遊べる施設（もちろんこの道路から下の道路には降りられないようにして）を作り、終日過ごせるようなもの。
小さい子どもたちが体を動かしたりたくさん遊べる児童館や公園の増設。
クライנגルテンのような東屋付きの貸し農園を作ったり、利根川沿いに散歩が出来る公園を作つて欲しい
幼児が安心して遊べる公園
今、車を気にせずのびのびとウォーキングできる場所は水郷公園だけです。できれば南羽生のあたりにウォーキングしやすい広々とした公園作つていただけたら健康のためにとっても良いと思ひています。

主な意見
禁止事項の少ない公園
託児所、遊具が充実している公園
公園に季節の花などを植えて、花を見ながら散歩出来たりベンチを置いたりして休んだりしたい。
公園の遊具を増やし、お年寄りや子どもまで筋肉づくりの出来る環境づくり
中央公園に有料でも良いのでシャワールームが欲しい。また、中央公園に無料の更衣室が欲しい。
福祉・医療連携したシニアの為の文化・スポーツ・福祉一体型施設
温水プールや、雨天や真夏でもウォーキングが出来る様な屋内施設があればありがたいです。
駅西口に市役所の出張所（窓口）があると、西口住民（特に高齢者）も便利になるのでは。
学校の水泳の授業がなくなったためプールなどの施設を作ってほしいです。
遅くまでやっている学童、図書館
おしゃれな図書館がほしいです、この頃各地に出来はじめています
市運営のスポーツジム、温水プール等
空き家を利用して、公民館機能の一部を利用すると良いと思う（有料で）。例えばお茶の会とか。
体を動かして楽しめるスポーツアミューズメント施設、フットサル場
カフェ併設の図書館及びリニューアル。例に飯能市、太田市。作業および勉強スペースの拡充。（資格取得→年収UP→市民全UP）
図書館をもっと工夫してください。あんなにも雰囲気の良い市立図書館は初めて見ました。子供のための（大学生も）勉強スペース、視聴覚スペースの工夫、他の市の図書館を視察してください。
できれば体育館、市民プラザ、パープル羽生を一つにする建物を建てて、スポーツや講座をたくさんつくって、いろんな人と交流したい。
屋内運動施設（人工芝を敷いた多目的運動場）
スポーツ施設の整備、陸上競技場のトラックをタータンにする、ウォーキングやジョギング等による市民の健康促進
利根川河川敷にキャンプ場設立、環境施設の整備
隣近所の住民が気軽に参加出来るよう近くの公会堂を無料で使用出来るようにしてほしい
清掃センターの焼却炉の熱を利用した温水プールやサウナ等を併設した施設
文部省所管の公民館はありますが、厚生省所管の児童館、老人福祉会館等が一箇所もないのはびっくりです。他の町のように揃えて下さい。
プールや筋トレ等、企業の施設に会員登録するのではなく、市民が気軽に行ける低価格な施設がほしいです
失業手当を受け付けてくれるハローワーク行田のようなハローワーク
市全体で子どもたちが自由に使える自習室がありません。図書館の使用時間を 20 時まで使えるようにするか、他の場所でもいいので無料で使用出来る場所を作って下さい。どこの市か忘れましたが、夏休み中市役所内の場所を自習室として使えるようにしたところもありました。
子育てや生涯学習などの複合施設
図書館が複合施設となっていて喫茶スペースとかもあったらいいなと思う
卓球場
ラグビー場とサッカー場かな
未来的なシンボルタワー
休日に心地よく過ごせるような自然あふれる施設
羽生市を一望出来るような展望台がほしい。道の駅羽生に出来たら良いなと思う。
羽生市の火葬場は他の市から比べてひどすぎる。ちゃんとした施設を希望する。
南羽生駅周辺に住んでいますが、塾や習い事は羽生の町中まで送らなければならない。自転車で行ける範囲で色々な施設があると助かる。
誰でも自由に利用でき、コミュニティ広場で行事や講座に参加できるような施設。
美術館、博物館などの文化施設
文化、教養、芸術面において国際交流が出来るような施設の設立。
歴史的な観光施設
文化ホールにコンサートや演劇を多くしてほしいです。

【商業施設・娯楽施設（89件）】

主な意見
近くに買い物が出来る商店街がほしい
若者が遊びに来てくれるような、目玉になる施設があるといい。例えば、駅近に居酒屋や静かにくつろげる酒場
駅前（東口）が暗すぎる印象がある。頑張っている個人経営のお店がどんどん閉店している。駅前（東側）が変われば。
高齢になると羽生の西側は栄えているが、東側は買い物などの場所が少ないため車がないと買い物難民になってしまいそうで心配。羽生全体で買い物が出来るようになると安心です。
市内の一部集中の商業施設ではなくまんべんなく買い物できる所がないとお年寄りの運転もなくなり、不便な生活。
一人で気軽にランチができる場所が少ないので、もう少し増えてほしい。
一人カラオケ、漫画喫茶があった方がよい
自分の住む地域に買い物できる場所がないため老後が心配。
駅に隣接した商業施設
子供等が見学出来る研究施設（つくばみらい市のような）。
温泉をもう少し増やす（スパジウムジャポニックなやつ）
レジャー施設
美術館があったら良いなあ～と思う。県・全国で（小学、中学、高校）金賞等取った作品を展示して、時には羽生市内の方なら誰でも出品できる絵の展示。
商店の充実
近隣商業と共働で高齢者に優しいサービス業。
インター降りて何も無いのがあり得ないので、そこを商業施設など進めてほしい。
買い物の容易さ（安いスーパーが身近にない。ホームセンターも品揃えがいまいち）
どの年齢のニーズにも合った施設、遊び場が欲しい。
アウトレット。子供の国みたいな外で遊べる施設。
子供と一緒に遊べるテーマパークもしくは動物園。
百貨店があればいいと思う。
スーパーアリーナのような施設
市街地は店が充実してきているが、農村部にもお店があるといい
商業施設が羽生駅西側に偏りすぎていて今後買い物等に不便を感じている。
安く入浴できたりそこで食べてのどを潤したり小さな子どもたちが遊べる施設がほしい
更なる大型商業施設の誘致
温泉を利用した保養施設があればいいと思います。
住んでいる所には買い物をする所が近くにないので、市の中心地以外にも商業施設があると助かります。
共倒れしないように施設をつくる。
文化的音楽が楽しめる場、ダンスが、若者が発表して自由にできる場。子供図書、遊び場施設、安心して楽しめる場所が1つはほしい。
県北は貧しいイメージなので商業施設があつて、自然と便利さを併せ持つ都市にしたい。
足利市には市が運営する子どもの遊び場キッズピアあしかがというのがあります。有料ですが、何度も遊びに行きたいと思う施設です。羽生市にもあつたら嬉しいです。
ハウステンボスのワッセナーのような、ムーミンバレーパークのような自然と生活が一体化したような暮らし。
昭和橋道の駅に展望タワー等を設置し、銭湯等を設けて観光資源化を図る。
複合アミューズメント施設
もう少し村君や三田ヶ谷の方面にお店がほしい。老人が買い物に行ける様な小さい店でもいので
本屋も少ない
一箇所に集約している施設を増やす
屋内スキー場
ゴルフ場
場外馬券場
買い物出来る店舗を増やしてほしい。現在 R122 沿いに出来ていて非常に便利になっているが、色んな人のニーズにもう少し対応出来るようにしてほしい。
室内アイススケート場
駅ビル（駐車場あり）
コンビニエンスストアを少しでも増やす

主な意見
路面店の大型本屋
キャンプや BBQ、外で遊べるアスレチックなど大人も子どもも楽しめるアクティビティが出来る場所がある といいと思います
不要なものを売ってくれるところや買い取ってくれるところをつくってほしいです。60 歳以上の人が運動出 来る施設、体力維持の器具などプラザの中に作って欲しい。
新しく商業施設ができたが、目新しい施設が誘致されなくて非常に残念だった。隣の市に行けばある店では なく、もっと羽生にしかない店舗を希望
羽生駅北側の東武の土地に來客の見込める鉄道施設を作る
大型アミューズメントがあればいい
スポーツを今以上にできる施設。ボルダリング、スケート場など。
商店街の活性化、商店街に市民が交流出来るカフェや居酒屋
一部は栄えているが、歩きでしか移動出来ない高齢者などのためにも町のスーパーやクリニックなどの営業 を続けてほしいです。
空き家対策や、商店街があれいているので、安価で貸して商店街を活気づけるとかしてほしい。南羽生の市街 化調整区域にはちょっとした店とクリニックの充実を。

【開発・整備（53 件）】

主な意見
下水道の整備を全般にしてもらいたい
早稲田堀と近所の川の下流の流れが悪いので大雨が降ると心配です。
街中の電柱がなくなればいい。
道路脇の用水路及び排水溝がむき出しで、ふたがない場所があるのは危険だと思う。通学路は重点的に改善 してほしい。
上下水道の充実。
用水路をきれいにしてほしい、魚のいる流れに
水道水の浄化
治水整備
駅のバス停に屋根をつけてほしい。羽生駅東口タクシー乗り場までに屋根を作ってほしいです。
駅の東口が 30 年くらいたっても全く変わらない。郵便局の移転。道路の拡充。東側近辺の再開発等。
車に乗らない人が、自転車や歩行で安心して通れる道路(人が歩く所が傾いているとか、溝がある所に安全柵 を設置する事など)
道路の整備（細い道路をなくし少なくし、防犯面に優れた街路作り）
細い道路に電柱が点々とあり、車のすりかえがスムーズに出来ない
真名坂の十字路から羽生駅方面に向かって歩道を作ってほしい
歩道が狭いしデコボコしている。段差ばかり。
生活道路で車がスピードを出しにくいよう段差（バンプ）を設置する。
道路の雑草除去などきれいに整備され、街灯が充分にあり、交通ルールがもっと徹底されたら生活しやすい。
歩行者、自転車が安全な道路
高齢者や障がい者が自由に外出出来る段差のない道路や歩道の整備。
田舎と栄えている町の道路の差がなくなればいい。人が多く行き交う場所には信号や道幅の拡充をお願いし たい。
現在の生活道路で狭いところは住民の協力を得て 6m 幅の道路に直してほしい。
シルバーカーなどでも安全に移動できるよう、道路の段差や歩道の確保
遊休地、無耕作地の整備
農耕地に対する不安
羽生 IC の前をどうかしてほしい。夏場は特に草が伸び放題で視界が悪く、せっかくの IC 前で他県の人も アクセスしやすい場所なのだからもっと有効的な使用を考えてほしい。
東北道羽生インターがあるので、羽生の物産店を作り、水族館も寄れるような魅力ある町作り。
住宅を増やす
道路側にある花も良いのですが、税金の無駄だと思う。枯れたらまた花を植える花壇より、人が散歩した時 に休める椅子を置いた方が見た目も良いし、みんなが使える。
散歩出来るコースがほしい。
南羽生駅の改善、駅周辺の雑木林の撤去。

主な意見
住宅と農地の区分け（田の水が住宅の入口に流れ込むため）
羽生駅東口の整備
せっかく水がたくさんあるのできれいな小川が流れる散歩やランニングコースがほしい
駅周辺が栄えて欲しい。
羽生市に帰ってきて5年以上経過しましたが、駅東口の過疎化がひどい。商店が減り空き家も目立つ。
市の中心部がシャッター街になっていますが、使われていない店舗を復活させてほしいです
駅周辺の再開発

【まちづくり全般（46件）】

主な意見
貧富の差や差別のない都市
思いやりの市がほしい
安全で活気のある市
自然と調和した静かなまちづくりをしてほしい。
古くて壊れそうな建物がなくなってどこに行っても明るい雰囲気な町。新しい建物も多いけど、昔ながらの町並みもあって自然もあり落ち着いた町になってほしい。
大都市化になってもらいたい
アニメの聖地になり若い人に移住してもらい明るい未来の見える羽生市になればいいですね
早くコロナが収束し、子どもたちが元気に遊べる市、きれいなゴミのない町、何かあれば人を助ける助け合いの町でありたい。道路や空き地に平気でゴミを捨てることがない町になってもらいたい。
若い人が住みたくなるようなまちづくり
羽生駅のエリアは色々と充実しているが、南羽生駅のエリアは何もない。便利な反面、ずっと住み続けたいという思いはあっても土地価格が高騰し、我々には手が届かなくなってしまふ。もっと羽生市民にとって、良い町にしてほしい。
田舎すぎず、都会すぎない。星が良く見えるまま、発展して行って欲しいです。
コロナ過でわかった人間らしい暮らし方、昭和時代が懐かしい。商業施設よりも羽生の良さを生かす町づくりをしてほしい。
目玉になるものがあると良い。農や商でもこれが、ということがあると良い。
他の市町村の方々も来訪してくる活気のある町
日本有数の暑熱地方ですので、ぜひ沢山の緑陰を増やして欲しいです。
古い景観が残っているのが羽生の長所だと思うので、そこを大切にしてほしい。
住んでいる地域において、隣近所の人々が助け合って生きている、そんな思いやりのある地域、羽生市になっていたら良いと思います。それには羽生市より善行賞を特別に設定し、ボランティア活動している人たちをもっと尊重するような表彰をする制度設定を多くすることである。
施設はいらない。市民のコミュニティを充実させる。安全・安心な都市を目指す。
街の中の住宅と郊外の住宅の環境整備の差がない事。
利根川を利用して羽生市を盛り上げる
羽生市に限らず外国の方が沢山日本で暮らしているの、文化の違いもあるので上手く共存する出来ればと思う
市内の活性化
若者が生活しやすいところになってほしい、税金も安くして生活しやすい地域になってほしい
商業都市
古くから培われてきた美田が殺風景な近代住宅に変わり、樹木がやたらと伐採されて無残で貧相な町並みになっていると感じる。長野県松本市のように美しい街路樹の並木の整備などは本当に素晴らしいです。このように他市から流れたものが感動できるような美観づくりが必要。
羽生は都心から近いので、コロナでリモートワークの人達、家族を支援したり、空き家を売ったりして県外の移住者を増やせる場所だと思う
空き家が減ると良い
自然環境がいい、交通の便がいい
人に優しい、人が優しい町。
豊かな自然を残しながらも働きやすい環境が整ってほしい。
若者と高齢者がうまく融合されたまちづくり、特色ある高校、専門学校、大学、シニアタウンのあるまちづくり
少しずつの発展で良い羽生になると思います

主な意見
中心部は活気に満ち、郊外は自然あふれる街
ゆるく、静かにミニマリズムな自治体。今より感性の高いミックス感な羽生、個人経営を支える生活者が仲良く暮らせる人のコミュニケーション、施設がなくてもできると思います。
子どもが安心して遊べる地域づくり
市役所だけでなく、公民館など、近場で市役所業務の相談、手続き等出来る様に成なれば。高齢者などにも優しい。
自然を残しつつ、便利な施設が充実している
人口 10 万人都市を造り活気ある町づくり
田園都市
人口が多い都市、人が住みたいと思う、人が集まる都市

【防災・防犯（39 件）】

主な意見
近年外国人の方が増えているように思います。それぞれの国の言語、習慣をもっとよく理解して、閉鎖的にならないように留意して下さい。
これからも増えるであろう外国人の方がどこの誰なのか把握して、地域に組み込まれてほしいと思います
災害対策が十分で安心出来る、治安の良い地域、大雨の時道路の冠水がなくなる
大雨や台風などの災害に強い都市になると安心して暮らせます。
利根川があるので、震災や洪水に強い都市。
災害にあっても復興しやすい町
災害時の避難所の充実
災害（特に水害時）時に車ごと避難できるような高い建物。コロナ感染の不安、また小さな子供がいて避難所で過ごすことが難しいため、車ごと避難出来たらと思っています。
水害対策として調整池
災害時の避難経路場所の確保。耳や目が不自由な方でもわかる目印等、音声誘導があれば安心。一人暮らしの引きこもり者の把握、一人でも逃げ遅れないように。
各戸へ防災ラジオの設置
台風・雷雨等の大雨の際、住宅地の浸水、床下・床上浸水がひんぱんな為、排水設備と川の整備が急務ではないでしょうか。
明るい夜道。草の生え放題のない空き地。ほったらかしの空き家がなくなると良いと思います。（外灯が少ないです）
夜道でも安心な照明設備（学校の周りも暗すぎます）
街灯が少なく感じる。夜道が怖いので街灯があれば安全だと思います。
夜の道路を走っていると暴走バイクや暴走車、駐車場でのスケートボード等の騒音がなくなって静かに眠ることが出来ればと思う
夜、道が真っ暗で怖い。街路灯をもっとつけてほしい。
防災、防犯力の強化。
不審者を減らす取り組みをする
監視社会になるかもしれないが、防犯カメラの設置
街灯を増やし、夜の帰宅時の安全確保
交通事故が多いので、交差点すべてに防犯カメラを設置してもらいたい。
不審者が多くて不安なため、治安が良くなり夜でもウォーキングができるようになってほしい。
洪水の出にくいまちづくりをしてほしい。
治安が良く行政サービスが整った市になれば良い。
水害の少ない都市。物流の拠点となる町。
不審者検挙により安全安心な街づくりを希望。
各自治会でコミュニティ花壇を作り、草花で彩りや癒やしの町並みを作り、防犯対策にも有効
暴走族の取り締まりの強化及び違法改造車の撲滅、安心して眠れる街

【移動・交通（38件）】

主な意見
電動自転車などの移手段
免許を返納してもコミュニティバスで病院やスーパー等に気軽に出かけられるようにしてほしい。まず羽生駅まで行かないと役に立たない、駅までが遠いので見直してほしいです。
免許証を返納しても病院や買い物に行く交通手段のサービス
スクールバス
買い物はしやすくなったが、将来病院や駅、市役所に自分で行けなくなった時にどうすればいいか大変不安である。
バス交通の充実
現在のコミュニティバスは出発本数が大変少なく、何の意味もないし利用客もいません。もっと本数を増やし利用しやすい通勤、通学、通院、買い物等に利用出来ることを望みます。
乗合バスの増便、高齢化社会対策として車がないと生活出来ない
公共交通機関の整備、最寄り駅まで距離があり、車が必要不可欠のため年をとってからが不安
交通インフラの整備
デマンドタクシーの利用があると良い
高齢化に対応するため、循環電気バス（クリーンな車）の充実（羽生駅－病院－複合商業施設）
高齢になっても買い物、通院に支障のない移手段の充実（市内循環バスの本数・ルート増、停留所の増加など）。
あいあいバスの利用しやすい時刻と、バスの時刻表をもっとわかりやすく。
バスなどの公共交通機関をもっと充実させた方が良いと思う。
羽生駅に JR が通っていると嬉しい。
駅や市役所、郵便局等公共の場へ行くにもタクシーを頼むので、巡回バスの便を増やしていただきたい
市の無料のバスがあればいいと思う
渋滞のない交通網
巡回バス等子供や老人の足となるものがほしい。
路線バスがもっと使いやすくなったらいいなと思う（知らないだけかもしれませんが） 駅⇨自宅の通学・通勤に使えたらとても助かる。最寄りの駅で降りる人も増えたように感じるので
JR を通してほしい。もしくは東武線の本数を増やして久喜からの乗り換えをスムーズにしてほしい。
高齢で車の免許を手放した人に対してタクシーより安価で利用出来る交通体系を希望したい
都市へ早く行ける駅のダイヤがあったら嬉しい
秩父鉄道の SL を羽生まで延伸。
今よりたくさんの場所にバスが来るように
車・自転車・人が安心して通れる街にしてほしい。
無人自動車で病院等送り迎え出来る社会
車社会ではない羽生市にする、免許を返納しても大丈夫のように
買い物弱者を出さないように地域循環の車を増やしてほしい
高齢者、足の不自由な方も安心して外出出来るバリアフリーの充実。羽生駅周辺の発展。
自転車も安心して走れる町づくり

【市への要望・提案（36件）】

主な意見
市民交流の場があるのだろうが PR が少ない
羽生水郷公園をもっと PR してほしい。食事の場所、お茶する場所で出来ればいいです。
大きな観光農園を作り羽生市を PR して、市外・県外の人を呼び込むと同時に、羽生の特産品売り場があるといい
羽生市と言えば、というブランド品を日本や世界中に売り込む
公民館に鏡が必要と思う。質問に沿わないかもしれませんが、希望です。
税金ゼロの社会
今は AI 時代、子どもたちは授業や家庭でパソコンやスマホを使いこなしています。それに比べて高齢者は時代の進歩について行けません。高齢者のための AI 教室はいかがでしょうか。
現在の諸計画の実行を望む
加須市との合併を目指してほしい

主な意見
人口減少に対する建設的な施策、行政サービスの向上。
商業でまかなくなっていく方向なのかなと思うが、活気あるものにしてほしい。税金が高いので安くしてほしい。介護保険使わない人には割引してほしい（国の政策かもしれないが）。道の駅、場所が良いのに生かされていない。
近隣市町村との連携。
人口増を企図し”静かな住宅都市”を目標し、人口8万人を目指してほしい。
その前に財政の再建が大切と考える。
他の市と合併すべきだ。
高齢化が進み、1人暮らしも多くなると思うので、多世代の交流がもてる施策があると良い。
市外から人が集まる施策を打たないと衰退するだけだと思う。
年金・保険の充実
郵便局の場所が悪い
子育て、教育、医療、福祉を疎かにする都市からは人は離れて減っていくでしょう。これからは地方自治体が破産する時代です
下水、用水路の汚染がひどく、朝のにおいが東京に住んでいた頃よりくさい。10年前はこんなことなかったように思います。
現状施設が老朽化しているので新しい施設ではなく今の施設等のリニューアル
電子国家エストニアのような ICT 先進自治体
新たな施設を増やすのではなく、現在ある施設をきちんとメンテナンスして安心して利用出来るように努めていただきたい。中央公民館については大規模改修が中止されたままだし、清掃工場も古いままなので着実な区政運営に努めてほしい。
被服工業として発展してきたのに衰退してしまって残念に思う。行政の力で少し何とかなれば定年に関係なく仕事が出来るのではないのでしょうか。介護施設に入るより家で手仕事をして内職したいです。老人スマホのセミナーに通いたいです。
行田市や近くの市町村と共同でまちづくりを進めて下さい
エネルギー資源の活用と推進を望みます。用水路の発電利用、風力、ほか蓄電施設の普及等全国的にも先進したエネルギー資源対策が必要でしょう。地域電力需要などを把握したミニ発電の実施。
人口減少、働く人口が減少して市税はどうなるのか。短期、長期のビジョンのCSを。どこかでストップしないと浪江や双葉町のように空洞化する。今の私達だけが裕福ではだめ。
見守りの仕組み
日本の先端をいく地方創生のモデル市になれる企業や大学と連携して取り組んでほしい
今の施策の利用方法で考えるべきで、新規の建物は不要だと考える
羽生市は給料がまだ低いから、税金が低い、それで人々への支援は少しだけ少ない
赤字をなくしてもっと身近な市民サービスを望む
これからの世の中これ以上新しく施設を作る必要はないと思っています。充分普通に暮らせる羽生市だと思います。

【学校・教育（8件）】

主な意見
子どもの少なく小学校が心配。
私立の国際的な教育施設
駅前に高校。
5、10年後、市の活性化には市外の人口に頼らざるを得ないが、教育面において不安要素があり、人口流入の壁となると考える。
国際的な人材が育成できるような教育の場が全くないので、未来の子どもたちのために尽力いただきたい（インターナショナルスクールや英語対応の学童など）
子どもは地域の宝物であり教育の充実が必要である
学区を自由に選べたらいいと思います。小中学校の距離がある子どもも多いと思うので。
小学校などを何校かに統一するなりして1クラスの数が増えるようにしてほしい。新しい小学校、中学校を建てたりリフォームをして、子どもが過ごしやすい教育環境にしてほしい。

【雇用・企業誘致（8件）】

主な意見
工場等を誘致してもらい人口減を食い止める
税収の増加が期待出来る企業等の誘致
生活が中心ですので、働ける場を工業団地誘致をお願いする、希望する。
日本トップ企業を誘致
大型の商業施設等の雇用の充実
子育てしながら働けるところ
若い人達が働ける場所

【ゴミ収集（3件）】

主な意見
家庭ゴミの収集の簡便化
自治会に加入しなければ実質的にゴミが出せないのはおかしい。外国人のマナー講習をしてほしい。全くマナーがなっていない。
プラスチックやビニール等を可燃物として処理できるゴミ処理場が出来れば良いと思います
ゴミの収集場所にしっかりとした囲いを作っていたらと思います。他の町でも見ますので。

【イベント（3件）】

主な意見
大型なイルミネーションがあれば良いなと思います。
あそこへ行けば教えてもらえる場所および催し（ものづくり、陶芸、日曜大工、盆栽、手打ちうどんなどその他生きがいを見つけてもらう）
小中学生が活躍できる場、イベント、機会を増やしてほしい。心と体をたがやすイベント等。

【その他（19件）】

主な意見
ペット火葬場。ドッグラン。
今のままで良い
通学時に挨拶が出来ない子どもがいる、言葉が悪い子どもにならないように、挨拶がきちんと出来るように、小学生のうちに。
わたぼくコーヒーがどこでも買えたら嬉しいです
豊かな自然環境があればいい
このままで素晴らしいです。思いやりのある10年後でありたいです。
お米で美味しい物を作る
どんな老後を迎えるのか想像出来ない。自分で車を運転して自由に動き回っていたい。さらに健康に気をつけたい。
昔は何もなく静かな町でしたが家やお店が建ってきて栄えてきて田舎な感じがなくなってきてしまった。静かな何もない感じが好きだった。
発展よりも現状維持
高齢者になるためいきいき生活出来れば幸せです。健康で働く場所、仲間がいるなら安心して暮らせます。
気のあった仲間と楽しく会話をしたい。指導者を派遣してほしい。
いつも通りでいいのではと安心していきます

5 市の特徴について

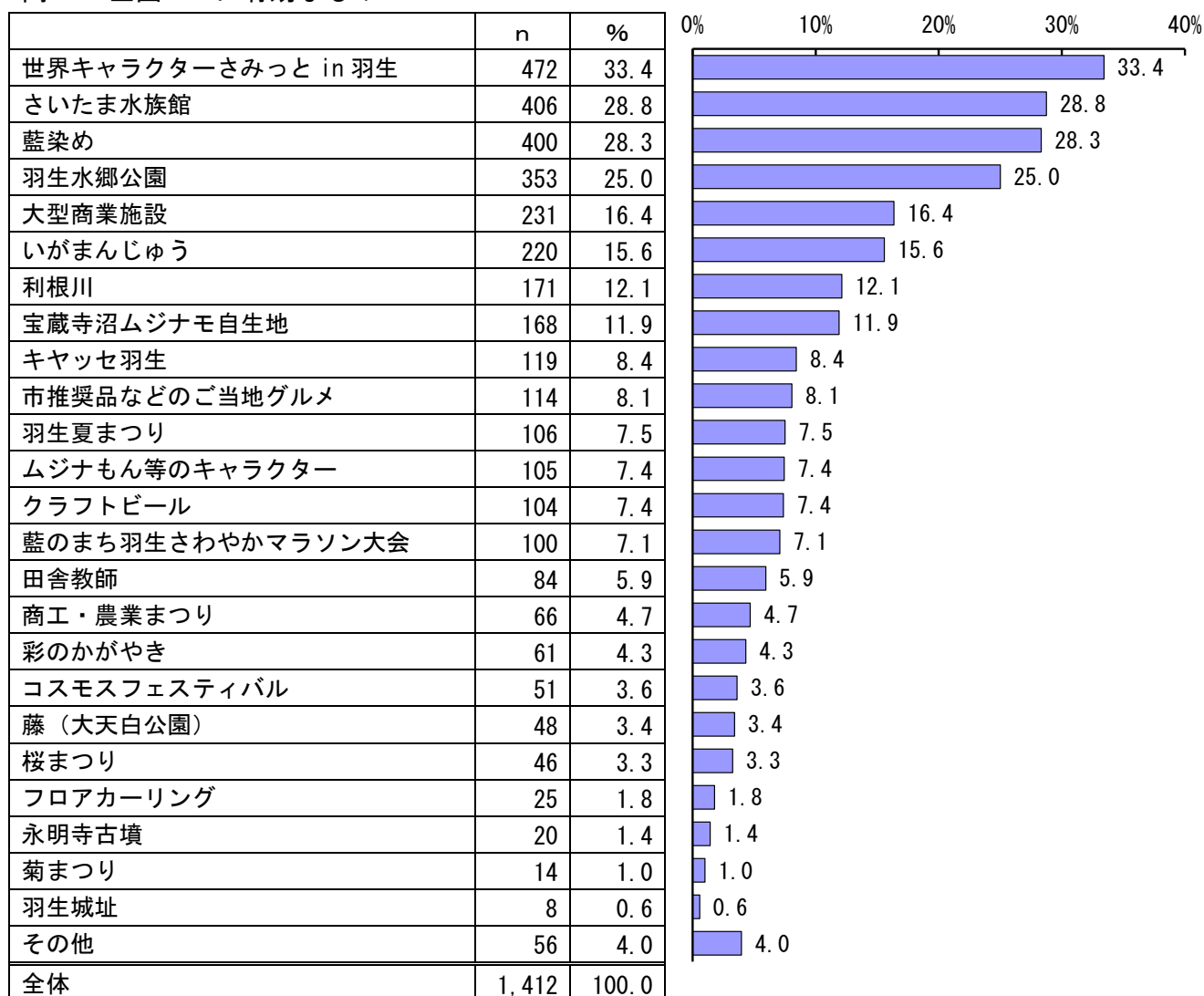
5-1 全国PRに有効なもの

問15：羽生市は、観光交流人口100万人を目指しています。次の地場産品、施設、イベントの中で、羽生市を全国にPRするために有効だと思いますか。【3つまで○】

○全国PRに有効なものについては、「世界キャラクターさみっと in 羽生」が33.4%と3割を超えて最も高く、次いで「さいたま水族館」（28.8%）、「藍染め」（28.3%）、「羽生水郷公園」（25.0%）、「大型商業施設」（16.4%）、「いがまんじゅう」（15.6%）、「利根川」（12.1%）が続いています。

○上位項目をみると、イベント、施設、名所、名物、キャラクターなど、多様な分野のものが選ばれています。

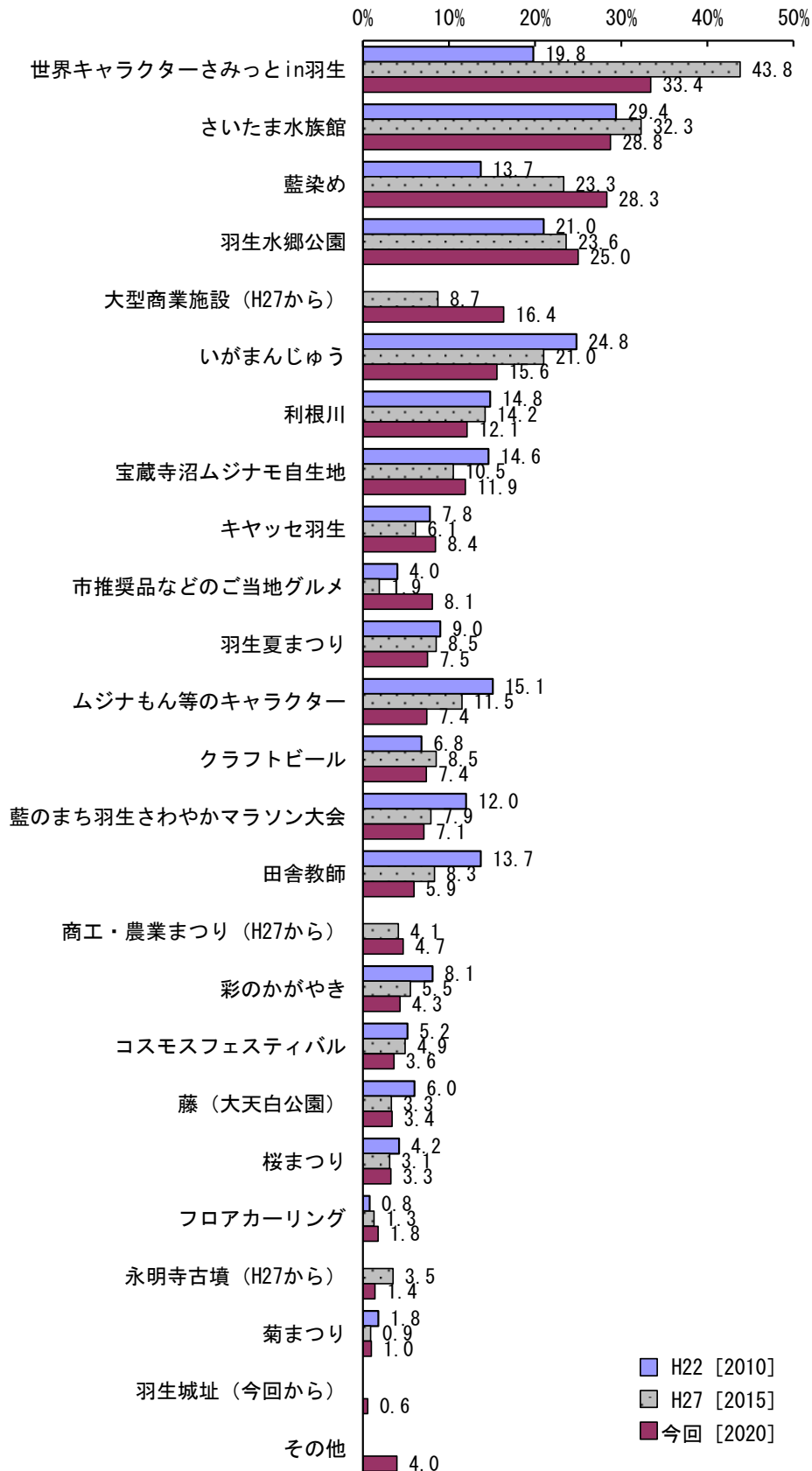
問18 全国PRに有効なもの



○過去調査と比較すると、「世界キャラクターさみっと in 羽生」がH27 [2015] よりも10.4ポイント大きく下がっています。

○「藍染め」「羽生水郷公園」「大型商業施設」は調査ごとに上がっていく傾向にあります。

【全国PRに有効なもの 過去調査比較】



○年齢別でみると、60歳以上では「さいたま水族館」が最も高くなっており、60歳未満のすべての年代では「世界キャラクターさみっと in 羽生」が4割を超えて最も高くなっています。

○年代別の上位5項目についてみると、全体平均での上位6項目に含まれるものが増えていますが、「羽生水郷公園」は年代が上がるにつれて高くなっており、「大型商業施設」は50歳未満の年代で2割を超えています。また、60歳以上では「利根川」や「宝蔵寺沼ムジナモ自生地」が他の年代よりも高くなっています。

【全国PRに有効なもの 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
世界キャラクターさみっと in 羽生	① 44.4	① 41.8	① 41.4	① 41.1	④ 25.8
さいたま水族館	③ 25.8	② 31.0	③ 25.8	③ 27.1	① 29.9
藍染め	② 29.8	③ 24.7	② 33.9	② 32.3	③ 26.5
羽生水郷公園	10.5	⑤ 20.9	④ 22.0	④ 25.5	② 29.2
大型商業施設	④ 21.0	④ 24.1	20.4	15.6	13.0
いがまんじゅう	⑤ 20.2	14.6	⑤ 21.0	⑤ 17.7	13.2
利根川	9.7	5.1	8.1	10.4	15.5
宝蔵寺沼ムジナモ自生地	8.1	5.1	8.1	8.9	⑤ 15.9
キャッセ羽生	4.8	7.0	8.1	9.4	9.1
市推奨品などのご当地グルメ	6.5	10.1	8.1	9.9	7.5
羽生夏まつり	11.3	10.8	5.9	3.1	7.9
ムジナもん等のキャラクター	8.1	13.9	8.6	7.3	5.7
クラフトビール	11.3	7.6	12.4	12.0	4.3
藍のまち羽生さわやかマラソン大会	2.4	5.7	6.5	6.8	8.2
田舎教師	2.4	1.3	5.4	3.1	8.6
商工・農業まつり	1.6	3.8	2.2	2.1	6.5
彩のかがやき	1.6	3.2	5.4	2.6	5.3
コスモスフェスティバル	12.1	5.7	4.3	1.0	2.2
藤（大天白公園）	4.0	3.8	1.1	2.1	4.1
桜まつり	1.6	4.4	3.8	3.1	3.1
フロアカーリング	0.8	1.9	0.5	1.0	2.4
永明寺古墳	0.8	0.0	1.1	1.0	2.0
菊まつり	0.0	0.0	0.0	1.6	1.4
羽生城址	1.6	0.0	0.5	0.5	0.5
その他	4.0	5.1	2.7	7.8	3.1

※第1位～第5位を①～⑤で記しています。

○居住地区別でみると、須影地区以外のすべての地区で「世界キャラクターさみっと in 羽生」が最も高くなっています。

○いずれの地域でも、上位4項目のなかに5位までが入っています。

【全国PRに有効なもの 居住地区別集計】

(単位：%)

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
世界キャラクター さみっと in 羽生	① 31.5	① 35.1	② 36.5	① 31.1	① 32.4	① 32.6	① 36.1	① 46.4	① 37.2
さいたま水族館	② 28.5	③ 25.4	③ 28.5	② 27.9	③ 22.5	③ 29.7	② 31.9	③ 37.5	② 27.9
藍染め	③ 28.4	② 29.1	① 40.9	② 27.9	④ 19.7	④ 26.1	③ 29.9	⑤ 17.9	⑤ 18.6
羽生水郷公園	④ 25.2	⑤ 17.9	⑤ 19.0	④ 21.3	② 23.9	② 31.2	④ 27.1	② 44.6	② 27.9
大型商業施設	⑤ 16.2	④ 20.1	⑤ 19.0	④ 21.3	16.9	13.0	12.5	12.5	14.0
いがまんじゅう	14.9	12.7	④ 22.6	17.2	14.1	⑤ 16.7	13.9	10.7	16.3
利根川	11.9	16.4	8.8	9.0	⑤ 18.3	9.4	9.7	14.3	④ 23.3
宝蔵寺沼ムジナモ自生地	10.4	12.7	10.2	5.7	14.1	15.9	⑤ 16.0	④ 25.0	7.0
キャッセ羽生	7.6	11.2	4.4	9.0	7.0	9.4	9.0	8.9	16.3
市推奨品などの ご当地グルメ	9.0	9.7	7.3	5.7	9.9	5.1	9.0	7.1	7.0
羽生夏まつり	11.0	7.5	1.5	5.7	8.5	5.1	5.6	7.1	4.7
ムジナもん等の キャラクター	7.1	4.5	7.3	10.7	5.6	9.4	9.0	12.5	0.0
クラフトビール	8.6	3.7	5.1	8.2	15.5	5.1	6.9	5.4	2.3
藍のまち羽生さわやか マラソン大会	7.1	3.7	6.6	8.2	7.0	9.4	5.6	7.1	11.6
田舎教師	6.9	5.2	5.8	8.2	1.4	2.2	6.9	8.9	4.7
商工・農業まつり	4.5	6.7	5.8	4.1	4.2	6.5	2.8	3.6	2.3
彩のかがやき	3.4	9.0	7.3	7.4	2.8	1.4	3.5	0.0	4.7
コスモスフェスティバル	3.7	3.7	1.5	4.9	1.4	2.9	6.3	0.0	4.7
藤（大天白公園）	4.5	1.5	0.7	6.6	5.6	2.2	2.8	1.8	0.0
桜まつり	3.7	3.0	3.6	2.5	5.6	2.9	2.8	0.0	2.3
フロアカーリング	2.1	2.2	2.9	0.8	1.4	2.2	0.0	0.0	2.3
永明寺古墳	0.9	1.5	0.0	0.8	2.8	0.7	1.4	1.8	14.0
菊まつり	0.6	1.5	0.0	3.3	0.0	1.4	0.7	0.0	0.0
羽生城址	0.9	1.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.0	4.5	1.5	2.5	4.2	2.9	4.2	1.8	7.0

※第1位～第5位を①～⑤で記しています。

5-2 好きな場所・景色／理由

問16：羽生市の中で好きな場所や景色をお書きください。【自由記入】

○600人の方から644件の意見を下表の7項目に分類しました。

○最も多く挙げられた場所は「利根川」で、次いで「羽生水郷公園」「イオンモール羽生」となっています。

分類		件数
1	川・橋・水路	223
2	公園	186
3	土地・自然・風景	94
4	公共施設	72
5	商業施設	58
6	イベント・祭り	7
7	神社	4
合計		644

【川・橋・水路（223件）】

主な場所	件数	内容	好きな理由など
利根川	173	—	自然美しいとともに田園都市の一つ・群馬、栃木、茨城が遠望できる・雄大な風景・気持ちが落ち着く・特に桜や菜の花の時期が癒やされる・子どものころよく友達と遊んだところだから・春になると菜の花がきれい・どの季節に行っても景色がいい・珍しい野鳥が飛来する・電車が見える・川や遠くの山々、富士山が見える、冬の晴れた夜はスカイツリーまで見える・幻想的な風景・散歩、マラソン、サイクリング・自転車や徒歩で気持ちが良い
		土手・堤防	土手から見える赤城山、男体山などの風景・土手に登ると四季折々の景色が見られるから・堤防（高い所）上からの開けた眺望が良い・冬の散歩コースで土手から見る富士山と夕日・他人に気遣いが無い・景色、橋と土手の花
		朝日・夕日	昭和橋からの朝日や夕日・広大で夕日もきれいで心が癒される・市内で一番きれいな夕焼けが見られる
		サイクリングロード	サイクリングコースがある・関東の山々が天気の良い日は一望でき、サイクリングやランニングに利用しています・サイクリングが気持ちいい、遠くの山々が見られる、広々とした風景が好き、富士山から筑波山まで見られる
葛西用水路・葛西堤	27	桜並木	桜並木が見事・桜の花を見ながら用水路沿いを歩くのが毎年の楽しみです・花見に行けなくても、買い物の時通る時見られるだけでも癒されます・春になった時の桜は見事だと思う・春のお花見は楽しみです
		土手	花がきれい・春を感じるスポットだから、散歩をするのにはぴったり・水色とピンク、調和して美しい・関東平野のまわりの山々が360°みえる・散策するのが楽しみ・四季の花や木が美しいから・安全にウォーキングできる場所・休憩出来る椅子が増えるともっと快適です
昭和橋	23	昭和橋	日光方面、上州の山々が一望できる。西南の方は秩父、富士山まで・昭和橋から見る夜の東武電車が銀河鉄道のように空中を走っているように見える・南は富士山、秩父連山、赤城山、東には筑波山が見られるから・朝日、夕日の澄みきった風景が好きです。近くに道の駅もあり、川の流れを見るのが好きです・いずれも市民に安心感を与える、心が安まる

【公園（186件）】

主な場所	件数	内容	好きな理由など
羽生水郷公園	126	自然	緑が多く、散歩するのが気持ち良い。利根川の魚やえさやりができること・自然豊かで子どもと遊びやすい・欧米のような広い自然豊かな公園。他県から友人が来た時も連れて行きます・気持ちが落ちつく・四季おりおりの自然がきれいである・犬の散歩によく行くがとても歩きやすい・秋はイチョウなどの紅葉がとてもきれい・広くて昔からの羽生の自然が見られる感じがして良い・ウォーキング、野鳥観察などリフレッシュできるため・水族館から公園に行く時に渡る橋からみる湖がすごく好き・
		施設	公園は高速道路から見ても広くきれいに整備されているので目立つ・整備されていてウォーキングをしたり孫を遊ばせるにも大変良い・子どもたちを安心して遊ばせられる場所、BBQなど友達と交流出来る
スカイスポーツ公園	18	—	子どもの頃の思い出だから・開放感がある・夜遅くまででも雰囲気が良い・子ども連れ等で人で賑わっていて、活気がある公園だから
		景色	四季それぞれの景色が見られる・利根川の雄大さと桜のさきほこる景色・利根川の流れ、故郷の山々が見えるから・広々とした景色を見ていると些細な事が気にならなくなり心が癒やされる、元日の初日の出は最高。また一年頑張ろうと思う
		施設	広くてすべり台やトランポリン等の施設があって、子供に喜ばれそう・無料でBBQが出来る、大型遊具がある、桜がきれい、川や山が遠くまで見える、子どもと一緒に頻りに利用している・子どもが小さい時滑り台を何回も何回も楽しく滑っていた
大天白公園	13	藤の花・自然	藤がきれい、緑が多く子どもたちも行きやすい・藤の花が美しい・四季の花や木が美しいから・散歩に行くので好きなところです・のどか、癒やされる
キャッセ羽生	11	—	環境が良い・広々して花も咲いている・羽生市の文化にふれ合うことが出来るため・買物ができて楽しみがある。もっと広いと助かる・キャッセは新鮮な野菜や手づくりのうどんがあつていい・良い写真が撮れる
羽生中央公園	11	—	緑が多く、鳥の鳴き声が好き・緑が多く散歩やスポーツに最適・子どもからお年寄りまで遊んだり体を自由に動かしたりして元気が出る・ウォーキング中に昇る大きな太陽・四季の景色が好きです
葛西親水公園	3	—	自然が感じられて気持ちが良い・空気が良く気持ち良い
その他公園など	4	—	川岸で休息できる用にベンチを置いて欲しい（川俣公園）・あまり人がいなくて、歩くのにもちょうどよい広さです。桜もきれいです（小松南公園）・広いし、子供たちが遊べるから（さいたま公園）・椅子があつてゆっくり休める、本当は散歩が出来るところがいい

【土地・自然・風景（94件）】

主な場所	件数	内容	好きな理由など
田園風景	21	—	季節を感じる事が出来る・田んぼを通り抜ける風が気持ちいい・通学の時毎日通っていて懐かしくなるから・建物のない広い空間が好き・高い建物がなく、空が広く見えて気持ちが良い。心豊かな気分になれるから・癒やされる
		景色	天気が良いと富士山と筑波山の両方が見えて他にない景色だから・ミュージックビデオなどでも使われても良いくらい、天気の良い日は映え、空気も気持ちいいから・村君の田んぼ、冬沈む太陽・良い景色で気分が良くなるから・秋になると稲穂が黄金色になり、春は緑色に変化し、富士山が見えるから
自宅	14	—	朝日に田んぼに貼られた水が輝く様子や、夕日に染まる富士山を眺める。自然が豊かでありつつ、大型商業施設があり、生活に困らない・安心出来る・毎日変化を見るのが好きです
		風景	山並みがきれいだから・空気の澄んでいると富士山がきれいに見える。心が和みます。冬の星空、辺りに明るい場所もないので、はっきり見える・自宅の前は一面の田んぼで、冬は土埃がすごいです、夕焼け快晴の時の富士山が良く見え最高です
陸橋	10	—	羽生の全景が見渡せる・広大な場所で心が洗われる。希望が持てるようになる
		富士山	朝日が見える。富士山が見える・川や遠くの山々、富士山が見える、冬の晴れた夜はスカイツリーまで見える・車で陸橋を登ると視界が開けると大きな富士山が見えてとてもすがすがしい・冬になると富士山がきれいに見える
三田ヶ谷	5	—	コスモス畑は他の市からも見学に来ているくらい良いと思います。ずっと継続してほしい・良い写真スポットでもあって好きです・写真を撮ることが出来るため・秋になると美しい花が見られるから・子どもを連れて行ける
新郷	5	—	駅から見える田園と夕日がきれい・田園と山の風景が美しい。広々とした風景が美しい・頂上から見える夜景がとてもきれい
勘兵衛松	3	—	割と静か
上新郷	2	—	美しい自然の景観（富士山、秩父連山、浅間山、赤城山、男体山 etc.）・桜並木と菜の花がきれいに咲いて春を感じる場所
下新田	2	—	田んぼの中に富士山が見えて良い・田畑の先に見える富士山
下新郷	1	—	田んぼがあって田舎っぽさが良い
桜橋	1	—	桜の季節がきれいだから
その他の場所・自然・風景	30	—	ムジナモが自生していて水族館がありキャッセもあり、全国から人が来てくれるから・宝蔵寺沼上部の橋など企画見学まで出来るコースが出来ればいい・自然の中に身を置く。自然が好きなので羽生に住むようになってからは、よく秩父方面に出かける。広報に掲載されている“ふるさと光景”は毎月心待ちにしている。私のように羽生のことを良く知らない人達の為にも、このコーナーに“あ、行ってみたい、行ってみよう”と思える写真を期待しております・良い自然環境、美しい風景、文化的価値・都内の通勤などがある人はなおさら田舎道がよく感じる・昔から綿々と続く生命の力強さを感じる・パワーを感じる、色々な花が順番に咲く様子がとても素敵・富士山が良く見えるから・空が広く夕焼けが美しい

【公共施設（72件）】

主な場所	件数	内容	好きな理由など
さいたま水族館	20	水族館エリア	幼少期から訪れていたため愛着がある・海の魚ではなく川にいる魚ばかりだから・歩きながら鯉とか見られて癒やされます・小さい子供がいる為、遊ばせるのにとっても良い場所・淡水魚が好きだから・のんびりと過ごすことができる・車イスでもゆったりしている・孫がいるので水族館に鯉に餌をあべたり、遊具で遊んだり、とても広々していて孫が喜ぶのが嬉しい
		水族館付近	自然が豊か・入園料も安く公園も広いので子供を遊ばせるのに最適。ただもう少し軽食施設が充実するとありがたい・いちご等季節を感じられる・散歩に行くので好きなところですよ
道の駅はにゅう	18	—	群馬の山が見え、地場商品、植木が楽しい・利根川「ああ上野駅」、売店・立地条件がととても良いと思います。(利根川昭和橋、スーパー堤防、休憩する方は癒やされるとおもいます)・気持ちが落ち着く
		景色	利根川とのマッチした景観・利根川の風景を一望出来るから・春、菜の花が咲いており圧巻
羽生市立図書館	6	—	静かに快適に、かつ人と関わりを感じながら本をえらべる場所だから・四季折々の様子と建物のバランスがよく、静かに過ごせること。コンサートなどを楽しむことが出来て生活にゆとりや癒やしを与える場所となっているから・水や芝生、田園風景の中で静かに出来て色んな知識の書物がある
学校（高校）	6	—	2階げた箱からおりてくる外階段の木の緑。体育館から校舎へのわたりろう下のしだれ桜。野球グラウンドと校舎の間の紅葉、そのグラウンドのクローバーなど。子供がお世話になっていましたがすばらしかったです・母校からの景色であり懐かしいため
産業文化ホール	6	—	色々な催しを見たり、出演も出来ます・ピアノの発表会で使っていたのと、弾き放題を利用させてもらった・芸能やレクリエーション活動の見学が好き
羽生市役所	5	—	大好きな彫刻が設置されているため
羽生駅	4	—	電車が好きだから・ハナミズキの咲く季節、白やピンクの花をつけた道路沿いを車で走るのは楽しいです。途切れた場所もあるので植栽を望みます・学生時代に利用していたので、愛着を感じる。きれいな駅だから・古っぽい町並みがノスタルジーを感じる（東口付近）
市民プラザ	3	イルミネーション	学校帰りに通ってきれいだなと思う
		屋上	夕焼けがきれいだったので町が良く見える・眺望がいい
その他の場所	4	—	上りの電車と下りの電車と自分の車が交差する瞬間（羽生市川俣、伊勢崎線が上を走るところ）・大好きな彫刻が設置されているため（羽生市体育館入り口前、羽生市商工会プラザ入り口、中央公民館前）

【商業施設（58件）】

主な場所	件数	内容	好きな理由など
イオンモール羽生	55	—	ショッピングが好きだから・イオンで全て揃うところが好き、食品、衣服、内科、化粧品、映画館・店舗が多くて飽きない・好きな場所というよりは良く行くところです・映画を見たりショッピングしたり1日楽しく過ごすことが出来ます・大型商業施設とその周りの田園風景・都会に行ったような気分させてくれるから・できた時からずっと通っています。お店は入れかわったりしていますが、今でもなじみがあり、一番好きなショッピングモールです。
		屋上	屋上から夜景を見ると癒やされます・遠くの山まで見えるパノラマは最高・屋上駐車場から見る羽生市の景色がいいです。特に冬は富士山が見えてきれいです・川や遠くの山々、富士山が見える、冬の晴れた夜はスカイツリーまで見えること・羽生市、近郊の町も良く見える
その他の場所	3	—	商業施設があるから（フォルテ羽生、小松台）、宿泊、温泉、宴会とお世話になっている（ルートイングランディア羽生）

【イベント・祭り（7件）】

主な場所	件数	内容	好きな理由など
コスモスフェスティバル	3	—	大変きれいで毎年楽しみにしています
桜まつり	2	—	見事に咲く桜は心を明るくする・季節を感じて落ち着く
世界キャラクターさみっと	1	—	世界規模のイベントは他にない、出来れば夏にも開催を（会場、その周辺）
本町通り	1	—	夏まつり

【神社（4件）】

主な場所	件数	内容	好きな理由など
大天白神社	2	—	静かで落ち着いている
		境内	四季折々の風景
堂城稲荷神社	1	—	良い写真スポットであって好きです。
豊武神社の杜	1	—	いちょうの黄色、楠の濃緑、ケヤキの紅葉との鮮やかさです。

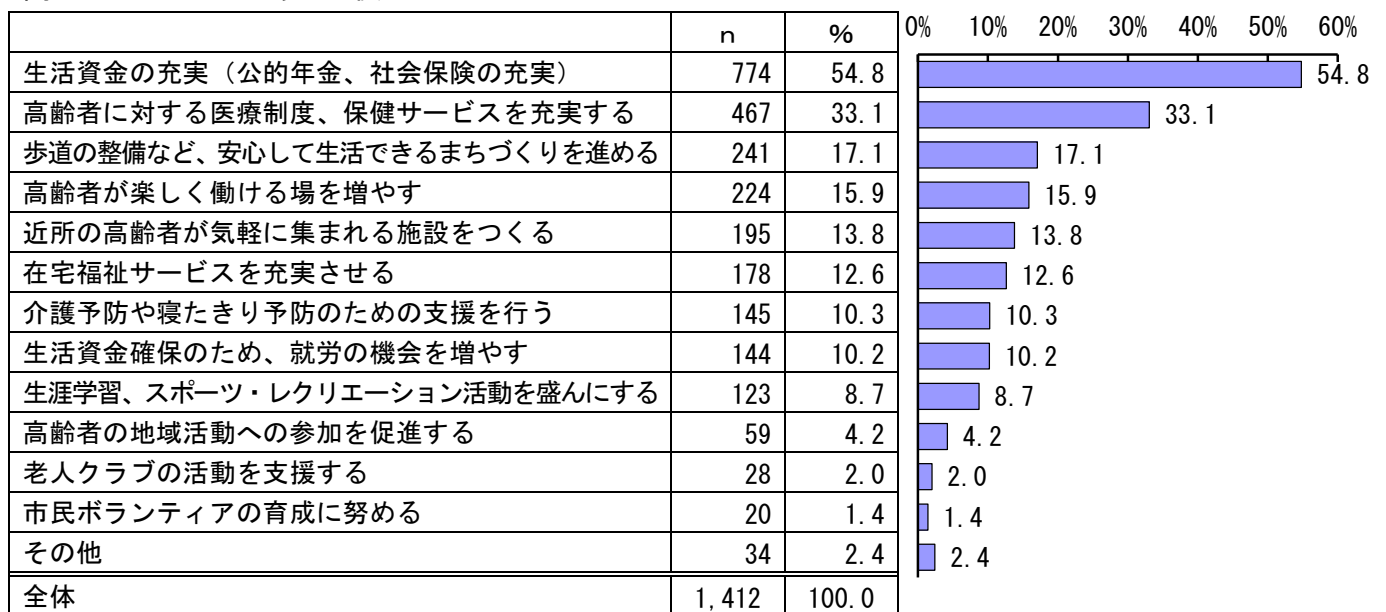
6 福祉・リサイクル・交通について

6-1 生きがいのある老後

問17：高齢化が進む中、幸せで生きがいのある老後を送るために、何が大切だと思いますか。

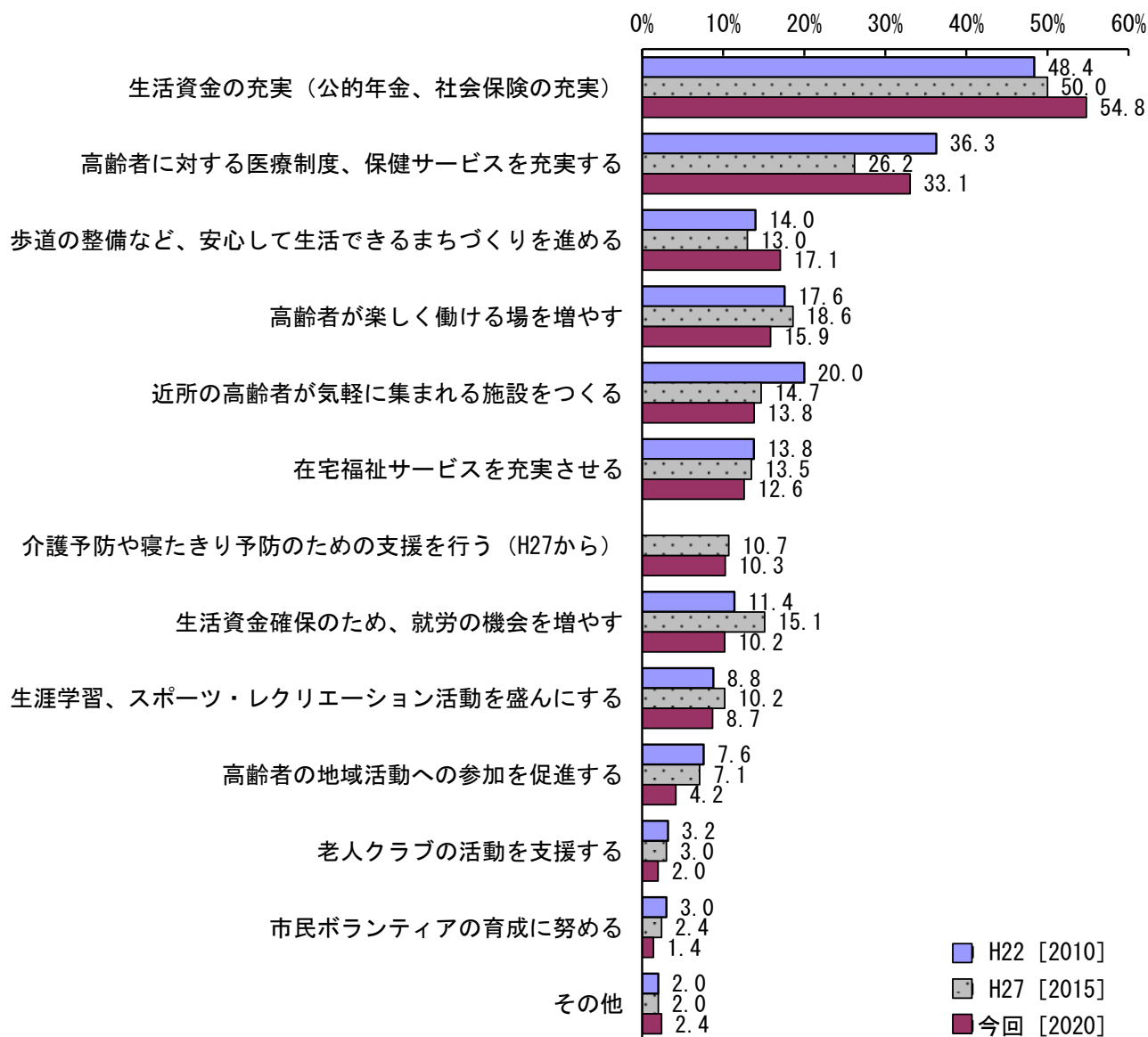
○生きがいのある老後のために大切なものについては、「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」が54.8%と5割半ばで最も高く、次いで「高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する」（33.1%）、「歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める」（17.1%）が続いています。

問17 生きがいのある老後



○過去調査と比較すると、「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」は調査ごとに上がっていく傾向にあります。また、「高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する」や「歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める」はH27 [2015] よりも高くなっています。

【生きがいのある老後 過去調査比較】



○年齢別でみると、すべての年代で「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」が最も高くなっています。

○二番目に高い項目は、30～39歳では「高齢者が楽しく働ける場を増やす」、それ以外の年代では「高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する」となっています。

【生きがいのある老後 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）	① 57.3	① 57.6	① 65.6	① 57.3	① 50.4
高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する	② 31.5	20.9	② 25.8	② 26.6	② 39.7
歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める	21.8	19.0	15.6	18.2	16.2
高齢者が楽しく働ける場を増やす	14.5	② 21.5	22.0	20.8	11.8
近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる	16.1	17.7	8.1	8.3	15.5
在宅福祉サービスを充実させる	8.1	7.0	9.7	14.6	14.8
介護予防や寝たきり予防のための支援を行う	7.3	11.4	8.1	9.4	11.1
生活資金確保のため、就労の機会を増やす	7.3	19.6	14.5	15.6	6.3
生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動を盛んにする	11.3	7.0	10.2	8.9	8.3
高齢者の地域活動への参加を促進する	2.4	5.1	5.9	3.6	3.9
老人クラブの活動を支援する	2.4	1.3	0.5	1.0	2.7
市民ボランティアの育成に努める	1.6	0.6	1.6	1.0	1.6
その他	2.4	3.8	1.6	3.6	2.0

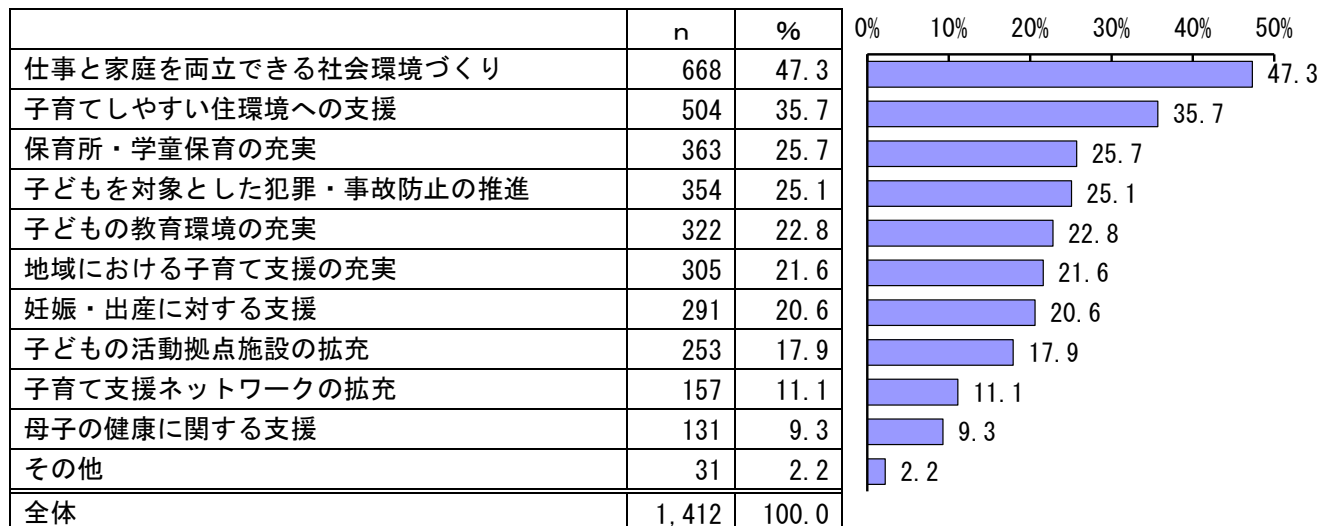
※第1位～第2位を①～②で記しています。

6-2 子育て支援に期待すること

問18：市の子育て支援に期待することは何ですか。【3つまで○】

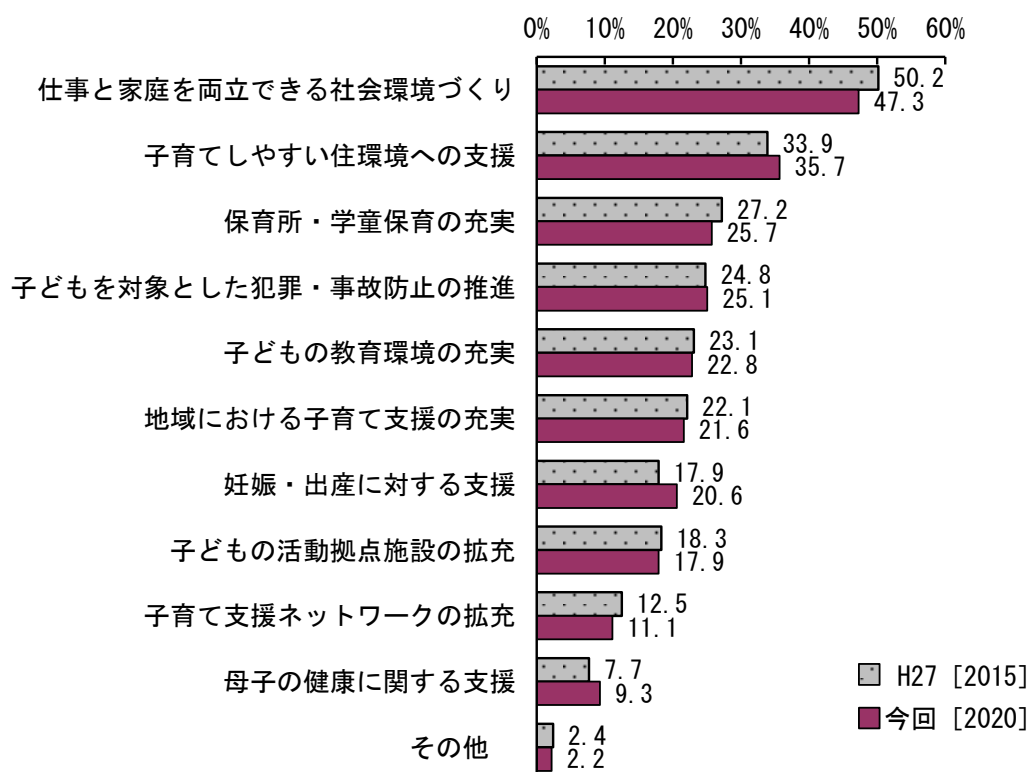
○市の子育て支援に期待することは、「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」が47.3%と最も高く、次いで「子育てしやすい住環境への支援」(35.7%)、「保育所・学童保育の充実」(25.7%)、「子どもを対象とした犯罪・事故防止の推進」(25.1%)と続いています。

問 18 子育て支援に期待すること



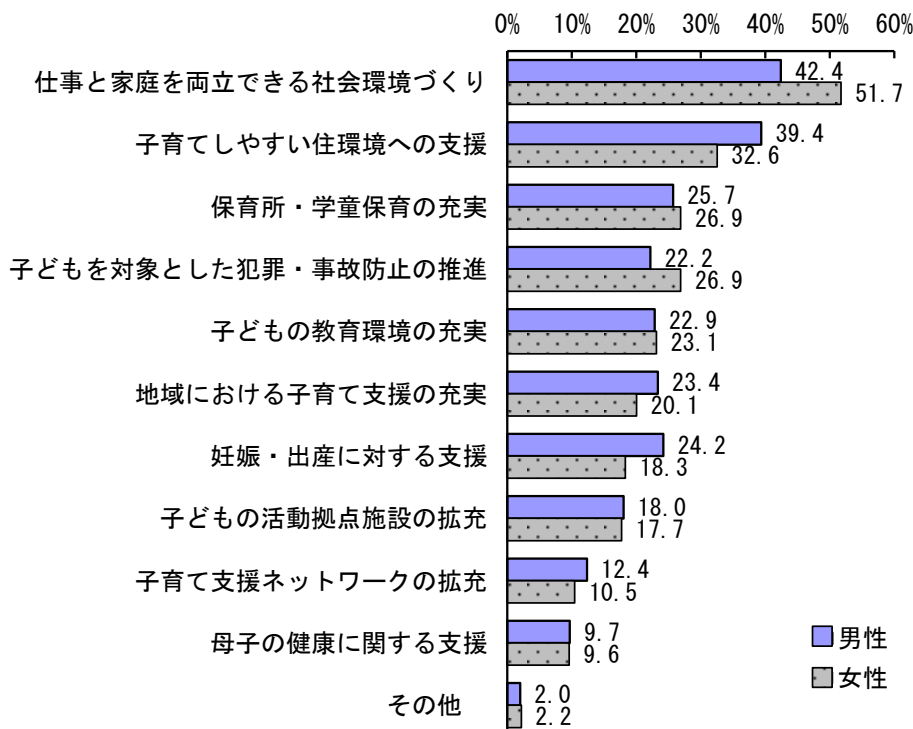
○過去調査と比較すると順位や傾向はほとんど変わりません。

【子育て支援に期待すること 過去調査比較】



○性別でみると、「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」「保育所・学童保育の充実」「子どもを対象とした犯罪・事故防止の推進」「子どもの教育環境の充実」で、女性が男性を上回っています。

【子育て支援に期待すること 性別集計】



○年齢別でみると、30～39歳で「子育てしやすい住環境への支援」、それ以外のすべての年代で「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」が最も高くなっています。次いで18～29歳では「妊娠・出産に対する支援」が続き、それ以外の年代では「子育てしやすい住環境への支援」が続きます。

○二番目に高い子育て支援に期待することは、18～29歳では「妊娠・出産に対する支援」が41.9%と4割を超えて他の年代よりも高くなっています。また、30～39歳で「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」、40歳以上で「子育てしやすい住環境への支援」が二番目に高くなっています。

【子育て支援に期待すること 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
仕事と家庭を両立できる社会環境づくり	① 44.4	② 39.9	① 52.7	① 51.6	① 47.0
子育てしやすい住環境への支援	37.1	① 42.4	② 39.2	② 30.7	② 34.1
保育所・学童保育の充実	29.8	35.4	15.6	25.0	25.5
子どもを対象とした犯罪・事故防止の推進	20.2	30.4	28.5	25.5	23.9
子どもの教育環境の充実	18.5	25.9	29.0	26.6	20.1
地域における子育て支援の充実	21.0	17.7	21.5	21.4	23.0
妊娠・出産に対する支援	② 41.9	26.6	20.4	17.7	16.4
子どもの活動拠点施設の拡充	16.9	17.1	21.5	20.3	16.8
子育て支援ネットワークの拡充	7.3	10.8	8.6	15.1	11.4
母子の健康に関する支援	13.7	12.7	8.1	8.3	8.3
その他	3.2	3.2	4.8	1.6	1.4

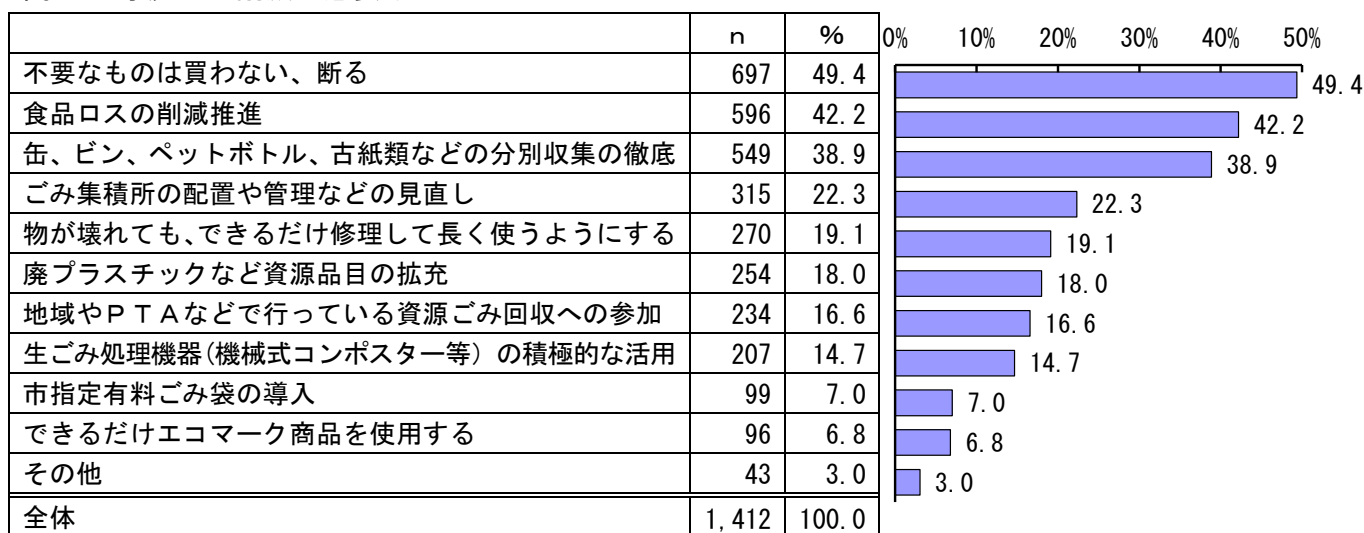
※第1位～第2位を①～②で記しています。

6-3 家庭ごみ削減に必要なこと

問19：ごみに関する課題の一つとして、家庭ごみを減らすには、どのようなことが必要だと思いますか。
【3つまで○】

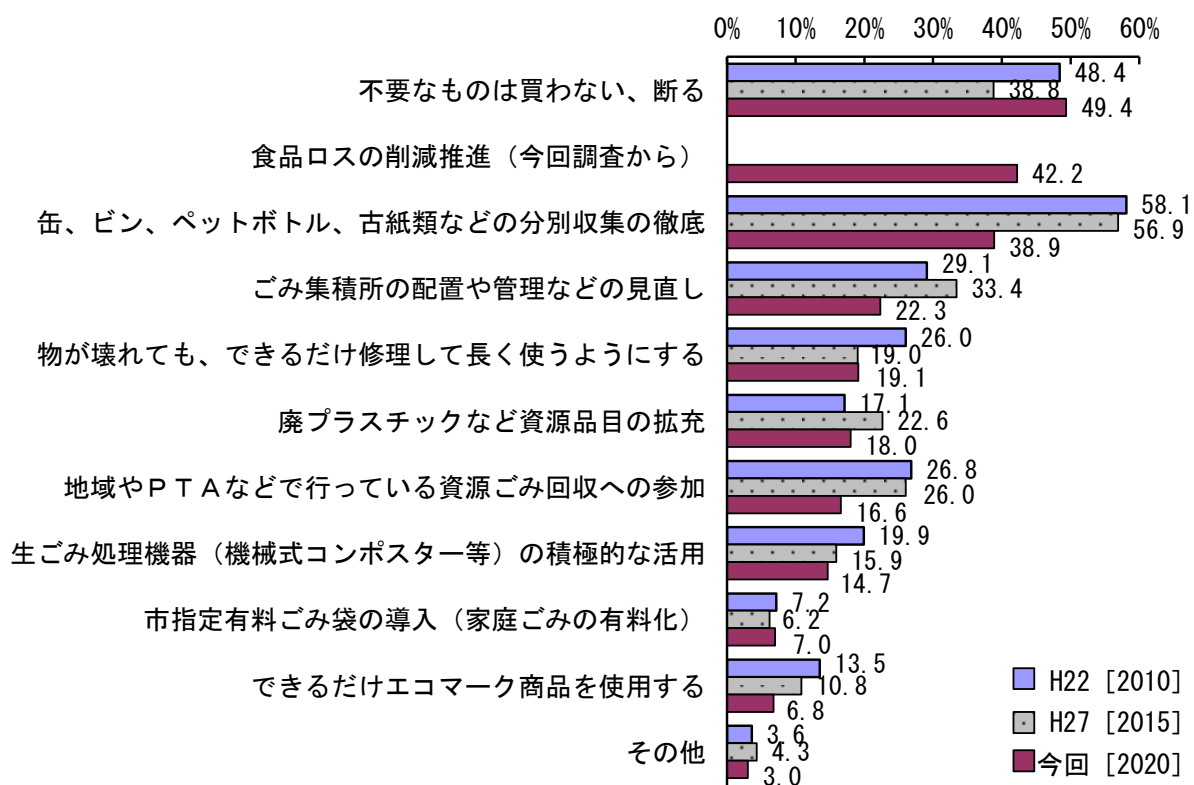
○家庭ごみ削減に必要なことは、「不要なものを買わない、断る」が49.4%と半数を占めて最も高く、次いで「食品ロスの削減推進」(42.2%)、「缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底」(38.9%)と続いています。

問19 家庭ごみ削減に必要なこと



○過去調査と比較すると、「食品ロスの削減推進」の項目を入れた関係から、全体的に過去調査より下がっていますが、「不要なものを買わない、断る」はH27 [2015] より10.6ポイント上がっています。

【家庭ごみ削減に必要なこと 過去調査比較】

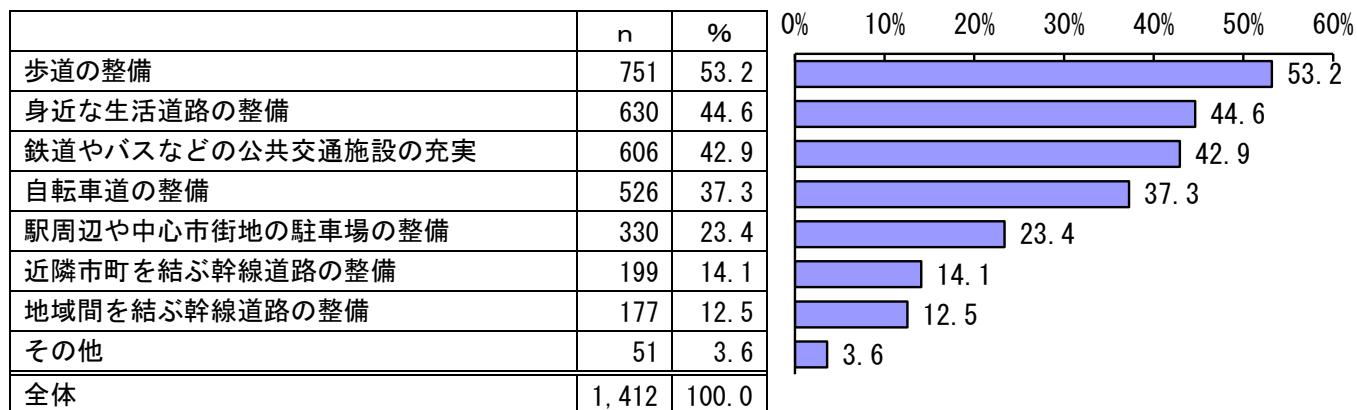


6-4 交通

問20：羽生市の交通について、必要だと思うものは何ですか。【3つまで○】

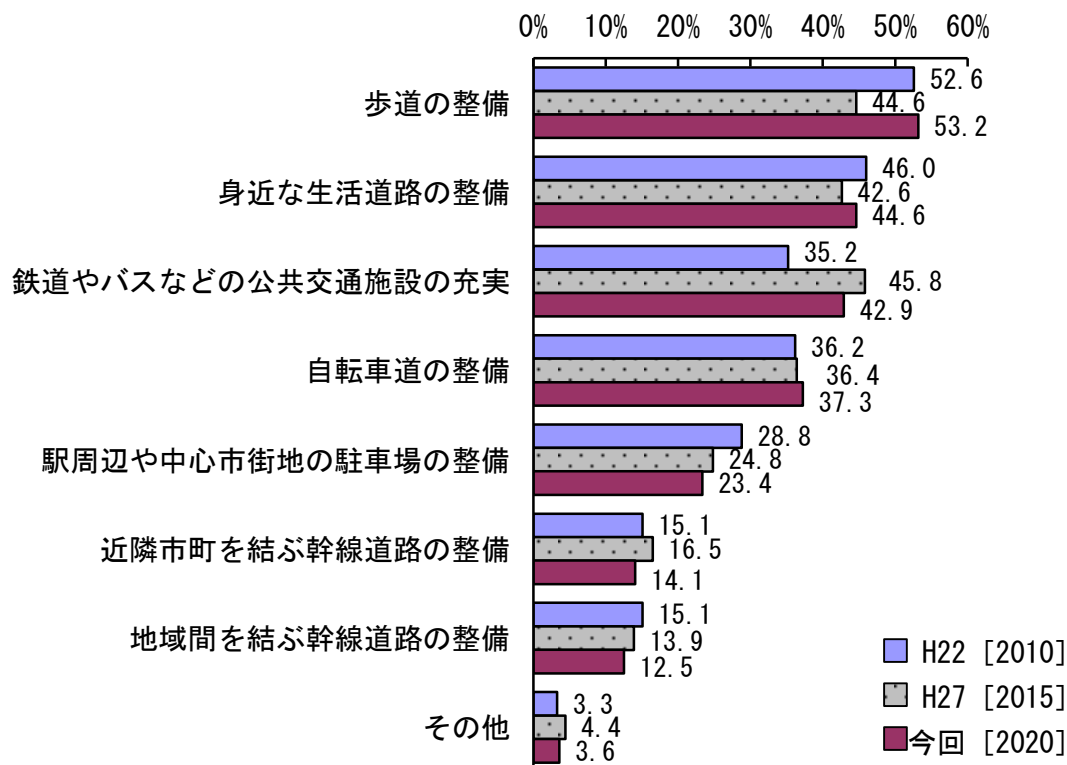
○市の交通に必要なものについては、「歩道の整備」が53.2%と半数を超えて最も高く、「身近な生活道路の整備」(44.6%)、「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」(42.9%)が4割を超えて続いています。

問20 交通



○過去調査と比較すると、H27 [2015] よりも「歩道の整備」「身近な生活道路の整備」「自転車道の整備」といった身の回りの道路の整備が高くなっています。

【交通 過去調査比較】



- 年齢別でみると、18～29歳で「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」が6割と他の年代よりも高く、それ以外のいずれの年代も「歩道の整備」が5割を超えて最も高くなっています。
- 二番目に交通の要望は、18～29歳で「歩道の整備」、60歳以上で「身近な生活道路の整備」、30～59歳で「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」となっています。

【交通 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
歩道の整備	② 44.4	① 52.5	① 52.7	① 51.6	① 55.3
身近な生活道路の整備	30.6	44.3	43.0	38.5	② 49.2
鉄道やバスなどの公共交通施設の充実	① 60.5	② 47.5	② 51.6	② 51.0	34.8
自転車道の整備	26.6	35.4	37.6	31.8	40.8
駅周辺や中心市街地の駐車場の整備	25.0	25.9	22.6	28.6	21.5
近隣市町を結ぶ幹線道路の整備	19.4	12.7	14.5	14.1	13.3
地域間を結ぶ幹線道路の整備	13.7	10.8	12.4	14.1	12.4
その他	4.8	8.2	3.8	2.6	2.6

※第1位～第2位を①～②で記しています。

- 居住地区別でみると、川俣地区で「身近な生活道路の整備」、三田ヶ谷地区と村君地区で「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」が最も高く、特に村君地区では7割を超えています。それ以外のすべての地区で「歩道の整備」が最も高くなっています。

【交通 居住地区別集計】

(単位：%)

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
歩道の整備	① 60.4	① 50.7	① 55.5	① 56.6	② 39.4	① 48.6	① 51.4	42.9	23.3
身近な生活道路の整備	41.2	41.8	② 46.0	② 50.0	① 53.5	43.5	② 47.9	② 50.0	② 55.8
鉄道やバスなどの公共交通施設の充実	② 42.0	② 43.3	② 46.0	32.0	38.0	47.1	37.5	① 53.6	① 72.1
自転車道の整備	39.6	39.6	35.0	38.5	26.8	34.8	43.1	35.7	23.3
駅周辺や中心市街地の駐車場の整備	21.3	16.4	28.5	21.3	26.8	27.5	27.1	30.4	25.6
近隣市町を結ぶ幹線道路の整備	12.9	17.2	9.5	16.4	18.3	17.4	11.1	10.7	25.6
地域間を結ぶ幹線道路の整備	10.4	16.4	13.9	13.9	16.9	10.1	9.7	19.6	18.6
その他	4.1	1.5	3.6	1.6	1.4	2.9	6.9	1.8	2.3

※第1位～第2位を①～②で記しています。

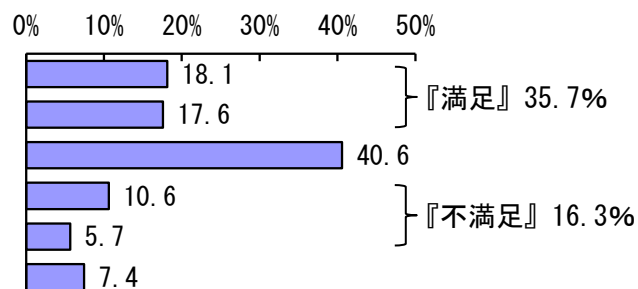
6-5 最終電車時刻

問21：最終電車時刻の満足度について伺います。【1つに〇】

- 最終電車時刻の満足度については、「普通である」が40.6%と4割を占めて最も高くなっています。
- 『満足』は35.7%、『不満足』は16.3%となっており、『満足』が『不満足』を19.4ポイント上回っています。

問21 最終電車時刻

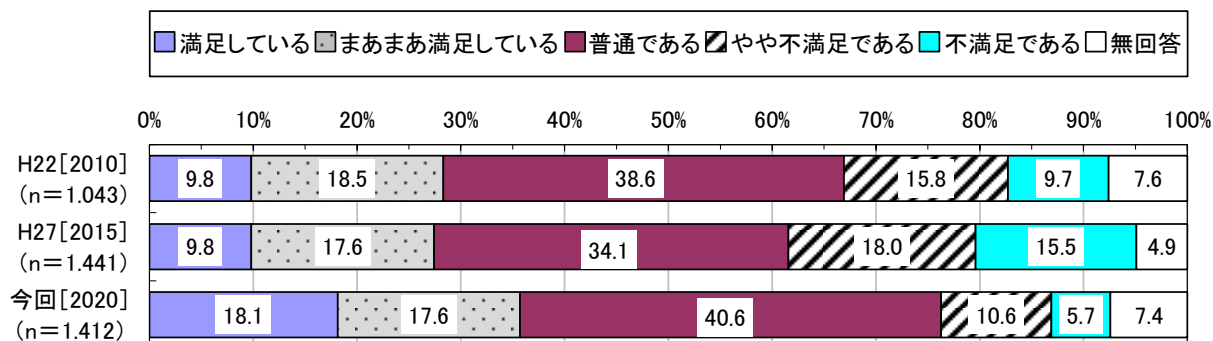
	n	%
満足している	256	18.1
まあまあ満足している	248	17.6
普通である	573	40.6
やや不満足である	150	10.6
不満足である	80	5.7
無回答	105	7.4
全体	1,412	100.0



※『満足』は「満足している」及び「まあまあ満足している」の合計、『不満足』は「やや不満足である」及び「不満足である」の合計としています。(以下同様)

- 過去調査と比較すると、「満足している」の割合はH27 [2015] より8.3ポイント上がっており、「普通である」も過去調査より高くなっています。
- 「やや不満足である」「不満足である」がともに過去調査より下がっていることから、『不満足』はH27 [2015] を半数以下まで下がっています。

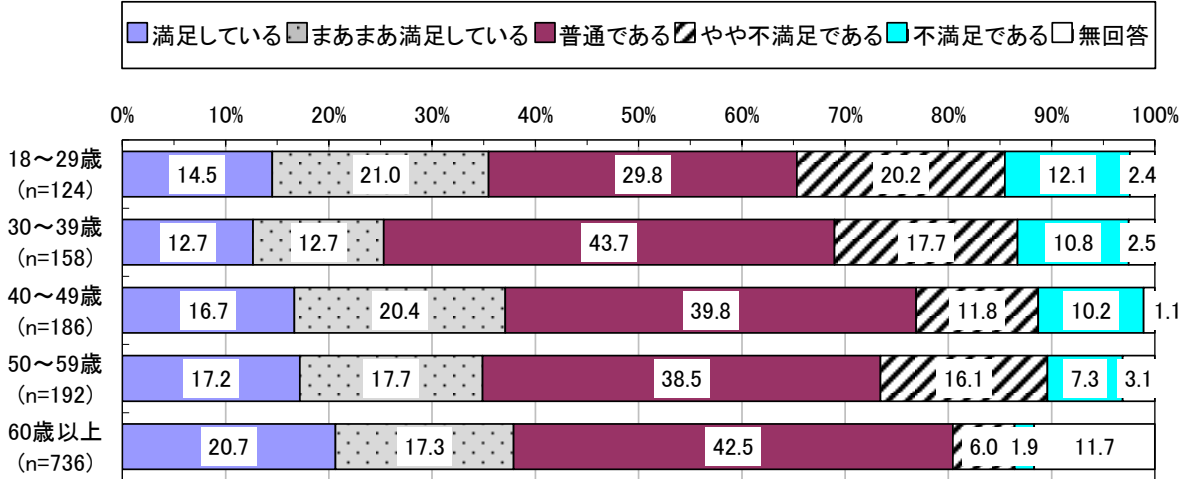
【最終電車時刻 過去調査比較】



○年齢別でみると、『満足』は30～39歳が2割半ばを占めやや低くなっていますが、それ以外のいずれの年代でも3割を超えています。

○『不満足』は18～29歳で3割を超えて、他の年代よりも高くなっています。

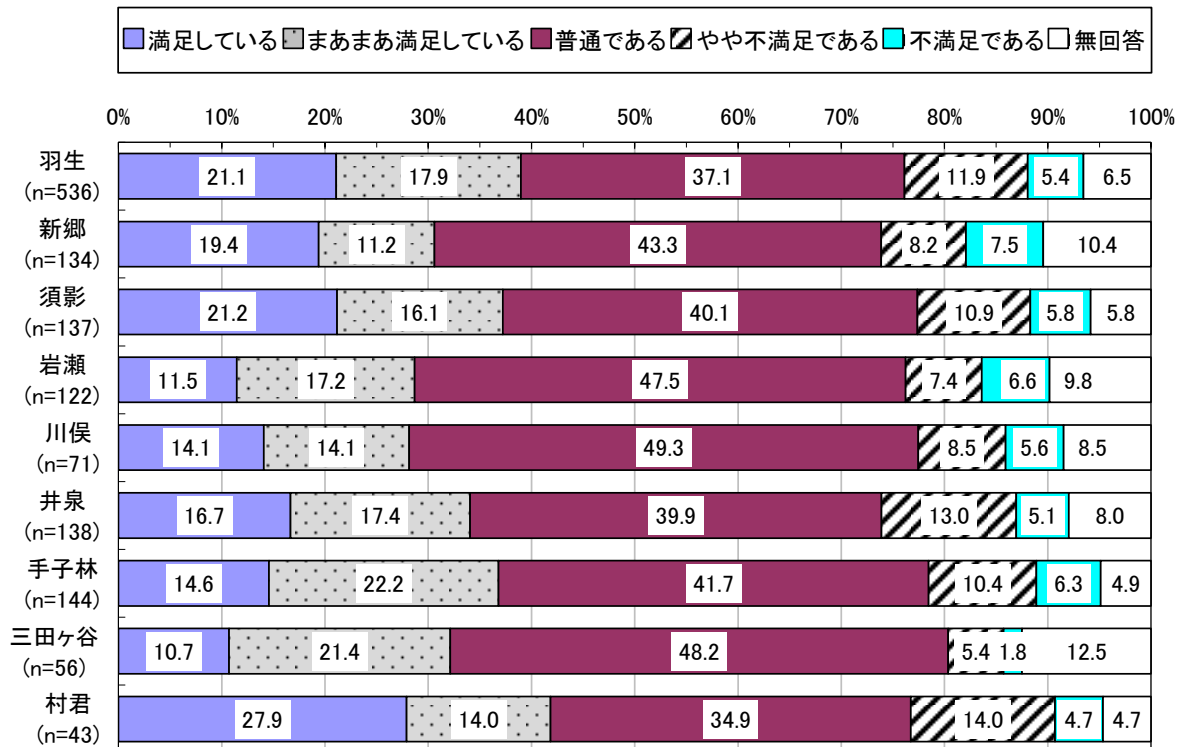
【最終電車時刻 年齢別集計】



○居住地区別でみると、岩瀬地区と川俣地区以外のすべての地区で『満足』が3割を超えており、特に村君地区では41.9%と4割を超えて他の地区よりも高くなっています。

○『不満足』は、いずれの地区でも2割を切っており、特に三田ヶ谷地区では7.2%と他の地区よりも低くなっています。

【最終電車時刻 居住地区別集計】



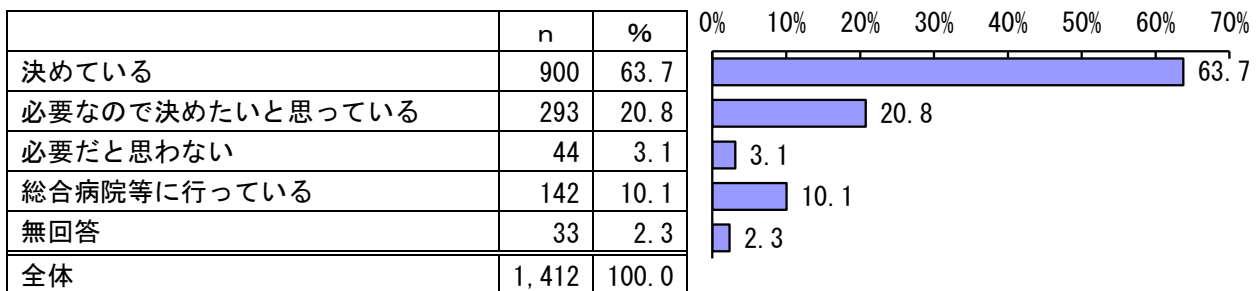
7 医療・防災・防犯について

7-1 かかりつけ医

問22：かかりつけ医を決めていますか。【1つに〇】

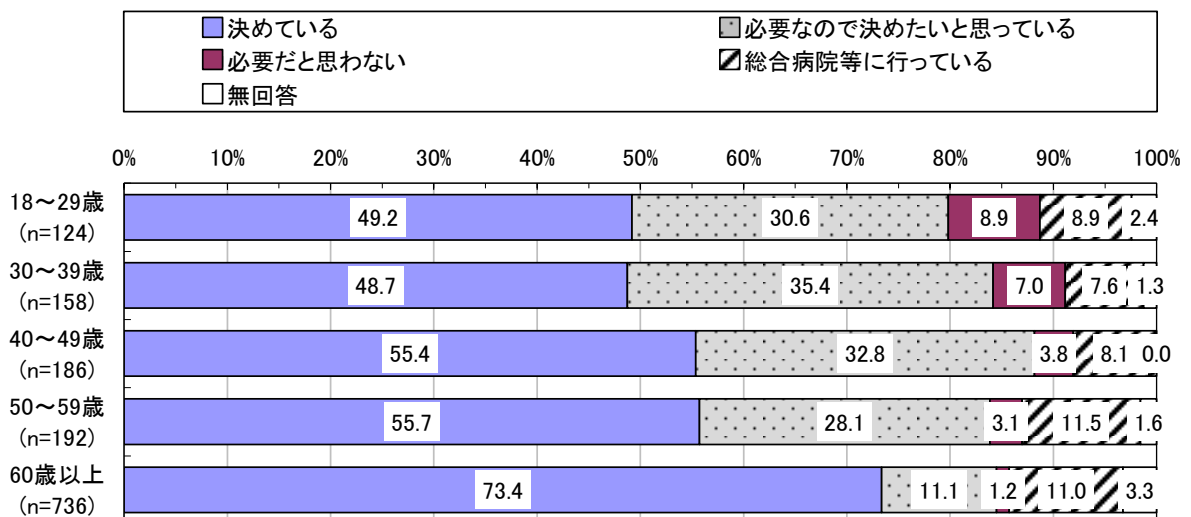
- かかりつけ医については、かかりつけ医を「決めている」が63.7%と6割を超えて最も高く、これと「総合病院等に行っている」(10.1%)を合わせると、7割以上がかかりつけ医師・病院を持っています。
- 「必要だと思わない」は3.1%と低くなっていますが、「必要なので決めたいと思っている」(20.8%)と合わせると、23.9%がかかりつけ医師・病院を持っていません。

問22 かかりつけ医



- 年齢別でみると、「決めている」は18～39歳、40～59歳、60歳以上と段階的に上がっており、特に60歳以上では73.4%と7割を超えています。
- 「必要だと思わない」は18～29歳で8.9%、30～39歳で7.0%と他の年代よりやや高くなっています。

【かかりつけ医 年齢別集計】

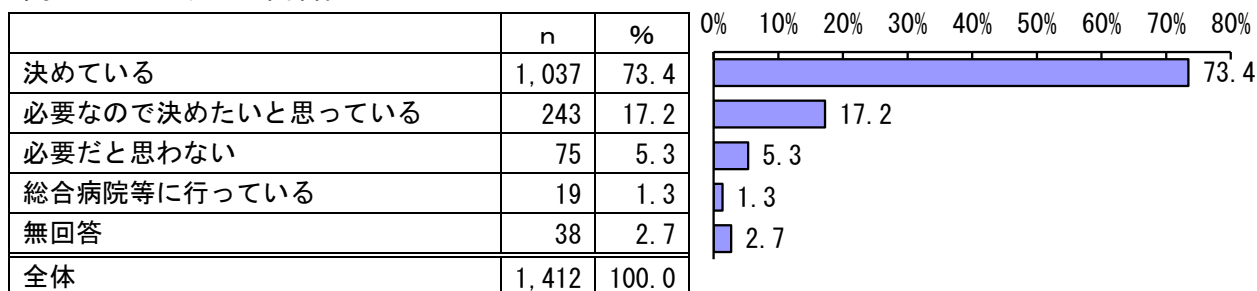


7-2 かかりつけ歯科医

問23：かかりつけ歯科医を決めていますか。【1つに〇】

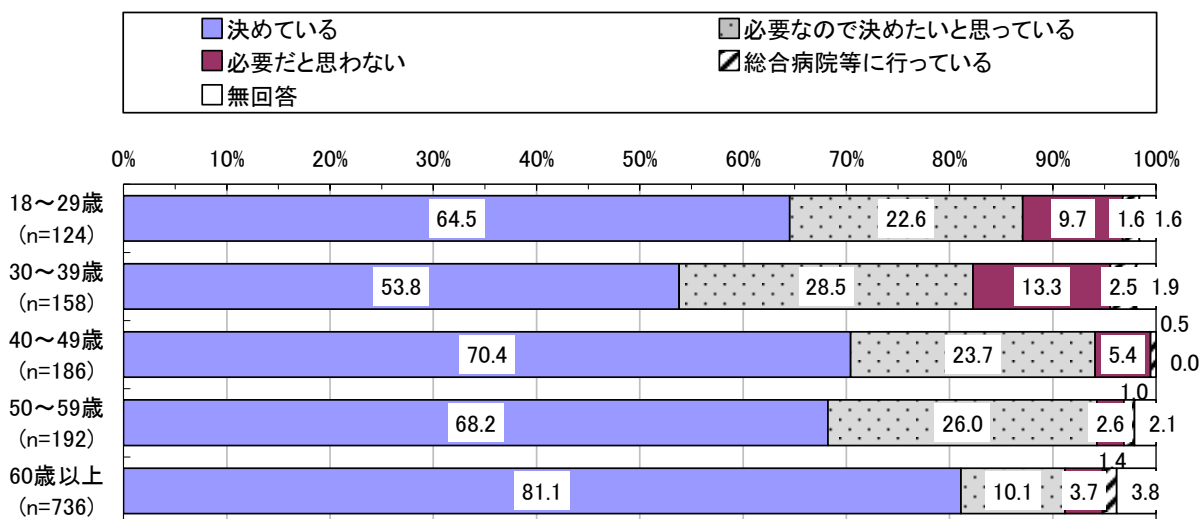
- かかりつけ歯科医については、かかりつけ歯科医を「決めている」が73.4%と7割を超えて最も高くなっています。
- 「必要だと思わない」は5.3%で、「必要なので決めたいと思っている」（17.2%）と合わせると、22.5%がかかりつけ歯科医を持っていません。

問 23 かかりつけ歯科医



- 年齢別でみると、「決めている」はいずれの年代も5割を超えており、特に60歳以上は8割を超えています。
- 「必要だと思わない」は18～29歳で9.7%、30～39歳で13.3%と1割前後を占め、他の年代より高くなっています。

【かかりつけ歯科医 年齢別集計】



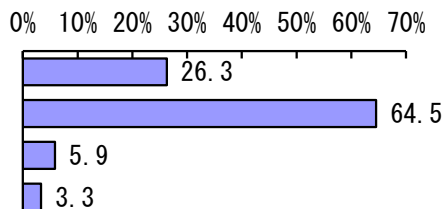
7-3 かかりつけ薬局

問24：かかりつけ薬局を決めていますか。【1つに〇】

- かかりつけ薬局については、「受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している」が64.5%と6割半ばを占め最も高く、次いでかかりつけ薬局を「決めている」が26.3%と続いています。
- 「必要だと思わない」は5.9%となっています。

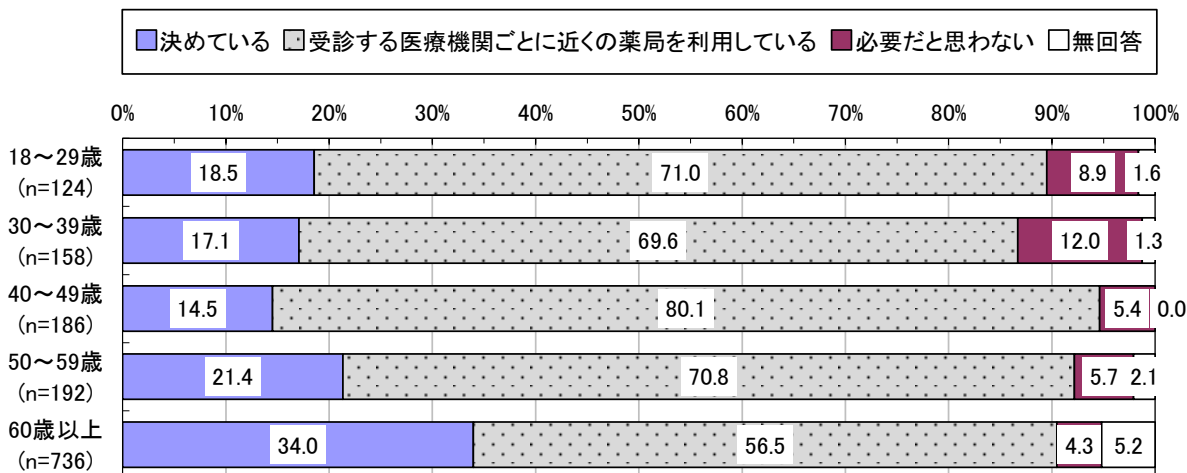
問 24 かかりつけ薬局

	n	%
決めている	371	26.3
受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している	911	64.5
必要だと思わない	83	5.9
無回答	47	3.3
全体	1,412	100.0



- 年齢別でみると、いずれの年代も「受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している」が最も高く、40～49歳では8割を占めています。「決めている」は60歳以上で34.0%と他の年代よりも高くなっています。
- 「必要だと思わない」は18～29歳で8.9%、30～39歳で12.0%と1割前後を占め、他の年代より高くなっています。

【かかりつけ薬局 年齢別集計】

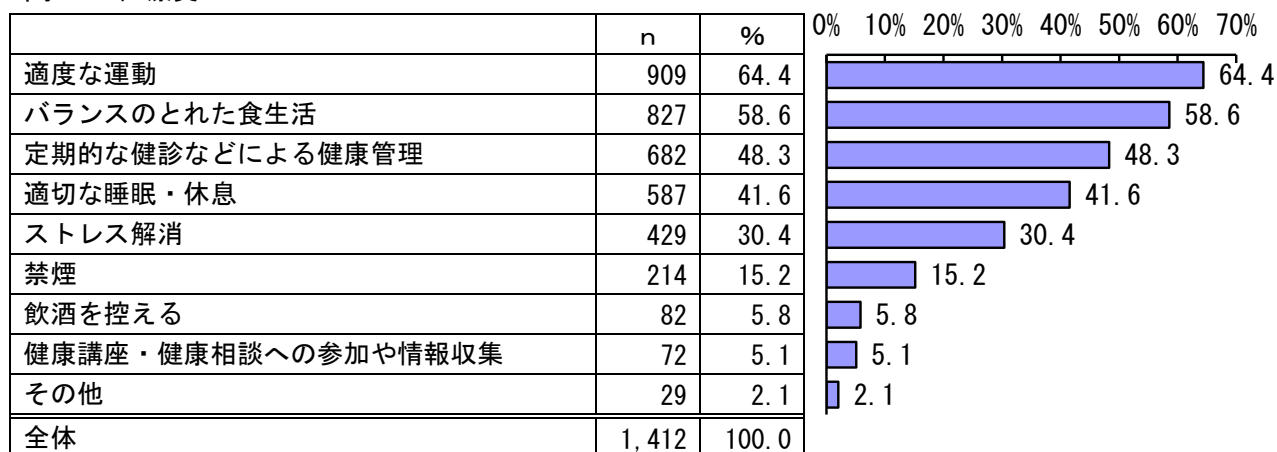


7-4 医療費

問25：市の国民健康保険における一人当たりの医療費は、増加傾向です。医療費の増加を抑え、健康でいきいきと暮らすためには、何が大切だと思いますか。【3つまで○】

○医療費の増加を抑え健康に暮らすためには、「適度な運動」が64.4%と6割を超えて最も高く、次いで「バランスのとれた食生活」(58.6%)、「定期的な健診などによる健康管理」(48.3%)が続いています。

問 25 医療費



○年齢別で見ると、すべての年代で「適度な運動」及び「バランスのとれた食生活」が5割を超えて高くなっています。また、40～49歳と60歳以上では「定期的な健診などによる健康管理」が、18～39歳では「適切な睡眠・休息」が5割を超えています。

【医療費 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
適度な運動	① 52.4	① 62.7	① 59.1	① 68.2	① 67.1
バランスのとれた食生活	② 51.6	50.6	② 51.1	② 59.4	② 63.2
定期的な健診などによる健康管理	41.1	39.2	50.0	40.1	53.3
適切な睡眠・休息	② 51.6	② 52.5	47.3	45.8	35.2
ストレス解消	45.2	40.5	39.2	31.8	23.4
禁煙	20.2	17.7	14.0	15.1	13.7
飲酒を控える	6.5	9.5	7.0	5.2	4.8
健康講座・健康相談への参加や情報収集	4.0	3.8	3.2	6.3	5.6
その他	1.6	2.5	2.7	4.2	1.2

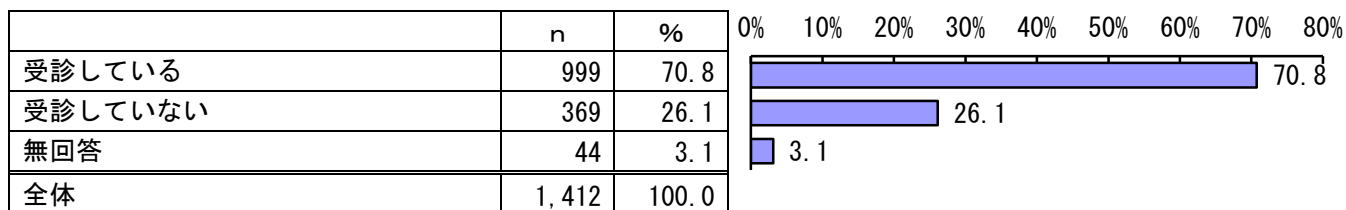
※第1位～第2位を①～②で記しています。

7-5 健康診断／理由

問26：毎年、健康診断等を受診していますか。【1つに○】

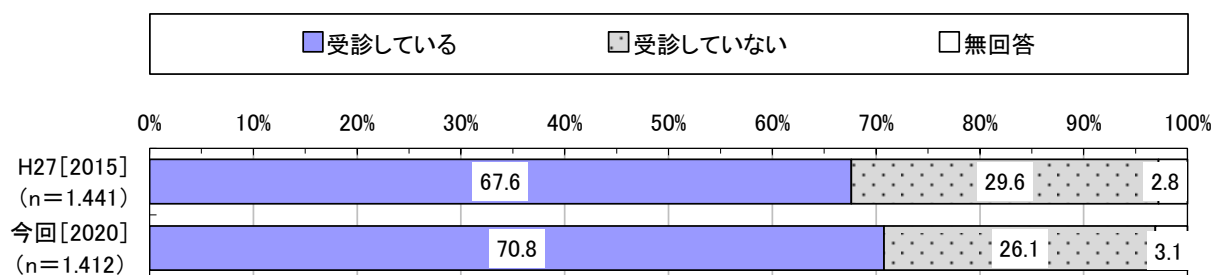
- 健康診断などの受診については、「受診している」が70.8%と7割を占めています。
- 「受診していない」は26.1%となっています。

問 26 健康診断の受診



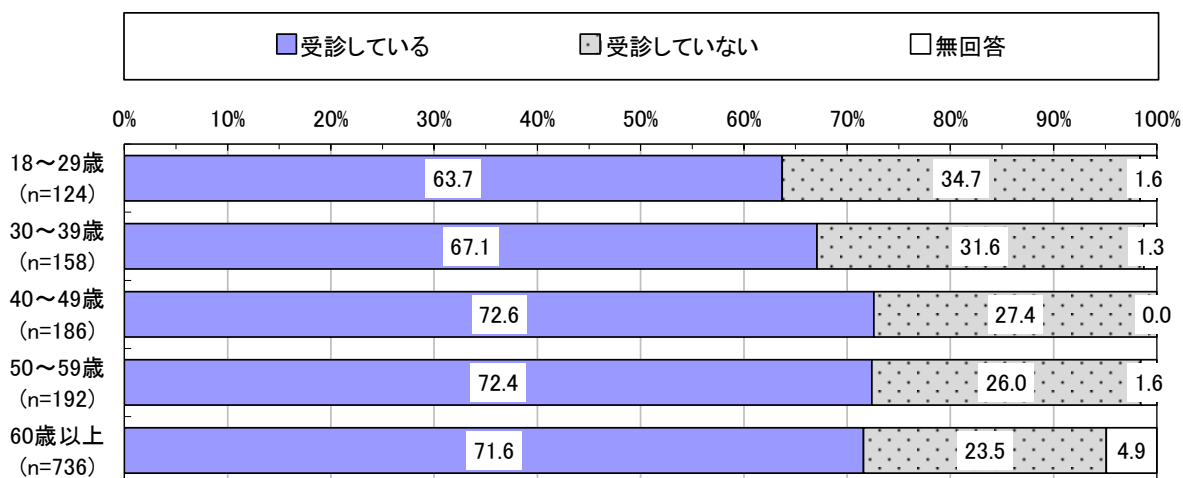
- 過去調査と比較すると、「受診している」はH27 [2015] より3.2ポイント上がっています。

【健康診断の受診 過去調査比較】



- 年齢別にみると、「受診している」はすべての年代で6割を超えており、特に40歳以上からは7割を超えています。

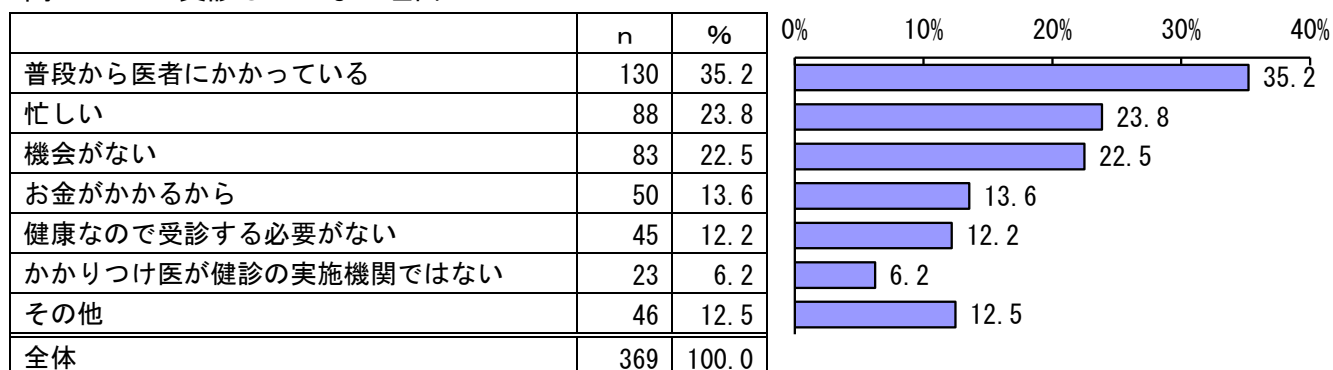
【健康診断の受診 年齢別集計】



問26— a : 健康診断等を受診していない理由は何ですか【いくつでも○】

○健康診断などを受診していない理由については、「普段から医者にかかっている」が35.2%と最も高く、次いで「忙しい」(23.8%)、「機会がない」(22.5%)と続いています。

問 26— a 受診していない理由



○年齢別でみると、18～39歳の若年層では「機会がない」が最も高く、特に18～29歳で6割に達しています。

○40～59歳では「忙しい」が最も高く、特に40～49歳で5割近くになっています。

○60歳以上では「普段から医者にかかっている」が6割と最も高くなっています。

【受診していない理由 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
普段から医者にかかっている	4.7	8.0	9.8	30.0	① 60.1
忙しい	32.6	36.0	① 49.0	① 32.0	8.7
機会がない	① 60.5	① 42.0	23.5	24.0	6.9
お金がかかるから	20.9	30.0	25.5	12.0	3.5
健康なので受診する必要がない	14.0	4.0	7.8	10.0	15.6
かかりつけ医が健診の実施機関ではない	2.3	0.0	7.8	6.0	8.7
その他	11.6	10.0	15.7	12.0	12.1

※第1位を①で記しています。

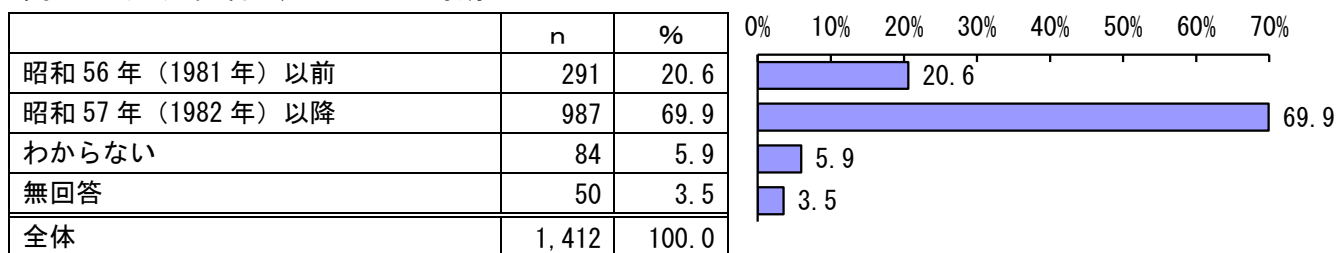
7-6 家屋の耐震状況

問27：地震による被害を最小限に抑えるためには、建物の耐震化が必要といわれています。
そこで、お住まいの家について伺います。【項目ごとにそれぞれ1つに○】

(1) お住まいの家が建てられた時期は、いつですか。

- 建築基準法新耐震基準の施行後[昭和57年(1982年)以降]に建てられた住宅が69.9%と7割を占めます。
- 旧耐震基準[昭和56年(1981年)以前]の住宅は20.6%となっています。

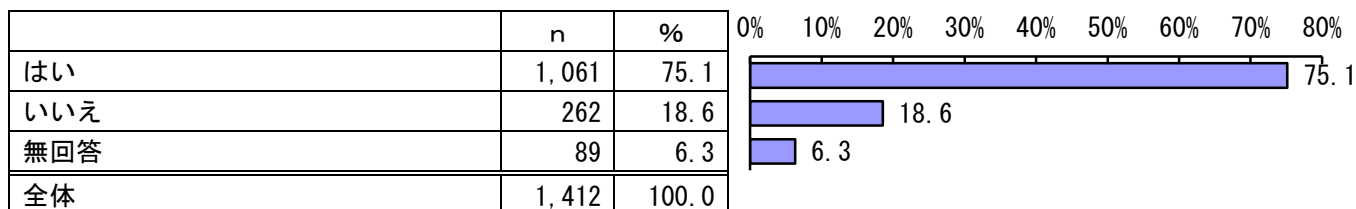
問27 (1) 住居が建てられた時期



(2) お住まいの家が地震に対して、どの程度安全か知りたいですか。

- 地震に対して安全かを知りたい人は、75.1%と7割半ばを占めており、住居の安全度に対する関心は高くなっています。

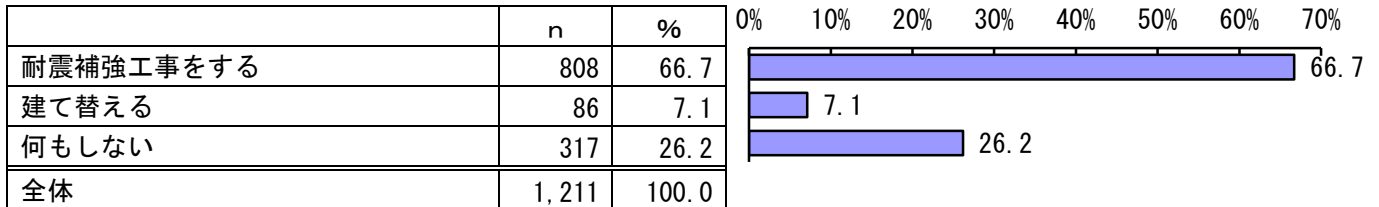
問27 (2) 住居の安全度



(3) お住まいの家が、大地震の際の安全性に問題があると分かった場合、どうしますか。

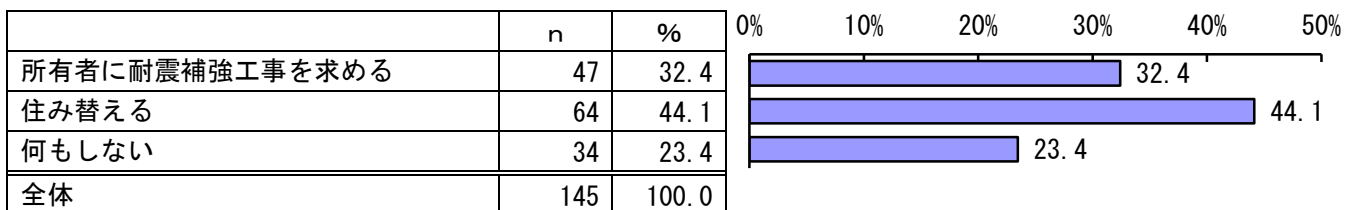
○大規模地震に対する安全性の問題が分かった場合、“持ち家”では「耐震補強工事をする」が66.7%と6割半ばを超えています。また、「建て替える」は7.1%にとどまっています。一方、「何もしない」は26.2%と2割半ばを超えています。

問 27 (3) 安全性に問題 (持ち家)



○“借家”では「住み替える」が44.1%と4割を超えて最も高く、次いで「所有者に耐震補強工事を求める」が32.4%となっています。一方、「何もしない」は23.4%と2割を超えています。

問 27 (3) 安全性に問題 (借家)



7-7 火災警報器

問28：あなたの家に住宅用火災警報器は設置されていますか。【いくつでも○】

- 住宅用火災警報器の設置されている場所については、「台所に設置されている」が47.1%と最も高く、次いで「寝室に設置されている」(30.7%)、「階段に設置されている」(20.5%)、「寝室・階段・台所以外の場所に設置されている」(13.5%)の順となっています。
- 「設置されていない」が35.6%と3割半ばを占めています。

問31 火災警報器

	n	%	
台所に設置されている	665	47.1	47.1
寝室に設置されている	434	30.7	30.7
階段に設置されている	289	20.5	20.5
寝室・階段・台所以外の場所に設置されている	191	13.5	13.5
設置されていない	503	35.6	35.6
全体	1,412	100.0	

- 「寝室」「階段」「台所」「その他の場所」いずれの場所にも設置している人は3.0%となっています。
- 1か所のみを設置している人は「台所」が18.1%と最も高くなっています。

【火災警報器 設置場所別集計】

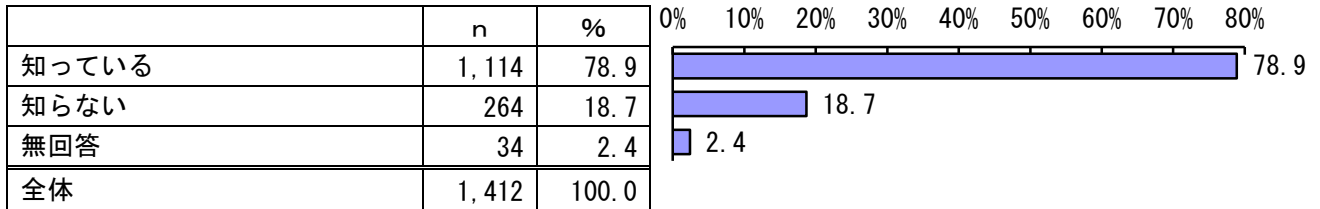
	設置場所				合計			
	寝室	階段	台所	その他	n	%	n	%
4か所以上	○	○	○	○	42	3.0	42	3.0
3か所	○	○	○		115	8.1	173	12.3
	○	○		○	4	0.3		
	○		○	○	48	3.4		
		○	○	○	6	0.4		
2か所	○	○			15	1.1	240	17.0
	○		○		124	8.8		
	○			○	24	1.7		
		○	○		63	4.5		
		○		○	2	0.1		
			○	○	12	0.8		
1か所	○				62	4.4	412	29.2
		○			42	3.0		
			○		255	18.1		
				○	53	3.8		
設置なし					503	35.6	503	35.6
無回答					42	3.0	42	3.0
				合計	1,412	100.0	1,412	100.0

7-8 避難所の認知度

問29：震災・水害時の避難所をご存じですか。【1つに○】

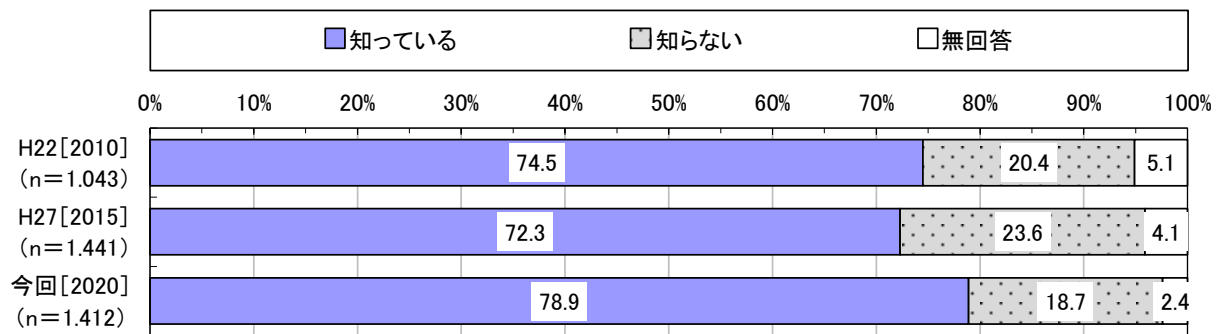
○震災・水害時の避難所については、「知っている」が78.9%と8割近くを占めています。一方、「知らない」は18.7%となっています。

問 29 避難所の認知度



○過去調査と比較すると、避難所を「知っている」はここ10年間で最も高くなっています。

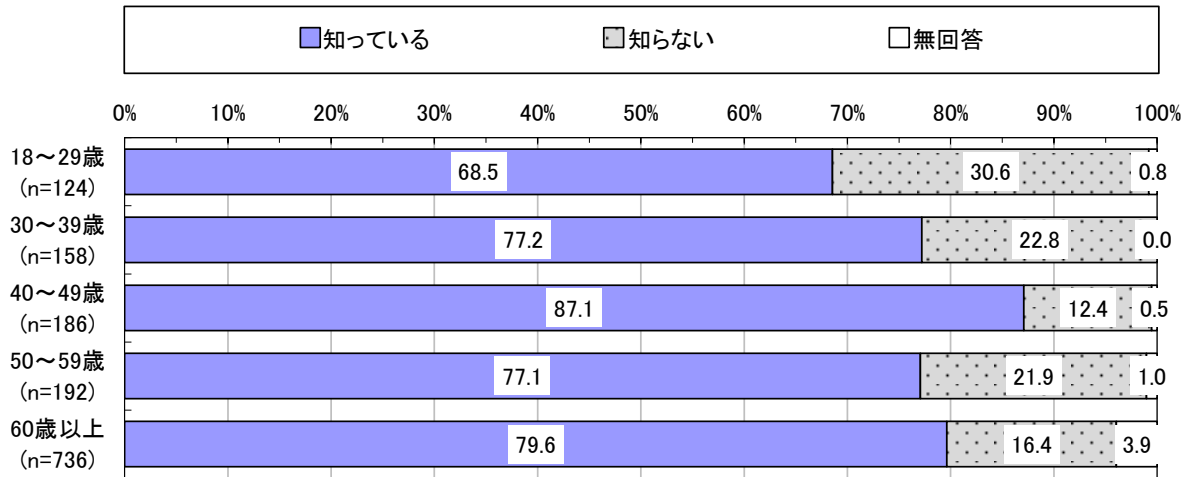
【避難所の認知度 過去調査比較】



○年齢別にみると、「知っている」は18～29歳以外のいずれの年代でも7割を超えており、特に40～49歳では87.1%と他の年代よりも高くなっています。

○「知らない」は18～29歳で3割を占め、他の年代よりも高くなっています

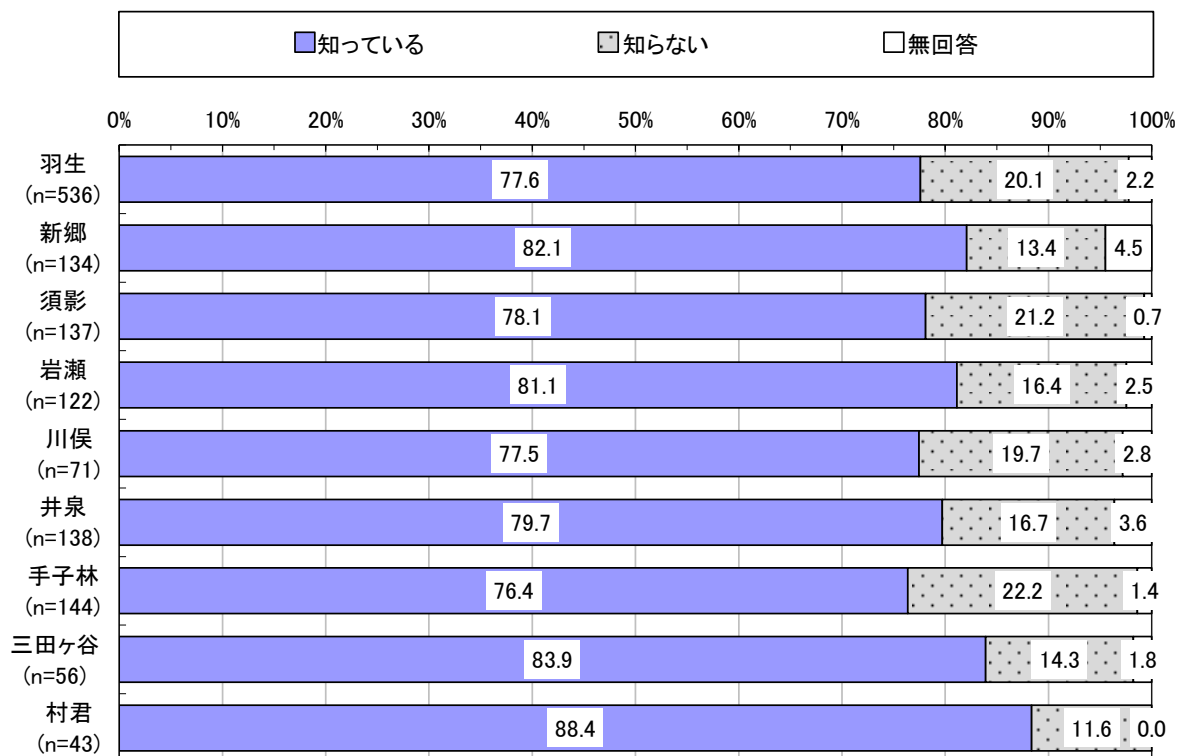
【避難所の認知度 年齢別集計】



○居住地区別にみると、すべての地区で「知っている」が7割を超え、特に新郷地区、岩瀬地区・三田ヶ谷地区・村君地区では8割を超えています。

○「知らない」は羽生地区、須影地区、手子林地区で2割を超えてやや高くなっています。

【避難所の認知度 居住地区別集計】

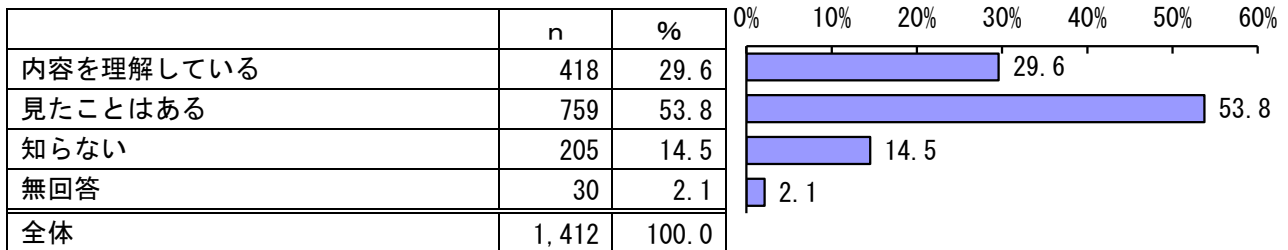


7-9 ハザードマップの認知度

問30：ハザードマップをご存じですか。【1つに○】

○ハザードマップについては、「見たことはある」が53.8%と半数を超えて最も高く、「内容を理解している」が29.6%と3割を占めています。一方、「知らない」は14.5%となっています。

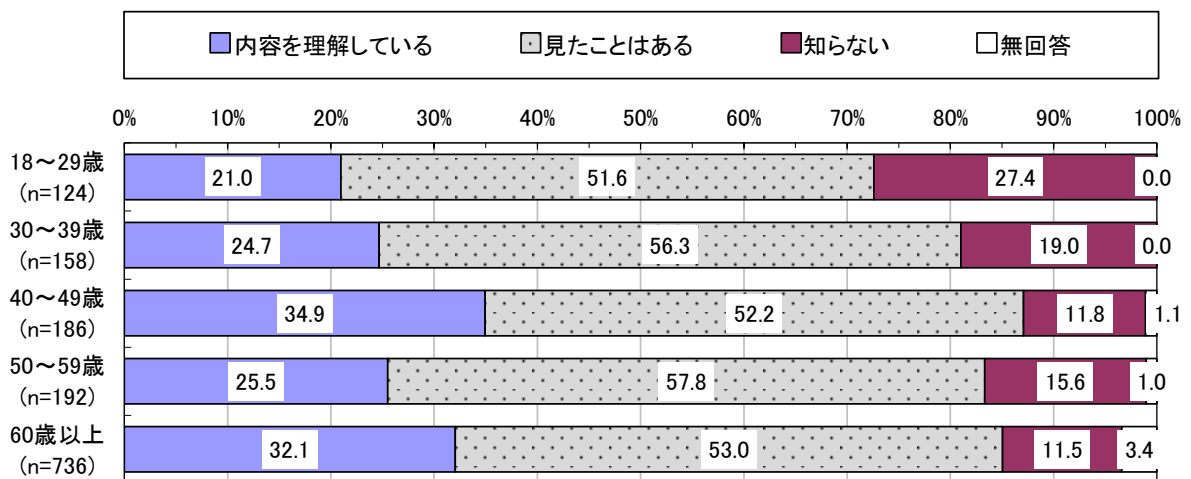
問30 ハザードマップの認知度



○年齢別にみると、「内容を理解している」は40～49歳と60歳以上で3割を超えています。

○「知らない」は18～29歳で27.4%と、他の年代よりも高くなっています

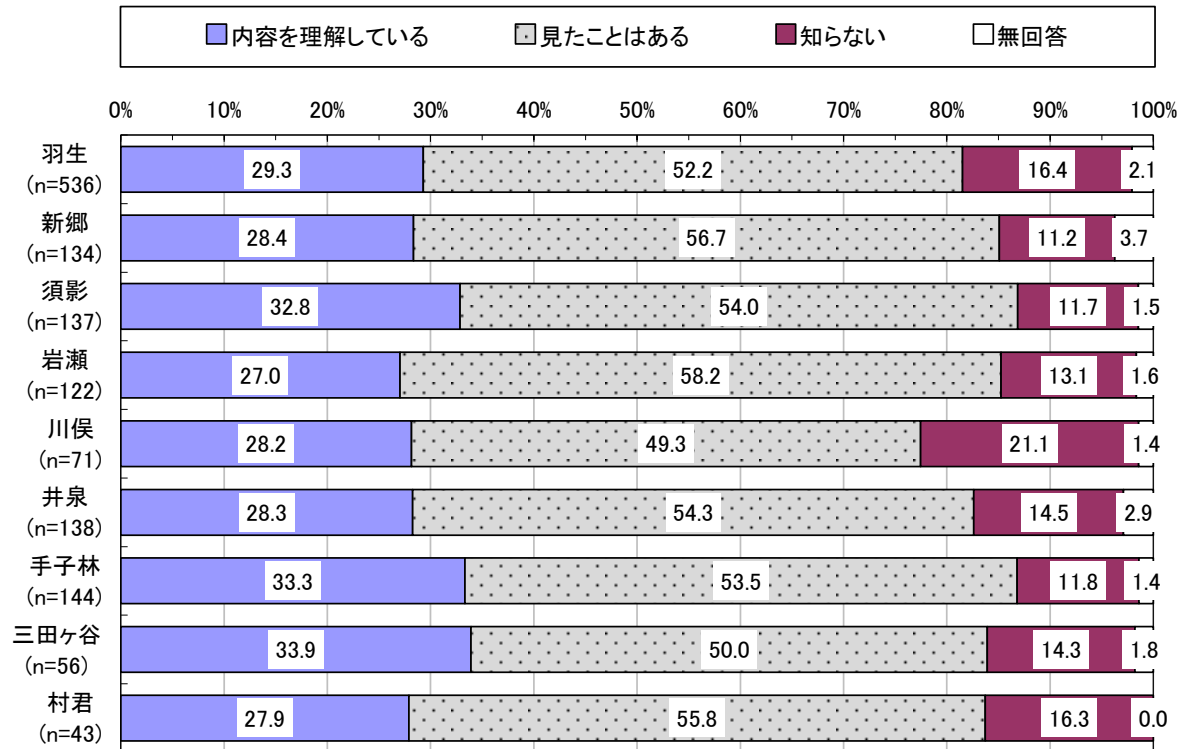
【ハザードマップの認知度 年齢別集計】



○居住地区別にみると、いずれの地区も「内容を理解している」が3割前後を占め、特に須影地区、手子林地区・三田ヶ谷地区では3割を超えています。

○「知らない」は川俣地区で2割を超えて、他の地区よりも高くなっています。

【ハザードマップの認知度 居住地区別集計】



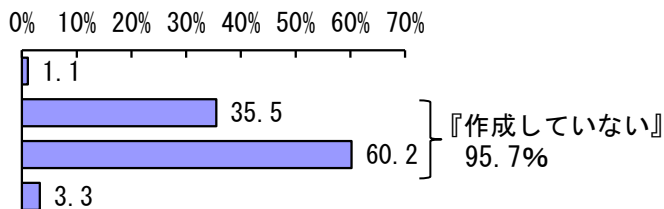
7-10 マイ・タイムラインの作成状況

問31：マイ・タイムラインを作成していますか。【1つに○】

- マイ・タイムラインについては、「知らない」が60.2%と6割を占めて最も高く、これに「知っているが作成していない」(35.5%)を合わせた『作成していない』は95.7%と9割半ばを占めています。
- 「作成している」は1.1%となっています。

問31 マイ・タイムラインの作成状況

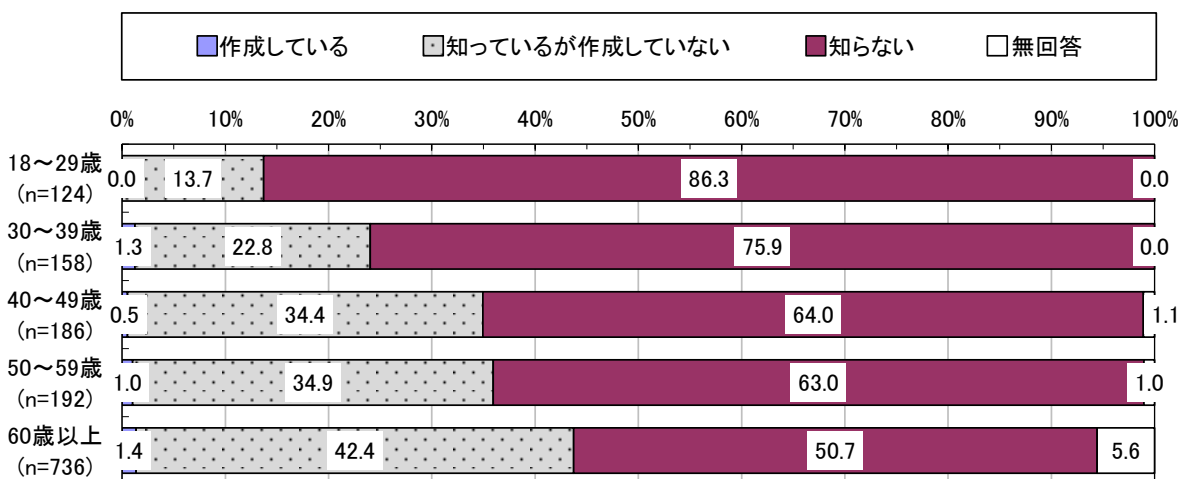
	n	%
作成している	15	1.1
知っているが作成していない	501	35.5
知らない	850	60.2
無回答	46	3.3
全体	1,412	100.0



※『作成していない』は「知っているが作成していない」及び「知らない」の合計としています。(以下同様)

- 年齢別にみると、「知っているが作成していない」は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、60歳以上で4割を超えています。
- 「知らない」は18～29歳で86.3%と8割半ばを超えて、他の年代よりも高くなっています

【マイ・タイムラインの作成状況 年齢別集計】

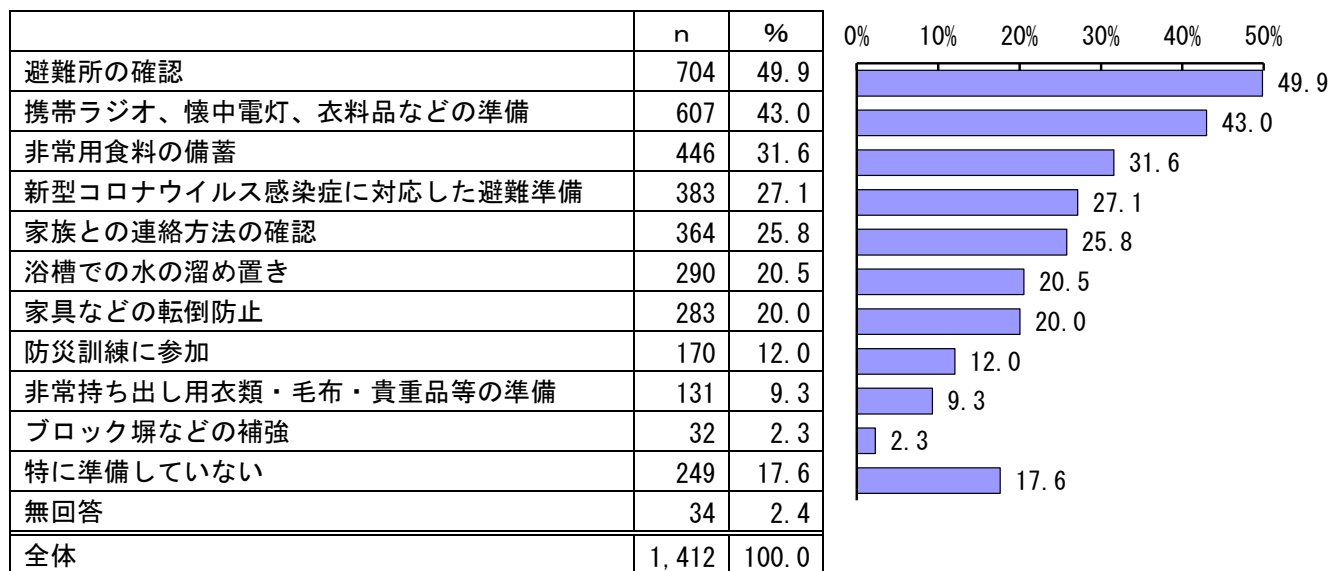


7-11 災害時の備え

問32：震災や水害などの災害時に備えてどのような準備をしていますか。【いくつでも○】

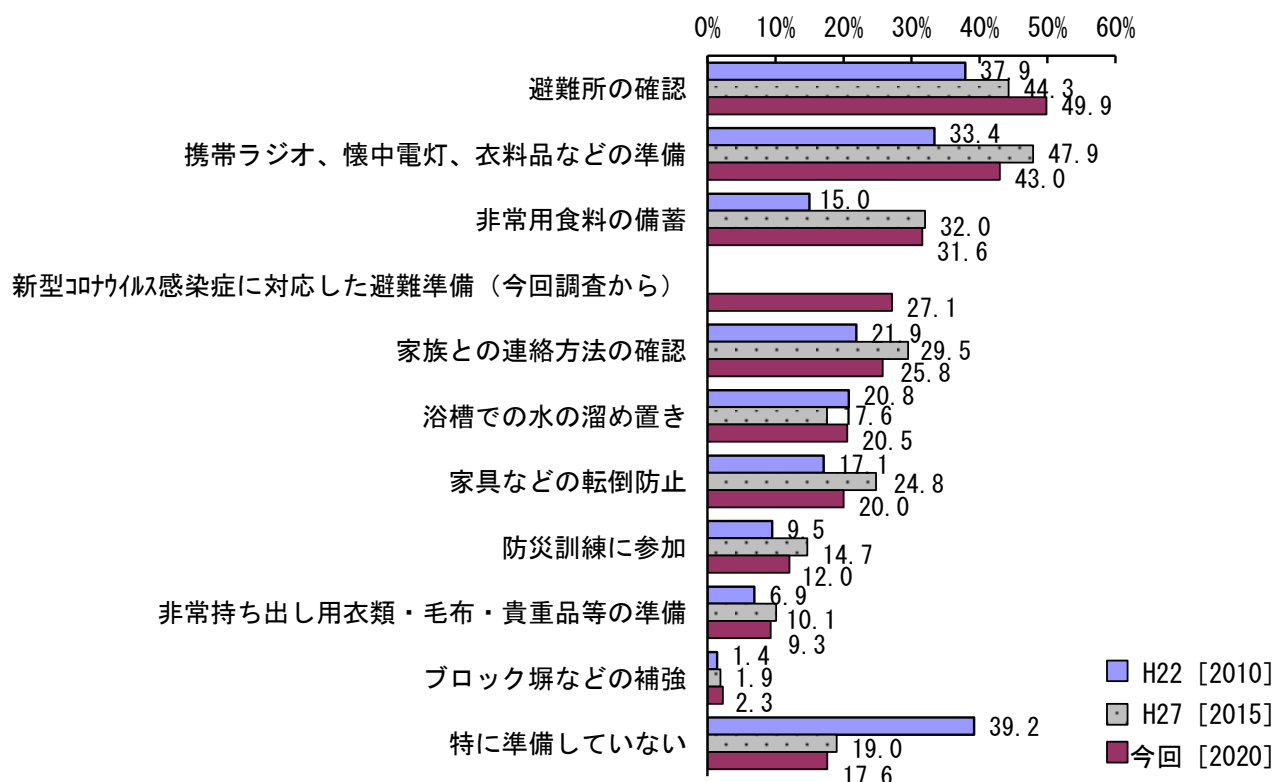
- 災害時の備えについては、「避難所の確認」が49.9%と5割近くで最も高く、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」(43.0%)、「非常用食料の備蓄」(31.6%)、「新型コロナウイルス感染症に対応した避難準備」(27.1%)が続いています。
- 「特に準備していない」は17.6%となっています。

問 32 災害時の備え



- 過去調査と比較すると、「避難所の確認」は調査ごとに上がっていく傾向にありますが、「避難所の確認」「浴槽での水の溜め置き」「ブロック塀などの補強」以外の項目はH27 [2015] より下がっています。

【災害時の備え 過去調査比較】



○年齢別でみると、すべての年代で「避難所の確認」が最も高く、上位3項目がいずれの年代でも上位3位となっています。

○「特に準備していない」は年代が下がるにつれて高くなる傾向にあります。

【災害時の備え 年齢別集計】

(単位:%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
避難所の確認	① 41.1	① 46.2	① 58.1	① 54.7	① 49.2
携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備	② 37.1	③ 39.2	② 38.7	② 37.5	② 47.7
非常用食料の備蓄	③ 30.6	② 40.5	③ 36.6	③ 32.3	③ 28.7
新型コロナウイルス感染症に対応した避難準備	21.0	25.9	31.7	25.0	28.1
家族との連絡方法の確認	27.4	24.7	29.0	29.2	24.5
浴槽での水の溜め置き	6.5	15.8	16.7	20.3	24.7
家具などの転倒防止	17.7	17.1	16.7	22.4	21.2
防災訓練に参加	3.2	5.1	8.1	14.6	15.4
非常持ち出し用衣類・毛布・貴重品等の準備	6.5	15.2	8.6	6.8	9.4
ブロック塀などの補強	2.4	2.5	1.6	2.6	2.2
特に準備していない	24.2	23.4	19.4	18.8	14.7

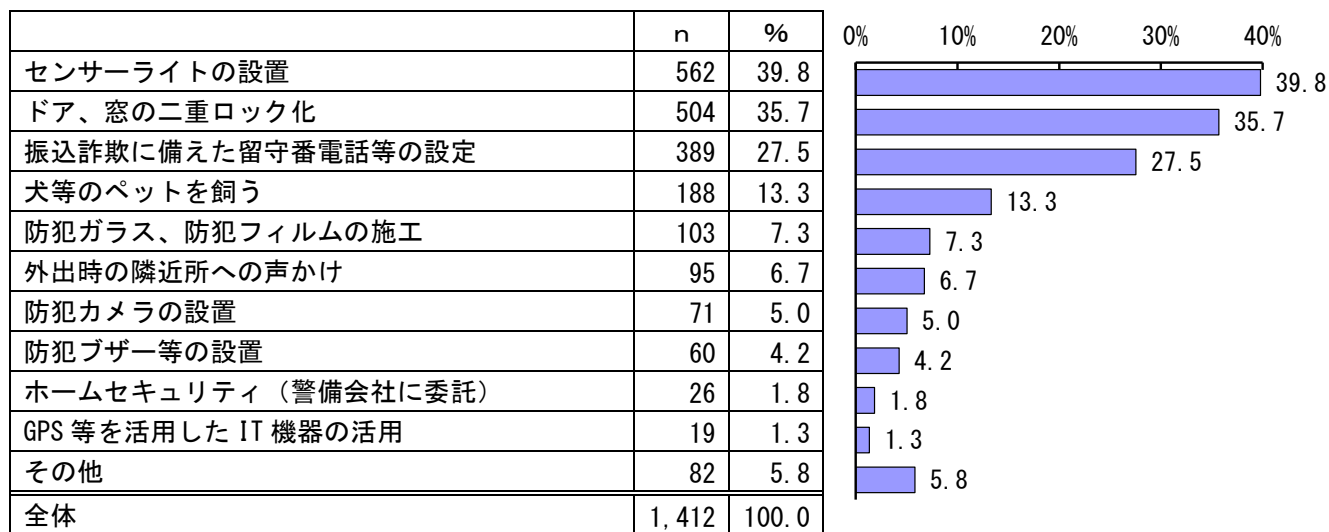
※第1位～第3位を①～③で記しています。

7-12 防犯対策

問33：現在行っている防犯対策は何ですか。【いくつでも○】

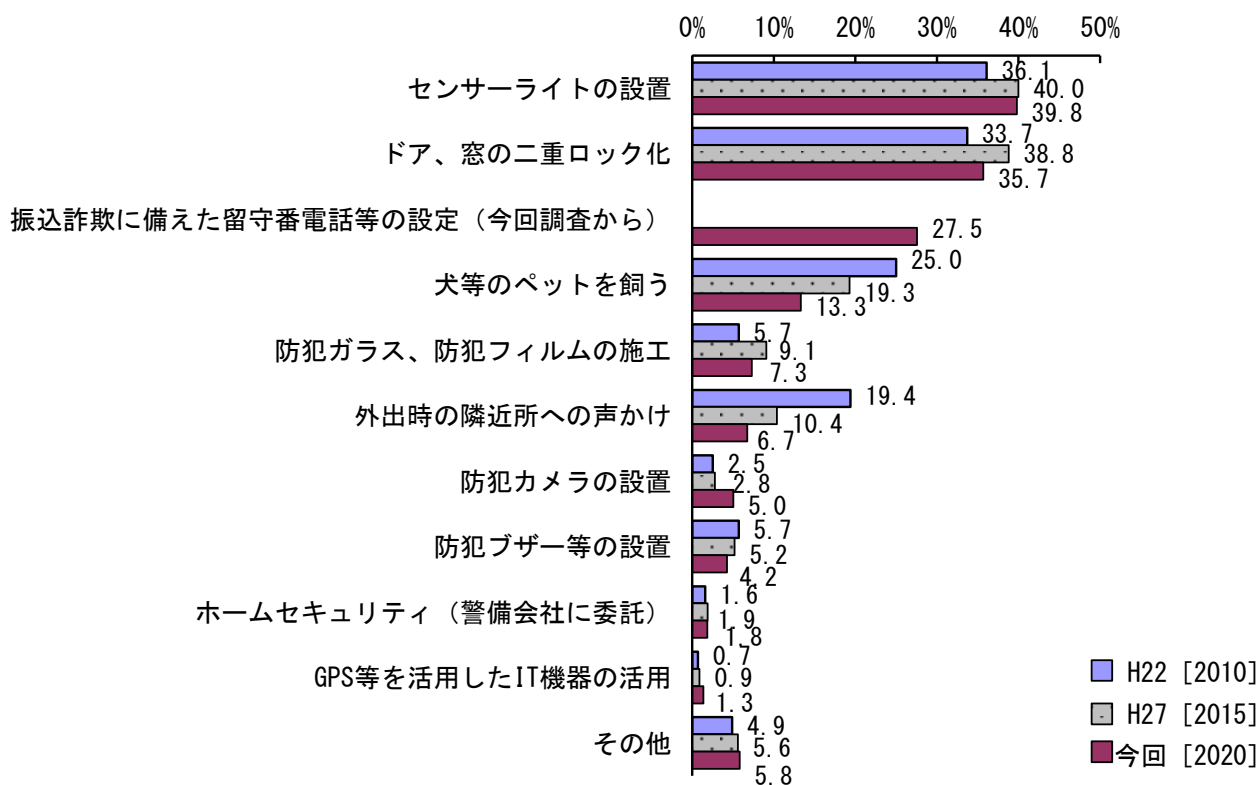
○防犯対策については、「センサーライトの設置」が39.8%と4割で最も高く、次いで「ドア、窓の二重ロック化」(35.7%)、「振込詐欺に備えた留守番電話等の設定」(27.5%)と続いています。

問 33 防犯対策



○過去調査と比較すると、「センサーライトの設置」がH27 [2015] とほぼ変わらず最も高くなっています。
 ○「防犯カメラの設置」「GPS等を活用したIT機器の活用」以外の項目は全体的にH27 [2015] より下がっており、特に「犬等のペットを飼う」「外出時の隣近所への声かけ」は調査ごとに大きく下がっていく傾向にあります。

【防犯対策 過去調査比較】



- 年齢別でみると、上位4項目内にいずれの年代も上位3位が入っています。
- 「振込詐欺に備えた留守番電話等の設定」は50歳以上で3割を超えています。

【防犯対策 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
センサーライトの設置	② 25.0	② 36.7	① 47.8	① 44.8	① 39.8
ドア、窓の二重ロック化	① 37.9	① 44.3	② 37.6	② 39.1	③ 31.7
振込詐欺に備えた留守番電話等の設定	13.7	③ 17.7	17.7	③ 31.8	② 33.7
犬等のペットを飼う	③ 19.4	10.8	③ 18.3	19.3	10.2
防犯ガラス、防犯フィルムの施工	9.7	11.4	9.1	7.3	5.4
外出時の隣近所への声かけ	2.4	2.5	4.3	4.7	9.4
防犯カメラの設置	4.8	5.1	4.8	6.8	4.6
防犯ブザー等の設置	2.4	5.1	4.8	1.6	4.9
ホームセキュリティ(警備会社に委託)	2.4	1.9	1.1	2.1	1.8
GPS等を活用したIT機器の活用	1.6	3.2	1.1	1.0	1.0
その他	12.9	4.4	3.8	6.3	5.4

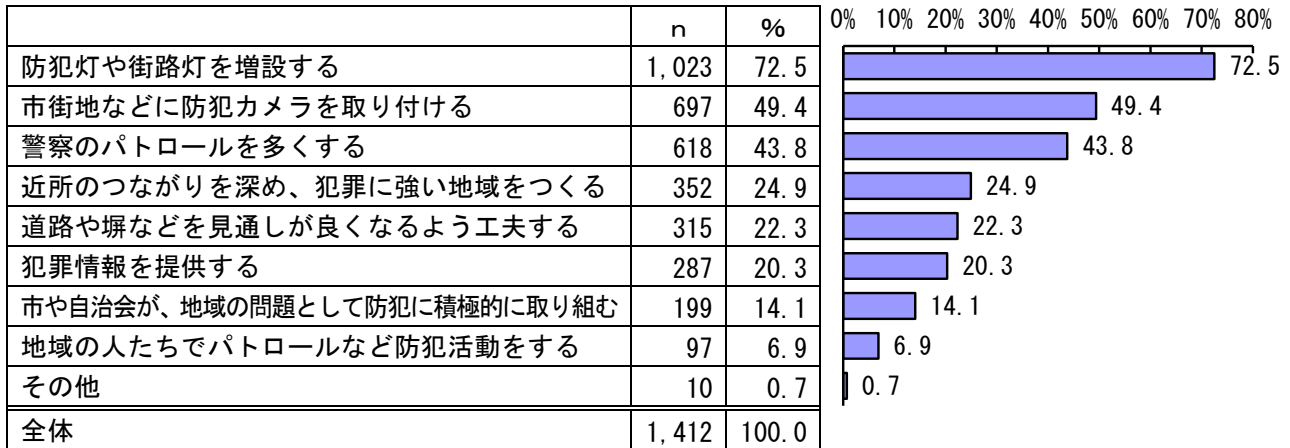
※第1位～第3位を①～③で記しています。

7-13 犯罪防止策

問34：身の回りで起きる犯罪を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。【3つまで○】

○犯罪を防止するために必要なことについては、「防犯灯や街路灯を増設する」が72.5%と7割を超えて最も高く、次いで「市街地などに防犯カメラを取り付ける」(49.4%)、「警察のパトロールを多くする」(43.8%)、「近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる」(24.9%)と続いています。

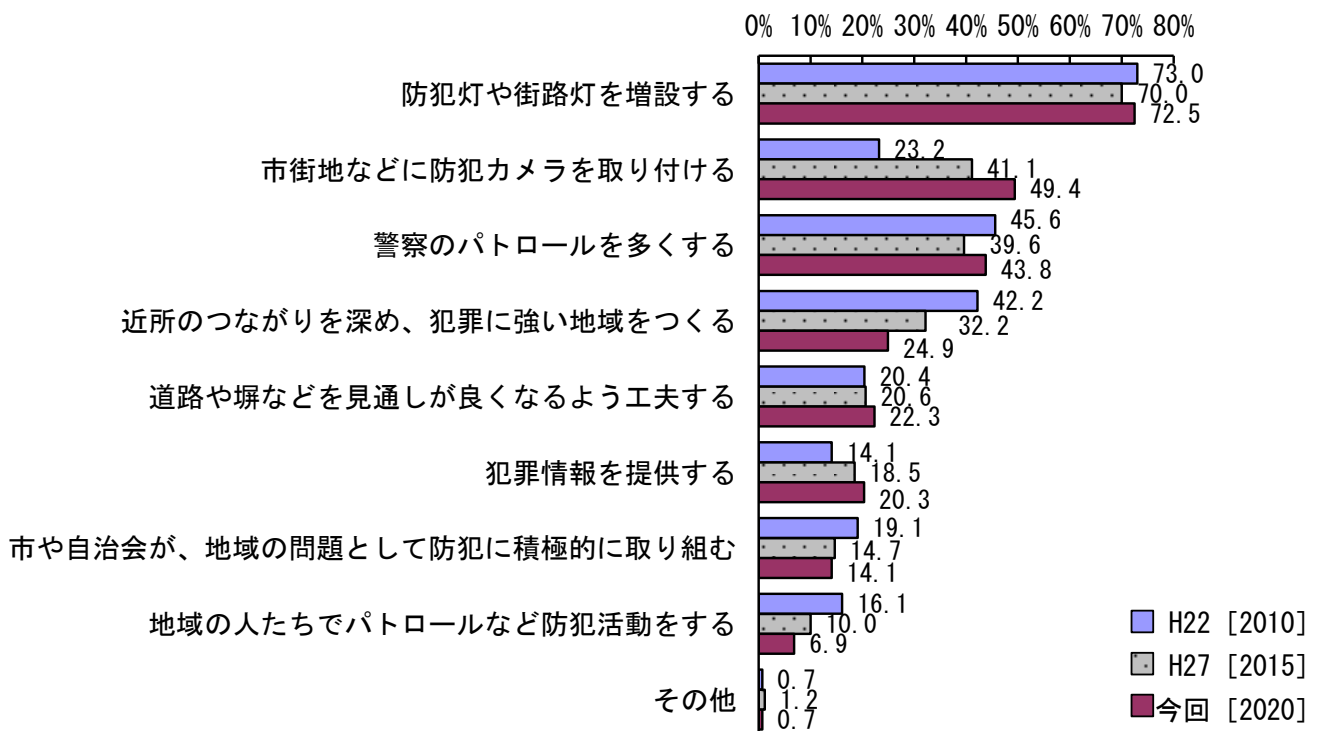
問34 犯罪防止策



○過去調査と比較すると、全体の順位はH27 [2015] と同じ順番になっています。

○「近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる」「市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む」「地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする」が下がっている傾向にあります。

【犯罪防止策 過去調査比較】



- 年齢別でみると、いずれの年代も「防犯灯や街路灯を増設する」「市街地などに防犯カメラを取り付ける」「警察のパトロールを多くする」の順に高くなっています。
- 「近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる」は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、60歳以上で3割を超えて他の年代よりも高くなっています。

【犯罪防止策 年齢別集計】

(単位:%)

	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
防犯灯や街路灯を増設する	① 80.6	① 83.5	① 74.7	① 64.6	① 70.2
市街地などに防犯カメラを取り付ける	② 53.2	② 54.4	② 57.5	② 51.6	② 45.2
警察のパトロールを多くする	③ 33.1	③ 46.2	③ 46.2	③ 44.3	③ 43.9
近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる	12.9	13.3	19.9	24.0	31.3
道路や塀などを見通しが良くなるよう工夫する	25.0	20.3	23.1	20.8	23.0
犯罪情報を提供する	21.8	27.2	23.7	34.4	14.4
市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む	10.5	6.3	10.2	10.9	17.8
地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする	12.1	10.8	8.6	4.2	5.6
その他	1.6	0.6	1.6	1.6	0.1

※第1位～第3位を①～③で記しています。

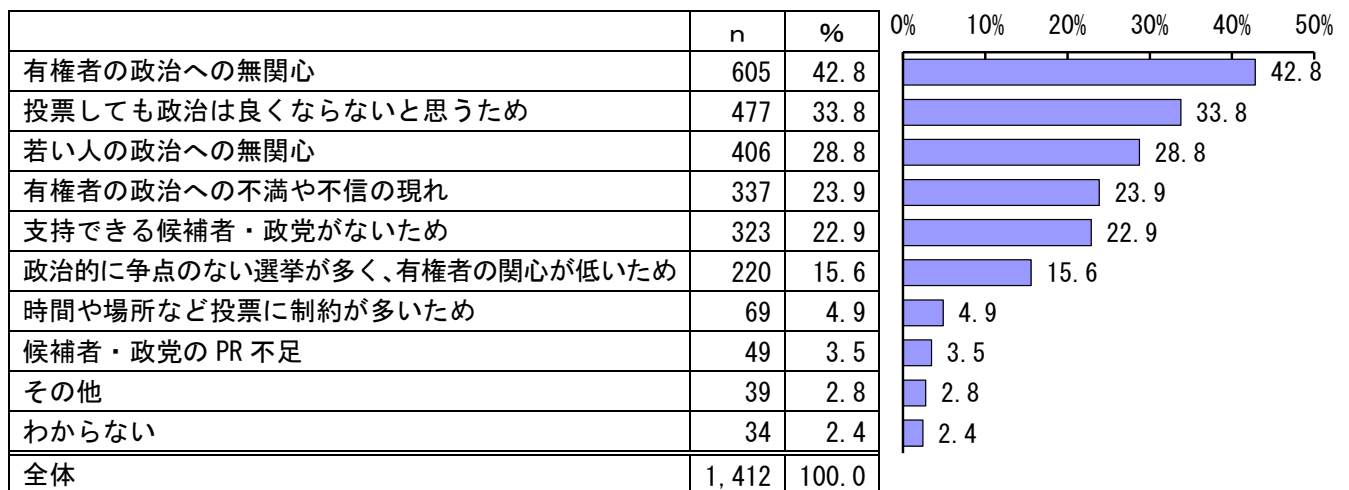
8 選挙について

8-1 投票率の低い理由

問35：最近、選挙の投票率の低い状態が続いています。その理由は何だと思いますか。【2つまで○】

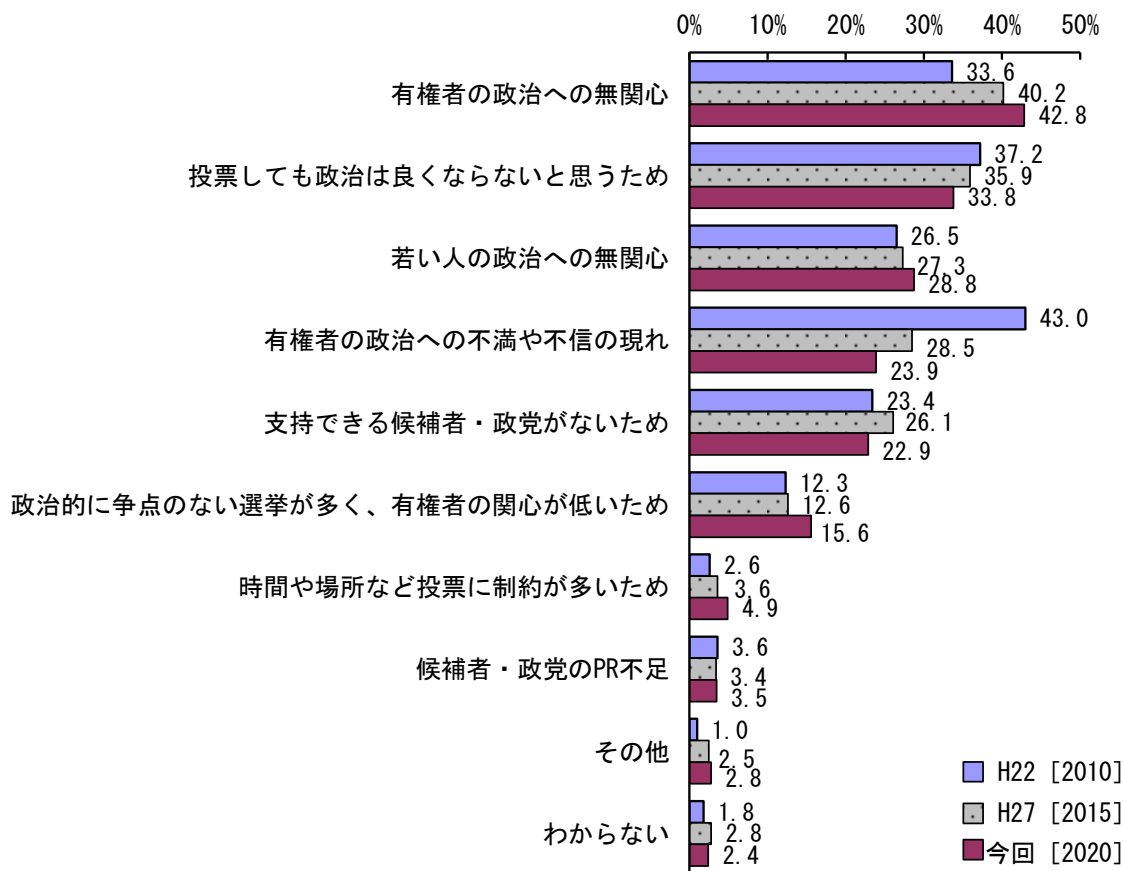
○投票率が低い理由については、「有権者の政治への無関心」が42.8%と4割を超えて最も高く、次いで「投票しても政治は良くなれないと思うため」(33.8%)、「若い人の政治への無関心」(28.8%)と続いています。

問 35 投票率の低い理由



○過去調査と比較すると、「有権者の政治への無関心」「若い人の政治への無関心」「政治的に争点のない選挙が多く、有権者の関心が低い」といった政治や選挙への無関心が調査ごとに上がっていく傾向にあります。

【投票率の低い理由 過去調査比較】



○年齢別でみると、18～29歳では「若い人の政治への無関心」48.4%と5割近くで他の年代よりも高くなっています。30歳以上ではいずれの年代も「有権者の政治への無関心」が最も高くなっています。

【投票率の低い理由 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
有権者の政治への無関心	② 43.5	① 41.8	① 47.3	① 45.3	① 40.9
投票しても政治は良くならないと思うため	27.4	② 36.1	② 40.3	② 34.9	② 32.2
若い人の政治への無関心	① 48.4	22.8	19.9	22.9	30.4
有権者の政治への不満や不信の現れ	11.3	20.9	20.4	26.0	27.2
支持できる候補者・政党がないため	26.6	28.5	25.3	28.6	19.3
政治的に争点のない選挙が多く、有権者の関心が低い	6.5	10.1	12.4	13.0	19.8
時間や場所など投票に制約が多いため	10.5	7.0	5.9	5.7	3.0
候補者・政党のPR不足	1.6	3.8	7.0	3.1	3.0
その他	0.8	7.0	2.2	3.1	2.3
わからない	4.0	3.8	1.6	3.1	1.9

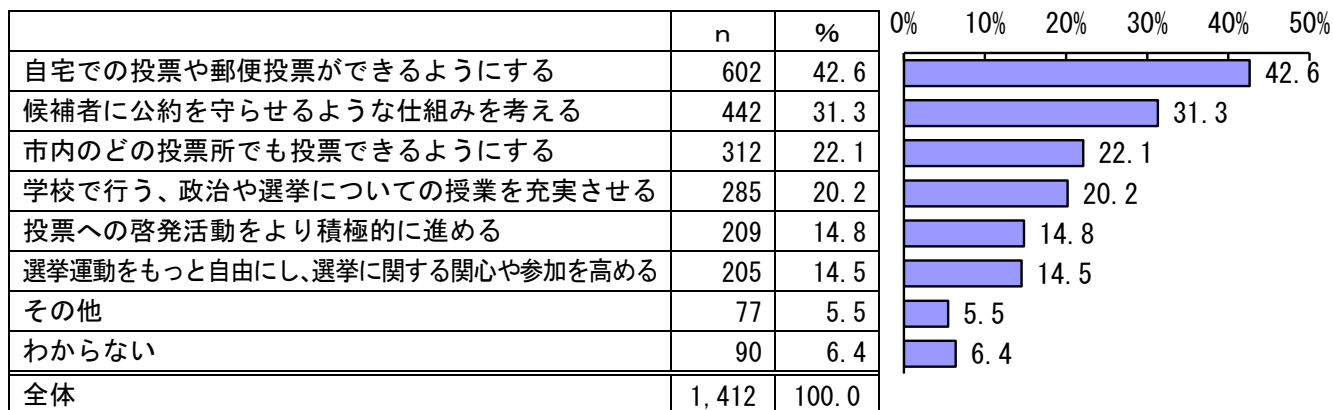
※第1位～第2位を①～②で記しています。

8-2 投票率を上げる方法

問36：選挙の投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。【2つまで○】

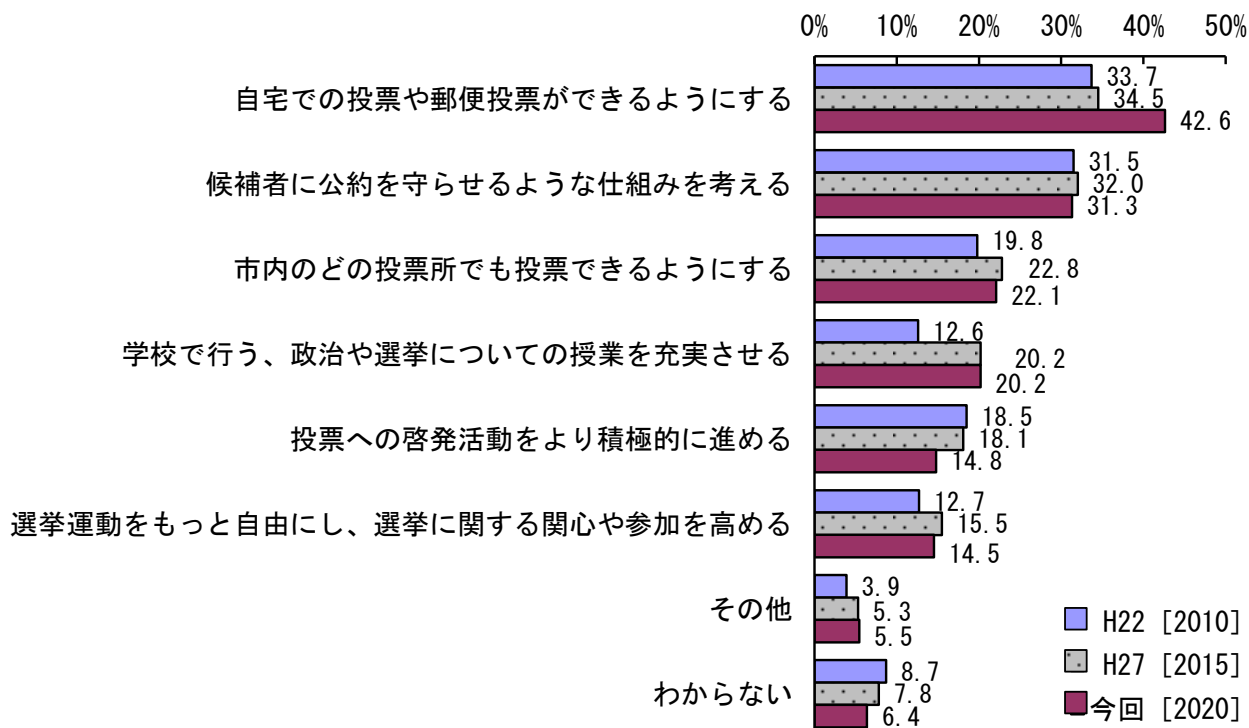
○投票率を上げる方法については、「自宅での投票や郵便投票ができるようにする」が42.6%と4割を超えて最も高く、次いで「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」(31.3%)が続いています。

問 36 投票率を上げる方法



○過去調査と比較すると、全体的な順番はH27 [2015]と同じですが、「自宅での投票や郵便投票ができるようにする」はH27 [2015]より8.1ポイント大きく上がっています。

【投票率を上げる方法 過去調査比較】



- 年齢別でみると、いずれの年代でも「自宅での投票や郵便投票ができるようにする」が最も高く、40歳未満で5割、40～59歳で4割となっています。
- 二番目に高い投票率を上げる方法は、18～29歳で「学校で行う、政治や選挙についての授業を充実させる」が3割に達し最も高くなっています。それ以外の年代ではいずれも「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」が3割前後となっています。

【投票率を上げる方法 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
自宅での投票や郵便投票ができるようにする	① 52.4	① 53.8	① 45.2	① 46.9	① 36.7
候補者に公約を守らせるような仕組みを考える	23.4	② 34.8	② 34.4	② 29.2	② 31.8
市内のどの投票所でも投票できるようにする	20.2	18.4	25.8	25.5	21.3
学校で行う、政治や選挙についての授業を充実させる	② 30.6	17.7	23.7	22.9	17.3
投票への啓発活動をより積極的に進める	7.3	5.7	8.6	12.0	20.2
選挙運動をもっと自由にし、選挙に関する関心や参加を高める	12.1	13.9	10.2	11.5	17.1
その他	8.1	11.4	7.0	7.3	3.0
わからない	8.9	5.7	4.3	5.7	6.8

※第1位～第2位を①～②で記しています。

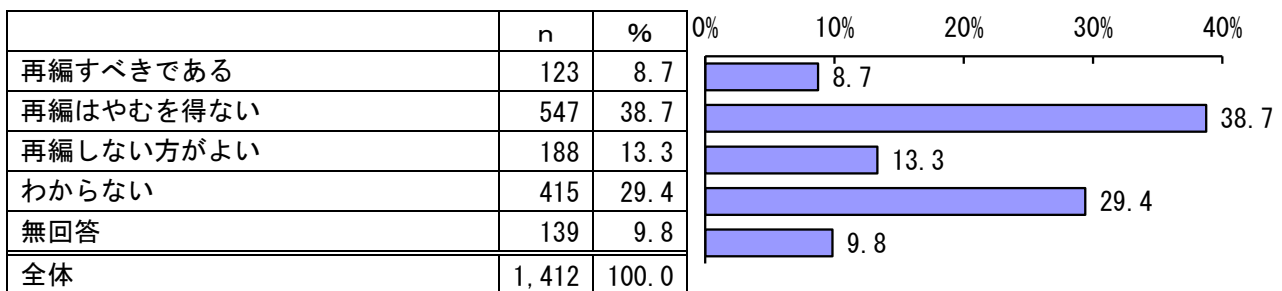
9 教育・スポーツについて

9-1 学校の再編／理由

問37：児童生徒数の減少により、今後適正な学校規模の維持が困難になっていくことが予想されます。学校の再編（統廃合）についてどう思いますか。また、その理由をお書きください。【1つに○をして理由を記入】

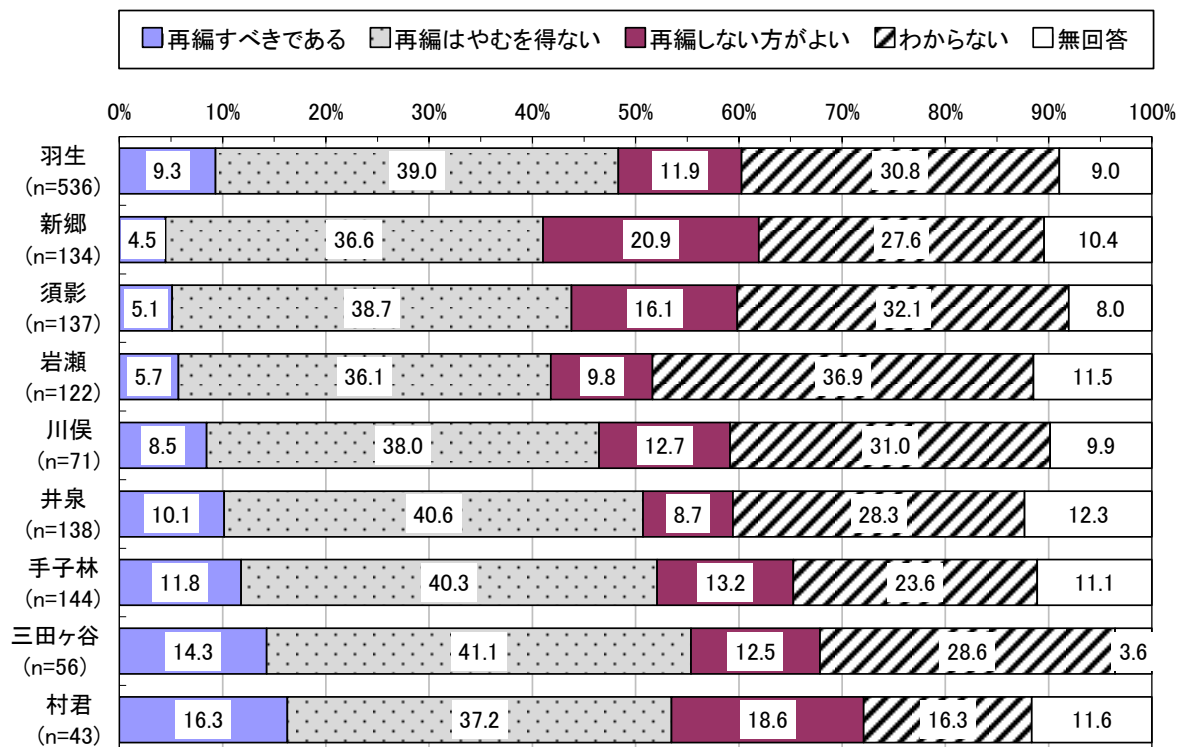
- 学校の再編については、「再編はやむを得ない」が38.7%と最も高く、これと「再編すべきである」(8.7%)を合わせると再編に肯定的な回答は47.4%となります。
- 「再編しない方がよい」は13.3%、「わからない」は29.4%となっています。

問37 学校の再編



- 居住地区別でみると、「再編すべきである」は井泉地区、手子林地区、三田ヶ谷地区、村君地区で1割を超えています。
- 「再編はやむを得ない」はいずれの地区も4割前後を占めています。
- 「再編しない方がよい」は新郷地区で20.9%、村君地区で18.6%と2割前後を占めて、他の地区よりも高くなっています。

【学校の再編 居住地区別集計】



- 「再編すべきである」「再編はやむを得ない」と回答した人の理由を13項目に分類しました。
- 「少子化」に関する項目が120件と最も多く、次いで「子どものため」(92件)、「経済的問題」(78件)、「教育内容の充実」(60件)と続いています。

再編すべきである・再編はやむを得ない		件数
1	少子化	120
2	子どものため	92
3	経済的問題	78
4	教育内容の充実	60
5	通学等の問題	49
6	学校維持のため	47
7	教員の質や負担など	22
8	一定の人数が必要	17
9	子どもが増える対策が必要	6
10	保護者の負担	5
11	学区	5
12	地域とのつながり	3
13	その他	13
合計		517

【再編すべきである・再編はやむを得ない】

理由	件数	主な内容
少子化	120	児童生徒数が減少しているから・地域によって子供が少ないため、再編した方が良いと思います。・昔と比べて児童の数が違うのだから当然考えるべき・時代の流れだと思ふ・社会の状況で仕方ないと思ふ・あまりにも少人数ならば仕方ない・子供の少子化でやむを得ないかと思ふが、学校閉鎖後の跡地の問題が課題。・児童生徒数の減少状態にもよるが、あまりにも少ない場合は子どもたちにとっても良い状態とは言えないと思ふ・少子化に歯止めがかからないとするならば、学校施設を維持するよりも、通学バスを運行の方がコストを抑えられる。・地域に根差しているため再編は難しいが、少子化等将来を見通し、やむを得ない場合もある。・人数が少ないなら、数を減らして少しでも多く人と関わられるようにしてほしい。・本来教育は生徒数に関係なく行うものだと思いますが、学校規模を考えるとやむを得ない場合もあると思ふ・需要と供給のバランスから言えば致し方ないと思ふが、有能な教育者は職を失わずに済む方策が必要・子供の数が減り、学校として出来る事が、子供の為に何も出来なくなってしまうのは子供も親もかなしい。・高齢化が進んでいる今これ以上減ってしまうのは仕方ないが、増える可能性もあまり高くない・児童が増えるのが理想だが、難しいのであればやむを得ない。児童だけでなく教員の確保も難しくなると思ふ。・通学時間が長くなったり、子どもに目が届かないと再編はしない方がいいが、人数が少なくなるとやむを得ない時はしょうがないと思ふ・少人数のメリット、デメリットはあるが、羽生市の状況を考えるとある程度の規模の生徒で生活する必要性があると思ふ
子どものため	92	三田ヶ谷、村君は人数も少ないし統合した方が友達の数も増えて環境もよくなると思ふます。若い人が中心になっていくのでいずれは統合する時が来ると思ふます。・少人数もメリットはあるが、集団行動等ある程度の再編はやむを得ないと思ふ。・友達は少ないより多い方がいい、小学生のうちに団体行動を学ぶことが出来る・学力低下を防ぐ。・適正規模で子どもたちの競争は必要である・多くの友達と知り合せて活発になり盛りがあるとと思ふます・子どもたちの学力・スポーツに関する競争力を高めることができる。・

理由	件数	主な内容
		<p>子供の教育環境をより良くするため。・学校生活で身に着けるべき社会性、コミュニケーション能力が小規模校では無理だから。・学校行事が少人数で実行出来ないものもあり、友達も出来にくい。・児童生徒数が少ないと人間関係の刺激が足りない・集団生活に慣れる、社会に慣れるためにもその方がいいと思う・少人数の学校生活よりある程度の人数による経験の方が将来的に役立つのではないかと思う・子どもの時に集団生活をする上でのマナーや処世術、相手に対する思いやり等人間関係を円滑に行うスキルは少人数では養えないため・友人や同い年の人達とのコミュニティを作ることは大切だと思う・1学年1クラスや2クラスでは多くの人とのつながり方が学べない。少人数で絆が強くなる良い所もあるが、社会に出た時の対応力が育たないのではと思う。・学力の競争力に欠ける、団体競技が出来ない・生徒数で学べる人間関係の経験が人生の基礎をつくるので、多い方がいいため、再編は仕方ない。・児童数が少ないとPTA活動も難しくなります。結果的に子どもたちのためにならないと思う・学校全体クラス全体が集団生活の場として機能しなくなってしまうから・広い校舎で少人数しかいないとさみしい感じがするし、友達が少なくていじめ等があっても逃げ場がない。</p>
経済的問題	78	<p>経費削減の為・学校数の維持で予算を使わない様に願う。・人件費の削除・少人数の生徒に施設維持費や教師の人件費をかけ過ぎないようにするため。・財政の負担を軽く・予算を有効に使うため・卒業アルバム、バス等の負担が多い・財政的に厳しくなるのが目に見える、児童が少なすぎる学校はデメリットが多いと思う・全校生徒が少ない学校を運営するのに税金を使うなら、スクールバス等でまとめた方がいい・子どもや保護者は通学が遠くなり大変になると思いますが、市の財政の軽減・人口減少はやむを得ず、予算・管理費用と1校あたりの生徒数のバランスが取れなくなると予想するから。・生徒が少ないと、学校設備や先生等、維持費が高くなり、市の財政負担増になると思う。再編せずに少数児童のために1つの学校を維持するためにコストをかける必要はない。再編してコストを集中した方がいい。・施設の維持管理コストを考えるとやむを得ない場合もある。・学校の管理、人件費を維持していくためにはやむを得ないと思う</p>
教育内容の充実	60	<p>教育内容の充実こそが使命である・部活動をさせたい。一方でオンライン授業も充実する。・適切な学校教育には、一定以上の児童・生徒数が必要・活気ある学校活動体制をつくる・再編することにより教育の質が落ちてしまうならしない方がいいと思うが、そうでないなら再編してもいいと思う・1クラスの人数が少なすぎると本来の学習(授業)が出来なくなると思いますが(塾と同じになってしまう)。子どもだけでなく、保護者、周囲の住民が楽しみにしている学校行事が困難になるので、再編は必要と思います。・少人数で存続する方が効率も悪く、教育上良いとは思わない。・児童・生徒に対して適正な教職員数があって、効果的な教育が行えると考えます。・子どもの減少で学校での差が出来て同じ様な教育が難しくなる・再編により教育が充実し設備も整うのであれば再編した方がいい・児童数が極端に少ないと、学校行事に影響が出るのではないか。複式学級で授業を行うようになっては学習面でも不安がある。・人員が減少すると適正な教育ができなくなる。部活(スポーツ)等も重要な課題である。・統廃合を行うことにより充実した教育環境が整うのであれば、やむを得ないと思う。・生徒数が少なくなるとこれまで通りには出来ない授業やイベントが出てくると思う。平均的な人数に配分した方が活動しやすく、他校との教育の質の差が生まれにくいのではないかと思うから。</p>
通学等の問題	49	<p>遠いと子どもも学校に行くのが大変・遠くからの通学には市で配慮すべき。・スクールバスなど出しても一つに集約した方がいいと思う。・統合して遠方の方はスクールバスで送迎・教員の数と子供の数で見合った学校が良いと思うが、再編でとても遠い所へ登校することになるのは大変だと思う。・通学に支障がみられなければ再編するのはありだと思う。・学校が遠くなってしまう児童達の安心安全な通学対策は必要。・登下校の安</p>

理由	件数	主な内容
		全性を考えなければならぬのでバスでの登校等・学校が遠くなってしまふ場合の通学に対する補償やフォローはしてほしい。・通学にかかる時間等、子どもに負担がかかりすぎないようにするなら再編も考えられると思います・通学距離が長くなりすぎるのは負担になるし防犯の面からもマイナスなのでは?と思った。・やむを得ないと思うが学区が広がった場合子どもの安全が心配・小学校の統廃合については通学に対する心配がある。・学校まで遠い家の子の通学が時間的に不利だったり、犯罪に巻き込まれたりしないか心配である・スクールバス等を利用して負担と受益のバランスをとらざるを得ない。
学校維持のため	47	適正維持の為・地域の児童数が極端に少なくなった時、多少遠くても人数をまとめ、学校としての機能を守る方が良いと思う。・学校の維持が困難になるのなら、やむを得ないと思います。・通学の距離が長くなる地域の児童がいるが、維持が困難であればやむを得ないと思う。・施設の管理や維持が困難・少人数での学校は成り立たないと思うから。・適切な学校規模を維持し、一定水準の中での教育は必要と考える。また、学校施設の管理、修繕等の対応も速やかに対応できる様になると思われるため。・施設の改修、維持管理面からも現状維持は難しいと思う・維持が厳しくなるなら仕方ないと思えるから
教員の質や負担など	22	一人の負担を軽減するため・教員の質の低下を防ぐ。・教員の人数の確保。・先生の仕事が軽減されると思います・教職員も少ない数で回すよりも、多くの教職員の元で教育の場を子どもに提供した方がよいと思うから。・適切な教員数の配置が出来る・現実に近年色々な状況を抱えた子どもたちが多く、その分厚く教員を増やす等望む・先生方は生徒をよく見守り適正な指導を行ってほしい、生徒と心の繋がりを築いてほしい・教員と児童数のバランスや教員の残業時間の削減
一定の人数が必要	17	一つの学校で生徒数をキープした方がいい・同級度のある程度の人数が必要なため・生徒数のバランスをとることは必要・人数に適した学校の広さがあるため・学校の規模は適正に保たれる方がいいと思います・教育課程に適した人数があるから
子どもが増える対策が必要	6	子どもが増える様にする・子どもが多い都市を・子どもを産みやすい環境づくりに資金投入し、生徒数減少の問題を解決することが優先だと考える。・生徒数を増やすには出産や子育てする環境を充実させることが大事だと思う。・子どもたちを増やすためには、小さい頃から高校、大学のお金を考えるとたくさん産むことは出来ない。親としては行かせてあげたいのでその補助が必要・子どもが増えることを祈ります
保護者の負担	5	生徒数が少ないと保護者の負担が増える(役員など)ので、再編はやるべきと思う。・いつか合併するなら早い内の方が親も子も安心出来ると思う。・生活していくには仕方ない、でも通学が遠くなれば子どもたちや保護者の負担も多くなる・親の負担が減ると思う・生徒の家族の意見を優先的に考えて欲しい
学区	5	学区制を廃止して、自由に学校を選べるようにした方が良く思うから(いじめとかの問題もあるので)・統廃合を考える前に、学区の再編をすべきである。・地区別登校ではなく、学校を中心とした登校体制づくり。(地区別→近くに学校があっても遠くへ行かなくてはいけない場合がある。)・学区の再編をまず考えてもらいたい。それだけでも統廃合は少し解消するのでは。それでも少ない学区は統廃合してもやむを得ないと思います。
地域とのつながり	3	都市部で実施されているコミュニティ施設の構築により教育と老人の接点を持たせることは将来的な心のケアになると思う・校舎跡地での地域のコミュニティ利用・学校がなくなることで地域との関係が薄くなるのはよくないと思う

理由	件数	主な内容
その他	13	合理的だから・何事にも見直しは必要だと思います・自然の成り行きでいいと思う

- 「再編しない方がよい」と回答した人の理由を10項目に分類しました。
- 「通学等の問題」が106件と最も多く全体の6割を占めています。次いで「地域とのつながり」(14件)、「教育内容の充実」(8件)と続いています。

再編しない方がよい		件数
1	通学等の問題	106
2	地域とのつながり	14
3	教育内容の充実	8
4	子どものため	6
5	歴史・伝統など	5
6	母校がなくなることについて	5
7	子どもが増える対策が必要	5
8	学区	3
9	保護者の負担	2
10	その他	22
合計		176

【再編しない方がよい】

理由	件数	主な内容
通学等の問題	106	通学時間や距離が増してしまうため・通学時間、距離、防犯対策を強化させる必要があると思います。・小学校については再編反対です。登下校に時間を要し、事件、事故のリスクが高くなるため。・通学することを考えると今ある学校などの数を減らすと、児童の負担が多くなるのでは。・小学生は通学に問題があると思う。通学距離が不公平になる・住宅の近くに教育現場がある方がいい・統廃合をすると子どもたちが遠くまで通学しなくてはならない、高学年はいいが低学年は大変です・通学時間が長くなるため重い教材を持つての負担が増えると思います。・遠距離の通学は危険を伴い親御さんの不安が大きい。・再編したとして、通学距離が不公平。親の負担も子どもの負担も増えるので、バス等何らかの支援、もしくは学区内の距離に学校を作るのであれば再編してもいい
地域とのつながり	14	地域のつながりがうすれる。・どの地域にも地域性があると思いますので、なるべく再編はしない方が良くと思います。・地域住民の学校との連携強化で学習とは別に人間性、社会性を学ぶ場として残すべきと思う。・地域ごとの学校と近隣市との繋がりを大切にするため・地域の活動、活躍、地域コミュニティの崩壊に繋がる・近所の子たちと歩いて登下校する事も、仲を深めたり必要な事だと思うから。(学校が合併したりすると遠い家は車で送迎になる可能性もあるから)
教育内容の充実	8	地域に根ざした教育の充実・少人数の方が教育は充実すると思う。・一人ひとりがゆとりを持った教育を受けるには小規模の集団の方がいいと思います。・教育機材の購入数が少なくても1人1台で授業が進みやすいのではないかと、いじめがない
子どものため	6	子どもの時の友達は重要・少人数教育は児童生徒の成長・少人数の方が子どもの学力が向上するため・子どもが少ないのは仕方がないのですが、再編しないで少ない人数で、

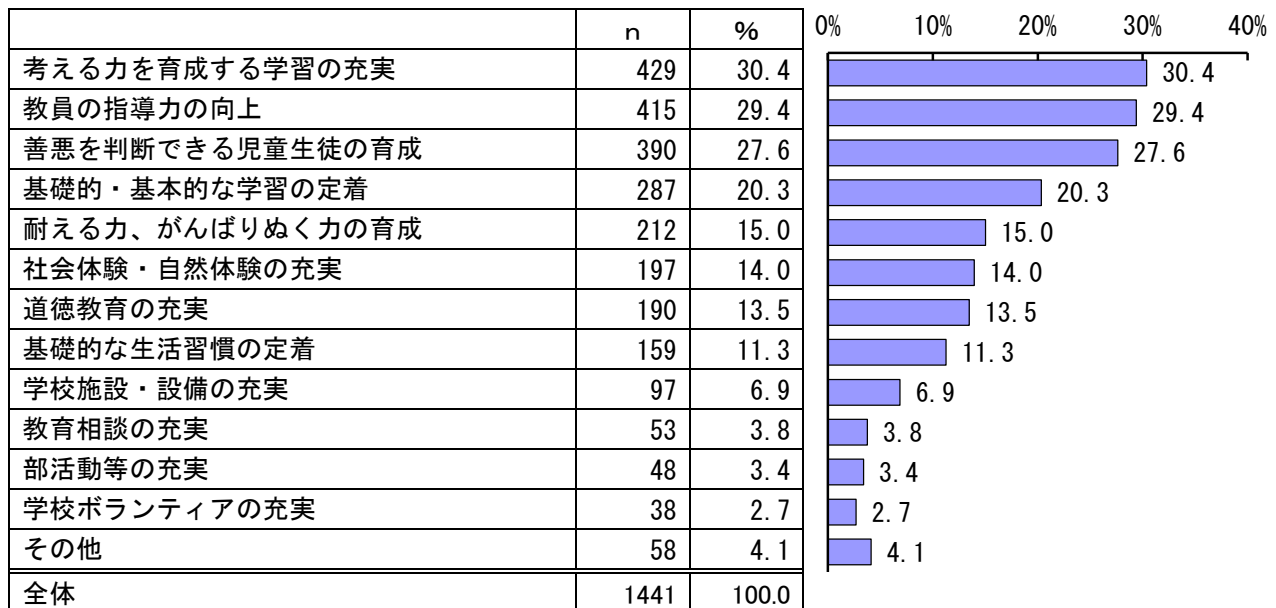
理由	件数	主な内容
		先生が教えるのが子供の為に良い事だと思います。・集団生活の仕方やコミュニケーション等が出来てまた好き嫌いでは済まないことを知ることが出来る人間形成上いいと思う
歴史・伝統など	5	その学校の伝統や良さといった DNA が失われる。・歴史ある学校を簡単に減らさない方がいい。・学校の伝統、文化を自分たちの代で終わらせたくない。・歴史がある学校をなくすことは避けるべきである。・各学校に歴史と伝統がある。各学校に特色がある。
母校がなくなることに ついて	5	母校が無くなってしまう事がある。・自分が通った学校がなくなるのはさみしいです。・母校がなくなるのは寂しいから。・母校がなくなるのは悲しい
子どもが増える対策が必要	5	地域に根ざした特色のある学校づくりを心掛けて他地域からも通学してくれるようにし、人数が増えたら良い。・市全体の地域活性化により外からの人口流入を活発にさせてほしい。・再編せずに地域で子育て支援補助金を促し、羽生住民を増加させるようアピールして子どもの増加を狙う。・子育て支援の推進で新家族を羽生市に呼び込むことに協力する。・再編よりも人を戻す取りくみをするべき。
学区	3	地域別に学校がある方がいい。・各地区に小学校は必要だと思う。・地区ごとに魅力ある町づくりをして均等な人口になるといいと思います。
保護者の負担	2	親の負担、心配事が増えるから。・自宅から遠くの学校に通学するのは親の負担になると思う
その他	22	統廃合はせずに、学校としては少人数のまま維持しながら、施設として民間企業などと共同で運営出来たらいいと思います。・少なかったら少ないなりの教育ややり方があると思います。一人一人の子どもが大きくなるのを見ていたいです。・あまり大規模になっても目が届かないこともあると思うので、もう少し様子を見た方がいいと思います。・今現在生徒数は何年も前から減少している。もっと早く減少をくいとめる方法があったのではないかと思っていました。いろいろ支障が出るため。・再編しても変わらないと思います。学校の特色がない為です。高校の例では私立に流れていっています。羽生市が子どもたちを育てるのに適しているから移住しようと思われる市になってほしい

9-2 学校教育について

問38：羽生市の学校教育をさらに行き届いたものにするためには、特に何に力を注ぐべきだと思いますか。
【2つまで○】

○学校教育で特に力を注ぐべき項目については、「考える力を育成する学習の充実」が30.4%と3割に達し最も高く、「教員の指導力の向上」(29.4%)、「善悪を判断できる児童生徒の育成」(27.6%)と続いています。

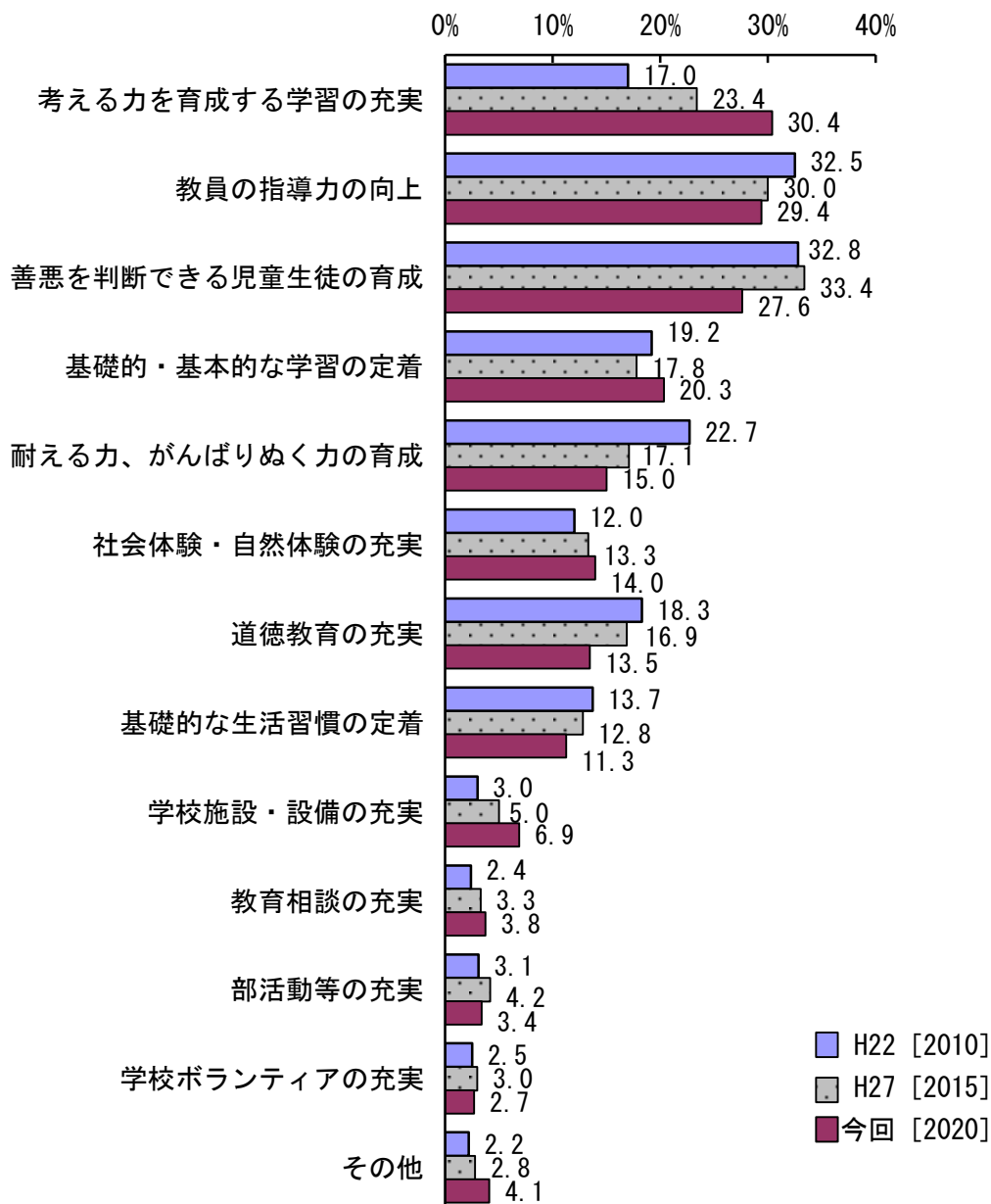
問 38 学校教育について



○過去調査と比較すると、「考える力を育成する学習の充実」「社会体験・自然体験の充実」「学校施設・設備の充実」「教育相談の充実」が調査ごとに上がっていく傾向にあります。

○「考える力を育成する学習の充実」がH27 [2015] より7ポイント上がっている一方で、「善悪を判断できる児童生徒の育成」「耐える力、がんばりぬく力の育成」「道徳教育の充実」などが下がっています。

【学校教育について 過去調査比較】

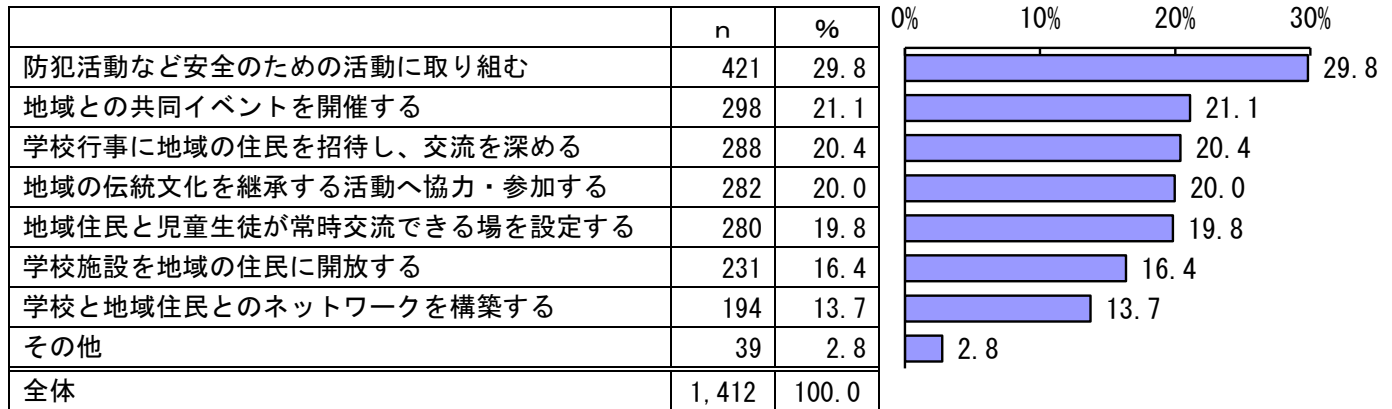


9-3 市内の学校との連携

問39：市内の学校との連携についてどのようなことを望みますか。【2つまで〇】

○学校との連携で望むことについては、「防犯活動など安全のための活動に取り組む」が29.8%と3割で最も高く、次いで「地域との共同イベントを開催する」(21.1%)、「学校行事に地域の住民を招待し、交流を深める」(20.4%)が続いています。

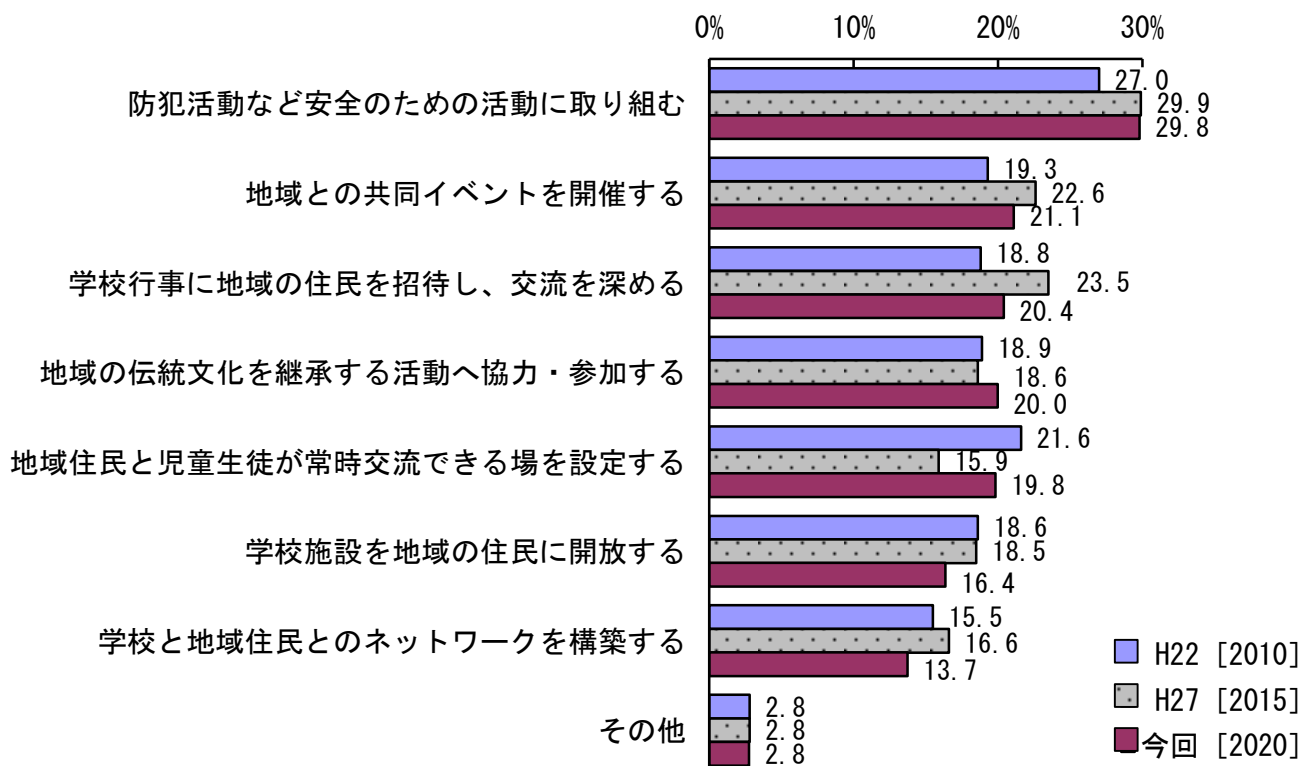
問39 市内の学校との連携



○過去調査と比較すると、いずれの調査でも「防犯活動など安全のための活動に取り組む」が3割近くで最も高くなっています。

○「地域の伝統文化を継承する活動へ協力・参加する」「地域住民と児童生徒が常時交流できる場を設定する」はH27 [2015] より高くなっていますが、それ以外の項目はいずれも下がっています。

【市内の学校との連携 過去調査比較】

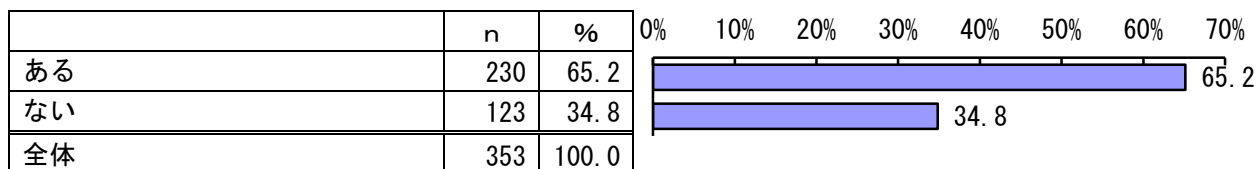


9-4 おうち図書館の有無／理由

問40：小さい頃から身近に本がある環境で育った子どもは読書好きになるというデータがあります。あなたの家には、子どもが読書を楽しめる「おうち図書館」はありますか。【1つに○】

○おうち図書館については、「ある」が65.2%、「ない」が34.8%となっています。

問 40 おうち図書館の有無



「ない」理由

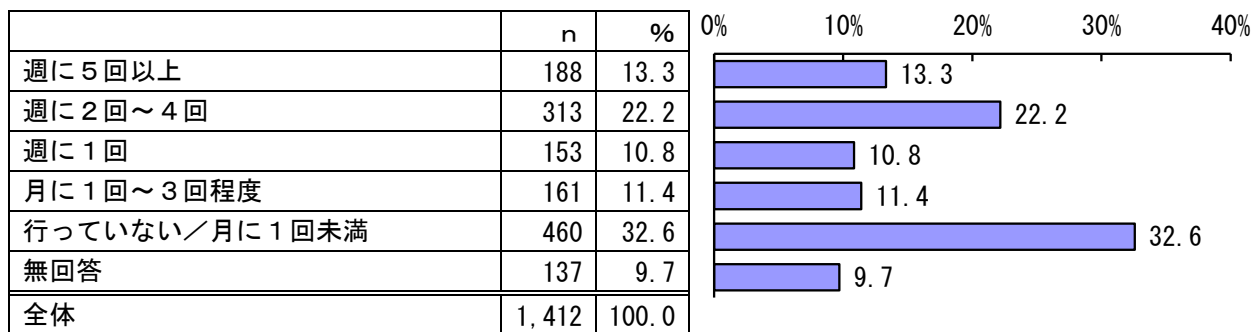
各部屋でこもって読んでいるし、別に暮らしているので。本棚はあり、カラーボックスもマンガ本、小説は入れていた。
あまり本を読まないの。
小さいころは絵本から始まり、何冊もありましたが、マンガ本に代わってしまいました。
市の図書館を利用していた。
それぞれ自分の部屋に保管しているため
経済的余裕がない
その都度羽生市図書館を利用
読む時は自分の部屋やリビング等
部屋がない、スペースがない、図書館を利用したので問題ない
引っこしてきたばかり
家が狭いため図書館を利用する
電子書籍やタブレットを活用
子どもが生まれて間もないので今後そのようなスペースを作るかもしれません
自分が読まないから
そこまで絵本を揃えていない、図書館で借りる
各自が自分の場所で保管、自由に取り出しは出来る
重点を置いていない
うちの子は外遊びが好きなので、おうち図書館は必要ありません。
現在はパソコンの普及によりインターネットを使う事が多い。
まだ片付けや本のあつかいが上手く出来ない為、親がいくつか本を出しその中から選んで読むようにしているから。
特に理由はない、作っていないだけ

9-5 スポーツをする頻度／理由

問41：どれ位の頻度でスポーツ活動（ウォーキングや体操を含む）を行っていますか。【1つに○】

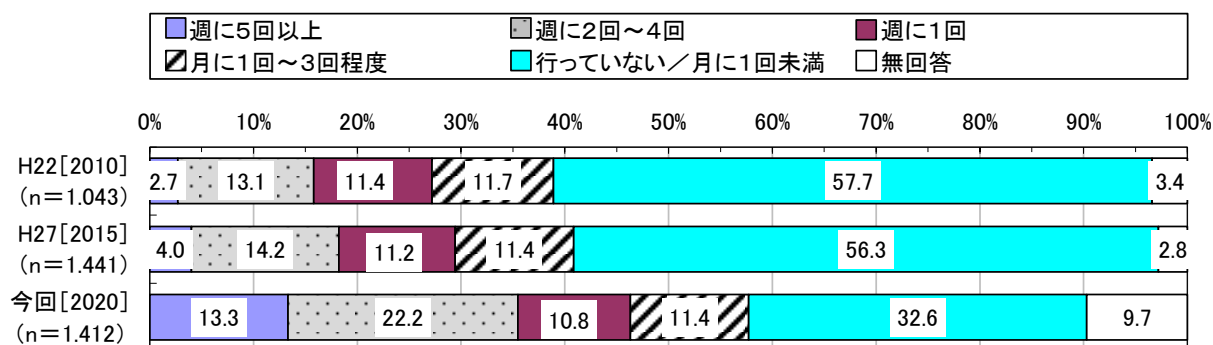
- スポーツをする頻度については、「行っていない／月に1回未満」が32.6%と3割を超えて最も高くなっています。
- 定期的にスポーツを行っている人の中では「週に2回～4回」が22.2%と最も高く、次いで「週5回以上」（13.3%）が続いています。

問41 スポーツをする頻度



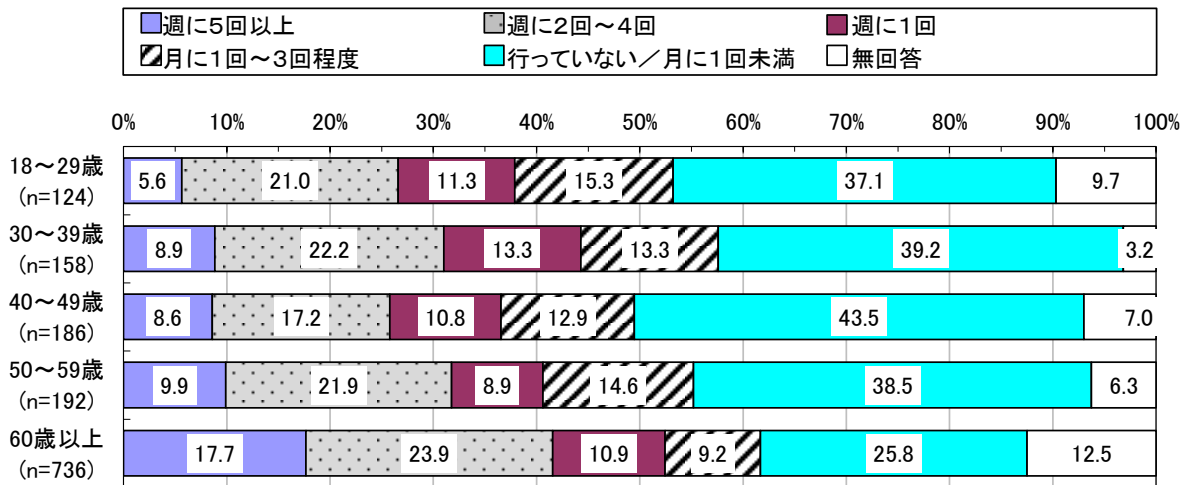
- 過去調査と比較すると、「行っていない／月に1回未満」が過去調査より20ポイント以上下がっています。
- 「週に5回以上」と「週に2～4回」がH27 [2015] より10ポイント近く上がっていることから、定期的なスポーツ頻度が全体的に上がっています。

【スポーツをする頻度 過去調査比較】



○年齢別でみると、「行っていない／月に1回未満」は60歳以上が最も低く、60歳未満の年代では4割前後となっています。

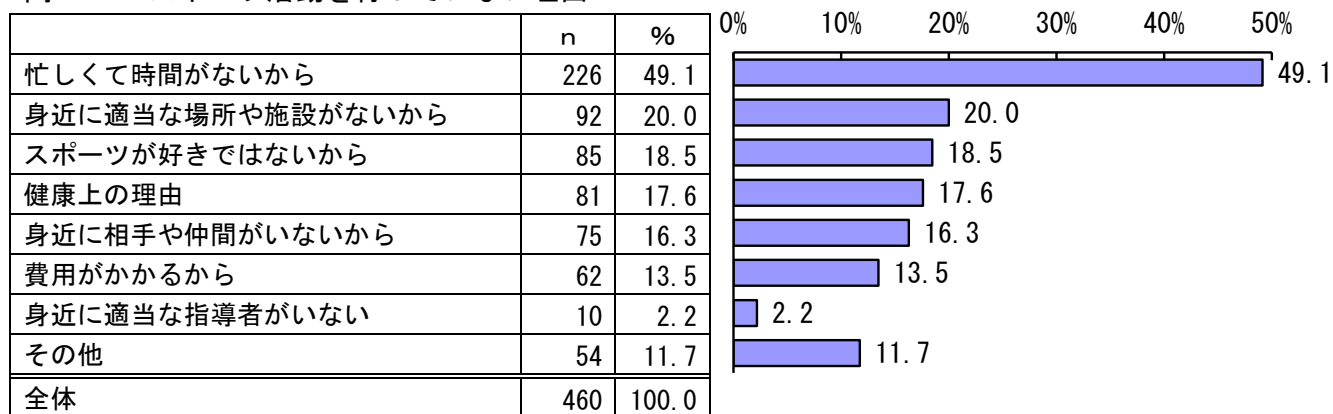
【スポーツをする頻度 年齢別集計】



問41—a：スポーツ活動を行っていない理由は何ですか【3つまで〇】

○スポーツ活動を行っていない理由については、「忙しくて時間がないから」が49.1%と半数近くで最も高く、次いで「身近に適切な場所や施設がないから」(20.0%)、「スポーツが好きではないから」(18.5%)と続いています。

問 41-a スポーツ活動を行っていない理由



○年齢別でみると、60歳未満ではいずれの年代も「忙しくて時間がないから」が6割を超えて最も高くなっています。

○60歳以上では「健康上の理由」が3割半ばで最も高くなっています。

【スポーツ活動を行っていない理由 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
忙しくて時間がないから	① 60.9	① 66.1	① 69.1	① 63.5	27.9
身近に適切な場所や施設がないから	26.1	29.0	18.5	14.9	17.4
スポーツが好きではないから	26.1	12.9	17.3	18.9	17.9
健康上の理由	0.0	4.8	1.2	10.8	① 35.3
身近に相手や仲間がないから	15.2	17.7	12.3	16.2	17.9
費用がかかるから	15.2	21.0	18.5	13.5	8.9
身近に適切な指導者がいない	0.0	6.5	0.0	0.0	3.2
その他	10.9	8.1	12.3	6.8	14.7

※第1位を①で記しています。

10 人権・男女平等について

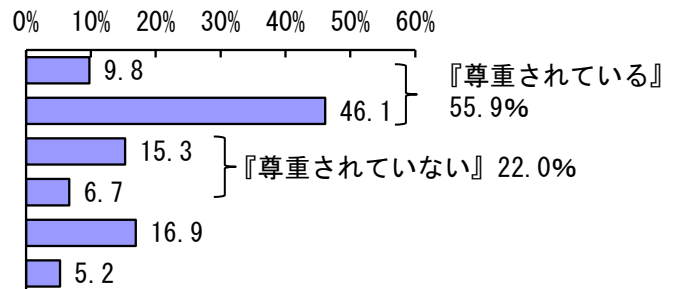
10-1 基本的人権の尊重

問42：「人権」は、誰もが生まれながらに持っている権利であり、幸せに生きるためになくしてはならないものです。今の社会で基本的人権が尊重されていると思いますか。【1つに○】

- 基本的人権の尊重については、「どちらかといえば尊重されている」が46.1%と最も高く、これに「尊重されている」(9.8%)を合わせた『尊重されている』は55.9%と5割半ばを占めています。
- 『尊重されていない』は22.0%と2割を超えています。

問 42 基本的人権の尊重

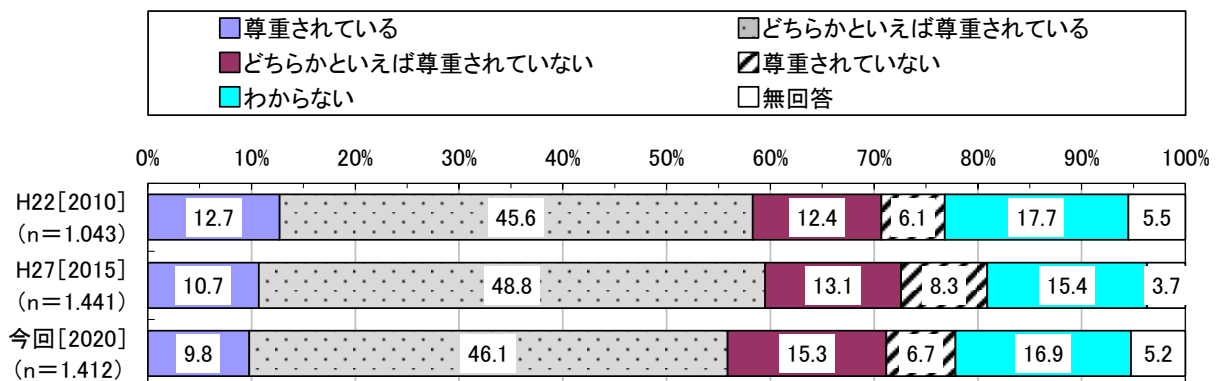
	n	%
尊重されている	138	9.8
どちらかといえば尊重されている	651	46.1
どちらかといえば尊重されていない	216	15.3
尊重されていない	94	6.7
わからない	239	16.9
無回答	74	5.2
全体	1,412	100.0



※『尊重されている』は「尊重されている」及び「どちらかといえば尊重されている」の合計、『尊重されていない』は「どちらかといえば尊重されていない」及び「尊重されていない」の合計としています。(以下同様)

- 過去調査と比較すると、『尊重されている』はやや下がっており、反対に『尊重されていない』は調査ごとにやや上がっていく傾向にあります。

【基本的人権の尊重 過去調査比較】



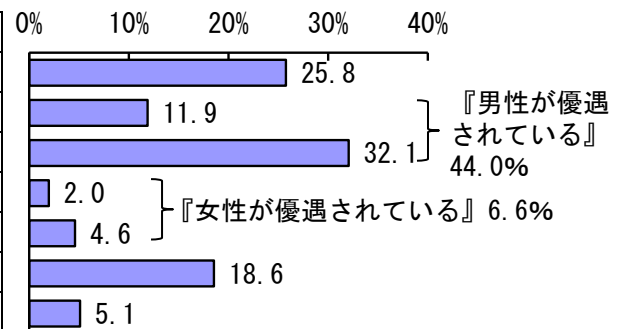
10-2 身の回りの男女平等状況

問43：あなたのまわりの各場面（家庭・地域・職場など）において、男女の地位は平等になっていると思いますか。【1つに○】

- 身の回りの男女平等については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が32.1%と最も高く、これに「男性が優遇されている」(11.9%)を合わせた『男性が優遇されている』は44.0%と4割を超えており、『女性が優遇されている』(6.6%)を37.4ポイント大きく上回っています。
- 「平等である」は25.8%と2割半ばを占めています。

問43 身の回りの男女平等状況

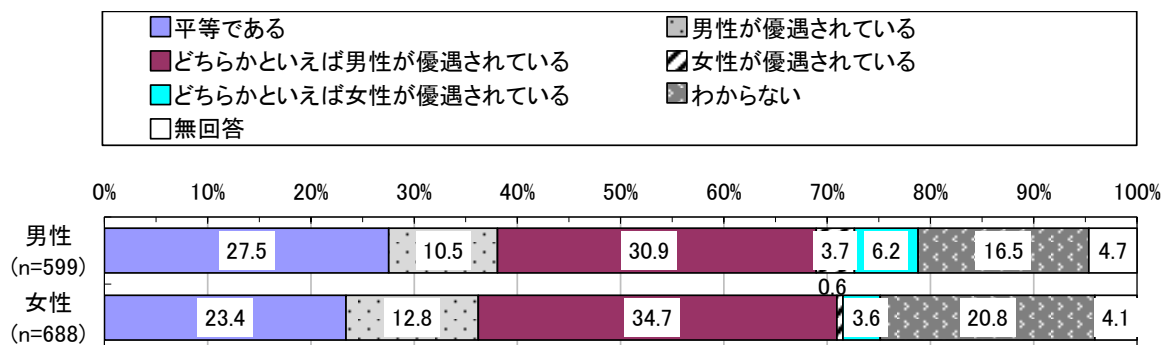
	n	%
平等である	364	25.8
男性が優遇されている	168	11.9
どちらかといえば男性が優遇されている	453	32.1
女性が優遇されている	28	2.0
どちらかといえば女性が優遇されている	65	4.6
わからない	262	18.6
無回答	72	5.1
全体	1,412	100.0



※『男性が優遇されている』は「男性が優遇されている」及び「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計、『女性が優遇されている』は「女性が優遇されている」及び「どちらかといえば女性が優遇されている」の合計としています。(以下同様)

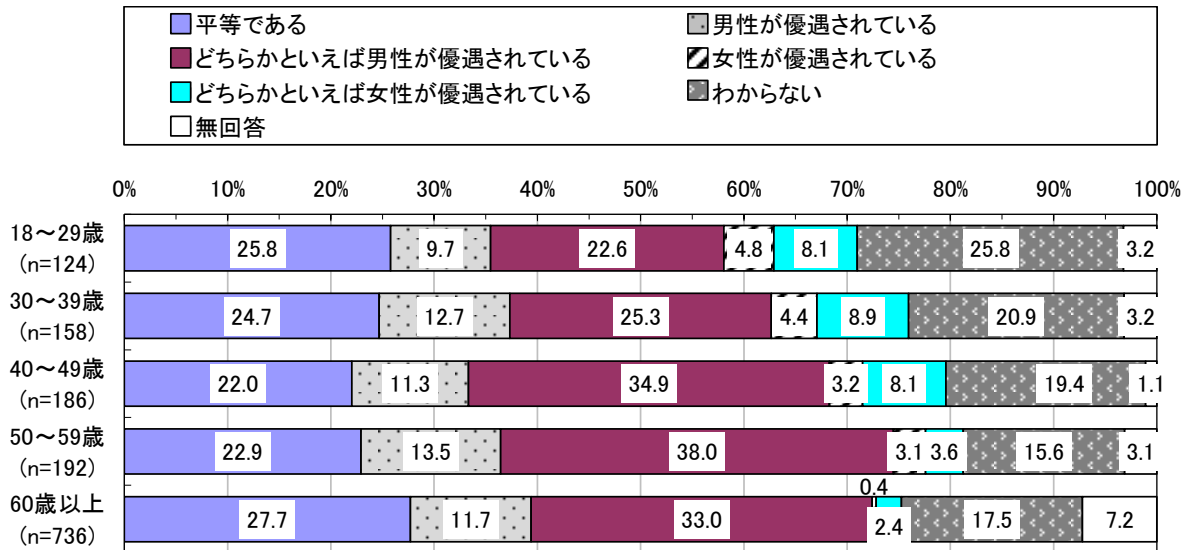
- 性別でみると、『男性が優遇されている』は女性が47.5%、男性が41.4%で、女性が男性を6.1ポイント上回っています。
- 『女性が優遇されている』は男性が9.9%、女性が4.2%と男性が女性を5.7ポイント上回っています。特に女性は「女性が優遇されている」が0.6%と1%を切っています。
- 「平等である」は男性が女性を4.1ポイント上回っていますが、どちらも2割台を占めています。

【身の回りの男女平等状況 性別集計】



- 年齢別でみると、『男性が優遇されている』は40歳以上で4割を超えており、特に50～59歳では半数を超えています。
- 『女性が優遇されている』は50歳未満の年代で1割を超えています。
- 「平等である」はいずれの年代でも2割台を占めています。

【身の回りの男女平等状況 年齢別集計】



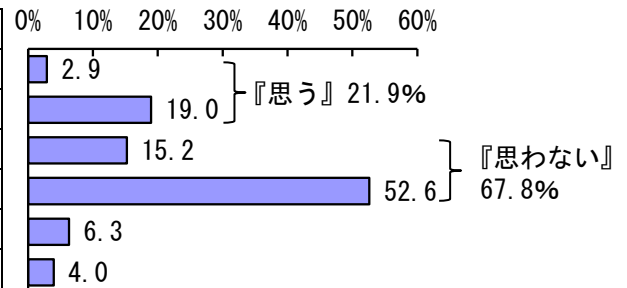
10-3 『男は仕事、女は家庭』の考え方

問44：『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思いますか。【1つに○】

- 『男は仕事、女は家庭』という考え方については、「そう思わない」が52.6%と半数を超えて最も高く、「どちらかといえばそう思わない」(15.2%)と合わせた『思わない』は67.8%と6割半ばを超えています。
- 「どちらかといえばそう思う」は19.0%と2割近くを占めており、「その通りだと思う」(2.9%)と合わせた『思う』は21.9%と2割を超えています。

問 44 『男は仕事、女は家庭』の考え方

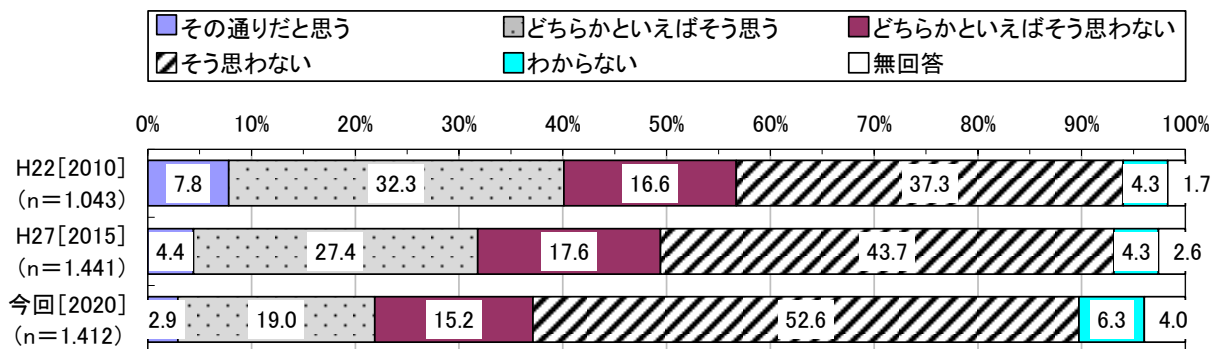
	n	%
その通りだと思う	41	2.9
どちらかといえばそう思う	268	19.0
どちらかといえばそう思わない	215	15.2
そう思わない	743	52.6
わからない	89	6.3
無回答	56	4.0
全体	1,412	100.0



※『思う』は「その通りだと思う」及び「どちらかといえばそう思う」の合計、『思わない』は「どちらかといえばそう思わない」及び「思わない」の合計としています。(以下同様)

- 過去調査と比較すると、『思う』は調査ごとに下がっていき、『思わない』は下がっていく傾向にあります。

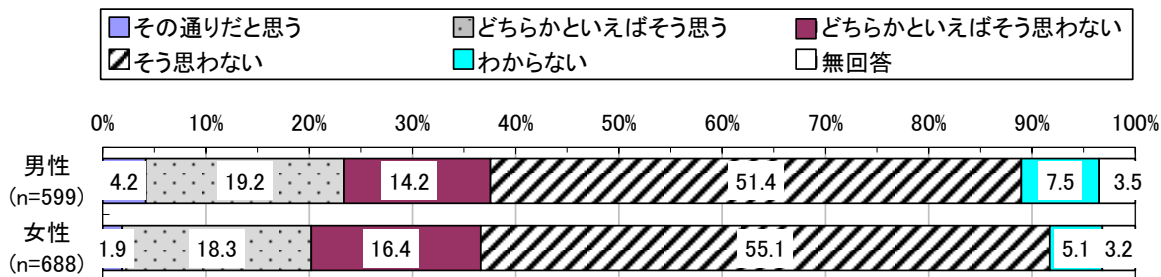
【『男は仕事、女は家庭』の考え方 過去調査比較】



○性別でみると、男女ともに「そう思わない」が半数を超えて最も高くなっていますが、男女ともに「どちらかといえばそう思う」は2割近くを占めています。

○『思わない』は女性が71.5%と7割を超えて、男性（65.6%）を5.9ポイント上回っています。

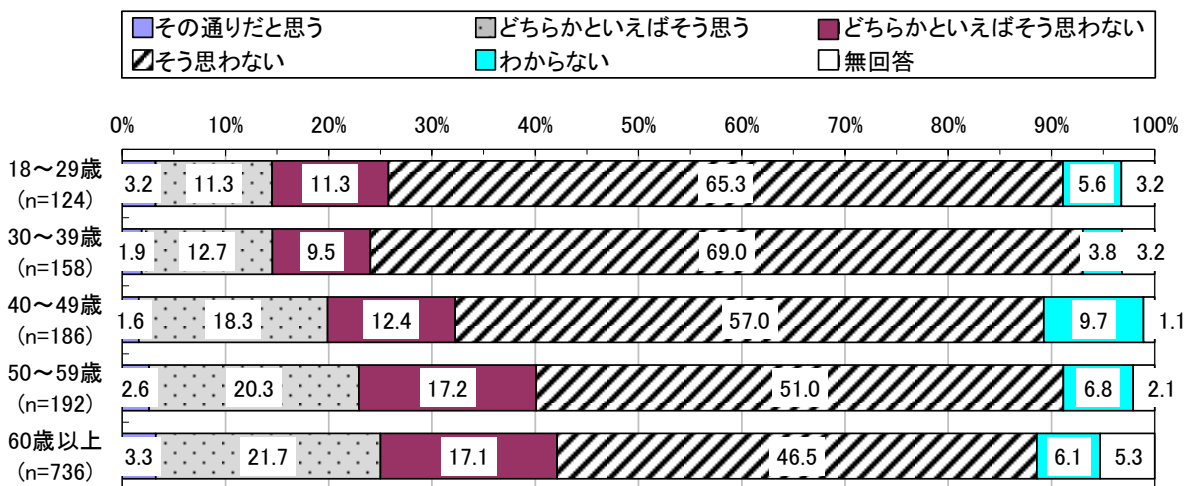
【『男は仕事、女は家庭』の考え方 性別集計】



○年齢別でみると、すべての年代で「そう思わない」が最も高くなっており、『思わない』は40歳未満の年代で7割を超えています。

○『思う』は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、40歳以上では2割前後を占めています、40歳未満の年代では1割半ばを切っています。

【『男は仕事、女は家庭』の考え方 年齢別集計】



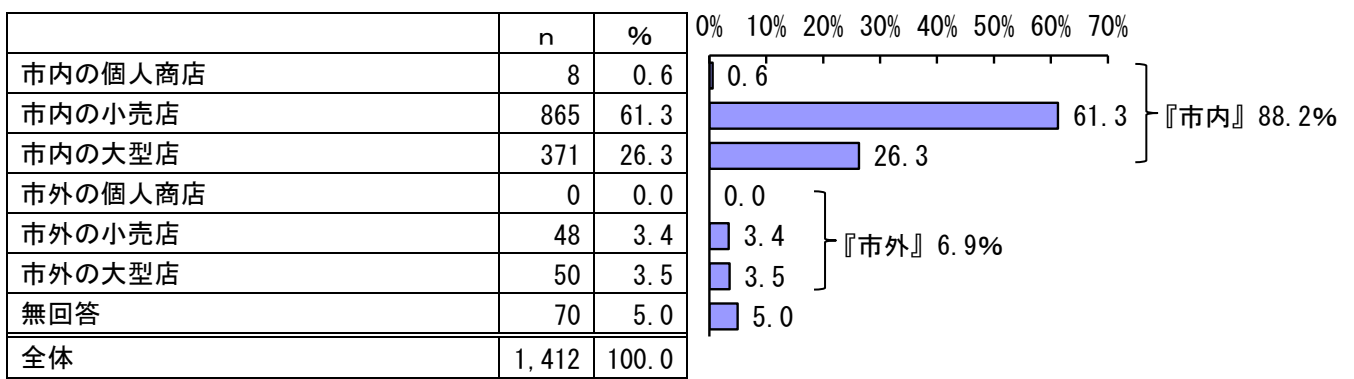
11 商業・産業について

11-1 購買地調査

問45：次の商品を主にどこで購入していますか。【項目ごとにそれぞれ1つに○】

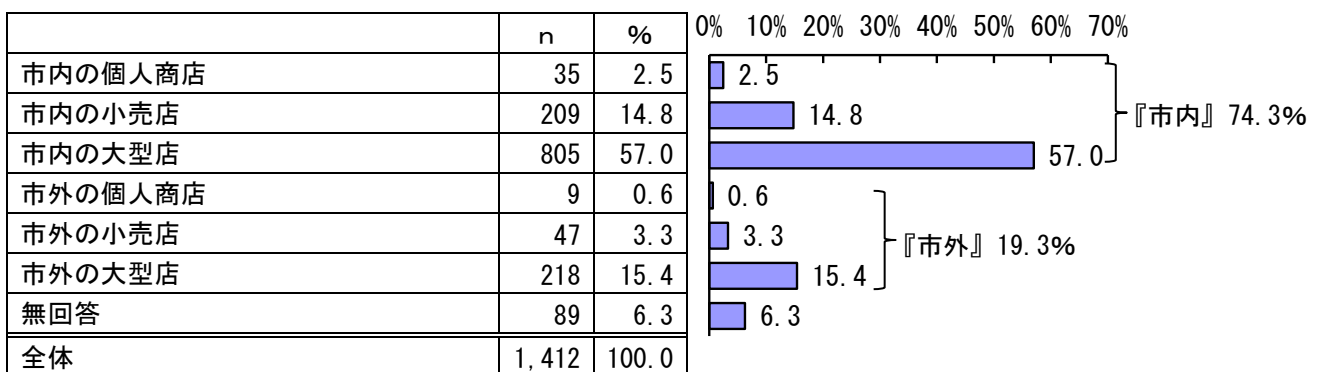
- 商品の購入場所について、“食料品”は「市内の小売店」が6割を超えて最も高く、それ以外の“衣料品”“家具・家電”“趣味の用品”“その他”では「市内の大型店」が最も高くなっています。
- いずれの商品購入も『市内』が5割以上で高くなっています。『市外』では“趣味の用品”が25.1%と2割半ばを占めて高くなっています。

(1) 食料品



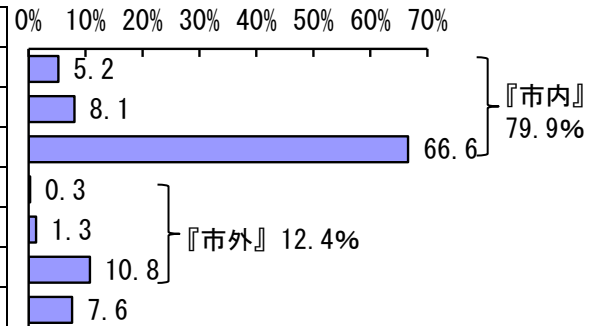
※『市内』は「市内の個人商店」「市内の小売店」「市内の大型店」の合計、『市外』は「市外の個人商店」「市外の小売店」「市外の大型店」の合計としています。(以下同様)

(2) 衣料品



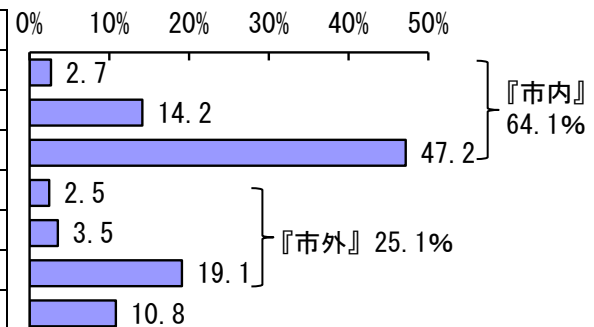
(3) 家具・家電

	n	%
市内の個人商店	74	5.2
市内の小売店	114	8.1
市内の大型店	941	66.6
市外の個人商店	4	0.3
市外の小売店	19	1.3
市外の大型店	152	10.8
無回答	108	7.6
全体	1,412	100.0



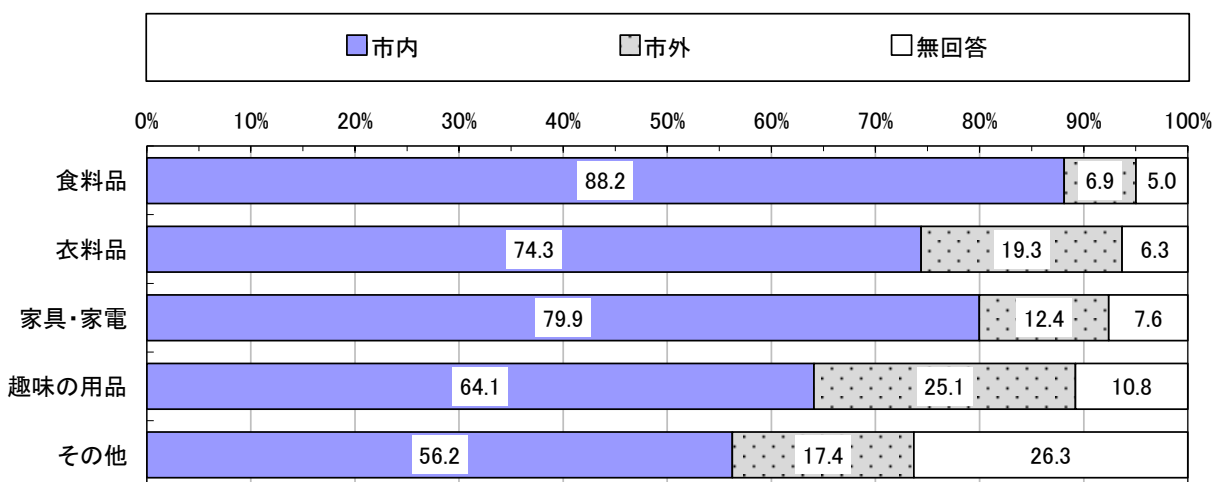
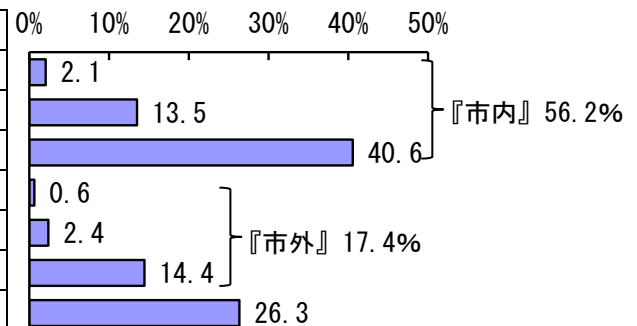
(4) 趣味の用品

	n	%
市内の個人商店	38	2.7
市内の小売店	200	14.2
市内の大型店	666	47.2
市外の個人商店	35	2.5
市外の小売店	50	3.5
市外の大型店	270	19.1
無回答	153	10.8
全体	1,412	100.0



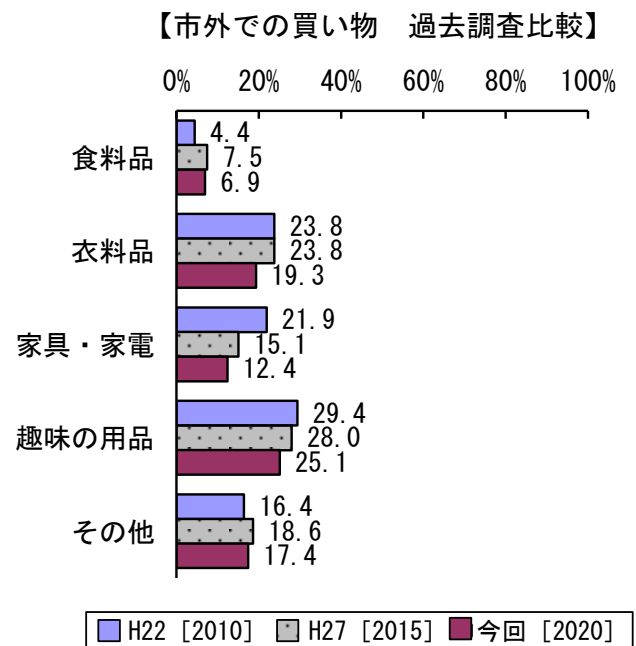
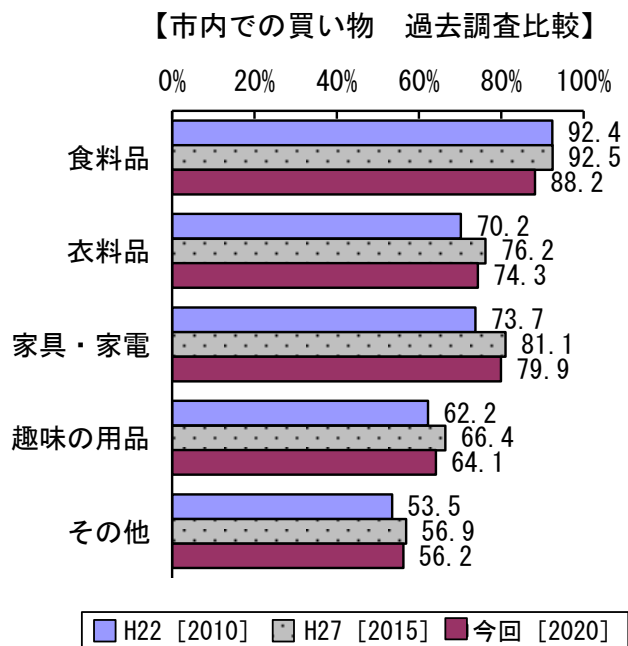
(5) その他

	n	%
市内の個人商店	29	2.1
市内の小売店	191	13.5
市内の大型店	573	40.6
市外の個人商店	9	0.6
市外の小売店	34	2.4
市外の大型店	204	14.4
無回答	372	26.3
全体	1,412	100.0



○過去調査と比較すると、市内での買い物の割合は全体的に H27 [2015] よりやや下がっているものの、あまり変化ありません。

○市内・市外での買い物がともに全体的に下がっている傾向にあります。



○年齢別で市内での買い物をみると、いずれの年代も全体的に同じ傾向となっており、“食料品”が8割を超えて最も高くなっています。

【市内での買い物 年齢別集計】

(単位：%)

	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
食料品	① 90.3	① 89.8	① 92.4	① 86.4	① 86.9
衣料品	74.2	72.2	76.3	74.5	74.4
家具・家電	78.3	77.3	81.7	81.3	80.1
趣味の用品	63.7	63.9	61.8	63.5	64.8
その他	59.7	62.7	60.8	62.0	51.9

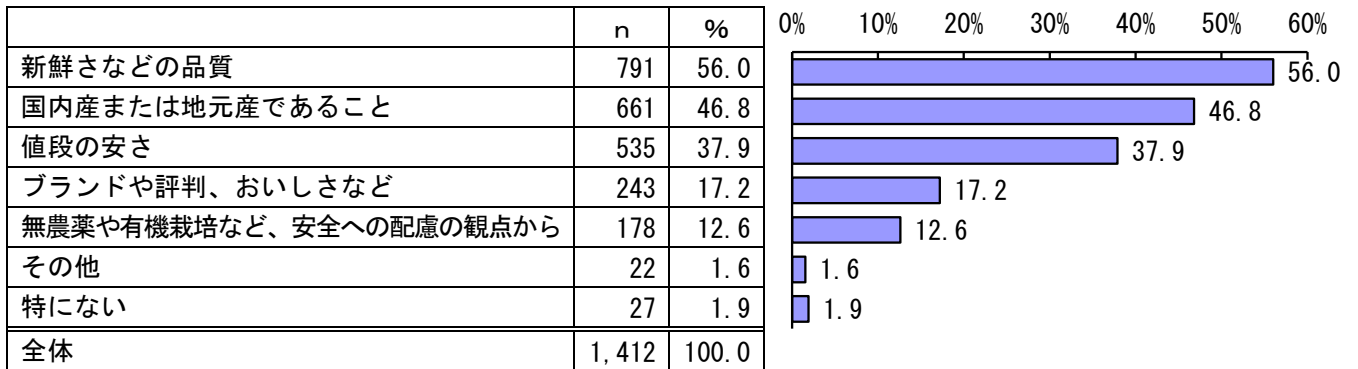
※第1位を①で記しています。

11-2 農産物の購入目安

問46：あなたが、米や野菜などの農産物を購入するとき、目安にしていることはどのようなことですか。
【2つまで○】

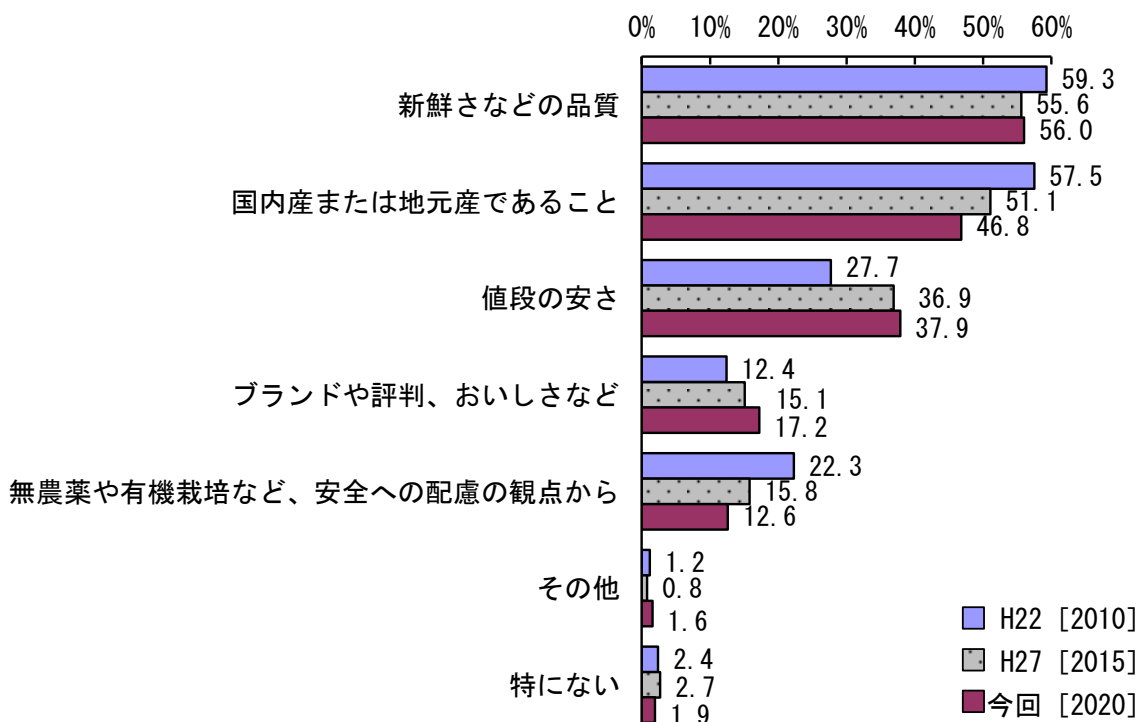
○農産物を購入する際の目安については、「新鮮さなどの品質」が56.0%と5割半ばを超えて最も高く、次いで「国内産または地元産であること」が46.8%、「値段の安さ」が37.9%と続いています。

問46 農産物の購入目安



○過去調査と比較すると、「新鮮さなどの品質」はいずれの調査でも5割を超えて最も高くなっています。
○「国内産または地元産であること」「無農薬や有機栽培など、安全への配慮の観点から」といった産地や安全性は調査ごとに下がっていく一方で、「値段の安さ」「ブランドや評判、おいしさなど」は調査ごとに上がっていく傾向にあります。

【農産物の購入目安 過去調査比較】



- 年齢別でみると、18～39歳の若年層では「値段の安さ」が、40歳以上では「新鮮さなどの品質」が5割を超えて最も高くなっています。
- 「新鮮さなどの品質」「国内産または地元産であること」「無農薬や有機栽培など、安全への配慮の観点から」といった食の安全や産地は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあります。
- 反対に「値段の安さ」「ブランドや評判、おいしさなど」は年代が下がるにつれて高くなる傾向にあります。

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
新鮮さなどの品質	46.8	46.8	① 54.3	① 56.3	① 59.9
国内産または地元産であること	29.0	39.2	40.9	46.9	52.6
値段の安さ	① 57.3	① 55.1	46.8	41.1	28.4
ブランドや評判、おいしさなど	23.4	21.5	21.5	14.1	14.9
無農薬や有機栽培など、安全への配慮の観点から	4.8	7.6	8.1	13.0	16.0
その他	1.6	0.0	2.7	1.6	1.5

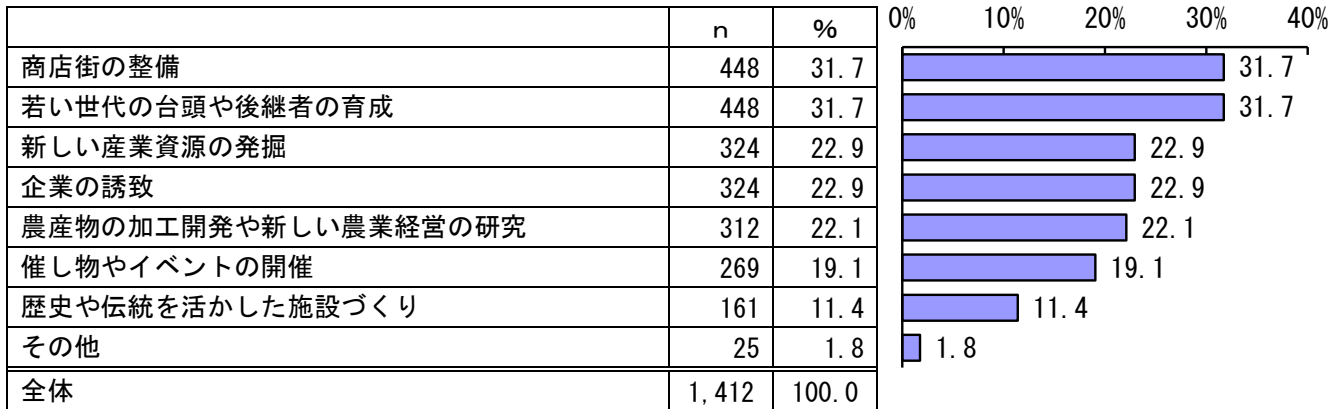
※第1位を①で記しています。

11-3 商業・産業の振興

問47：市の商業や産業の振興について何が重要だと思いますか。【2つまで○】

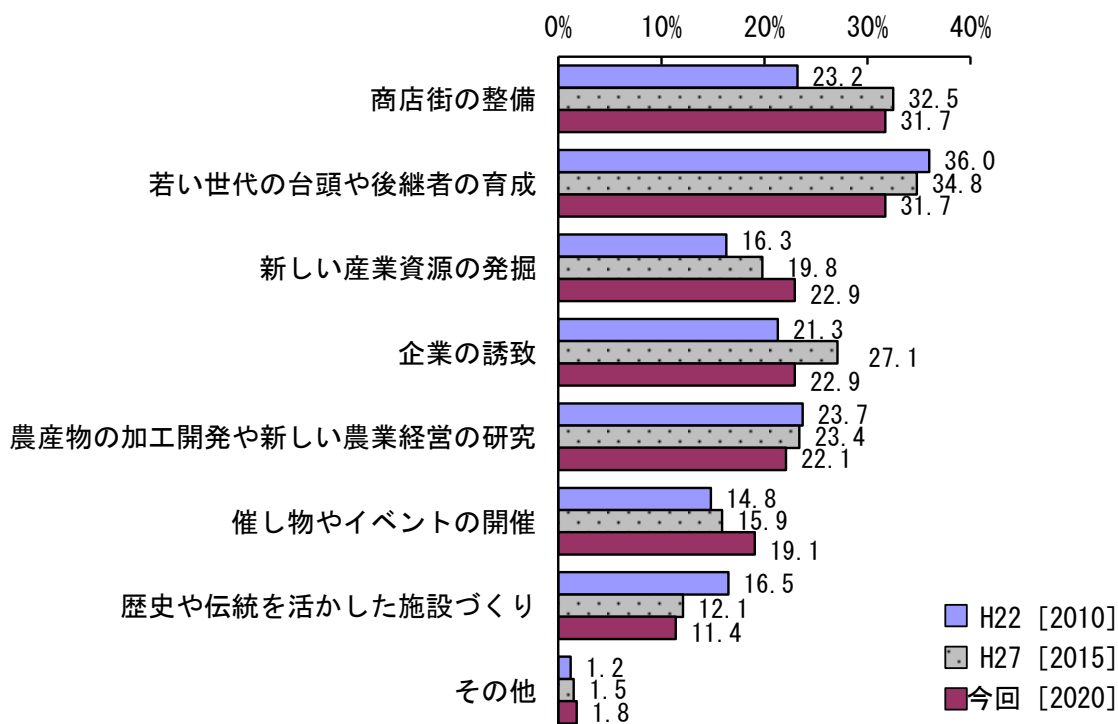
○商業や産業の振興において重要なことについては、「商店街の整備」と「若い世代の台頭や後継者の育成」がともに 31.7%と3割を超えて最も高く、次いで「新しい産業資源の発掘」と「企業の誘致」（ともに 22.9%）が続いています。

問 47 商業・産業の振興



○過去調査と比較すると、「若い世代の台頭や後継者の育成」「農産物の加工開発や新しい農業経営の研究」「歴史や伝統を活かした施設づくり」は調査ごとに下がっていく一方で、「新しい産業資源の発掘」「催し物やイベントの開催」は調査ごとに上がっていく傾向にあります。

【商業・産業の振興 過去調査比較】



12 全般的なまちづくりについて

12-1 施策の満足度

問48：市政に対し、以下の各項目についてどう感じていますか。【項目ごとにそれぞれ1つに○】

- 各施策にどの程度満足しているかを尋ねたところ、「満足」及び「まあまあ満足」を合わせた『満足』は「消防・救急・救助体制の充実」が25.6%、次いで「地域医療の充実」が21.7%と、地域の救命の施策が2割を超えて高くなっています。
- 「やや不満足」及び「不満足」を合わせた『不満足』は「空き家・空き地対策の推進」が39.2%と4割近くで最も高く、次いで「移動手段の確保」(38.7%)、「道路の整備」(35.5%)といった道路交通の施策が3割を超えて続いています。
- 施策の満足度を一様に評価するため、各項目の5段階評価を下記の算出方法を用い、加重平均によって点数化して満足度を表しました。値がプラスになるほど満足感、マイナスになるほど不満足感が強いということになります。

※施策満足度の評価点の算出方法

$$\left[\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ + \text{「やや満足」の回答者数} \times 1 \text{点} \\ + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \text{「やや不満足」の回答者数} \times -1 \text{点} \\ + \text{「不満足」の回答者数} \times -2 \text{点} \end{array} \right] \div \left[\begin{array}{l} \text{「満足」「やや満足」「普通」「やや不満足」「不満足」の回答者数} \end{array} \right] = \text{評価点}$$

- 満足度の評価が最も高い施策は「消防・救急・救助体制の充実」(0.22)で、「義務教育の充実」(0.09)、「市民協働・参画の推進」(0.03)と続いています。
- 満足度の評価が最も低い施策は「空き家・空き地対策の推進」(-0.73点)で、「移動手段の確保」(-0.54点)、「道路の整備」(-0.39点)が続いています。
- 居住地区別にみると、満足度の評価はいずれの地区も「消防・救急・救助体制の充実」が最も高く、「義務教育の充実」とともにすべての地区で評価がプラスになっています。
- 三田ヶ谷地区では“地域とともに生きるまちをつくる”分野及び“子どもを育て学びを高めるまちをつくる”分野の評価がすべてプラスとなっています。
- 村君地区では「移動手段の確保」の評価が-1.09と、マイナス点が最も高くなっています。

【施策の満足度の割合と評価点】

			満足	まあまあ満足	普通	やや不満足	不満足	わからない	無回答	評価点
まちをつくる 地域とともに生きる	市民協働・参画の推進	n %	22 1.6	95 6.7	709 ③ 50.2	55 3.9	30 2.1	387 27.4	114 8.1	③ 0.03
	コミュニティ支援	n %	23 1.6	96 6.8	675 47.8	101 7.2	25 1.8	375 26.6	117 8.3	-0.01
	都市交流・国際交流の推進	n %	18 1.3	77 5.5	590 41.8	106 7.5	46 3.3	455 32.2	120 8.5	-0.10
	文化の継承・振興	n %	15 1.1	97 6.9	673 47.7	94 6.7	40 2.8	369 26.1	124 8.8	-0.05
	人権施策の推進	n %	17 1.2	81 5.7	665 47.1	74 5.2	34 2.4	422 29.9	119 8.4	-0.03
	男女共同参画の推進	n %	18 1.3	85 6.0	638 45.2	81 5.7	37 2.6	437 30.9	116 8.2	-0.04
まちをつくる 子どもを育て学びを高める	子育て支援の推進	n %	27 1.9	167 11.8	615 43.6	108 7.6	54 3.8	308 21.8	133 9.4	0.01
	家庭教育の充実	n %	26 1.8	103 7.3	665 47.1	102 7.2	37 2.6	345 24.4	134 9.5	-0.02
	義務教育の充実	n %	45 3.2	143 10.1	683 48.4	86 6.1	30 2.1	293 20.8	132 9.3	② 0.09
	高等教育機関等との連携	n %	21 1.5	87 6.2	608 43.1	118 8.4	41 2.9	403 28.5	134 9.5	-0.08
	生涯学習の推進	n %	27 1.9	116 8.2	632 44.8	100 7.1	39 2.8	368 26.1	130 9.2	-0.01
まちをつくる 元気で助け合える	地域福祉の推進	n %	23 1.6	146 10.3	657 46.5	125 8.9	44 3.1	290 20.5	127 9.0	-0.02
	障がい者支援の推進	n %	19 1.3	115 8.1	598 42.4	138 9.8	56 4.0	364 25.8	122 8.6	-0.10
	高齢者支援の推進	n %	22 1.6	146 10.3	596 42.2	174 12.3	61 4.3	293 20.8	120 8.5	-0.11
	健康づくりの推進	n %	27 1.9	166 11.8	687 48.7	94 6.7	53 3.8	264 18.7	121 8.6	0.02
	生涯スポーツの振興	n %	22 1.6	128 9.1	677 47.9	95 6.7	47 3.3	319 22.6	124 8.8	-0.02
	社会保障の適正運用	n %	15 1.1	81 5.7	613 43.4	141 10.0	68 4.8	369 26.1	125 8.9	-0.18
まちをつくる いのちと暮らしを守る	防災対策の推進	n %	33 2.3	174 12.3	694 49.2	133 9.4	54 3.8	191 13.5	133 9.4	0.00
	消防・救急・救助体制の充実	n %	70 ① 5.0	292 ① 20.7	618 43.8	111 7.9	35 2.5	166 11.8	120 8.5	① 0.22
	地域医療の充実	n %	50 ② 3.5	256 ② 18.1	576 40.8	192 13.6	71 5.0	140 9.9	127 9.0	0.02
	防犯対策の推進	n %	26 1.8	131 9.3	696 49.3	170 12.0	66 4.7	192 13.6	131 9.3	-0.11
	交通安全対策の推進	n %	32 2.3	154 10.9	714 ② 50.6	155 11.0	55 3.9	179 12.7	123 8.7	-0.04
	消費者行政の推進	n %	18 1.3	81 5.7	693 49.1	123 8.7	37 2.6	333 23.6	127 9.0	-0.08

※第1位～第3位を①～③で記しています。

			満足	まあまあ満足	普通	やや不満足	不満足	わからない	無回答	評価点
まちをつくる 活気と魅力のある	農業の振興	n %	21 1.5	104 7.4	599 42.4	139 9.8	56 4.0	360 25.5	133 9.4	-0.11
	商工業の振興	n %	29 2.1	148 10.5	566 40.1	168 11.9	66 4.7	307 21.7	128 9.1	-0.10
	観光の振興	n %	15 1.1	79 5.6	530 37.5	248 17.6	99 7.0	310 22.0	131 9.3	-0.35
	勤労者支援・雇用の促進	n %	16 1.1	45 3.2	561 39.7	218 15.4	86 6.1	349 24.7	137 9.7	-0.34
	企業誘致の推進	n %	32 2.3	139 9.8	510 36.1	156 11.0	80 5.7	364 25.8	131 9.3	-0.12
	シティプロモーションの推進	n %	12 0.8	48 3.4	534 37.8	133 9.4	62 4.4	475 33.6	148 10.5	-0.23
まちをつくる インフラを整え生活を支える	市街地等の整備	n %	28 2.0	170 12.0	586 41.5	267 18.9	129 9.1	113 8.0	119 8.4	-0.25
	道路の整備	n %	26 1.8	165 11.7	533 37.7	313 ③ 22.2	188 13.3	77 5.5	110 7.8	-0.39
	移動手段の確保	n %	16 1.1	99 7.0	526 37.3	316 ② 22.4	230 ① 16.3	106 7.5	119 8.4	-0.54
	上水道の整備	n %	48 3.4	176 12.5	659 46.7	151 10.7	137 9.7	125 8.9	116 8.2	-0.13
	公園・緑地の整備	n %	43 3.0	190 ③ 13.5	623 44.1	240 17.0	99 7.0	101 7.2	116 8.2	-0.14
まちをつくる きれいで自然を感じる	下水道の整備	n %	43 3.0	129 9.1	588 41.6	209 14.8	190 ③ 13.5	136 9.6	117 8.3	-0.32
	ごみ処理の適正化	n %	48 ③ 3.4	180 12.7	669 47.4	207 14.7	95 6.7	105 7.4	108 7.6	-0.10
	環境保全の推進	n %	20 1.4	108 7.6	757 ① 53.6	134 9.5	54 3.8	217 15.4	122 8.6	-0.09
	空き家・空き地対策の推進	n %	5 0.4	42 3.0	393 27.8	326 ① 23.1	227 ② 16.1	300 21.2	119 8.4	-0.73
まちをつくる 健全な経営で自律する	危機管理の充実	n %	5 0.4	53 3.8	597 42.3	163 11.5	58 4.1	399 28.3	137 9.7	-0.25
	持続可能な財政運営	n %	8 0.6	50 3.5	513 36.3	199 14.1	87 6.2	423 30.0	132 9.3	-0.36
	開かれた市政の推進	n %	14 1.0	67 4.7	589 41.7	148 10.5	75 5.3	388 27.5	131 9.3	-0.23
	行政経営の効率化	n %	9 0.6	43 3.0	532 37.7	166 11.8	82 5.8	447 31.7	133 9.4	-0.32

※第1位～第3位を①～③で記しています。

【施策の満足度 居住地区別評価点】

		羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
地域とともに生きるまちをつくる	市民協働・参画の推進	0.00	② 0.04	0.00	-0.02	-0.06	0.11	0.07	0.23	0.03
	コミュニティ支援	-0.05	② 0.04	-0.01	-0.06	-0.08	0.00	0.05	0.22	-0.06
	都市交流・国際交流の推進	-0.13	-0.09	-0.14	-0.19	-0.19	-0.07	-0.04	② 0.29	-0.10
	文化の継承・振興	-0.07	-0.13	-0.09	0.06	-0.16	0.01	-0.08	0.17	0.00
	人権施策の推進	0.02	-0.09	-0.10	-0.10	0.02	0.00	-0.13	③ 0.28	-0.19
	男女共同参画の推進	-0.03	0.00	-0.13	-0.13	-0.06	-0.06	-0.04	③ 0.28	0.07
子どもを育てるまちをつくる	子育て支援の推進	③ 0.05	-0.08	-0.04	-0.01	-0.11	0.04	0.02	0.14	-0.07
	家庭教育の充実	-0.02	-0.03	-0.08	-0.01	-0.09	-0.03	0.05	0.05	0.03
	義務教育の充実	② 0.10	0.02	③ 0.01	0.09	② 0.09	0.07	② 0.17	0.23	0.06
	高等教育機関等との連携	-0.06	-0.06	-0.10	-0.14	-0.15	-0.16	0.01	0.10	-0.18
	生涯学習の推進	-0.03	-0.04	② 0.02	0.04	-0.08	0.01	0.01	0.17	-0.03
元気で助け合えるまちをつくる	地域福祉の推進	-0.02	-0.14	-0.17	0.09	0.00	0.06	0.02	0.07	-0.10
	障がい者支援の推進	-0.09	-0.24	-0.21	-0.02	-0.19	-0.03	-0.01	-0.10	-0.18
	高齢者支援の推進	-0.14	-0.18	-0.20	0.04	-0.23	-0.08	0.07	-0.04	-0.19
	健康づくりの推進	-0.05	0.02	-0.02	③ 0.10	0.02	③ 0.12	③ 0.10	0.09	③ 0.09
	生涯スポーツの振興	-0.10	-0.06	-0.11	0.07	0.04	② 0.15	0.04	0.11	② 0.15
	社会保障の適正運用	-0.25	-0.18	-0.27	-0.08	-0.23	-0.15	-0.05	0.02	-0.13
いのちと暮らしを守るまちをつくる	防災対策の推進	-0.03	0.01	-0.16	0.07	0.02	0.11	0.08	0.04	-0.03
	消防・救急・救助体制の充実	① 0.19	① 0.23	① 0.06	① 0.32	① 0.29	① 0.32	① 0.26	① 0.48	① 0.19
	地域医療の充実	0.03	0.01	-0.12	② 0.15	③ 0.07	0.06	0.03	0.10	-0.42
	防犯対策の推進	-0.07	-0.15	-0.27	-0.10	-0.11	0.00	-0.10	0.02	-0.38
	交通安全対策の推進	-0.04	-0.15	-0.14	0.01	0.00	0.04	-0.03	0.04	-0.11
	消費者行政の推進	-0.08	-0.01	-0.15	-0.02	-0.12	-0.08	-0.11	-0.02	-0.23
活気と魅力あるまちをつくる	農業の振興	-0.14	-0.09	-0.19	-0.05	0.02	-0.04	-0.07	-0.22	-0.23
	商工業の振興	-0.16	-0.02	-0.07	-0.02	-0.21	-0.05	0.03	-0.09	-0.32
	観光の振興	-0.39	-0.24	-0.48	-0.25	-0.45	-0.25	-0.25	-0.10	-0.74
	勤労者支援・雇用の促進	-0.45	-0.29	-0.38	-0.22	-0.37	-0.19	-0.17	-0.20	-0.47
	企業誘致の推進	-0.16	-0.03	-0.08	0.06	-0.29	-0.14	-0.05	-0.03	-0.48
	シティプロモーションの推進	-0.29	-0.17	-0.25	-0.03	-0.17	-0.23	-0.29	-0.06	-0.48
インフラを整えるまちをつくる	市街地等の整備	-0.21	-0.38	-0.31	-0.17	-0.32	-0.13	-0.27	-0.44	-0.43
	道路の整備	-0.31	-0.47	-0.48	-0.43	-0.41	-0.30	-0.39	-0.47	-0.56
	移動手段の確保	-0.44	-0.68	-0.67	-0.40	-0.54	-0.55	-0.54	-0.65	-1.09
	上水道の整備	0.04	-0.34	-0.23	-0.20	-0.21	-0.24	-0.18	-0.08	-0.20
	公園・緑地の整備	-0.06	-0.39	-0.17	-0.33	-0.30	0.00	-0.12	0.10	-0.06
きれいで自然を感じるまちをつくる	下水道の整備	-0.03	-0.61	-0.53	-0.47	-0.30	-0.40	-0.58	-0.47	-0.27
	ごみ処理の適正化	-0.03	-0.16	-0.18	-0.16	-0.15	0.00	-0.26	0.04	-0.08
	環境保全の推進	-0.06	-0.14	-0.13	-0.06	-0.16	-0.02	-0.16	-0.07	-0.06
	空き家・空き地対策の推進	-0.78	-0.67	-0.68	-0.63	-0.91	-0.69	-0.69	-0.60	-0.94
健全な経営で自律するまちをつくる	危機管理の充実	-0.28	-0.24	-0.29	-0.08	-0.20	-0.13	-0.32	-0.13	-0.45
	持続可能な財政運営	-0.42	-0.37	-0.35	-0.27	-0.34	-0.28	-0.35	-0.09	-0.56
	開かれた市政の推進	-0.30	-0.18	-0.27	-0.13	-0.22	-0.14	-0.22	0.00	-0.29
	行政経営の効率化	-0.35	-0.33	-0.31	-0.26	-0.29	-0.31	-0.38	-0.02	-0.46

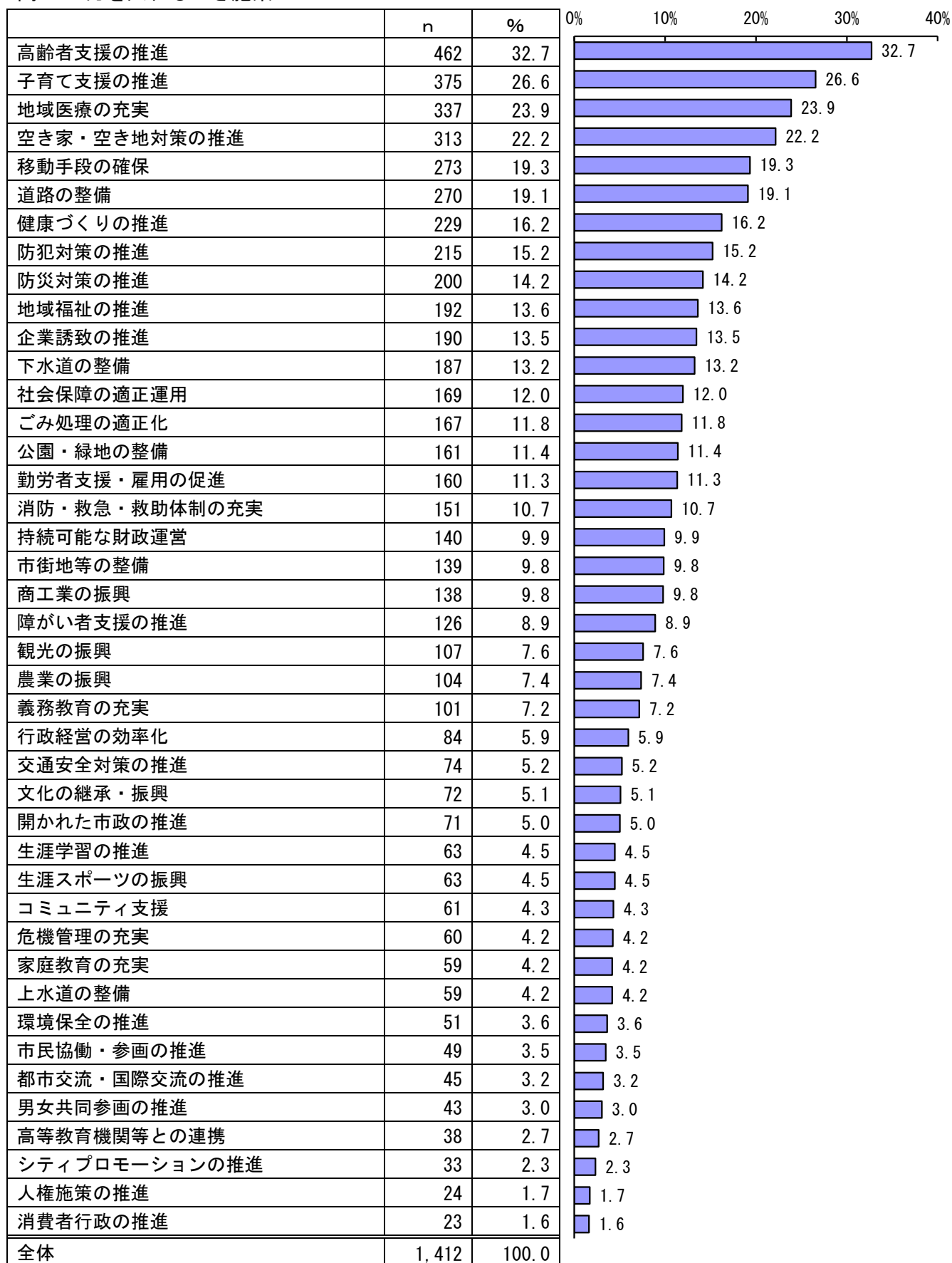
※第1位～第3位を①～③で記しています。

12-2 力を入れるべき施策

問49：これからの市政に対して、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。【5つまで○】

- 市政に対して特に力を入れてほしいものについては、「高齢者支援の推進」が32.7%と3割を超えて最も高く、「子育て支援の推進」(26.6%)、「地域医療の充実」(23.9%)、「空き家・空き地対策の推進」(22.2%)が2割を超えて続いています。
- 年齢別でみると、50歳未満では「子育て支援の充実」、50歳以上では「高齢者支援の推進」が最も高くなっています。
- 50歳未満の年代では、“インフラを整え生活を支えるまちをつくる”分野の施策への要望が高くなっています。
- 居住地区別でみると、いずれの地区でも「高齢者支援の推進」が上位3位以内に入って高く、新郷地区と村君地区以外のすべての地区で「子育て支援の推進」が上位に入っています。また、「地域医療の充実」も半分以上の地区で上位に入っています。
- 手子林地区、三田ヶ谷地区、村君地区では「空き家・空き地対策の推進」が上位2位以内に入っています。

問 49 力を入れるべき施策



【力を入れるべき施策／全体及び年齢別集計】

		全体		年齢別				
				18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
		n	%	%	%	%	%	%
地域とともに生きるまちをつくる	市民協働・参画の推進	49	3.5	0.8	1.3	4.8	2.1	4.2
	コミュニティ支援	61	4.3	7.3	3.8	6.5	4.2	3.4
	都市交流・国際交流の推進	45	3.2	4.8	7.6	2.7	2.1	2.3
	文化の継承・振興	72	5.1	4.0	3.8	7.5	4.2	5.3
	人権施策の推進	24	1.7	4.0	2.5	2.2	0.5	1.4
	男女共同参画の推進	43	3.0	4.0	1.9	2.2	2.1	3.4
子どもを育てるまちをつくる	子育て支援の推進	375	② 26.6	① 40.3	① 50.0	① 30.1	② 25.0	19.0
	家庭教育の充実	59	4.2	6.5	5.7	3.8	3.1	3.9
	義務教育の充実	101	7.2	8.1	15.8	12.9	5.2	4.2
	高等教育機関等との連携	38	2.7	2.4	2.5	5.9	3.1	1.9
	生涯学習の推進	63	4.5	0.8	1.9	4.3	3.1	6.0
元気で助け合えるまちをつくる	地域福祉の推進	192	13.6	6.5	7.0	9.1	11.5	17.8
	障がい者支援の推進	126	8.9	4.8	8.9	9.1	11.5	9.0
	高齢者支援の推進	462	① 32.7	16.1	17.7	② 29.0	① 32.8	① 39.3
	健康づくりの推進	229	16.2	8.1	14.6	11.3	16.1	19.2
	生涯スポーツの振興	63	4.5	1.6	5.7	3.2	3.1	5.4
	社会保障の適正運用	169	12.0	5.6	8.2	16.7	12.0	12.6
いのちと暮らしを守るまちをつくる	防災対策の推進	200	14.2	12.1	17.1	15.6	13.0	14.0
	消防・救急・救助体制の充実	151	10.7	8.9	6.3	11.8	9.4	12.1
	地域医療の充実	337	③ 23.9	19.4	20.9	21.0	③ 24.0	③ 26.4
	防犯対策の推進	215	15.2	22.6	15.2	21.5	14.6	12.5
	交通安全対策の推進	74	5.2	4.0	8.9	5.4	3.1	5.3
	消費者行政の推進	23	1.6	2.4	2.5	1.1	3.6	1.0
活気と魅力あるまちをつくる	農業の振興	104	7.4	4.8	8.2	7.5	7.8	7.5
	商工業の振興	138	9.8	20.2	13.3	13.4	9.9	6.4
	観光の振興	107	7.6	16.9	10.1	5.4	11.5	5.2
	勤労者支援・雇用の促進	160	11.3	8.9	17.7	16.7	10.9	9.0
	企業誘致の推進	190	13.5	13.7	20.3	20.4	10.9	10.9
	シティプロモーションの推進	33	2.3	4.0	3.8	4.8	3.1	1.0
インフラを整えるまちをつくる	市街地等の整備	139	9.8	12.1	11.4	9.1	11.5	8.7
	道路の整備	270	19.1	③ 25.0	② 25.9	12.9	20.8	17.9
	移動手段の確保	273	19.3	② 30.6	17.1	③ 22.0	20.3	16.8
	上水道の整備	59	4.2	1.6	3.2	3.2	6.3	4.6
	公園・緑地の整備	161	11.4	12.9	③ 22.2	13.4	8.9	9.1
きれいで自然を感じるまちをつくる	下水道の整備	187	13.2	4.8	8.2	12.4	17.7	14.8
	ごみ処理の適正化	167	11.8	10.5	10.8	10.8	13.5	11.8
	環境保全の推進	51	3.6	3.2	1.3	4.3	3.6	3.9
	空き家・空き地対策の推進	313	22.2	9.7	11.4	15.1	21.4	② 28.7
健全な経営で自律するまちをつくる	危機管理の充実	60	4.2	2.4	3.8	4.8	8.3	3.4
	持続可能な財政運営	140	9.9	9.7	12.0	7.5	15.6	8.8
	開かれた市政の推進	71	5.0	4.8	1.3	2.2	4.7	6.8
	行政経営の効率化	84	5.9	6.5	7.6	3.2	6.8	5.8

※第1位～第3位を①～③で記しています。

【力を入れるべき施策／全体及び居住地区別集計】

		全体		地区別								
				羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
		n	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
地域とともに生きる まちをつくる	市民協働・参画の推進	49	3.5	3.9	3.0	2.9	4.9	4.2	2.2	1.4	7.1	2.3
	コミュニティ支援	61	4.3	5.4	1.5	4.4	3.3	9.9	2.9	4.2	3.6	0.0
	都市交流・国際交流の推進	45	3.2	3.5	2.2	0.0	4.1	2.8	2.9	6.3	1.8	2.3
	文化の継承・振興	72	5.1	5.6	6.7	5.1	3.3	7.0	4.3	4.9	5.4	0.0
	人権施策の推進	24	1.7	1.3	1.5	0.7	4.1	0.0	2.2	2.1	3.6	2.3
	男女共同参画の推進	43	3.0	3.0	3.7	3.6	0.8	4.2	5.8	1.4	1.8	2.3
子どもを育て学つ まを育つ	子育て支援の推進	375	②26.6	②26.3	21.6	②29.9	③26.2	②31.0	②29.7	②24.3	③26.8	30.2
	家庭教育の充実	59	4.2	3.7	2.2	8.0	3.3	11.3	4.3	2.8	1.8	2.3
	義務教育の充実	101	7.2	6.5	6.0	9.5	11.5	5.6	10.9	4.2	3.6	9.3
	高等教育機関等との連携	38	2.7	3.0	1.5	1.5	0.8	2.8	3.6	2.1	7.1	4.7
	生涯学習の推進	63	4.5	4.9	5.2	0.7	3.3	7.0	5.1	4.2	5.4	4.7
元気で助け合える まちをつくる	地域福祉の推進	192	13.6	13.4	11.9	19.0	19.7	18.3	7.2	9.7	19.6	11.6
	障がい者支援の推進	126	8.9	8.4	6.7	9.5	9.8	9.9	11.6	9.7	10.7	7.0
	高齢者支援の推進	462	①32.7	①31.5	①36.6	③28.5	①31.1	①32.4	①40.6	①31.3	②32.1	②32.6
	健康づくりの推進	229	16.2	16.4	15.7	18.2	18.9	9.9	18.8	11.1	③26.8	9.3
	生涯スポーツの振興	63	4.5	5.2	4.5	2.9	4.1	1.4	6.5	4.9	3.6	0.0
	社会保障の適正運用	169	12.0	11.8	11.2	12.4	14.8	15.5	10.9	11.1	10.7	16.3
いのちと暮らしを 守るまちをつくる	防災対策の推進	200	14.2	13.2	17.9	14.6	9.8	8.5	19.6	15.3	7.1	30.2
	消防・救急・救助体制の充実	151	10.7	10.3	11.2	10.9	13.1	8.5	13.0	9.7	10.7	7.0
	地域医療の充実	337	③23.9	③24.4	③23.9	①30.7	20.5	③22.5	③25.4	21.5	25.0	16.3
	防犯対策の推進	215	15.2	15.1	12.7	16.1	15.6	14.1	18.8	16.7	7.1	9.3
	交通安全対策の推進	74	5.2	4.9	5.2	5.1	4.9	4.2	8.0	5.6	10.7	0.0
	消費者行政の推進	23	1.6	2.1	2.2	2.9	0.8	1.4	1.4	0.0	0.0	2.3
活気と魅力ある まちをつくる	農業の振興	104	7.4	6.7	6.7	13.9	3.3	5.6	4.3	9.0	14.3	9.3
	商工業の振興	138	9.8	12.3	8.2	9.5	7.4	7.0	5.8	10.4	10.7	4.7
	観光の振興	107	7.6	8.4	8.2	4.4	6.6	7.0	8.0	9.7	8.9	4.7
	勤労者支援・雇用の促進	160	11.3	12.1	9.0	12.4	10.7	9.9	6.5	10.4	10.7	23.3
	企業誘致の推進	190	13.5	14.2	10.4	10.9	8.2	16.9	12.3	13.9	17.9	25.6
	シティプロモーションの推進	33	2.3	3.0	3.0	0.7	1.6	1.4	2.2	2.1	1.8	2.3
インフラを整え まちをつくる	市街地等の整備	139	9.8	11.4	11.9	7.3	11.5	7.0	7.2	7.6	8.9	4.7
	道路の整備	270	19.1	14.9	20.1	21.9	②28.7	19.7	16.7	20.8	19.6	②32.6
	移動手段の確保	273	19.3	16.6	②26.1	12.4	14.8	21.1	21.7	19.4	③26.8	①46.5
	上下道の整備	59	4.2	3.2	6.0	4.4	6.6	4.2	6.5	3.5	1.8	2.3
	公園・緑地の整備	161	11.4	13.6	9.7	10.2	13.9	16.9	8.7	6.9	10.7	4.7
きれいで自然 を感じるまち	下水道の整備	187	13.2	7.1	18.7	19.7	20.5	11.3	14.5	22.2	8.9	0.0
	ごみ処理の適正化	167	11.8	11.0	11.9	13.1	13.1	8.5	10.9	16.7	14.3	4.7
	環境保全の推進	51	3.6	3.9	4.5	4.4	4.9	0.0	2.9	2.1	3.6	4.7
	空き家・空き地対策の推進	313	22.2	22.6	20.9	19.0	16.4	21.1	22.5	②24.3	①35.7	②32.6
健全な経営で まちをつくる	危機管理の充実	60	4.2	3.9	6.0	4.4	5.7	5.6	3.6	3.5	1.8	0.0
	持続可能な財政運営	140	9.9	11.2	8.2	9.5	6.6	11.3	10.1	12.5	7.1	7.0
	開かれた市政の推進	71	5.0	6.7	1.5	5.8	6.6	4.2	4.3	2.8	0.0	4.7
	行政経営の効率化	84	5.9	6.3	6.7	6.6	4.9	2.8	4.3	9.0	3.6	2.3

※第1位～第3位を①～③で記しています。

IV. 調査結果のまとめ

1 市の住み心地について

現在の市の住み心地については、「住み良い」(25.7%)と「まあまあ住み良い」(47.1%)を合わせた『住み良い』は72.8%と7割を超えています。「住み良い」割合を過去調査と比べると、調査ごとに増加しています。『住み良い』と思う理由は、「永年住みなれ、愛着がある」(52.2%)が5割を超えて最も多く、「買い物の便が良い」(39.8%)が続いています。一方、「住みにくい」理由として、前回調査と同じく「交通の便が悪い」「都市施設が整っていない」「買い物が不便である」が高くなっています。

また、定住意向については、「ずっと住み続けたい」(44.3%)と「当分の間住み続けたい」(28.0%)を合わせた『住み続けたい』(72.3%)は7割を超えており、過去調査から引き続き地域の定住意向は高い傾向にあります。年齢別にみると、18～29歳では「できれば転居したい(市外へ)」(16.1%)が他の年代よりも高く、主に若年層の定住に向けた施策が求められています。

住み続けるにあたって必要なものについては、「医療施設の充実」(38.2%)、次いで「福祉施設の充実」(31.1%)、「生活道路の整備」(30.0%)が3割台となっており、特に50歳以上の年代で高くなっています。一方、18～29歳では「商業施設の充実」や「アミューズメント施設の充実」といった娯楽施設の充実を求める声が多く、30～39歳では「公園・緑地など広場の整備」、40歳未満では「子育て支援の施設の充実」など、子育てをする環境整備が市への定住に際し求められています。

2. 市の取り組みなどについて

『広報はにゅう』の閲読については、「必ず読む」(52.3%)と「ときどき読む」(33.3%)を合わせた『読む』(85.6%)は8割半ばを占めています。

また、『ぎかいだより』の閲読については、「必ず読む」(22.5%)と「ときどき読む」(48.7%)を合わせた『読む』(71.2%)は7割を超えていますが、『広報はにゅう』に比べて低い閲読状況となっています。『広報はにゅう』『ぎかいだより』ともに前回調査よりも『読む』割合が高く、市政に対する市民の関心の高さがうかがえます。

「羽生市まちづくり自治基本条例」については、「内容を知っている」が4.3%と前回調査からほぼ変化なく低い割合にとどまっており、情報発信や意識啓発を推進していく必要があります。協働によるまちづくりの1つである市の計画づくりへの参加意向については、『参加したい』(54.7%)が5割半ば近くを占めていますが、過去調査と比べると減少していく傾向にあり、50歳未満の年代では「参加したくない」が『参加したい』を上回っています。市の計画づくりへの参加を促す必要があります。

市の電子申請・届出サービスについては、「知っているが、利用したことはない」(52.8%)が5割を超えていますが、「利用したことがある」は3.9%にとどまっており、利便性や手続き時間短縮などメリットをわかりやすく伝える必要があります。

市政・市役所に対する住民のイメージは、「市政への信頼度」「市政の進展度」「窓口対応の親切さ」のいずれも過去調査を上回って増加傾向にあります。しかし、「市政への信頼度」「窓口対応の親切さ」に比べると「市政の進展度」は『進んでいる』(50.1%)と『進んでいない』(43.6%)割合が近くなっており、着実な市の施策の実行と実行の成果を市民の目にわかりやすく伝え、市政の進展についての理解を図っていく必要があります。

3. コミュニティについて

近所付き合いについては、「良く付き合っている」(13.0%)と「普通程度に付き合っている」(42.7%)を合わせた『近所付き合いがある』(55.7%)は5割半ばを超えていますが、過去調査と比べると調査ごとに下がっていく傾向にあり、特に「普通程度に付き合っている」は前回調査から7.3ポイント下がっています。年齢別にみると40歳未満で『近所付き合いがある』が3割程度と、若い世代の近所付き合いが薄れていることがうかがえます。

行事への参加については、「積極的に参加している」「ときどき参加している」「やむを得ず参加している」を合わせた『参加している』(60.7%)は6割を占めていますが、過去調査と比べると調査ごとに下がっていく傾向にあり、「参加していない」割合は増加傾向にあります。年齢別にみると「参加していない」は18～29歳で8割、30～39歳で6割を超えていることから、若い世代が自治会やコミュニティなど地域と関わりやすい環境を整えていく必要があります。

ボランティア活動については、「特に参加していない」(65.8%)が6割半ばを占めていますが、『参加している』割合は過去調査と比べると最も高く、特に「地域社会(自治会活動、交通安全、非行防止・防犯など)」に関するボランティア活動が前回調査よりも大きく上がっており、特に40歳以上から2割前後と高くなっています。一方、40歳未満では「参加していない」が8割を超えており、若い世代の参加割合は低くなっています。

4. 市の将来像について

市の将来像については、「福祉施設が充実した福祉都市」(39.8%)、「子育てしやすい安心な都市」(33.8%)が3割を超えて高く、福祉の充実が求められています。また、前回調査と比べると「活気ある商業都市」と「水と緑あふれる田園都市」が上がっていることから、経済活動と自然環境の調和した都市像が望まれています。

市の将来像のアイデアについては、「医療・福祉」に関する項目が117件と最も多く、次いで「公園・公共施設」(98件)、「商業施設・娯楽施設」(89件)が続いており、市の将来像に望むことへの具体的な意見が多くなっています。また、水害などの防災や、高齢者の運転免許返納による移動の不安解消などの意見も寄せられています。

5 市の特徴について

全国PRに有効なものについては、「世界キャラクターさみっと in 羽生」(33.4%)が3割を超えて最も高く、次いで「さいたま水族館」(28.8%)、「藍染め」(28.3%)、「羽生水郷公園」(25.0%)、「大型商業施設」(16.4%)、「いがまんじゅう」(15.6%)、「利根川」(12.1%)などイベント、施設、名所、名物、キャラクターなど、多様な分野のものが選ばれています。年齢別でみると、60歳未満のすべての年代で「世界キャラクターさみっと in 羽生」が4割を超えていますが、前回調査に比べると下がっており、「藍染め」「羽生水郷公園」といった伝統的なものや自然環境が見直されています。

市の中で好きな場所や景色については、「利根川」や「葛西用水路」といった水辺やその周囲の環境、近隣の山々を見回せる雄大な風景、生活に根付いた田園風景といった自然環境や、それを利用した公園などが多くの市民に親しまれています。

6 福祉・リサイクル・交通について

生きがいのある老後のために大切なものについては、「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」（54.8%）、「高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する」（33.1%）が高くなっており、経済面の支援や福祉サービスの充実が求められています。

市の子育て支援に期待することについては、「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」（47.3%）が最も高く、「子育てしやすい住環境への支援」（35.7%）、「保育所・学童保育の充実」（25.7%）と続いており、前回調査から傾向は変わらず、働きながら子育てができる環境の整備が求められています。また、18～29歳では「妊娠・出産に対する支援」（41.9%）が4割を超えて高く、若い世代が安心して子育てできるよう引き続き支援していく必要があります。

家庭ごみ削減に必要なことについては、「不要なものは買わない、断る」（49.4%）が約半数を占めて最も高く、「食品ロスの削減推進」（42.2%）、「缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底」（38.9%）と続いており、ごみ削減への市民の意識が高まっていることがうかがえます。

市の交通に必要なものについては、「歩道の整備」（53.2%）と半数を超えて最も高く、次いで「身近な生活道路の整備」（44.6%）、「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」（42.9%）が4割を超えています。過去調査と比べると「歩道の整備」「身近な生活道路の整備」、「自転車道の整備」が前回調査よりも上がっており、身の回りの道路整備に対する要望が高くなってきています。

最終電車時刻の満足度については、「普通である」（40.6%）が4割を占めて最も高く、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた『満足』（35.7%）は、「やや不満足である」と「不満足である」を合わせた『不満足』（16.3%）を19.4ポイント上回っており、過去調査よりも高くなっています。年齢別では、40歳未満で『不満』が3割前後と高くなっています。

7 医療・防災・防犯について

かかりつけ医・かかりつけ歯科医については、どちらも「決めている」と「総合病院等に行っている」を合わせると7割以上を占めており、市民の多くがかかりつけ医・歯科医や行きつけの病院があることがわかります。一方で、「必要だと思わない」はかかりつけ医・歯科医のどちらも1割を切って低くなっていますが、「必要なので決めたいと思っている」と合わせると2割以上がかかりつけ医・歯科医を持っていません。また、かかりつけ薬局については、「受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している」（64.5%）が6割半ばを占めており、かかりつけ医・歯科医やかかりつけ薬局の必要性の意識啓発を行う必要があります。

医療費の増加を抑え健康に暮らすためには、すべての年代で「適度な運動」と「バランスのとれた食生活」が5割を超えて高く、また40歳未満では「適切な睡眠・休息」が5割を超えるなど、運動・食事・睡眠が健康に不可欠だと考えられています。

健康診断などの受診については、「受診している」（70.8%）が7割を占めており、いずれの年代も6割以上と高くなっています。また、受診していない人の理由として、60歳以上では「普段から医者にかかっている」が高くなっていますが、それ以外の年代では「機会がない」や「忙しい」が高く、健康診断の重要性を啓発していく必要があります。

家屋の耐震状況については、建築基準法新耐震基準の施行[昭和 57 年(1982)年]前に建てられた築後約 40 年になる家屋は 2 割を占めています。また、自宅が地震に対して安全かを知りたい人は、75.1%と 7 割半ばを占めており、住居の安全への関心は高くなっていますが、大規模地震に対する安全性に問題があると分かった場合、持ち家・借家ともに「何もしない」が 2 割を超えています。

住宅用火災警報器については、「設置されていない」(35.6%)が 3 割半ばを占めており、今後も設置の普及促進を図る必要があります。

震災・水害時の避難所については、「知らない」(18.7%)が 2 割を切って前回調査よりも低くなっていますが、引き続き避難所の周知を図る必要があります。また、ハザードマップの「内容を理解している」(29.6%)や、マイ・タイムラインを「作成している」(1.1%)割合を高めるため、防災に関する意識啓発を行う必要があります。

災害時の備えについては、「避難所の確認」(49.9%)、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」(43.0%)、「非常用食料の備蓄」(31.6%)など 3 割を超えています。過去調査と比べると「特に準備していない」は調査ごとに下がっており、災害の備えに対する市民の意識の高まりがみられます。

防犯対策については、「センサーライトの設置」(39.8%)、「ドア、窓の二重ロック化」(35.7%)が 3 割を超えています。また、今回調査からの「振込詐欺に備えた留守番電話等の設定」は 50 歳以上で 3 割を超えており、詐欺対策への意識の高さがうかがえます。

犯罪を防止するために必要なことについては、「防犯灯や街路灯を増設する」(72.5%)と 7 割を超えて最も高く、次いで「市街地などに防犯カメラを取り付ける」(49.4%)、「警察のパトロールを多くする」(43.8%)と、前回調査と同じ順に続いています。一方、「近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる」(24.9%)「市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む」(14.1%)「地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする」(6.9%)などの取り組みが下がっている傾向にあります。

8 選挙について

選挙の投票率が低い理由については、「有権者の政治への無関心」(42.8%)、「投票しても政治は良くならないと思うため」(33.8%)、「若い人の政治への無関心」(28.8%)といった政治に対する無関心や諦念が強く出ており、投票率を上げるために、「自宅での投票や郵便投票ができるようにする」といった投票方法の検討や「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」といった政治への信頼を取り戻す方策が求められています。

9 教育・スポーツについて

学校の再編については、「再編はやむを得ない」(38.7%)と「再編すべきである」(8.7%)を合わせると再編に肯定的な回答は 47.4%となります。学校再編に肯定的な理由としては、「少子化」が、「再編しない方がよい」理由としては「通学等の問題」が 100 件を超えています。

学校教育で特に力を注ぐべき項目については、「考える力を育成する学習の充実」(30.4%)、「教員の指導力の向上」(29.4%)、「善悪を判断できる児童生徒の育成」(27.6%)などが上位となっています。

学校と地域との連携で望むことについては、「防犯活動など安全のための活動に取り組む」(29.8%)、が約 3 割で最も高く、地域ぐるみで子どもの安全を守る見守りが求められています。

子どもが自宅で読書を楽しめる「おうち図書館」については、「ある」が 65.2%、「ない」が 34.8% となっています。

スポーツをする頻度については、「行っていない／月に 1 回未満」(32.6%) が 3 割を超えて最も高くなっています。定期的にスポーツを行っている人の中では「週に 2 回～4 回」(22.2%)、「週 5 回以上」(13.3%) と続いています。過去調査と比べると「行っていない／月に 1 回未満」が前回調査より 20 ポイント下がって、10 ポイント近く上がっており、定期的にスポーツや運動をする人が増えています。

スポーツ活動を行っていない理由については「忙しくて時間がないから」(49.1%) が半数近くで最も高く、「身近に適切な場所や施設がないから」(20.0%)、「スポーツが好きではないから」(18.5%) と続いています。年齢別にみると、60 歳以上では「健康上の理由」が 3 割半ばで高く、それ以外の年代では「忙しくて時間がないから」が 6 割を超えています。

10 人権・男女平等について

基本的人権の尊重については、「尊重されている」と「どちらかといえば尊重されている」を合わせた『尊重されている』(55.9%) は 5 割半ばを超えています。一方、「どちらかといえば尊重されていない」と「尊重されていない」を合わせた『尊重されていない』(22.0%) は 2 割を超えており、基本的人権に関する意識啓発や教育を引き続き行っていく必要があります。

身の回りの男女平等状況については、「男性が優遇されている」(11.9%) と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』(44.0%) は、「女性が優遇されている」及び「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている』(6.6%) を上回っており、男性の優遇感が高くなっています。また、『男は仕事、女は家庭』という考え方について、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『思わない』(64.8%) は 6 割を超えています。一方、「その通りだと思う」(2.9%) と「どちらかといえばそう思う」(19.0%) を合わせると 2 割を超えており、今後も男女共同参画を推進する必要があります。

11 商業・産業について

商品の購入場所について、いずれの商品購入も『市内』が 5 割以上を占め、市民の買い物の多くが市内で賄われていますが、“食料品”が「市内の小売店」で 6 割を占める以外は「市内の大型店」の割合が高く、「市内の個人商店」の利用は低い状況にあります。

農産物を購入する際の目安については、「新鮮さなどの品質」(56.0%) が 5 割半ばを超えて最も高く、次いで「国内産または地元産であること」(46.8%)、「値段の安さ」(37.9%) と品質や産地、価格が消費者を引きつけています。また、過去調査と比べると、「国内産または地元産であること」「無農薬や有機栽培など、安全への配慮の観点から」は下がっていく一方で、「値段の安さ」「ブランドや評判、おいしさなど」は上がっていく傾向にあります。

商業や産業の振興において重要なことについては、「商店街の整備」「若い世代の台頭や後継者の育成」がともに 31.7% と 3 割を超えて最も高く、若い人材を育成して市内産業の活性化が求められています。

12 全般的なまちづくりについて

各施策の満足度について、「満足」と「まあまあ満足」を合わせた『満足』は「消防・救急・救助体制の充実」(25.6%)、「地域医療の充実」(21.7%)が2割を超えて高くなっています。

各施策の満足度を加重平均によって点数化すると、「消防・救急・救助体制の充実」「義務教育の充実」「市民協働・参画の推進」の評価が高く、反対に「空き家・空き地対策の推進」「移動手段の確保」「道路の整備」の評価が低くなっています。

市政に対して特に力を入れてほしいものについては、「高齢者支援の推進」(32.7%)が高く、「子育て支援の推進」(26.6%)、「地域医療の充実」(23.9%)、「空き家・空き地対策の推進」(22.2%)、「移動手段の確保」(19.3%)などと続いており、各分野での施策の充実が求められます。

V. 自由記入のまとめ

市政に関するご意見がありましたら、自由にお書きください。

調査票の最後に市政に関する意見についての自由記入欄を設けたところ、346 人の方から 404 件の意見が記入されました。

意見を主な内容ごとに分類すると下記の通りとなっており、「政策、まちづくり全般」「行財政」「生活環境、住環境」「都市基盤整備」「安心安全（防災・防犯・救急・医療・福祉）」に関する意見が多くみられました。

分類		件数
1	生活環境、住環境	64
2	都市基盤整備	62
3	安心安全（防災・防犯・救急・医療・福祉）	57
4	農業	4
5	商工観光(産業)	30
6	教育、歴史・文化	3
7	コミュニティ、協働	5
8	行財政	77
9	政策、まちづくり全般	84
10	その他	18
合計		404

1 生活環境、住環境

性別	年齢	自由記述
女性	18～29 歳	あいあいバスの運転が荒い。
女性	18～29 歳	最近ソーラーパネルが増えてきて寂しい。
男性	18～29 歳	近所に住んでいる外国人のマナーが悪すぎる。ゴミの出し方、路上駐車など目に余る。言語ごとのゴミの出し方パンフレットなどの配布、指導をしてもらいたい。
不明	18～29 歳	もっと公園が近くにあったらいいと思う。羽生は住いよいよ町になることを願います。
女性	18～29 歳	村君、三田ヶ谷の人口はすごく減少しています。大型スーパーなどを作り、住宅を増やさないと、色々と不便な村君、三田ヶ谷には人は来ないと思います。学校も井泉と一緒にしたとしても、5年から10年、20年先を見ても不便さが変わらない場合、若い人達が増える事はないと思います。
女性	18～29 歳	悪臭について本当に対策してほしい。
女性	30～39 歳	日中火燃している家があり取り締まってほしい。
男性	30～39 歳	最近多いうるさいバイクをどうにかしてほしい。
女性	30～39 歳	新郷地区近辺にスーパーやドラッグストアがほしいです。
女性	30～39 歳	親が数年後に車の運転が出来なくなった時の移動手段や生活必需品の買い物が不安です。近くにコンビニもなくなったので、何かお店があれば安心出来ます。

性別	年齢	自由記述
男性	30～39 歳	自治会に加入しなければ実質ゴミ捨てできない。こんな事、状態の為に税金を納めているわけではありません。このような考え方を持つ、特に若い方は多いはず。
男性	30～39 歳	高齢者向けの移動販売車などが週数回まわるようになって欲しい。
女性	30～39 歳	羽生駅西口側はバスやトラックが通るたびに家が地震のように揺れる為、来客がいつもいつも驚いています。東京都調布市の道路陥没があったばかりだが、同じようなことが起きるのではないかと恐怖がある。
男性	30～39 歳	岩瀬は公園が少なすぎます。とにかく早く公園を作ってください。野焼き、自宅焼却炉で燃やした煙が頻繁に來ます。洗濯物も干せません。自宅焼却炉の使用禁止、野焼き対策の徹底をお願いします。
男性	30～39 歳	羽生市は車が無いと生活に困る。バスがあっても利用できない。停留所まで高齢者には無理。タクシー代も高い。
男性	40～49 歳	プラスチックごみですが、他の自治体では燃えるゴミですのでゴミを減らすにも燃やせる焼却施設を作ってほしい。斎場が古すぎます。新しく大きな施設が欲しいです。
男性	40～49 歳	ゴミ箱がない。ゴミ集積所がない。加須市に比べてカラスに荒らされていて汚い。回収時間も遅い。
男性	40～49 歳	側溝清掃とゴミ拾いは市でやるべき。
女性	40～49 歳	最近羽生市に引っ越してきましたが、ゴミ（プラスチック容器）の収集が平日になく、第2第4日曜日で、家から車で運ばないといけない遠い場所にあることに驚きました。
女性	40～49 歳	火事や行方不明などがあると放送しますが、夜中だとうるさいのでやめて欲しい。小中学校の運動会などの花火もうるさい。寝不足になり困っている。その他朝早い時間などの放送や花火は必要ない。
男性	40～49 歳	子どもの頃魚の釣れた川に魚がいなくなって異臭を放っている。環境保全、改善に力を入れてもらいたい。
男性	40～49 歳	羽生駅の治安が悪い、利用しづらい。農家の肥料のにおいが臭い。
女性	40～49 歳	高齢になり、車が運転できなくなり足も不自由になってきた時、東地区では買い物ができないのではと不安です。開発を東地区にも力を入れて頂けると助かります。
女性	50～59 歳	羽生駅コンコースは市なのか、東武鉄道なのか分かりませんが、ハトの糞でいつも汚れています。市の玄関口として対策していただきたいです。
女性	50～59 歳	ソーラーパネル設置の空き地が増えているので見栄えがよくない。空き地の利用方法は他にないのでしょうか。
女性	50～59 歳	私の住んでいる地域は風向きによって行田市の養豚場（豚小屋）のキツイ匂いが、庭に出ると充満している時がありとても不愉快になります。すごく臭いので本当に困ります。養豚場は民家が近くにない場所に移動する事は出来ないのでしょうか。
男性	50～59 歳	ゴミの集積所に分別されていないゴミが多数出されていたり、ゴミ問題をもう一度考えた方がいいと思います。
女性	50～59 歳	スーパーやコンビニが遠いので、老後車に乗れなくなったらと思うと不安。
女性	50～59 歳	最近はのどかな田んぼが住宅地になってしまうことが多く残念です。

性別	年齢	自由記述
男性	50～59 歳	養豚場の悪臭を何とか出来ないでしょうか。個人の経済活動の自由かもしれませんが、羽生市民として残念です。
女性	50～59 歳	羽生市の東側にスーパーができれば良い。
男性	50～59 歳	ごみ焼却炉の更新によりゴミの分別を無くしてほしい。水道水がいつでもぬるくまずい。埼玉用水路の側道の 4t 車以上の通行を禁止してほしい。
女性	50～59 歳	今年に入り、カインズやドラッグストア、飲食店などが充実し良かったと思う。だが今住んでいる所には街灯は少なく暗く、道はデコボコ、センターラインも消え、買い物もコンビニも無く、お年寄りが多く、買い物難民です。せめて頻繁に藍タウンに行くバスを運行か、移動販売のバスなどがあつたらと思います。草がいっぱい側溝に入り塞がっているので、水害があつたらと思うと怖いです。
女性	50～59 歳	交通の便がすごく悪いのでスーパーやコンビニを作って欲しいですね。
女性	50～59 歳	高齢になり買い物に行くことがなかなか出来ない人が多いと思いますので、市の方で移動販売車を用意することができないでしょうか。
女性	60 歳以上	家の前は広い道路ですが、常に隣の人は駐車をします。デイサービスを利用してますので、とても邪魔です。広報でも路上駐車を強く注意してください。
不明	60 歳以上	作らなくなった畑の草の高さ、その隣まで行かなくてはならない道のでこぼこ、滑り落ちそうで怖すぎる。毎日とっていいほど捨てられている瓶やペットボトル、お酒の缶等を何とかしてほしい。
男性	60 歳以上	耕作農地の放棄や、住んでいるのに道路まで雑草が飛び出ている場所が多くなってきており、畑に行くのに新しい車では乗り入れることが出来ないところが増えています。10 年後空き家が多くなったら不安です。解決策として、地区ごとに安く奉仕してくれる作業員を育成すれば解決出来ると思う。
男性	60 歳以上	犬の散歩時に糞の不始末が多く、衛生問題である。注意書きをお願いします。猫の繁殖も問題です。
男性	60 歳以上	中央公園のトイレの改修をお願いします。あまりにも汚らしくて恥ずかしいです。
男性	60 歳以上	犬の糞がないように。道路に草が生えている。
女性	60 歳以上	ベシアマートが 122 号に行ってしまうと買い物が不便になった。薬局とかはあるけど生鮮食品を売っているスーパーが近くなかった。軽トラックとかで売りに来てくれると有難い。
女性	60 歳以上	高齢者の 1 人暮らし等、自力で車の運転ができなくなった時の買い物、通院など安価で頼める車があると便利（加須市などでは 300 円で市内をタクシーで行く事ができるとの事）。
女性	60 歳以上	ゴミ問題に関しては、市報でもその都度提示されていますが、曖昧で分別に悩むところでは、そのゴミの行方が提示されると皆さんの協力がさらに得られるのではと考えています。
不明	60 歳以上	住んでいる村君は交通が不便です。自分が車に乗れなくなった時の買い物等を考えると不安になります。西羽生のにぎやかさ、東は静かな町づくりをと考えているかと思いますが、利根川あたりは本当に不安しかありません。
不明	60 歳以上	高齢者の交通面で、もっとタクシーなどを利用したいので安くしてほしい

性別	年齢	自由記述
女性	60歳以上	我が家の庭にアライグマがやってきて、亀を狙っています。竹酢などで追い払っていますが、ハクビシンも見かけます。困っています。罠をかける話も聞きましたが、それで捕らえられたとは聞いていません。
女性	60歳以上	店がなくて大変困っている。どこの家も年寄りが残っているため、買い物に行けない。
女性	60歳以上	大型商業施設や飲食店などが次々と出来て市に活気は感じられるが、高齢者が車が無くてもそれらの施設に足を運べるように考えてほしい。
女性	60歳以上	羽生市内（中心部）の空洞化が気になります。岩瀬地区など新しい商業施設は嬉しく思っていますが、（若い世代には必要な事だと思う）、車利用（自らの運転）が不可能になる高齢者が徒歩でも行けるよう、市内（中心部）に高齢者向けの商店街は無理だろうか？活気のある高齢者の町に出来ないだろうか？車での移動販売のステーションにしたり（週2～3回）どうだろうか。
不明	60歳以上	この地域は商店も無く、年配者にはとても不便を感じます。子供達も少なくなってきたし、もう少し活気のある地域になったら良いと思います。
不明	60歳以上	ペットボトルのふたを捨てる箱などあれば助かります。学校と市役所では遠いし、不便です。
女性	60歳以上	松原通りに気になっている店がありますが、道が狭くて、路上駐車も出来ないし、駐車場も入りづらくてなかなか利用する気になりません。
不明	60歳以上	近くにスーパーがほしい。インターネットが使えない人は困ります。
女性	60歳以上	空き地、空き家の対象者です。現在無断で農地（1反）に廃棄物が不法投棄されている。誰が捨てたか不明です。今後どのように対応をしてよいか困っています。行政でどこまで対処してくれるのか、相談に伺いたいと思います。
男性	60歳以上	畑や緑地がソーラーパネルだらけにならないような規制が必要。
不明	60歳以上	今は車に乗れて買い物や医者にも行っていますが、何年先か車に乗れなくなる時が来た時、家の近くに食料品のお店がないので、歩いて行けるようにお店が出来たらと思っています。
男性	60歳以上	空き家の放置は火災に繋がります。空き家の放置や雑草地をお願いします。
女性	60歳以上	運転出来ないので買い物に行けません。食品等は近くのスーパーで買い物出来ますが、加須市では一律300円で医者なり買い物に行けるそうです。
男性	60歳以上	街が当たり前に良くなって住み良さを実感させてほしい。散歩していると、蛇にどこでも遭遇します。日中にネズミを、さらにはイタチを見かけることもある。季節によってはカエルがうるさい。用水路沿いの空中をやたら多くの虫が飛び回って散歩に支障を感じる。狸に自野菜を食われたという方も居る。用水路の改良がなされていない、下水道の普及率全国最低、側溝が無い、不整備等首都圏の都市とは考えられないほど、改良の遅れと不整備が際立つ街となっている。
男性	60歳以上	市民駐車場について、華楽さん前の駐車場が使えなくなり不便、来客の車を駐車する所がない。
女性	60歳以上	羽生市に住んでいないが持ち家がある人に対して、木を切るなりまわりを管理していただくことを望みます。

性別	年齢	自由記述
男性	60歳以上	シャッター街、空家、耕作放棄地が目立つ。
女性	60歳以上	新築住宅が増える反面、住人も無く取り残されている家屋が目につきます。今後その様な建物が増加する傾向は気がかりです。

2 都市基盤整備

性別	年齢	自由記述
女性	18～29歳	市内を循環するバスをもっと増やしてほしいです。定期券があると嬉しいです。
男性	18～29歳	道路の舗装が悪い場所が多いので直してほしい。
女性	18～29歳	東武鉄道と連携して終電をもっと遅い時間にしてほしい。
女性	30～39歳	夏の雷雨の際、仕事が終わった時に、道路の冠水がひどくとても怖かったです。2歳の子供を迎えに行かねばならないのと、自分自身が妊娠しているのと、本当に不安でした。街中は車が水没していたり、ハザードで止まっている車が多かったです。お店が少ないとかそういうことよりもまずは冠水等、整備をしていただき住みやすい街づくりをしてほしいと心より思います。
男性	30～39歳	冠水をなくして下さい。
女性	30～39歳	歩道や車道があまりにもぼこぼこすぎて自転車で通るのも一苦労だし、夜通る際は暗すぎて歩行者が分からない場所が多過ぎます。歩道の横の草がぼーぼーで通りづらい。
女性	30～39歳	実家が岩瀬ですが、大雨や台風のために道路が冠水します。外出出来ずにどうしてもという時は自動車故障の覚悟で外出しています。通学路でもあるのでどうにかなりませんか。
女性	30～39歳	広くしてほしい道路がありますので工事をお願いします。
不明	30～39歳	交通量が多いところに右折レーンの設置。
男性	30～39歳	道路整備に力を入れてほしい。舗装が悪い、歩道がない、電柱が支障になる等、危険な道路ばかりです。財政の運用の仕方にも問題があるのでは？
女性	30～39歳	バスの停留所の数を増やしてほしい。街中の停留所に行くまでに足悪い人が2kmも歩いて行けますか。歩ける人は車を運転していきます。住宅街にもバス停ができればもっと利用が増えると思います。本数も。
女性	30～39歳	電車の停まる路線を増やし、各所からも来やすい市にしたなら、観光ももっと盛り上がると思います。車だけでなく他の交通の便も良くして欲しい。
女性	30～39歳	住宅地を増やすのであれば、下水道を整備してほしい。浄化槽をやめたい、なくしたい。
女性	40～49歳	下水道の整備
男性	40～49歳	鉄道やバスなど公共交通が全く足りない。
女性	40～49歳	駅の出口が片方しかないのが不便。町の発展にも支障があると思う。駅前にコンビニがなくて不便。

性別	年齢	自由記述
男性	40～49 歳	市街地は住みやすくなっているが、農業地域は高齢者には住みにくい。免許返納は生活自体が困難になる。高齢者だけの世帯に対する交通手段の整備をお願いしたい。
女性	40～49 歳	市内の交通機関を充実してほしい。路線バスなど市の中心の人は自転車や車で駅やお店に行けるが、その他の地域や、特に高齢者はどのように生活しているのかが気になります。タクシーを安く利用出来るチケット等もいいと思う。市政ではないかもしれませんが、移動式のスーパーなどもあれば喜ばれると思います。
女性	40～49 歳	交通手段の確保。大雨時の浸水地域が多過ぎる。
女性	40～49 歳	用水路が溢れて道路が冠水してしまうので、どうかしてほしい。
男性	40～49 歳	市道の白線が消えている所があって危険。いつまでもほったらかしている。
女性	50～59 歳	今後も安心して住み続けられる環境の整備やインフラの充実があるといいと思います。
男性	50～59 歳	下水道整備の推進を中止してるんじゃない。上手子林（南羽生町内）地区への延伸を取り止めたのはなぜ？南羽生地区市街化が完了しているのに、いまだに市民税の中に都市・市街化整備金が含まれ取られ続けているのはなぜ？
男性	50～59 歳	とにかく下水道の整備をして下さい。
女性	50～59 歳	市街化調整区域の見直しを早急にして頂きたい。通学路、道路沿いの除草をシーズン（4回）ごとに実施してほしい。農家の田んぼの野焼き、稲刈り後の脱穀時のほこりなどがひどいので、規制を強化してほしい（洗濯物が外に干せない）。
男性	50～59 歳	最近、商業施設などの発展はめざましいものがあるが、農地問題、空き家問題、職場の少なさ等、生活の基盤となることの問題解決をもっと推進してほしい。
女性	50～59 歳	道路に歩道区別が少なく、自転車、車の通行がしにくいと思います。
女性	50～59 歳	バスが少なすぎて電車通勤しようと思う人は絶対に羽生市には転入しない。計画的に都市開発を進めない限り進展しないと思う。
男性	60 歳以上	空地の草木の道路へのはみ出しをお願いします。
男性	60 歳以上	道路整備に力を入れてほしい。職員は市道の傷み具合を数値化し、整備の優先順位を決めるべきだと思う。
男性	60 歳以上	歩けば躓き、自転車で走れば痛い腰がさらに痛め、自動車では走れば電柱にぶつかり、更には、側溝が道の真ん中にある。やる気を持って、しっかりと道路改良をしてください。
男性	60 歳以上	羽生市近くの市町村ではデマンドバスが通っている。羽生市も早く実行してもらいたい。
女性	60 歳以上	東口駅前はず変わらず狭く、商店街のキンカ堂に行く道をもっと少しきれいにしてほしい。郵便局や寺などもっと広い場所に移動してスクランブル交差点はいらない。インターをもっと利用して自慢出来る町にして、美しい羽生を紹介してほしい。
女性	60 歳以上	生活道路が狭く不便している。
女性	60 歳以上	市のあらゆるところまで人の足になるバスやタクシーなど安い料金で利用出来るようになるといい。
男性	60 歳以上	気候変動に伴う異常気象による大雨等、水害対策に力を入れて頂きたいと思います。

性別	年齢	自由記述
男性	60 歳以上	まともな公共交通手段のないこの町では、高齢化に伴う運転免許証の返納など考えられない。高齢者に危険な運転などを強いないためにも、市内循環バスの充実を願います。
女性	60 歳以上	今住んでいる周辺が道路が狭くてボコボコで対向車が来れば本当に高い所へよけなければいけません。何とか道路だけでも舗装して頂ければ本当にありがたいです。
女性	60 歳以上	運転免許を返納しました。80 歳になりまだ自転車は乗れますが、大分危なくなってきましたので、イオンバスのような 200 円前後で乗れる市内循環バスがあるといいと思います。今あるバスでは分かりにくいです。タクシーは予約出来ませんし、送迎代がかかるので高いです。
不明	60 歳以上	あいあいバスをもっと利用しやすくなるよう願います。わかりやすい時刻表、バス停には時間事の行き先を明記してほしい。
男性	60 歳以上	途中で工事が止まっている道路がいくつもあるのが気になります。ゴミ収集が他市よりおおらかで指定の袋にならないままが望ましい。
男性	60 歳以上	羽生駅東口の開発、駅前広場など
男性	60 歳以上	南羽生駅の整備、東口の開設、南羽生駅周辺の防犯灯、外灯の整備。
女性	60 歳以上	道路を市全体的に幅広くしてほしい。他の市より全体的に狭いと思います。
男性	60 歳以上	私の住んでいるところは下水道がありませんのでほしいです。
男性	60 歳以上	下水道の整備。南羽生駅改札口を二箇所にしていただきたい。
女性	60 歳以上	市バスについて、利用したいのですが便数が少なく使い勝手が悪いです。コース等ご一考願います。
男性	60 歳以上	南羽生駅は踏切を渡らなければならないので不便を感じている。南羽生駅に交番を作る。駅の送り迎えの車の列が出来るので何とかしてほしい。ロータリーが車のハンドルをいっぱい切らなければならないのは設計ミスである。
男性	60 歳以上	河川工事（中川）が遅すぎる。利根川の中州の雑草や木などが最近特に目立つので働きかけてほしい。
男性	60 歳以上	下水の検討をお願いします。
男性	60 歳以上	中川治水工事はいつ完了するのでしょうか。県営住宅がいくつかあるがどのように活用していくのか。
男性	60 歳以上	上川僕 122 号、新田橋から昭和橋の間、大型車や自動車の往来が多い為危険です。下水道の整備蓋をしてもらいたい。
男性	60 歳以上	羽生駅西口の開発が全然進んでいないと思う。せめて羽生駅西口から 122 号の駅前道路を整備して、羽生の玄関としてバスをどんどん駅前に発着出来る様にしてもらいたいと思います。
不明	60 歳以上	農道の整備に力を入れて良い道をお願いします。市の職員が（土木課）回って見て下さい。
男性	60 歳以上	JR 駅のある市との合併。東武羽生駅から JR 駅間の循環バスの充実。クリーンでコンパクトなバスを頻繁に運行。
不明	60 歳以上	1 日も早く下水道を整備してほしい。

性別	年齢	自由記述
男性	60歳以上	北部幹線道路を早急に開通していただきたい。利根川河川敷の整備、有効活用。半蔵門線、東部路線を羽生駅に誘致。
男性	60歳以上	浄化槽の徹底は都市化モデルの基本です。市の財政負担としてぜひとも環境保全を高める為の対策として実行していただきたいと思います。
女性	60歳以上	住宅地を細かく降雪の際は除雪車に動いてほしい。
女性	60歳以上	下水道の整備をすべてに優先して実施するべきである。
男性	60歳以上	市隣接道路整備。
不明	不明	冠水しやすい道路を早く何とかしてほしい。

3 安心安全(防災・防犯・救急・医療・福祉)

性別	年齢	自由記述
男性	18～29歳	たまにサイレンで地震などのアナウンス(訓練)をしているのを聞くが、音質が悪いのか、何を言っているのか分からない。
女性	18～29歳	防災無線が聞きとりにくい。防犯情報メールが届くのが遅い。発生してからメールが届くまでにタイムラグがある。
女性	30～39歳	南中学校からいちばんどり十字路を通り手子林(花むら)セブンイレブンまでの細い道がとにかく危ないです(抜け道なのでしょう?)。カインズモールができてから余計に車の通りが増えたように感じます。細かく田舎の道でも人、車が多く行き交う場所には信号、道路の整備などを子供達が事故に合わないようよろしくお願いいたします。
女性	30～39歳	110番の家の看板を見かけるので、みんなに周知してもらうために市報等で一覧を提示した方が良いと思います。
女性	30～39歳	道路に街灯をもっと増やして欲しいです。子供達が夜自転車で行動する時暗くて怖いです。井泉地区など。
女性	30～39歳	通学路等の側溝の蓋がなくて危険な地域が南羽生の周辺に多い気がします。蓋をつけて事故が起こる前に対処してほしい。
女性	30～39歳	子どもが多く住んでいる地域の為、舗装されていない道路で遊んでケガをして来る事があるから困る。
男性	30～39歳	スピーカーで放送流れるが、一部の人しか分からない。災害時など困ります。他県では一家一台地域の放送が分かるようになっている所もあります。風が強くて声が聞きとれない。
女性	30～39歳	子ども広場の中にトイレが無かったり(離れていて不便)、軽食スペースが小さい。お母さん目線で作られていない所が多い。
女性	30～39歳	子育てチケットは3人目からだが、3人ほしくても出来ない人もいる。1人目からの支援も欲しい。3人目からはオムツ配布もあるし、支援チケットもある。羽生で新しく家を建てたが、子育ての住宅ローンの助成もない。だから新しい世代が入ってくるのが少ない。

性別	年齢	自由記述
女性	30～39 歳	子どもがまだ小さいのですが、夜間に診察してもらえない小児科がないため不安。夜間でも診察してもらえる小児科があれば親は安心して暮らせます。
男性	30～39 歳	保育園や学童に預けられても、色々と制限があり仕事に支障が出ます。もう少し柔軟に対応してほしい。時間帯や曜日の見直し、長期連休中の時間の見直しを考えてほしい。
女性	30～39 歳	最近近隣の市から越してきて思ったことは、小児科が少ないことです。前に住んでいたところは沢山あり、子育て支援センター等も充実していて、交流や情報交換が出来ていました。羽生市は比べてしまうと子育て支援や医療については弱いように感じます。近くに公園等があればなおいいです。
女性	30～39 歳	安全な道路を作ってください。外灯を増やしてください。市の中心部だけ整っていても安全にはなりません。
女性	30～39 歳	身近なところだと、道路・交差点は危険な場所が多すぎて、通勤の際いつもヒヤヒヤしています。信号の設置・ラウンドアバウト等変化が必要に思います。
女性	30～39 歳	市内の公園で先にいて子供を遊ばせているのですが、後から来たゲートゴルフの団体に予約してあるからと、公園を出ていくように言われます。何度もあります。公園には予約の情報の紙など何もなく、いつも不快な思いで帰ります。予約のシステムのある公園ならば、トラブルにならないように、予約が分かる張り紙などを徹底してほしいです。空いているスペースで皆で譲り合って遊ぶ場が“公園”だと思います。
女性	30～39 歳	市内の外灯の数を増やしてほしいです。新郷地域が外灯が少なく、冬は夕方以降は車以外での外出が出来ずに困っています。
女性	40～49 歳	近隣の市は子どもの医療費が高校生までなのに、羽生市は中学までというのは遅れていると思う。
女性	40～49 歳	老後が心配です。
男性	40～49 歳	群馬県某市のように、外国人犯罪者の巣窟にならないようにご尽力下さい。そうなってしまうと住めません。
女性	40～49 歳	児童福祉の充実をお願いします。
男性	40～49 歳	市外は複数の病院があるのに、市内は眼科病院と羽生病院しかないので複数あった方がいい。
女性	40～49 歳	コロナウィルス感染対策、検査などの充実など、陽性と診断された後、安心して生活ができるようにしていただきたいです。
女性	40～49 歳	外灯が少ない。犯罪が起りやすいので怖い。
女性	40～49 歳	歯科診療の補助が使いづらく使用したことがないです。利用出来る検討をお願い致します。
男性	40～49 歳	弱者が住みやすい街なら全ての人が住みやすいのではないかと。弱者とは子供、老人、障がい者と考えています。他の市（加須市）では、コロナ禍で補助金が出ているのに、羽生市からは何の支援もないのは何故ですか。
女性	40～49 歳	外灯が少なく夜道が暗い。防犯面から見てももっと外灯を増やした方がいいと思う。

性別	年齢	自由記述
女性	40～49 歳	須影小の前の道ですが、歩道が狭く小学生と中高生の自転車がぶつかりそうで危ないはずと心配しています。蓋のない用水路、下水道、人や車が落ちそうで怖いです。大型のトレーラーやダンプが通るのもいつか事故が起こるのではと心配しています。車両を制限するか、道幅を広げていけるといいと思います。
男性	50～59 歳	高齢者ドライバーの問題は羽生市では重要課題だと思う。市内循環バスは少ない。街中は買い物の便は良いかもしれないが、郊外の老人は自分で運転して買い物に行かなければ、近所に店がない。事故が増えなければ良いと思うが、何か対策を考えていただきたい。
女性	50～59 歳	一人親、親のいない状態の子どもや困っている人達に対して、優しい支援。とくにお金の面でも優遇してほしいと思います。お年寄りの自己中運転などを改善して、それに伴うサービス送迎などをより強化して、お年寄りが運転しなくて済むようにしてほしい。
女性	50～59 歳	生活保護の方の就業支援。補助金や支援金等が不平等にならないように監視する目。外国人が増えてきて今後が心配。
女性	50～59 歳	市内一斉放送の見直しを強く求めます。毎日下校の放送は必要でしょうか？夜中の火事で全市民と起こす必要はあるのでしょうか？警察の高齢者への呼びかけ放送は高齢者には全く聞こえません。大きな災害や行方不明者くらいにしてほしい。
女性	50～59 歳	車椅子、シルバーカーやベビーカーが安全に通行できる段差のない歩道の整備を早急に行って欲しい。自宅からお店まではバリアがたくさんあります。障がいが出て自宅に住み続けられるよう、偏見や差別のない住み良い羽生市であってほしい。
女性	50～59 歳	犯罪防止や交通安全のためにも、街灯の増設をしてほしいです。
男性	50～59 歳	市政と警察と連携し、暴走族や違法改造車を市内から排除することを一日も早く希望しています。夜も早朝も安心して睡眠できる市を目指してほしいと思います。
女性	50～59 歳	防災等の放送は高齢者や聴力障がいのある人には聞きとれないです。
女性	50～59 歳	子供の医療費もやっと窓口払いがなくなりましたが、他の市はすでに 18 歳まで無料になっています。福祉に関しても遅れています。もう少し情報を市民に開示した方がよいと思います。窓口対応でもちょっとわかりづらいです。またこの時期ちゃんとした発熱外来できる場所を羽生市で作ってほしい。
女性	50～59 歳	高齢者、障がい者に生活しやすい環境づくり
男性	50～59 歳	羽生市東 3 丁目に住んでいますが、市の防災無線の内容が聞きとれません。スピーカーを増やしてください。
男性	60 歳以上	市役所、警察署からのアナウンスが聞き取りにくい。街中に住んでいますが、内容がだぶって聞こえるので理解出来ません。防災等、困ることがいつ起こるかわからないので改善をお願いします。
不明	60 歳以上	医療費が高すぎる。
男性	60 歳以上	防災のためにも住宅街の雑木林の撤去を地主に要請していただきたい。20 年たっても全然変化がない。
女性	60 歳以上	災害（大雨）の時の水処理を完全な対策をして欲しい（排水）
男性	60 歳以上	小学生の低学年帰宅時の放送が遅い。通り過ぎた頃に放送がある。

性別	年齢	自由記述
不明	60歳以上	これから高齢者が増えてきます。現状、自分の親も一人では買い物にも行けず、近所でも同じ方がいらっしやいます。福祉など市政でも考えられていると思いますが、もう一步進められますか。
男性	60歳以上	コロナ感染予防のため羽生市全世帯にマスクの配布をお願いします。
女性	60歳以上	介護施設が安く入るといいと思います。年金だけで入れたらいいと思う。
男性	60歳以上	外灯が少ないので暗い。
不明	60歳以上	老人に対する入浴券の配布を希望します。
男性	60歳以上	最近、近県で外国人による窃盗や犯罪が多発しています。羽生市としてどのように対応し、なぜ彼らがそのような犯罪に走らなければならないのか考え、周囲に在住している外国の方々の調査も市にお願いしたいと思います。
男性	60歳以上	図書館の本棚は木製だが、子どもが走りまわっていたり、高くて見通しが悪いのでぶつかってケガをするケースがあります。館内で応急処置なく返されるケースがありました。休日は病院も休みなので、気遣っていただきたいです。
男性	60歳以上	防災無線の放送が鮮明に聞こえないことがあります。防災ラジオ等の導入を検討していただけたらと思います。
女性	60歳以上	病院、医院が少ない、良い医院等もっとたくさんほしいです。
女性	60歳以上	コロナに感染した時、どのような手順を取れば良いのか保存版が一枚あったら嬉しく思います。
不明	60歳以上	災害のない町、災害に強い町づくり、人と人が守りあえる町づくり。
女性	60歳以上	交通安全を考えて、道路の白線、標識、マーク等の充実を。
男性	60歳以上	災害に強い市を目指してほしい。特に水害に弱すぎます。

4 農業

性別	年齢	自由記述
女性	50～59歳	後継車のいない農地の管理、利用についてもっと考えて欲しい。
男性	60歳以上	農地（高齢化による手放したい、後継者が居ないなど、小作料なしで近くの農家にやむを得ず貸している）を集約し有効にしかも恒久的に経営してくれる企業を探し誘致してほしい。
男性	60歳以上	農業後継者の育成。高齢者の離農による空き地を貸借を簡単にして、農業公社を利用し大規模農田を作る。市の支援金で応援、外国人の選別で荒地解消。
女性	60歳以上	農業で市の観光を促進できないか、雇用を確保できないか。加工品まで手掛け、経営できないか。

5 商工観光(産業)

性別	年齢	自由記述
女性	18～29 歳	ゆるキャラはブームが過ぎたので撤退した方がいい。PR するものを少しに絞る。羽生インター付近に何かもってきて活性化する。With コロナにそった企画やPRが必要。
女性	18～29 歳	地域の店や神社、三田ヶ谷の秋桜、秩父鉄道など羽生には良いところがたくさんあるにも関わらず、PR が下手。ネットで探そうにも情報が出てこないし、広報の写真もいまいちだと思うので、そこにもう少し力を入れたら良いと思う。また行田八幡神社のように手花水のようなものを始めてみるのもいいと思う。
男性	18～29 歳	似たような用途の施設を誘致しすぎ。ヤマダ電機とケーズ電機、オートバックスとイエローハット等、そこがかなり空回りしていると思います。
不明	30～39 歳	粗品による地域交流イベントの実施。
男性	30～39 歳	駅前の産業展示場に作業着、運動着などを無理に飾るのではなく、駅は羽生の顔となる場所なので、市を代表する特産物、コンテストで賞を取っている物、技術などを展示して羽生の付加価値を高めて欲しい。映画、ドラマなどロケ地として積極的に手を挙げ、通過する町ではなく、わざわざ羽生に来るような観光地にしてほしい。そのようなターゲットに購入してもらう物品、食べ物の開発にも取り組んでほしい。その物をデパートなどのバイヤーにPRする。
女性	30～39 歳	マラソン大会はもっとPRすべきだと思います。
男性	30～39 歳	羽生市は魅力ある町なので、もっとメディアや多方面でPRして情報発信すべきである。
男性	30～39 歳	SNS で映えるにはまだ遠い市だと思うので、グルメ、ファッション、アートで若く新しい物や作家を支える方向も考えて下さい。そのためには権威的な方向は避けることが大切です。カフェとアートの集まる場所が増えると生活も楽しくなると思います。
不明	40～49 歳	ゆるキャラサミットは中止にしてほしい。無駄遣い。
男性	40～49 歳	ムジナモン体操はやめたほうがいいと思います。大人になってラジオ体操が出来ないのも恥ずかしいので、ラジオ体操を行って欲しいです。またムジナモン自体、魅力がありません。
男性	40～49 歳	羽生の特産物を生かして新しい物 (B 級グルメとか)、姉妹都市とのコラボ、特産物も色々あるが、もっとPR出来れば羽生市が発展するのでは? スケートの羽生選手とのコラボ。
女性	50～59 歳	羽生市は藍染めの町らしいですが、近所に売っているお店はありません。藍染めを着ている人も見た事ありません。あいあいタウンという名の商業区ができましたが、どこにも藍染めはない。今までにない全く新しい産業を日本や世界に先駆けて生み出していただきたい。
女性	50～59 歳	大型商業施設よりも、個人商店、路面店、商店街がある町がいいです。羽生駅の周辺が何もなくてつまらないです。駅ビルと商店街が賑やかだと思いいいと思う。
女性	50～59 歳	大型商業施設ができて嬉しい反面、人口 5 万 4 千の羽生市で続けていけるのかが心配です。少しつくりすぎな気がするのですが。

性別	年齢	自由記述
女性	50～59 歳	ゆるキャラサミットはあまり意味がないと思う。経費の無駄。
女性	50～59 歳	ブームに上手に乗ってステキな御朱印を寺社で作って、市内をレンタル自転車で回ってもらおう等、上手く市を PR してもらい、市でとれた物はムジナモンステッカーを貼るなどの羽生のブランド化、加須のうどんのようなグルメを打ち出したい。
女性	50～59 歳	東武鉄道の開発力がなく駅前が全く面白くない。観光地が中途半端すぎて誰を対象にしているのかわからない。
女性	50～59 歳	大型店に行けば何でも揃い、とても便利になりましたが、東口のお店が活気ある商店街になるよう考えていただきたいと思います。
女性	60 歳以上	駅の東口が少し寂しくなっている。西口の方が栄えてしまっているので東口の活性化を図ってほしい。
女性	60 歳以上	世界キャラクターサミットは税金のムダ。農業の法人化やイオンアグリ創造への支援は評価できる。道の駅の大型化、複合化を諮ることは出来ないか。防災施設との一体化など。(温泉も一体化に、災害時に利用)
男性	60 歳以上	公園やサッカー場、グランドゴルフ場、キャンプ場等。
女性	60 歳以上	水郷公園にウォーキングに行きますが、だいぶ整備されてきて使いやすくなってきていると思います。反対側にイチゴハウスができましたが、あの近辺に地場産野菜や果物など、道の駅風な買いやすく寄りやすい物産所あったらどうなのかな？と感じました。
女性	60 歳以上	世界キャラクターサミットはもうやめた方がいい。イオンや隣の公園、あいあいタウン等などを使ったイベントが羽生市を活性化させると思います。
男性	60 歳以上	道の駅のあり方について行政の考えに意見があります。市民の一人として、実益に合う魅力が少しでも感じられる場所にしていただければ、市民として溜飲を下げる思いであります。
男性	60 歳以上	市街地を活性化してほしい。
女性	60 歳以上	何でも燃やせる焼却炉で、そこで出た熱を利用して市民が無料で使える施設、あるいは羽生市ならではの産業が出来ればと思います。
男性	60 歳以上	最近 122 号に商業施設が増えて嬉しく思います。
女性	60 歳以上	バイパス沿いに大型店舗がたくさん出来て、車があれば買い物が便利だが、将来車の運転が出来なくなった時に不便になると思う。駅の近くのお店が潰れないで今度も営業してほしい。
男性	60 歳以上	市のイメージアップについて「田舎教師の里」「ゆるキャラサミット」はすでに過去のもの。何か大人にも共感できるものを捜すべきではと思っている。
女性	60 歳以上	アフリカ会館建設予定だった場所ですが、今後どのような形で羽生市のために活かせる事が出来るのでしょうか。例えば、インターチェンジからも近いので、某大型商業施設などが出来るとしたら近隣からのお客さんも高速道路を利用して来ていただき、羽生の経済発展にも繋がるのではないかと思います。

6 教育、歴史・文化

性別	年齢	自由記述
女性	18～29 歳	図書館を新しく作ってほしい。羽生に来て図書館にがっかりしました。TSUTAYA などの大型本屋がないことにも驚きました。本が好きなのに本に触れる機会が減りました。
女性	18～29 歳	ウォーキング、ランニングのできる公園が少ないように感じる。個人的には図書館でもっとリラックスして本が読めるスペースが欲しい。
女性	40～49 歳	キャラクターサミットなどは廃止し、文化、教養、芸術面へ市税を使用していただきたいと思います。（美術館設立など）後はこれからの羽生市の為に国際交流に力を入れて頂きたいです。隣の加須市を参照してほしいと思います。

7 コミュニティ、協働

性別	年齢	自由記述
男性	30～39 歳	コロナ禍が厳しいけれども、国際交流ができる場があると良いと思う。子供に外国人との交流をさせたい。
男性	50～59 歳	自治会などの地域活動において、もう少し市政として対策、協力を考えて欲しい。住民は増えているが、自治会加入者はどのようになっているのか、理解していますか？もう少し加入している人への負担軽減、加入が増えるよう、脱退しないようなことを検討していただきたい。
女性	50～59 歳	退職後のキャリアを活かした活動の場がたくさんあればコミュニティに高齢者が参加しやすくなると思います。厳しい状況の中、要望ばかりで申し訳ありません。
男性	60 歳以上	自治会と市役所との役割を明確にすること。各自治会の会計をしっかりと見ていただきたい。
男性	60 歳以上	自治会の困り事をお願いしてすぐに実行できず（まず予算がないと、納期がないと）よく言われますので、すぐやる課ではなくても良いですが、まず現地現物現時点（三直、三現）に実施してほしいです。

8 行財政

性別	年齢	自由記述
女性	18～29 歳	地域限定で使えるクーポン券はなぜ配布していないのですか。
女性	18～29 歳	お年寄りではなく、もっと若い人にお金を使って欲しい。近隣市から学べることは多くあります。思いつかないなら真似して下さい。働き口がなく転出していく人が多いので、正社員としての雇用が増えるよう引き続き企業誘致をお願いします。
男性	18～29 歳	自分の親が私達の世代が一番なんの恩恵も受けていないと不満を言っていた。年寄りとお若い人ばかりだと。40代50代の方はきつとうちの親ばかりではなく不満があるんだろうと。

性別	年齢	自由記述
女性	18～29 歳	アパートで年数多く住んでいる人に対しての“羽生”を知って欲しいという気持ちが無いと思う。広報誌は一つの手段では無いか。ただ市役所に置いておくだけではアパート住人（共働き）の人はいつになっても”羽生”を知らないまま。商業施設をどんどん作るのも良いと思うが、地元の人の声を頻繁に聞く機会を設けた方が良いのでは、
男性	30～39 歳	今後人口減少が続くと考えられますが、税金、サービス、地域の人々のあり方を周囲の他市町村と住民が比較して選ぶ時代になると思います。住民視点での運営が出来ない場合、住民の理解が得られず、他の市町村へ引っ越す人が多くなると予想されます。
男性	30～39 歳	教育委員会が情報を出さない姿勢であることは市にとって有害である。行政職員の不正には厳しい態度でのぞんでいただきたい。コロナ対策等行政の動きがバラバラである。ゆるキャラサミットに区切りをつけて、新しい取り組みをしていただきたい。
女性	30～39 歳	市役所窓口の対応が良くないと感じました。認知症の方々への態度もバカにしているような対応でがっかりしました。1人の人として困っていることは何か、高齢化が進む今、もっと理解のある”市を代表”しているのであれば、知識を増やし親身に対応すべきです。
女性	30～39 歳	コロナの影響で講座や施設利用が制限されてしまいましたが、ワクチンが受けられるようになったらたくさんの方が元の生活に戻り、住みやすい環境に整えてくれるよう期待しています。
女性	30～39 歳	羽生市は税金が高いと思う。
女性	30～39 歳	市のホームページ（スマートフォン用）が簡易的すぎます。見やすく良いのですが、詳しい内容を知りたい時、どれだけ調べようとしても先へ進めなくて困ります。せめてリンクを貼るくらいはしてほしいです。
男性	30～39 歳	キャラクターさみっとはもうやめてもらいたい。これ以上無駄な税金を使ってほしくない。
男性	40～49 歳	金は使うべきところに使い、無駄なことには使わないで下さい。
女性	40～49 歳	議会便りがもう少し若い方々にも目を引くようなデザイン紙面になれば嬉しいです。閉園となっている保育園が荒れていて怖いと子どもが申し出ております。より良い町になるためには人を育てることが第一だと考えております。
女性	40～49 歳	お金がなくて困っているので税金等あまり徴収しないで下さい。
男性	40～49 歳	市役所に勤務されている方の能力を（物事に対して）もっと詳しく勉強して頂きたいと思います。相談しても対応をしてもらえず、2度手間や、もらえる給付金等がもらえない事があったためすごく残念です。
女性	40～49 歳	羽生の明るい未来のため、よろしくお祈りします。イベント等、また楽しく活気のある日常が戻ることを切に願います。
男性	40～49 歳	これからの社会は今までと比べてしまえば「じり貧」になっていくと思われれます。そのことを市政の「采配」でしのぐことはできないでしょう。なので、その過程で生じていく悲しみを少しでも減らせるようにサポートしていくことが、一層重要な仕事になると思います。

性別	年齢	自由記述
女性	40～49 歳	市役所職員の対応が悪い。その場で口先だけの対応をされて、後日訪問したら出来ると言われたことを出来ないと言われて、担当者は不在とのこと。その場しのぎの対応ではなく、質問に沿った誠意ある対応をしてほしい。
女性	40～49 歳	もっと市民の声に耳を傾けてほしい。
男性	40～49 歳	市の財政をどうにかしてほしい。時代遅れのゆるキャラをやめて、その予算を他に充てて欲しい。
不明	40～49 歳	市役所の窓口の方々、目が合ったらすぐに対応して下さい。私じゃない他の誰か行って、という気持ちが表で出過ぎています。
男性	40～49 歳	市役所の人々の態度が悪い。窓口の女性の方でした。
男性	40～49 歳	新型コロナで労働制限による収支の低下、私生活や経済活動の向上、羽生市の治安を考え直してもらい、集いの場所を羽生市の町に作っていただきたい。
女性	50～59 歳	税金の減額
女性	50～59 歳	ゴミ処理は他市に比べて非常に遅れていると思う。全て無料で処理するのはおかしい。袋を有料化するなど受益者負担にすべき。その分他の政策に税金を投入すべきである。住みやすい町づくりをして、人口を増やす努力をしてほしい。財政については、市職員の削減、市長の報酬の減額をおこない、身を切る改革をもって市民に本気度を示してもらいたい。
女性	50～59 歳	他の市の良いところや取り組んでいるところを取り入れたらいいと思う。
男性	50～59 歳	何を行っているか全くわからない。議会で何が行われているのか不明。市の職員は何をやっているの？
女性	50～59 歳	市役所職員の方々もう少しテキパキと仕事をしてほしいと思います。待っているのにお茶を飲んでいたり、気分があまり良くないです。
男性	50～59 歳	羽生市のことを本気で考えて下さい。
女性	50～59 歳	市で行う事、民間に委託出来ることの区別で効率を上げつつ、高齢者支援に偏らず、次世代の子どもの教育を充実することで、未来につながる事業や支援が必要。特にコロナ禍で学業継続や生活支援、収入を得るための就業や資格取得など生きる為の援助が急務だと思う。
女性	50～59 歳	財源には限りがあるのでどこに必要なのか、見極めが必要だと思っていますので、無駄のない使い方をしてほしいと思います。
女性	50～59 歳	外国の方々が増えています。この方々の生活の相談の場所が充実しているといいと思います。
女性	50～59 歳	外国人による生活保護受給者増加の問題は羽生では大丈夫ですか。ゆるキャラサミットで得られる利益はどの位なのか広報で報告してほしい。ふるさと納税品の品物を増やしてほしい。
男性	50～59 歳	市の目指す将来と計画の周知、そして達成状況をわかりやすく広報してほしい。
女性	60 歳以上	市税が高すぎる。
男性	60 歳以上	介護保険の徴収を 70 才迄にしてほしい。

性別	年齢	自由記述
男性	60歳以上	市長が月に1回または2か月に1回でいいから宣伝カーで周り、市では今は何をしているのか、これから何をしていくのか、市民にわかるように報告して欲しい、特に日曜日に。
男性	60歳以上	今後は区画整備等を展開し、住宅の拡充を推進し、人口増に繋がる施策が必要です。財政の安定化を図る為にも、税収を増加させなければなりません。人口減の今後ではあっても、羽生市は立地的にもまだまだ人口は増える可能性はある地域だと思います。
男性	60歳以上	コロナ対策を市としては何もしていないと思う。ホームページは他の使い回し、現状の病院の実態を知っているのか。3密も甚だしい状態なのに市としては何も指導をしていない。
男性	60歳以上	調査結果を各項目ごとにパーセンテージでまとめて公表してほしい。
男性	60歳以上	赤字財政を速やかに直す、市長の責任だったのでは。羽生の人口は何十年も増加しないのは何故でしょうか？市役所職員が多く見られるので、事務の合理化、管理体制の充実を願います。
男性	60歳以上	本来行政がやらなくてはならない仕事とは何なのか。原点に帰り再考して、削減出来るものは削減し、小さな行政府にすべきだと思う。
不明	60歳以上	年金が生活費にまわりきらない。パートをしている。働いている時間分より少ないので苦しい。
男性	60歳以上	役所の机に座っているだけでなく、市内を回って環境（道路や環境の悪さ等）を整備して頂きたい。自治会任せの現状は地域社会を良くしていく方向にならない。
男性	60歳以上	高齢化社会の対策をより積極的に立案していただき、安心して羽生で生活出来るように望みます。
女性	60歳以上	自治基本条例について内容は妥当だと思うが、「事業者」「職員」の責務を規定しているが、用語の定義に規定がないので厳密性に欠ける。「観光交流人口100万人を目指す」とあるが、住民にとってのメリットはあまり見えない。
不明	60歳以上	市長さん頑張って下さい。
女性	60歳以上	税金が高すぎる。
女性	60歳以上	安心安全が大事だと思います。羽生も皆様のお力添えで発展しました。
男性	60歳以上	ゆるキャラに使っているお金を安心安全な町づくりに使ってほしい。
男性	60歳以上	市の職員は市民と同じ目線での対応をお願いしたい。他県や他市を参考にしてほしい。
男性	60歳以上	窓口の応接マナーは大変良いと思いますので継続して下さい。
男性	60歳以上	水道料金が高いのはなぜですか？
男性	60歳以上	窓口の丁寧な対応をありがとうございます。
男性	60歳以上	税金や交付金等の限りある財政の中で、市政を運営していくにあたり、市民にとって何が大切なのか優先順位を考えて予算を立てていただきたい。ゆるキャラサミットはすでに時代遅れであり、何のプラスにもならない。

性別	年齢	自由記述
男性	60歳以上	税金等に関しては、近隣地域との格差が大きいのがっかり。
男性	60歳以上	他の市との合併を考えてみて下さい。
男性	60歳以上	介護保険料など、税金額が高い。血税なので大事に使ってほしい。羽生市民でよかったと思いたいので期待しています。
男性	60歳以上	特別給付金の振り込み通知が遅く来た。他市はインターネットでわかるようになっていた。浄化槽の検査があったが、来ない家が多く、我々のところは側溝より田んぼに流しているが、そうしていない家にも全部来て欲しい。
女性	60歳以上	羽生は山も無く、海も無く、災害が無くてとても平和な町で、羽生に生まれ育ってきたことを幸せに思っています。どうかこのまま平和が続きますように、市長さんはじめ努力をして行っていただきたいと願っています。
男性	60歳以上	羽生市は貧乏だね
女性	60歳以上	キャラクターにかけるお金が年間3000万円近くかかると聞きました。非常にムダだと思います。そのお金で市の焼却場を新しくして下さい。
女性	60歳以上	日々市民に分かりやすくより良い市政を目指していることが市報を通じて伝わってきます。地域の向上が住みやすさにも繋がると考え、協力を基に過ごしています。
女性	60歳以上	広報誌に色々な意見についての回答を載せて下さい。
男性	60歳以上	世界キャラクターサミット10周年について 羽生市の経済的に見て、開催費用2,100万円計上しているが、市の収入面でどのような形で観光収入があるのか？市の収入を具体的に公表して頂きたい。
男性	60歳以上	他市にない羽生市独自の企画立案と実施。
男性	60歳以上	税金が高すぎる。コロナの時、市政は市民に対し還元しない。
女性	60歳以上	羽生市は市政に関心を持つ方が少ないと感じます。また関心があってもそれを表現せずに内に閉じ込めてしまう。封建的な考えが羽生市の発展を阻害しています。小さいうちからの発表能力や表現能力の向上を目指し、令和の新しい時代に向けた羽生市を築いてください。
男性	60歳以上	コロナ禍の中、懸命に努力されている行政の皆様に心より感謝申し上げます。
男性	60歳以上	借入金が多いと言いつするが 港湾なし、山林なし、課題の河川なし、大規模な構築物なし、積雪寒冷なし等これほど膨大な費用の掛かるものがない自治体は全国探してもほとんどない。市長と市職員はやる気を出してほしい。街が綺麗になった、雨水対策も汚水対策も大丈夫、水道管の布設替えも進んだ、若い世代が生きがいを持っている、高齢者のスポーツが盛んで医療費が少なくなった。こうした感覚を市長や市職員は感じる様にしているのでしょうか。見ていると机にはしっかりと座っていますが、街の中では全く見かけません。もっと外に出て、住民に近づき、住民に街づくりの意欲を感じさせてください。
男性	60歳以上	財政の健全化。若年職員や女性職員の活躍の場を広げる。埼玉県に対し、コロナ感染症対策として、外出自粛やGOTOキャンペーンの中止等の要請。
男性	60歳以上	市議の活発な活動を促したい。

性別	年齢	自由記述
男性	60歳以上	新型コロナウイルス感染者の情報が適当でない。性別、職業等の情報は必要ではない。本当に知りたいのはどこで感染したかの情報です。
男性	60歳以上	住民税が高い。役所仕事の効率化を推進すべき。
女性	60歳以上	今一番気になるのはコロナ関連です。市から情報をどんどん発信して頂きたいです。人数だけでなく接触者情報、立ち寄り場所などは無理でしょうか。
不明	不明	市役所の対応、印象が悪い。窓口が忙しくても後方の職員の方達は担当外という感じで何もしない。市役所でお客様と呼ばれるのが印象が悪い。土日祝日の利用時間を真剣に考えてほしい。仕事を休んで行っているの。

9 政策、まちづくり全般

性別	年齢	自由記述
女性	18～29歳	若者に特化した町づくりをしないと、将来人口がもっと減少してしまうと思う。
女性	18～29歳	住んでいる地域の記入欄はなくしていただきたい。無記名の意味がないです。
女性	18～29歳	お店が沢山増えるのは嬉しいですが、その分場所によって充実さに偏りが出ているので、遠い市民でもイオン等に行けるよう、住宅街にもバスが来てほしいです。外で働く人、もう働かない人で社会の情報の認識が違うので、外に出ない人にも情報が届くようにしてほしいです。
女性	18～29歳	インターネットにてアンケートをベトナム語で回答しましたがちょっと分かりづらかったです。
女性	18～29歳	最近様々な企業が建物を作っていて、活気のある市になってきていると思う。道路も整備されてきたが、もう少し自然と共存した市になって欲しいと感じる。
女性	18～29歳	特定の地区ばかりの開発ではなく、他の地区にも目を向けてほしい。同じ税金を払っているのだから魅力ある地域づくりに尽くしていただきたい。
男性	18～29歳	羽生駅構内の空きスペースの利用を促進するべきです。(例えば喫茶店など) マイナンバーの取得が市役所職員は少ないと感じます。
不明	30～39歳	この紙のサイズに封筒を合わせて欲しい。
女性	30～39歳	アフリカ会館とは何だったのですか。道の駅はにゅうの改善を求めます。道の駅という名のただのスーパークンゾー。
女性	30～39歳	質問の意図を明確にし、理解する努力をしていただきたい。
不明	30～39歳	工業地域、商業地域、生活地域を住み分ける。
女性	30～39歳	大変かとは思いますが、市民の暮らしの豊かさのために単純な改革を願います。政治も家庭も規模が違うだけで、考え方や優先順位は同じであってほしいと願います。
男性	30～39歳	安価な(施設を利用できるありがたみを考えない者が増える可能性がある)、高齢者であっても無料ではいけない) 料金で利用出来、夜間まで利用できる温水プール及びスポーツ施設を作り、利用者を増やすことにより健康な市民を増やし、介護保険料を抑える。 専門知識と市民サービスを第一に考え、やる気旺盛な職員を配置した蔵書量県下一の図書館を作り、市民の知的レベルを上げる。

性別	年齢	自由記述
女性	30～39 歳	10 年ぶりに羽生に帰って来て暮らし始めましたが、子育てをしやすい街だなと改めて気づかされることが多いです。人口流入率が周辺の市町村でもかなり高い地域だと思いますので、待機児童対策は急務かと思えます。
男性	30～39 歳	観光農園充実、電子申請などの充実をお願いします。ICT 環境を充実させてサテライトオフィスの機能を。若いノマドワーカーを呼び込めらたと思えます。
男性	30～39 歳	企業誘致が必要。働く場所が無いと市外に出て行ってしまいます。イオン、カインズなどの様に商業誘致を進めるべき。新規住宅地の整備をして、若い人が住みやすくする補助も必要。南羽生駅南側は新しい住宅ができていますが、活性化につながってくると考えます。
男性	30～39 歳	問 48 について、ほぼ 6 に○をつけたのは市政は何をやっているのか知らない、聞こえてこないため。窓口業務に必要な人員をもっと減らせるのでは？AI 導入して先にコストがかかってもいいから、将来的には現状の半分以下を目指すべき。
男性	30～39 歳	住み易く安全で、のどかだけど便利な、より良い市になることを祈っております。
女性	30～39 歳	アンケートを書いているが、この結果が市政に反映されているかは疑問に感じる。実施するなら市民の意見にもっと耳を傾けるべきではないでしょうか。
男性	30～39 歳	アフリカ会館建設を実現願います。
女性	30～39 歳	高齢者や小さい子どもなどが安心出来る環境、社会がもっとあればいいと思えます。ある程度の公共マナーを守って過ごそうという人々の心構えは必要だが、もっと自分だけでなく周りに優しい町になるといい。医療や福祉、子育てに安心出来る日常が、心身のストレス軽減や安全社会へと繋がると思えます。
女性	30～39 歳	羽生に住んで 1 年程になりますが、生活はとてもしやすいです。
女性	30～39 歳	羽生市に住んでまだ 3 年ですがたくさん商業施設ができてとても生活しやすいと感じています。イベント等が少ないと感じます。夏の花火大会などがあるともっと楽しい場所になると思えます。大天白の藤まつりなどももう少し活気があってもいいし、色々お金がかかって大変だと思いますが、明るい羽生市になってくれると嬉しいです。
男性	30～39 歳	盛えている町、雰囲気等を直接感じて、羽生市にも活かして欲しい。好きな町だが足りないと思う事がたくさんあるし、都心に引っ越したいと感じる事が多々ある。
男性	40～49 歳	このアンケートで羽生市が行っている事をほとんど知らないということがわかりました。また自身がリサーチ会社で勤務していたので思ったのですが、このアンケートでは正確な分析は出来なさそうな気がしました。外部に依頼してどういう目的を持ったアンケート作りをした方がいいのかを聞いた方がいいと思えます。
女性	40～49 歳	あまり細かいことは申し上げませんが、市民にとって住みやすい環境であってほしいです。
男性	40～49 歳	働ける場所が少ないので何とかしてほしい。土日の行政サービス（あるいは夜間）を増やしてほしい。死後の土地について（あるいは家屋）どうすればよいのか？
女性	40～49 歳	回覧板の廃止を願う。市報はネットで閲覧できる。見たい情報、必要な情報は全ていつでもどこでも閲覧できる環境が整っているのだから、無駄な部数の発行、一軒ずつ回覧する仕組みは早急にやめてほしい。

性別	年齢	自由記述
女性	40～49 歳	これからも活気のある町づくり、魅力のある町づくり、目指してください！
男性	40～49 歳	子育て世代に対しての支援が足りず、羽生市に魅力を全く感じない。他の市を真似るなどもっと努力をするべき
男性	40～49 歳	アンケートの結果を必ず公表してほしい。
女性	40～49 歳	満場一致で満足される姿勢はないかもしれませんが、住民が羽生に住んで良かったと笑っていただけるようにこの先も頑張って善処してほしいです。
女性	40～49 歳	コロナ対策をしっかりとしているのか？学校や施設で発生しているのに県への公表はしていないのか。このアンケートが無駄にならない事だけ願います。都合のいいことだけ伸ばすのではなく、意見されたことを改善していくのが市政だと思うので、しっかりやってもらいたいです。
女性	40～49 歳	焼却場の改修、新設は急を要する問題と思われる。インターに隣接し、水族館、水郷公園、キャッセと観光スポットの一角にあるため、魅力ある焼却場建設を望む。
男性	50～59 歳	若い人達が住みたいと思える町づくりをしてもらいたいです。
男性	50～59 歳	羽生市に住み始めて20年位になりますが、自然が多く住みやすいので不満はないです。ただ自営で仕事に追われてるため、問48の質問の多くのことをあえて意識もせず生活してました。これからはもう少し羽生を意識して生活して行こうと思いました。
女性	50～59 歳	新型コロナウイルスの影響でテレワークを推進する企業が増えてくると思います。既に東京から地方へ移住する方が増えています。地方への移住を検討している方に羽生市をアピールして人口増加に繋がればと思います。
女性	50～59 歳	将来障がい者が安心して働ける、単純な作業で毎日少しでも働ける企業があったら有難いです。毎日働いてわずかでもいいので収入があって生活出来たらいいなと思います。
男性	50～59 歳	市中心地の開発、活気ある町にしてほしい。
男性	50～59 歳	商工業であれ観光であれ、人を呼び込む政策が必要です。
男性	50～59 歳	魅力的なお店が見当たらない。大型書店があったらいいと思う。羽生市民であることがうらやましいと思われるような街づくりをしてもらいたい。高齢者が元気に暮らせる羽生市を目指してもらいたい。
女性	50～59 歳	年末の忙しい時期のアンケートの協力は大変迷惑です。
女性	50～59 歳	羽生市は自然災害もほとんどなく、住みやすく自然豊かでとてもいいところです。近年122号沿いの大型店舗も出来て生活も便利になりました。羽生市は観光交流100万人を目指すとのことですが、これから先、海外からの観光交流となると治安が心配です。
男性	50～59 歳	お年寄りが自転車で大きな荷物を持ちながら買い物をしている姿を良く見かけます。安全に走れるよう「自転車専用道路」の整備や、近隣の市町村でも配布している「タクシー券」の発行をお願いします。お年よりの住みやすい市、子どもも住みやすい、子育てしやすい土地になると思います。
男性	50～59 歳	アンケートの結果をホームページで開示して下さい。

性別	年齢	自由記述
女性	50～59 歳	羽生市は住み良い町だといつも家族で話しております。約 27 年前にこちらに住み始めて、様変わりいたしました。暮らしやすい町だと常々感じております。追伸ムジナモンたちの可愛いグッズを以前市役所で購入しましたが、もっといろいろなお店で（あるいはネット販売）どんどん販売したらいいと思いますよ！
男性	50～59 歳	問 48 の意味がわからない。途中からよく分からない。今回のアンケートは意味が有るのでしょうか。東武線の上に架ける陸橋はいつまでに終了するのか、税金の無駄遣いなのでは。
女性	60 歳以上	質問内容に少し理解しがたいところがあり、合っているのかわかりません。これから羽生市が市民にとって暮らしやすい市になることを祈ります。
女性	60 歳以上	羽生市はゴミの分別回収が他市に比べて回数も多くていいが、今後はゴミを極力減らす観点から燃えるゴミの回収は週 2 回に減らして、他に税金を使ってほしいと思います。
女性	60 歳以上	問 48 は一般市民が答えるにはハードルが高いと思います。もう少し具体的に質問していただければ答えようもありますが、項目の提示のみでは難しく答えられないので印はつけませんでした。
男性	60 歳以上	羽生市は全国で一番住みよい市であります。
男性	60 歳以上	空家改修のための助成金、移住にあたっての優遇制度の整備。 アンケートの結果から見えた課題とその課題にどう取り組んでいくのか報告してほしい。
男性	60 歳以上	アンケートが長いので疲れました。もう少し短くしてほしい。
女性	60 歳以上	若い人が置かれている経済状況改善、正規採用など雇用の促進が増えれば少子化対策にも結び付くのではと思います。
女性	60 歳以上	アンケートもいいが、市としてのビジョンをより具体的に知りたい。市中心部の空洞化、交通の便の悪化をどう考えているのか。他の市町村に比べて大企業を誘致しているのに財政が良くないのは何故なのか。
男性	60 歳以上	行田市や加須市の友人は羽生がうらやましいと言っています（イオンモール、カインズモール等）。残念なのは土日休みの人が中心の世の中だということです。サービス業は土日が仕事です。自治会活動などでできません！！ 毎回清掃センターが工事の時は大変な思いをしています。
男性	60 歳以上	積極的に市民に対し市政内容を開示、PR して下さい。広報誌、ホームページ以外で、各個人に向けた PR を考えてほしい。
不明	60 歳以上	問 48 の各項目は個人として判断が難しくオール 6 としました。
男性	60 歳以上	スポーツ推進委員さんたちのユニホームがよくかわるがなぜでしょうか？万人が気楽に参加可能な軽スポーツにもっと力を入れて教習してほしい。羽生市民として人口増がないのは寂しい。
男性	60 歳以上	消防署、ゴミ処理施設の公益化（切に望む）。
女性	60 歳以上	市民の皆さんが健康で明るく生き生きした羽生市民として暮らして行けますよう、御指導とお骨折りをお願い致します。
男性	60 歳以上	このようなアンケートの機会を対象者をさらに増やすことも出来ると思う。広く有効に使える場の開発も必要であり進めるべきである。

性別	年齢	自由記述
女性	60歳以上	清水運送の隣に作っている道路は工事がまた止まっているようですが、中止になったのでしょうか？だいぶかかっていますが。東北道のインター付近にあったアフリカ館の看板がなくなったようですが、一体何だったのでしょうか？
女性	60歳以上	問48がわからずほとんど答えられませんでした。
男性	60歳以上	コロナ禍で市政の運営がますます大変になりますが、住みよい羽生市にしてほしい。
男性	60歳以上	自然災害リスクが少ない羽生市、都心まで1時間半位で行ける他、色々のメリットをもっとアピールし、人口増加を目指す。市の財政を含めて潤うことを望む。
女性	60歳以上	いらなくなった電気器具、テレビ、冷蔵庫等は料金をとって市で引き取っていただけないでしょうか。
女性	60歳以上	最後の問48については、それに携わる人でないとわからないことだと思います。そしてこんなに沢山のことを考えてくれている人がいるということも知りました。またこれからの世の中、問49にあるように考えていかななくてはならないことが沢山あることも知りました。
男性	60歳以上	羽生市に居住してまだ日が浅いですが、おおむね満足しております。
男性	60歳以上	岩瀬地区の店々が出来上がることが楽しみです。
男性	60歳以上	ペットにも優しい環境づくりをしてほしいです。
男性	60歳以上	高齢者にとってこのアンケートは長すぎて集中出来ませんので短めに。
男性	60歳以上	良いと思います。このままで前に進んでいると思います。
不明	60歳以上	アンケートの結果はぜひ市報で発表していただきたい。
男性	60歳以上	毎月市報を見ていて気になる点が当市の人口が微減している。この理由についてわかれば何が不足しているかのヒントになるのでは。
女性	60歳以上	魅力ある市、町を作ってほしい。他県や他市にない市づくりを考えてほしい。市民に開かれた市政。
不明	60歳以上	文化ホール、公民館の活動が出来るように。1年を通じて参加出来るようにお願いします。
男性	60歳以上	このアンケートの回収率が心配です。私は回答に1時間以上かかりました。質問数が多過ぎるとの意見は出なかったのでしょうか。
男性	60歳以上	少子化による学校の統廃合、人件費の削減、跡地は地域に開放してコミュニティの場を作る。市民プラザ、清掃センターの維持、市民の声を反映させる機会を設ける。羽生IC前の広大な土地について、市としての介入はどこまで可能なのか。年1回のキャラクターサミットの職員・外部委託・招待等の費用は市民の声を聞いて下さい。
女性	60歳以上	住んでいる地域により発展に差があるように感じます。
不明	60歳以上	農業と商業の両立をよろしくお願いします。
女性	60歳以上	アンケートとは、大衆迎合に結びつくと思いますがいかが思いますか。
不明	60歳以上	新郷は取り残されている感じがします。
男性	60歳以上	若い人達の定着と、住みやすく子育てに手厚い羽生独自の方策があってもいいと思います。人口減少が止まらず高齢化は進みます。何とか若者が増える、移住してもいいと思える方策等、羽生の色を出すべきです。

10 その他

性別	年齢	自由記述
男性	30～39 歳	外国籍のため理解が出来ませんでした。
男性	30～39 歳	市民の為に頑張ってください。応援しています。
男性	40～49 歳	市外で働いていて、あまり市内にいないのでよく分からない。
女性	50～59 歳	ムジナモン、6年前に見ました。触ったらとても気持ちよかった、かわいかった。羽生は特別これというものはないと思います。でも災害がないのが一番だと思っています。日本中どこでも起こりうるのが幸いにも免れているように思います。
女性	50～59 歳	このアンケートを受け、羽生市政については人任せにしている、あまり興味関心を持っていないことに気付きました。
男性	60 歳以上	羽生に転入して1年少々ですので、まだ理解できていない部分が多くあまり参考にならず申し訳ありません。
女性	60 歳以上	ふるさと羽生で豊かな自然に囲まれ生活することに居心地の良さを感じています。人との繋がりを大切にしながら、健康維持を心掛けて笑顔で過ごしたいです。
女性	60 歳以上	心配もなく安心していられると思う。
女性	60 歳以上	今のままが好きです。
女性	60 歳以上	何事もてきぱきしてほしいです。人にわかるように何でも教えて欲しい。
不明	60 歳以上	食料品は直売所を利用することが多いです。家具家電は近頃買ってないです。子供が買ってくれました。行政に頼ることよりできることをして、生きていきたいと思っています。
男性	60 歳以上	羽生市をステキで勢いのある市にして下さりありがとうございます。
男性	60 歳以上	これからも一生懸命頑張ってください。
女性	60 歳以上	矢は後ろに引き絞らないと前に飛びません。
不明	60 歳以上	生きがいがないことを痛感しております。羽生市はまあまあ住みやすいところだと思います。老人だからあまり夢がなくて申し訳ない答えですみません。
女性	60 歳以上	いつの間にか年を重ねてしまいました。今後も元気で頑張りたいと思います。
男性	60 歳以上	礼儀正しく、マイペースで物事に打ち込む。
男性	不明	人それぞれ善し悪しはありますがそれはしょうがない。市民が少ない、大会社が少ない、税金が高い等、市が発展するのかわからないのかは私にはわかりません。

資料・調査票

羽生市市民意識調査

アンケートご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから市政に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この「羽生市市民意識調査」は、市民の皆様から市政についてのご意見やご要望をお伺いし、これからのまちづくりに役立てていくために行うものです。

調査の実施にあたり、市内にお住まいの18歳以上の方の中から2,500人を無作為で抽出しましたところ、あなた様に回答をお願いすることになりました。

調査は無記名で行い、回答はすべて統計的に処理し、他の目的には使用いたしません。お答えいただいた皆様にご迷惑をおかけすることはございませんので、率直な意見をお聞かせください。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和2年11月

羽生市長 **河田 晃明**

◎ご記入にあたってのお願い

1. あて名のご本人がお答えください。
※ご本人が記入できないときは、ご家族の方などが代理でご記入ください。
2. 黒のボールペンまたは濃い鉛筆でご記入ください。
3. お答えは、最初から1問ずつ、すべての質問にお答えください。
4. お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。質問によっては回答が複数になるものがあります。
5. お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。

※調査票にご記入いただきましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手不要）で

12月11日（金）までにご返送ください。

封筒に、住所・氏名のご記入は不要です。

なお、この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

羽生市役所 秘書広報課

羽生市東6丁目15番地

TEL (561) 1121 (内線203)

FAX (562) 3500

◆◆◆◆羽生市の住み心地について◆◆◆◆

問1：羽生市の住み心地はいかがですか。【1つに○】

- | | | |
|-------------|--------|-----------------|
| 1. 住み良い | ⇒問1-aへ | 3. どちらとも言えない |
| 2. まあまあ住み良い | ⇒問1-aへ | 4. 住みにくい ⇒問1-bへ |

問1で「1. 住み良い」「2. まあまあ住み良い」を選んだ方に伺います。

問1-a：住み良い理由は何ですか。【2つまで○】

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 自然環境が良い | 6. 子どもの教育環境が良い |
| 2. 道路・排水・下水道などの都市施設が整っている | 7. 人間関係が良い |
| 3. 文化ホールや図書館などの公共施設が充実している | 8. 永年住みなれ、愛着がある |
| 4. 交通の便が良い | 9. 商売や事業に便利である |
| 5. 買い物の便が良い | 10. 学校の関係 |
| | 11. その他 () |

⇒問2へ

問1で「4. 住みにくい」を選んだ方に伺います。

問1-b：住みにくい理由は何ですか。【2つまで○】

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 自然環境が良くない | 6. 子どもの教育環境が良くない |
| 2. 道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない | 7. 人間関係が良くない |
| 3. 公園などの公共施設が不十分である | 8. 公害（騒音・振動・悪臭）などがある |
| 4. 交通の便が悪い | 9. 商売や事業に不利である |
| 5. 買い物が不便である | 10. その他 () |

⇒問2へ

問2：現在の場所に住み続けたいと思いますか。【1つに○】

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 4. できれば転居したい（市内の他の場所へ） |
| 2. 当分の間住み続けたい | 5. できれば転居したい（市外へ） |
| 3. わからない | |

問3：今後、住み続けるにあたって必要なものは何ですか。【3つまで○】

- | | | |
|---------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 新規住宅地の整備 | 7. 遊園地などのアミューズメント施設の充実 | 12. 学校などの教育施設の充実 |
| 2. 幹線道路の整備 | 8. 工場の誘致、就労の場の充実 | 13. 図書館・郷土資料館などの文化施設の充実 |
| 3. 生活道路の整備 | 9. 福祉施設の充実 | 14. 自然環境の保全 |
| 4. 公園・緑地など広場の整備 | 10. 医療施設の充実 | 15. その他 |
| 5. 上下水道の整備 | 11. 保育園など子育て支援の施設の充実 | () |
| 6. 物品販売や飲食など商業施設の充実 | | |

◆◆◆市の取り組みなどについて◆◆◆

問4：市の広報紙「広報はにゅう」を読んでいますか。【1つに〇】

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 必ず読む | 3. まったく読まない |
| 2. ときどき読む | 4. 届いていない |

問5：市議会の広報紙「ぎかいだより」を読んでいますか。【1つに〇】

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 必ず読む | 3. まったく読まない |
| 2. ときどき読む | 4. 届いていない |

問6：羽生市まちづくり自治基本条例についてご存じですか。【1つに〇】

- | | | |
|-------------|----------------------|-------------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない | 3. 聞いたことがない |
|-------------|----------------------|-------------|

問7：市の計画づくりに市民参加の機会がある場合、参加してみたいですか。【1つに〇】

- | | | |
|--------------------|----------------|------------|
| 1. 興味があるので、ぜひ参加したい | 2. 都合がつけば参加したい | 3. 参加したくない |
|--------------------|----------------|------------|

問8：羽生市の電子申請・届出サービスについてご存じですか。【1つに〇】

- | | | |
|--------------|---------------------|---------|
| 1. 利用したことがある | 2. 知っているが、利用したことはない | 3. 知らない |
|--------------|---------------------|---------|

問9：市政や市役所の職員に、どのような印象をお持ちですか。【項目ごとにそれぞれ1つに〇】

(1) 市政への信頼度	1. 信頼できる	3. あまり信頼できない
	2. まあまあ信頼できる	4. 信頼できない
(2) 市政の進展度	1. 進んでいる	3. あまり進んでいない
	2. まあまあ進んでいる	4. 遅れている
(3) 窓口対応の親切さ	1. 親切である	3. あまり親切でない
	2. まあまあ親切である	4. 不親切である

◆◆◆◆コミュニティについて◆◆◆◆

問 10 : ご近所の方との付き合いについて伺います。【1つに〇】

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 良く付き合っている | 3. あいさつ程度でありあまり付き合っていない |
| 2. 普通程度に付き合っている | 4. 付き合っていない |

問 11 : 自治会などの集まりや行事に参加していますか。【1つに〇】

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 積極的に参加している | 3. やむを得ず参加している |
| 2. ときどき参加している | 4. 参加していない |

問 12 : どのようなボランティア活動に参加していますか。【いくつでも〇】

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 地域社会
(自治会活動、交通安全、非行防止・犯防など) | 6. 国際交流
(留学生との交流・支援、通訳など) |
| 2. 福祉
(高齢者・障がい者支援、子育ての支援など) | 7. 災害時の支援
(被災者支援、救援物資の供給など) |
| 3. 環境保全
(公害、エネルギー、リサイクルなど) | 8. 保健・医療
(食生活、健康増進、病院ボランティアなど) |
| 4. 文化
(書道・絵画・音楽・手芸等の指導など) | 9. その他 () |
| 5. スポーツ(スポーツの指導など) | 10. 参加していない ⇒問 12-aへ |

問 12 で「10. 参加していない」を選んだ方に伺います。

問 12-a : ボランティア活動に参加していない理由は何ですか。【1つに〇】

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 時間的余裕がないため | 4. 興味があるボランティア活動がないため |
| 2. 金銭的余裕がないため | 5. 身近に活動できる場所がないため |
| 3. 精神的余裕がないため | 6. その他 () |

⇒問 13へ

◆◆◆◆羽生市の将来像について◆◆◆◆

問 13 : 将来羽生市がどのような都市になったら良いと思いますか。【2つまで〇】

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 水と緑あふれる田園都市 | 5. 静かな住宅都市 |
| 2. 福祉施設が充実した福祉都市 | 6. 工業団地等のある活気に満ちた工業都市 |
| 3. 教育・文化の文教都市 | 7. 子育てしやすい安心な都市 |
| 4. 活気ある商業都市 | 8. その他 () |

問 14 : 5年後、10年後の羽生市について、「こんな施設があればいいな」「こんな羽生市になれば安心して暮らせる」など、自由なアイデアをお書きください。【自由記入】

◆◆◆◆羽生市の特徴等について◆◆◆◆

問 15：羽生市は、観光交流人口 100 万人を目指しています。次の地場産品、施設、イベントの

中で、羽生市を全国にPRするために有効だと思いますか。【3つまで○】

1. いがまんじゅう	10. 商工・農業まつり	19. 宝蔵寺沼ムジナモ自生地
2. 彩のかがやき	11. 桜まつり	20. キヤッセ羽生
3. クラフトビール	12. 羽生夏まつり	21. 大型商業施設
4. 市推奨品などのご当地グルメ	13. 菊まつり	22. 田舎教師
5. ムジナもん等のキャラクター	14. フロアカーリング	23. 永明寺古墳
6. 世界キャラクターさみっと in 羽生	15. 藍のまち羽生さわやかマラソン大会	24. 羽生城址
7. 藍染め	16. 利根川	25. その他
8. 藤（大天白公園）	17. 羽生水郷公園	[]
9. コスモスフェスティバル	18. さいたま水族館	

問 16：羽生市の中で好きな場所や景色をお書きください。【自由記入】

場 所：
好きな理由：

◆◆◆◆福祉・リサイクル・交通について◆◆◆◆

問 17：高齢化が進む中、幸せで生きがいのある老後を送るために、何が大切だと思いますか。【2つまで○】

1. 生活資金の充実 (公的年金、社会保険の充実)	7. 介護予防や寝たきり予防のための支援を行う
2. 生活資金確保のため、就労の機会を増やす	8. 近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる
3. 高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する	9. 高齢者の地域活動への参加を促進する
4. 生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動を盛んにする	10. 歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める
5. 老人クラブの活動を支援する	11. 在宅福祉サービスを充実させる
6. 高齢者が楽しく働ける場を増やす	12. 市民ボランティアの育成に努める
	13. その他
	[]

問 18 : 市の子育て支援に期待することは何ですか。【3つまで〇】

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 子育てしやすい住環境への支援 | 7. 子どもの活動拠点施設の拡充 |
| 2. 地域における子育て支援の充実 | 8. 妊娠・出産に対する支援 |
| 3. 子どもの教育環境の充実 | 9. 母子の健康に関する支援 |
| 4. 仕事と家庭を両立できる社会環境づくり | 10. 子育て支援ネットワークの拡充 |
| 5. 保育所・学童保育の充実 | 11. その他 |
| 6. 子どもを対象とした犯罪・事故防止の推進 | () |

問 19 : ごみに関する課題の一つとして、家庭ごみを減らすには、どのようなことが必要だと思いますか。【3つまで〇】

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1. ごみ集積所の配置や管理などの見直し | 6. できるだけエコマーク商品を使用する |
| 2. 缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底 | 7. 不要なものは買わない、断る |
| 3. 地域やPTAなどで行っている資源ごみ回収への参加 | 8. 生ごみ処理機器（機械式コンポスター等）の積極的な活用 |
| 4. 廃プラスチックなど資源品目の拡充 | 9. 市指定有料ごみ袋の導入 |
| 5. 物が壊れても、できるだけ修理して長く使うようにする | 10. 食品ロスの削減推進 |
| | 11. その他 |
| | () |

問 20 : 羽生市の交通について、必要だと思うものは何ですか。【3つまで〇】

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| 1. 近隣市町を結ぶ幹線道路の整備 | 6. 歩道の整備
(安全な歩道幅の確保、段差の解消) |
| 2. 地域間を結ぶ幹線道路の整備 | |
| 3. 身近な生活道路の整備 | 7. 自転車道の整備 |
| 4. 鉄道やバスなどの公共交通施設の充実 | 8. その他 |
| 5. 駅周辺や中心市街地の駐車場の整備 | () |

問 21 : 最終電車時刻の満足度について伺います。【1つに〇】

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 満足している | 4. やや不満足である |
| 2. まあまあ満足している | 5. 不満足である |
| 3. 普通である | |

◆◆◆医療・防災・防犯について◆◆◆

問 22：かかりつけ医を決めていますか。【1つに〇】

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 決めている | 3. 必要だと思わない |
| 2. 必要なので決めたいと思っている | 4. 総合病院等に行っている |

問 23：かかりつけ歯科医を決めていますか。【1つに〇】

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 決めている | 3. 必要だと思わない |
| 2. 必要なので決めたいと思っている | 4. 総合病院等に行っている |

問 24：かかりつけ薬局を決めていますか。【1つに〇】

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 1. 決めている | 3. 必要だと思わない |
| 2. 受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している | |

問 25：市の国民健康保険における一人当たりの医療費は、増加傾向です。医療費の増加を抑え、健康でいきいきと暮らすためには、何が大切だと思いますか。【3つまで〇】

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 定期的な健診などによる健康管理 | 6. 禁煙 |
| 2. バランスのとれた食生活 | 7. 飲酒を控える |
| 3. 適度な運動 | 8. 健康講座・健康相談への参加や情報収集 |
| 4. 適切な睡眠・休息 | 9. その他 |
| 5. ストレス解消 | 〔 〕 |

問 26：毎年、健康診断等を受診していますか。【1つに〇】

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 受診している | 2. 受診していない | ⇒問 26-aへ |
|-----------|------------|----------|

問 26で「2. 受診していない」を選んだ方に伺います。

問 26-a：健康診断等を受診していない理由は何ですか【いくつでも〇】

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 忙しい | 5. かかりつけ医が健診の実施機関ではない |
| 2. 機会がない | 6. お金がかかるから |
| 3. 普段から医者にかかっている | 7. その他 |
| 4. 健康なので受診する必要がない | 〔 〕 |

問 27 : 地震による被害を最小限に抑えるためには、建物の耐震化が必要といわれています。そこで、お住まいの家について伺います。【項目ごとにそれぞれ1つに○】

(1) お住まいの家が建てられた時期は、いつですか。	1. 昭和56年(1981年)以前 2. 昭和57年(1982年)以降 3. わからない	
(2) お住まいの家が地震に対して、どの程度安全か知りたいですか。	1. はい 2. いいえ	
(3) お住まいの家が、大地震の際の安全性に問題があると分かった場合、どうしますか。	持ち家の方	1. 耐震補強工事をする 2. 建て替える 3. 何もしない
	借家の方	1. 所有者に耐震補強工事を求める 2. 住み替える 3. 何もしない

問 28 : あなたの家に住宅用火災警報器は設置されていますか。【いくつでも○】

1. 寝室に設置されている	4. 1～3以外の場所に設置されている
2. 階段に設置されている	5. 設置されていない
3. 台所に設置されている	

問 29 : 震災・水害時の避難所をご存じですか。【1つに○】

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 30 : ハザードマップ※をご存じですか。【1つに○】

1. 内容を理解している	3. 知らない
2. 見たことはある	

※ハザードマップとは、地震や台風などにより発生が予測される被害について、その種類・場所・危険度など示した地図のことです。

問 31 : マイ・タイムライン※を作成していますか。【1つに○】

1. 作成している	3. 知らない
2. 知っているが作成していない	

※マイ・タイムラインとは、台風の接近で河川の水位が上昇する時などに、ご自身がとるべき防災行動を時系列で整理・とりまとめた行動計画表のことです。

問 32 : 震災や水害などの災害時に備えてどのような準備をしていますか。【いくつでも〇】

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1. 避難所の確認 | 7. ブロック塀などの補強 |
| 2. マスクや消毒液など新型コロナウイルス感染症に対応した避難準備 | 8. 家具などの転倒防止 |
| 3. 家族との連絡方法の確認 | 9. 防災訓練に参加 |
| 4. 携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備 | 10. 浴槽での水の溜め置き
(初期消火や断水時のトイレ等の水確保のため) |
| 5. 非常用食料の備蓄 | 11. 特に準備していない |
| 6. 非常持ち出し用衣類・毛布・貴重品等の準備 | |

問 33 : 現在行っている防犯対策は何ですか。【いくつでも〇】

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. ドア、窓の二重ロック化 | 7. 防犯ブザー等の設置 |
| 2. 防犯ガラス、防犯フィルム of 施工 | 8. 外出時の隣近所への声かけ |
| 3. 防犯カメラの設置 | 9. 犬等のペットを飼う |
| 4. センサーライトの設置 | 10. GPS 等を活用した IT 機器の使用 |
| 5. ホームセキュリティ (警備会社に委託) | 11. その他 |
| 6. 振込詐欺に備えた留守番電話等の設定 | () |

問 34 : 身の回りで起きる犯罪を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。
【3つまで〇】

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 防犯灯や街路灯を増設する | 6. 近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる |
| 2. 道路や塀などを見通しが良くなるよう工夫する | 7. 犯罪情報を提供する |
| 3. 市街地などに防犯カメラを取り付ける | 8. 警察のパトロールを多くする |
| 4. 市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む | 9. その他 |
| 5. 地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする | () |

◆◆◆選挙について◆◆◆

問 35 : 最近、選挙の投票率の低い状態が続いています。その理由は何だと思えますか。
【2つまで○】

1. 有権者の政治への無関心	6. 候補者・政党のPR 不足
2. 有権者の政治への不満や不信の現れ	7. 若い人の政治への無関心
3. 支持できる候補者・政党がないため	8. 時間や場所など投票に制約が多いため
4. 投票しても政治は良くなれないと思うため	9. その他
5. 政治的に争点のない選挙が多く、 有権者の関心が低いため	10. わからない

問 36 : 選挙の投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思えますか。【2つまで○】

1. 市内のどの投票所でも投票できるようにする	5. 候補者に公約を守らせるような仕組みを考える
2. 投票への啓発活動をより積極的に進める	6. 自宅での投票や郵便投票ができるようにする
3. 学校で行う、政治や選挙についての授業を 充実させる	7. その他
4. 選挙運動をもっと自由にし、選挙に関する 関心や参加を高める	8. わからない

◆◆◆教育・スポーツについて◆◆◆

問 37 : 児童生徒数の減少により、今後適正な学校規模の維持が困難になっていくことが予想されます。学校の再編（統廃合）についてどう思いますか。また、その理由をお書きください。【1つに○をして理由を記入】

1. 再編すべきである 2. 再編はやむを得ない 3. 再編しないほうがよい 4. わからない	⇒	選んだ理由 <div style="border: 1px solid black; height: 80px; margin-top: 10px;"></div>
--	---	---

問 38：羽生市の学校教育をさらに行き届いたものにするためには、特に何に力を注ぐべきだと思いますか。【2つまで〇】

1. 教員の指導力の向上	8. 教育相談の充実
2. 社会体験・自然体験の充実	9. 道徳教育の充実
3. 基礎的・基本的な学習の定着	10. 部活動等の充実
4. 善悪を判断できる児童生徒の育成	11. 学校施設・設備の充実
5. 考える力を育成する学習の充実	12. 学校ボランティアの充実
6. 耐える力、がんばりぬく力の育成	13. その他
7. 基礎的な生活習慣の定着	()

問 39：市内の学校との連携についてどのようなことを望みますか。【2つまで〇】

1. 学校行事に地域の住民を招待し、交流を深める	6. 地域住民と児童生徒が常時交流できる場を設定する
2. 学校施設を地域の住民に開放する	
3. 地域の伝統文化を継承する活動へ協力・参加する	7. 学校と地域住民とのネットワークを構築する
4. 地域との共同イベントを開催する	8. その他
5. 防犯活動など安全のための活動に取り組む	()

問 40 は未就学児の保護者の方のみ回答してください

問 40：小さい頃から身近に本がある環境で育った子どもは読書好きになるというデータがあります。あなたの家には、子どもが読書を楽しめる「おうち図書館※」はありますか。

【1つに〇】

1. ある
2. ない（具体的な理由をご記入ください）
()

※おうち図書館とは、子どもが自由に本を手にとれる本棚やカラーボックス等を利用した本を保管するスペースのことです。

問 41：どれ位の頻度でスポーツ活動（ウォーキングや体操を含む）を行っていますか。

【1つに〇】

1. 週に5回以上	4. 月に1回～3回程度
2. 週に2回～4回	5. 行っていない／月に1回未満 ⇒問 41-aへ
3. 週に1回	

問41で「5. 行っていない／月に1回未満」を選んだ方に伺います。

問41-a: スポーツ活動を行っていない理由は何ですか【3つまで○】

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. スポーツが好きではないから | 5. 身近に相手や仲間がないから |
| 2. 身近に適切な場所や施設がないから | 6. 費用がかかるから |
| 3. 身近に適切な指導者がいない | 7. 健康上の理由から |
| 4. 忙しくて時間がないから | 8. その他 |

[]

⇒問42へ

◆◆◆人権・男女平等について◆◆◆

問42: 「人権」は、誰もが生まれながらに持っている権利であり、幸せに生きるためになくならないものです。今の社会で基本的人権が尊重されていると思いますか。【1つに○】

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 尊重されている | 4. 尊重されていない |
| 2. どちらかといえば尊重されている | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば尊重されていない | |

問43: あなたのまわりの各場面（家庭・地域・職場など）において、男女の地位は平等になっていると思いますか。【1つに○】

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 平等である | 4. 女性が優遇されている |
| 2. 男性が優遇されている | 5. どちらかといえば女性が優遇されている |
| 3. どちらかといえば男性が優遇されている | 6. わからない |

問44: 『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思いますか。【1つに○】

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. その通りだと思う | 4. そう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえばそう思わない | |

◆◆◆商業・産業について◆◆◆

問 45：次の商品を主にどこで購入していますか。【項目ごとにそれぞれ1つに○】

	市内の			市外の		
	個人商店	小売店 (小型スーパーを含む)	大型店	個人商店	小売店 (小型スーパーを含む)	大型店
(1) 食料品	1	2	3	4	5	6
(2) 衣料品	1	2	3	4	5	6
(3) 家具・家電	1	2	3	4	5	6
(4) 趣味の用品	1	2	3	4	5	6
(5) その他	1	2	3	4	5	6

問 46：あなたが、米や野菜などの農産物を購入するとき、目安にしていることはどのようなことですか。【2つまで○】

1. ブランドや評判、おいしさなど	5. 新鮮さなどの品質
2. 無農薬や有機栽培など、安全への配慮の観点から	6. その他
3. 国内産または地元産であること	[]
4. 値段の安さ	

問 47：市の商業や産業の振興について何が重要だと思いますか。【2つまで○】

1. 新しい産業資源の発掘	5. 商店街の整備
2. 歴史や伝統を活かした施設づくり	6. 若い世代の台頭や後継者の育成
3. 農産物の加工開発や新しい農業経営の研究	7. 催し物やイベントの開催
4. 企業の誘致	8. その他
	[]

◆◆◆お住まいの地域のまちづくりについて◆◆◆

問 48： 市政に対し、以下の各項目についてどう感じていますか。【項目ごとにそれぞれ1つに○】

	満足	満足 まあまあ	普通	不満 やや	不満	わからない
地域とともに生きるまちをつくる						
(1) 市民協働・参画の推進について	1	2	3	4	5	6
(2) コミュニティ支援について	1	2	3	4	5	6
(3) 都市交流・国際交流の推進について	1	2	3	4	5	6
(4) 文化の継承・振興について	1	2	3	4	5	6
(5) 人権施策の推進について	1	2	3	4	5	6
(6) 男女共同参画の推進について	1	2	3	4	5	6
子どもを育て学びを高めるまちをつくる						
(7) 子育て支援の推進について	1	2	3	4	5	6
(8) 家庭教育の充実について	1	2	3	4	5	6
(9) 義務教育の充実について	1	2	3	4	5	6
(10) 高等教育機関等との連携について	1	2	3	4	5	6
(11) 生涯学習の推進について	1	2	3	4	5	6
元気で助け合えるまちをつくる						
(12) 地域福祉の推進について	1	2	3	4	5	6
(13) 障がい者支援の推進について	1	2	3	4	5	6
(14) 高齢者支援の推進について	1	2	3	4	5	6
(15) 健康づくりの推進について	1	2	3	4	5	6
(16) 生涯スポーツの振興について	1	2	3	4	5	6
(17) 社会保障の適正運用について	1	2	3	4	5	6
いのちと暮らしを守るまちをつくる						
(18) 防災対策の推進について	1	2	3	4	5	6
(19) 消防・救急・救助体制の充実について	1	2	3	4	5	6
(20) 地域医療の充実について	1	2	3	4	5	6
(21) 防犯対策の推進について	1	2	3	4	5	6
(22) 交通安全対策の推進について	1	2	3	4	5	6
(23) 消費者行政の推進について	1	2	3	4	5	6
活気と魅力あるまちをつくる						
(24) 農業の振興について	1	2	3	4	5	6
(25) 商工業の振興について	1	2	3	4	5	6
(26) 観光の振興について	1	2	3	4	5	6
(27) 勤労者支援・雇用の促進について	1	2	3	4	5	6
(28) 企業誘致の推進について	1	2	3	4	5	6
(29) シティプロモーションの推進	1	2	3	4	5	6

インフラを整え生活を支えるまちをつくる						
(30) 市街地等の整備について	1	2	3	4	5	6
(31) 道路の整備について	1	2	3	4	5	6
(32) 移動手段の確保について	1	2	3	4	5	6
(33) 上水道の整備について	1	2	3	4	5	6
(34) 公園・緑地の整備について	1	2	3	4	5	6
きれいで自然を感じるまちをつくる						
(35) 下水道の整備について	1	2	3	4	5	6
(36) ごみ処理の適正化について	1	2	3	4	5	6
(37) 環境保全の推進について	1	2	3	4	5	6
(38) 空き家・空き地対策の推進について	1	2	3	4	5	6
健全な経営で自律するまちをつくる						
(39) 危機管理の充実について	1	2	3	4	5	6
(40) 持続可能な財政運営について	1	2	3	4	5	6
(41) 開かれた市政の推進について	1	2	3	4	5	6
(42) 行政経営の効率化について	1	2	3	4	5	6

問 49: これからの市政に対して、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。【5つまで〇】

1. 市民協働・参画の推進	15. 健康づくりの推進	29. シティプロモーションの推進
2. コミュニティ支援	16. 生涯スポーツの振興	30. 市街地等の整備
3. 都市交流・国際交流の推進	17. 社会保障の適正運用	31. 道路の整備
4. 文化の継承・振興	18. 防災対策の推進	32. 移動手段の確保
5. 人権施策の推進	19. 消防・救急・救助体制の充実	33. 上水道の整備
6. 男女共同参画の推進	20. 地域医療の充実	34. 公園・緑地の整備
7. 子育て支援の推進	21. 防犯対策の推進	35. 下水道の整備
8. 家庭教育の充実	22. 交通安全対策の推進	36. ごみ処理の適正化
9. 義務教育の充実	23. 消費者行政の推進	37. 環境保全の推進
10. 高等教育機関等との連携	24. 農業の振興	38. 空き家・空き地対策の推進
11. 生涯学習の推進	25. 商工業の振興	39. 危機管理の充実
12. 地域福祉の推進	26. 観光の振興	40. 持続可能な財政運営
13. 障がい者支援の推進	27. 勤労者支援・雇用の促進	41. 開かれた市政の推進
14. 高齢者支援の推進	28. 企業誘致の推進	42. 行政経営の効率化

◆◆◆あなたご自身について◆◆◆

◆あなたご自身について伺います。【項目ごとにそれぞれ1つに○】

(1) 性別	1. 男性	2. 女性
(2) 年齢 (令和2年11月1日現在)	1. 18～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳	4. 50～59歳 5. 60歳以上
(3) 職業	1. 農業 2. 商工業 3. 自営業 4. 会社員 5. 公務員	6. パート・アルバイト 7. 学生 8. 無職 9. その他
(4) 羽生市に住んでいる年数	1. 5年未満 2. 5年以上～10年未満	3. 10年以上～20年未満 4. 20年以上
(5) 住んでいる地域	1. 羽生 2. 新郷 3. 須影	4. 岩瀬 5. 川俣 6. 井泉 7. 手子林 8. 三田ヶ谷 9. 村君

◆◆◆市政に関するご意見◆◆◆

◆市政に関するご意見がありましたら、自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

なお、誠に恐縮ですが **12月11日(金)** までにこの調査用紙を返信用封筒に入れて返送して下さるようお願いいたします。



羽生市キャラクター
ムジナモン

羽生市市民意識調査報告書

令和3年3月

発行：羽生市
編集：羽生市総務部秘書広報課
〒348-8601 埼玉県羽生市東6-15
TEL：048-561-1121（代表）